

人権に関する市民意識調査報告書

令和7年10月

相模原市

人権に関する市民意識調査報告書

目 次

調査概要	1
I. 回答者の属性	2
II. 調査結果	4
1. 人権全般についての考えや意識について	4
2. 女性の人権について	48
3. 子どもの人権について	50
4. 高齢者の人権について	52
5. 障害のある人の人権について	54
6. 同和問題(部落差別)について	56
7. 外国人の人権について	62
8. 性的少数者の人権について	64
9. エイズ患者やHIV感染者の人権について	68
10. 働く人の人権について	70
11. 刑を終えて出所した人の人権について	72
12. 犯罪被害者等の人権について	74
13. ハンセン病患者や回復者の人権について	76
14. 人身取引に関する人権問題について	78
15. ホームレスの人権について	80
16. アイヌの人々の人権について	82
17. インターネットを利用した人権問題について	84
18. 災害に起因する人権問題について	86
19. 北朝鮮当局による拉致被害者等の人権について	88
20. 人権課題の解決に向けた方策について	90
調査票	99

人権に関する市民意識調査報告書

調査概要

調査の目的	市民の人権に関する意識、考え方等を統計的手法によつて的確に把握し、今後の人権施策をより効果的に進めるための基礎資料とする。
調査対象	相模原市に在住する18歳以上の個人(外国人を含む) 3,000人
抽出方法	住民基本台帳からの等間隔系統抽出
調査方法	郵送によるアンケート方式(回答は、WEB又は郵送)
回収率	41.6%
調査期間	令和6年12月10日～12月27日

※集計結果の見方

- ・ 前回調査(平成28年度)結果について、今回新設した設問、前回調査とは内容や表現が大幅に変更となった設問については、結果を表示していない。また、同じ設問であっても、選択肢が追加・変更・削除となった設問や、回答形式が異なった設問については、表示していないものがある。
- ・ 性別「その他」については、母数が少ないため、参考値とする。
- ・ クロス集計の場合、回答者の属性について、原則として「不明」や「無回答」を含めていないため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがある。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法である。
- ・ 回答の比率(すべて百分率(%)で表示)は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・ 数値はそれぞれ割合(%)を表示。

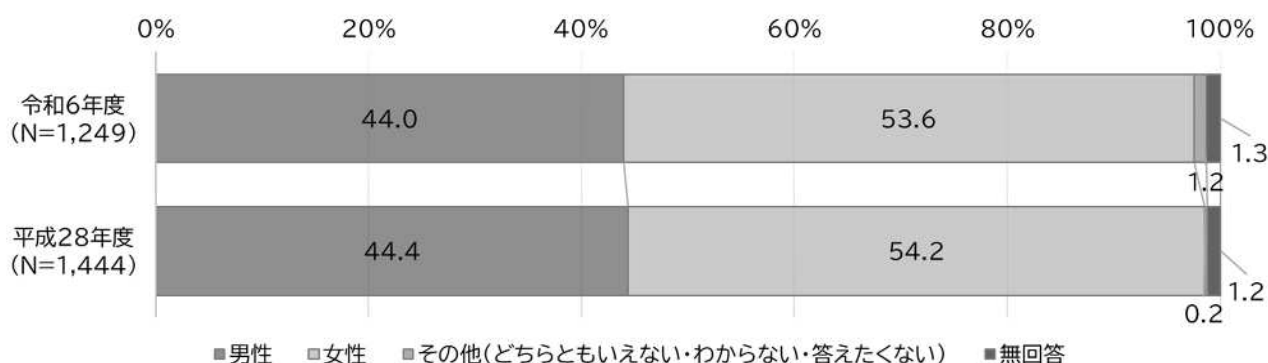
※クロス集計表の見方

- ・ 濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第1位の項目については濃いグレーで塗りつぶし、数値を太字で表示している。
- ・ 薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、特徴的な項目(全体の数値と比べて10ポイント以上数値に差がある項目)については、薄いグレーで塗りつぶしている。
- ・ 濃いグレーと薄いグレーが重複する場合は、濃いグレーを優先している。

I. 回答者の属性

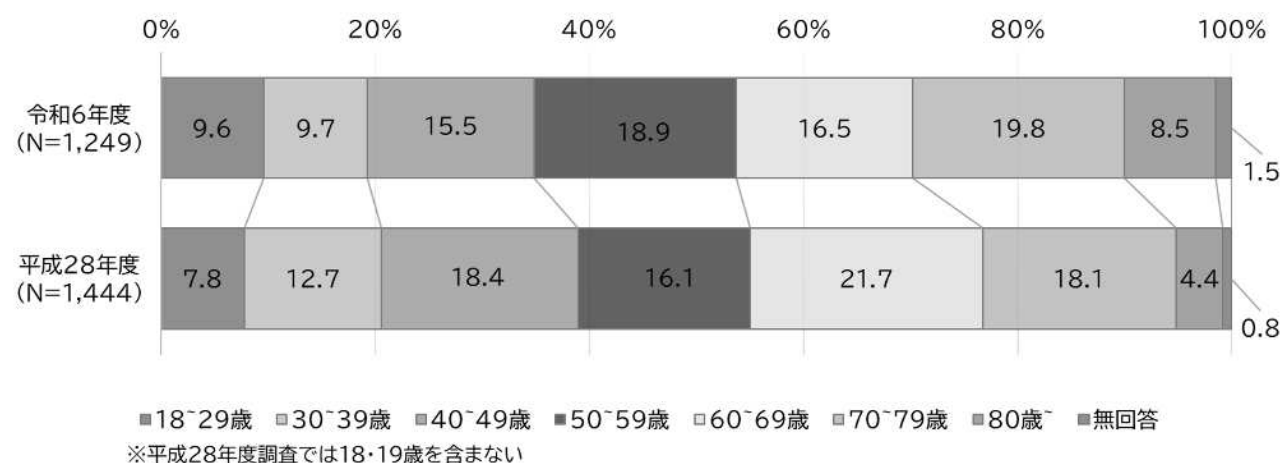
F 1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

男性が44.0%、女性が53.6%で、女性が9.6ポイント高くなっている。



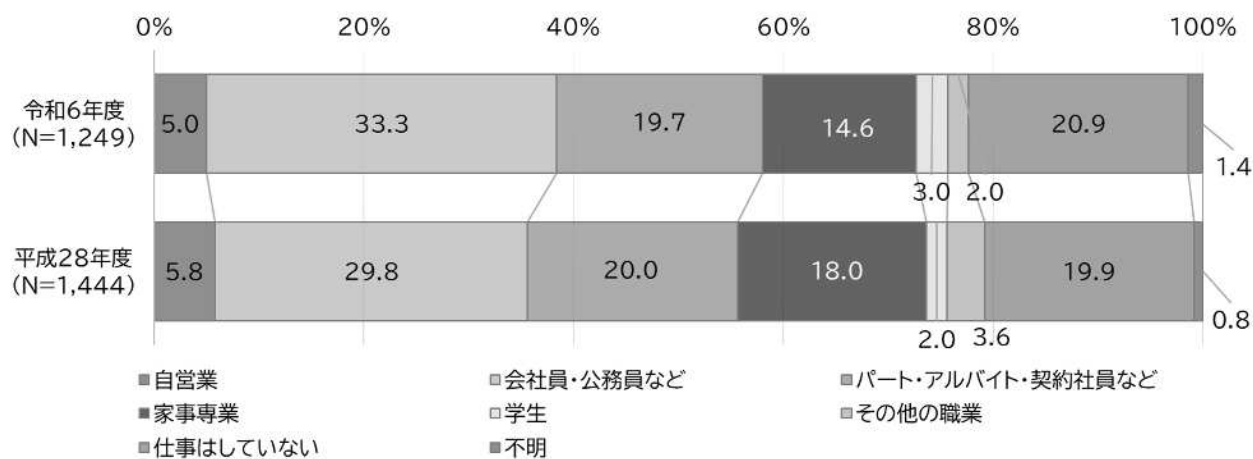
F 2 あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ) <令和6年12月1日現在の満年齢>

最も多いのは70代の19.8%、少ないのは80歳以上で8.5%となっている。



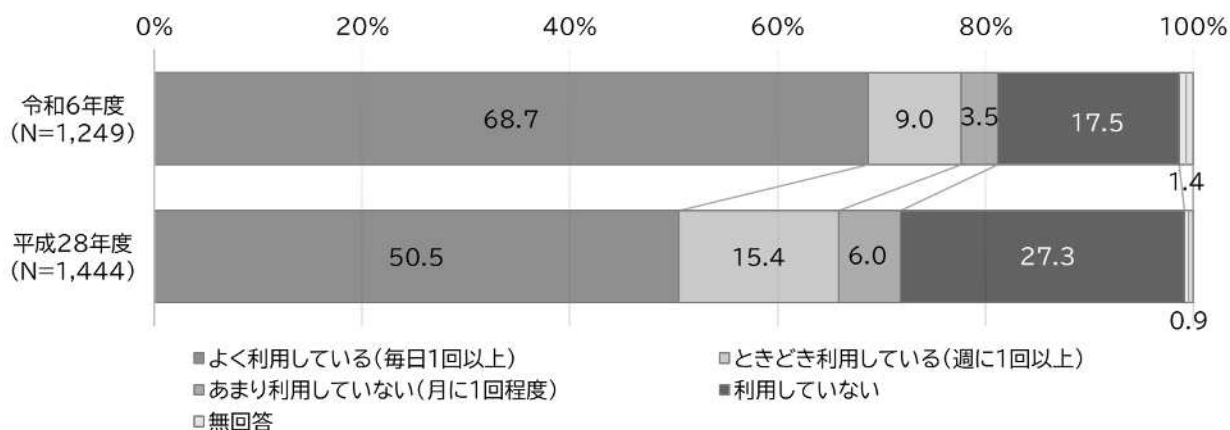
F 3 あなたのご職業を教えてください。2つ以上の職業をお持ちの方は主なものを次の中から1つ選んでください。(〇は1つ)

会社員・公務員などが33.3%で最も多く、次いで仕事はしていないが20.9%、パート・アルバイト・契約社員などが19.7%などとなっている。



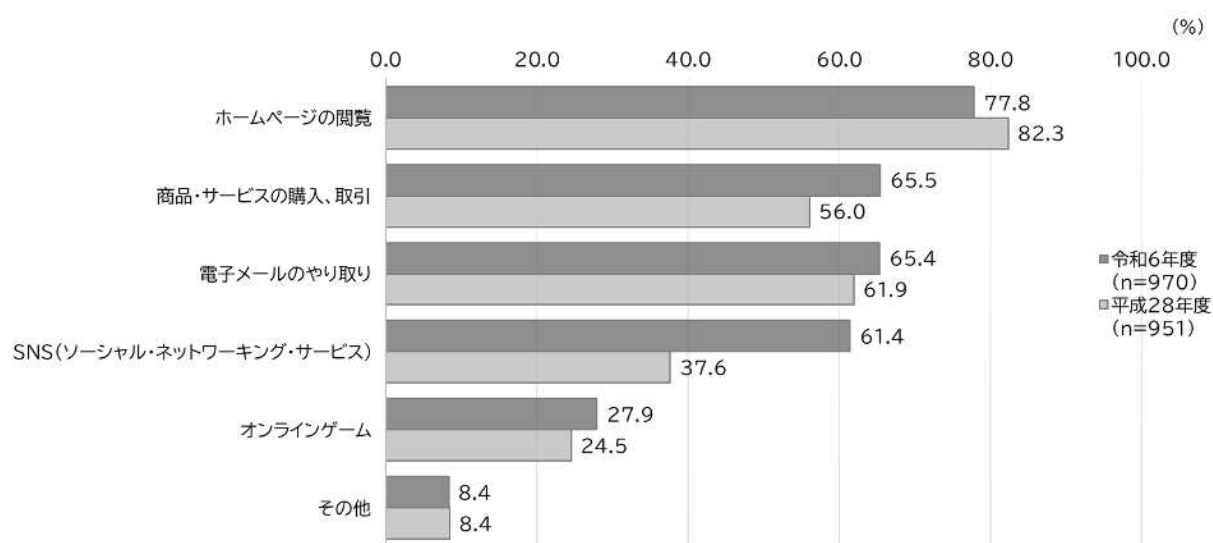
F 4 あなたは、インターネットを利用していますか。(〇は1つ)

- ・「よく利用している(毎日1回以上)」が68.7%で、次いで「利用していない」が17.5%となっている。
- ・「よく利用している(毎日1回以上)」と「ときどき利用している(週に1回以上)」を合わせると77.7%で、日常的にインターネットを使用していると考えられるのは全体の8割近くとなっている。



F 5 どのような目的でインターネットを利用していますか。(F 4で「よく利用している」又は「ときどき利用している」とお答えの方、あてはまるものすべてに〇)

「ホームページの閲覧」が最も多く 77.8%でほぼ8割を占める。次いで「商品・サービスの購入、取引」が65.5%、「電子メールのやり取り」が65.4%、「SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)」が61.4%などとなっている。

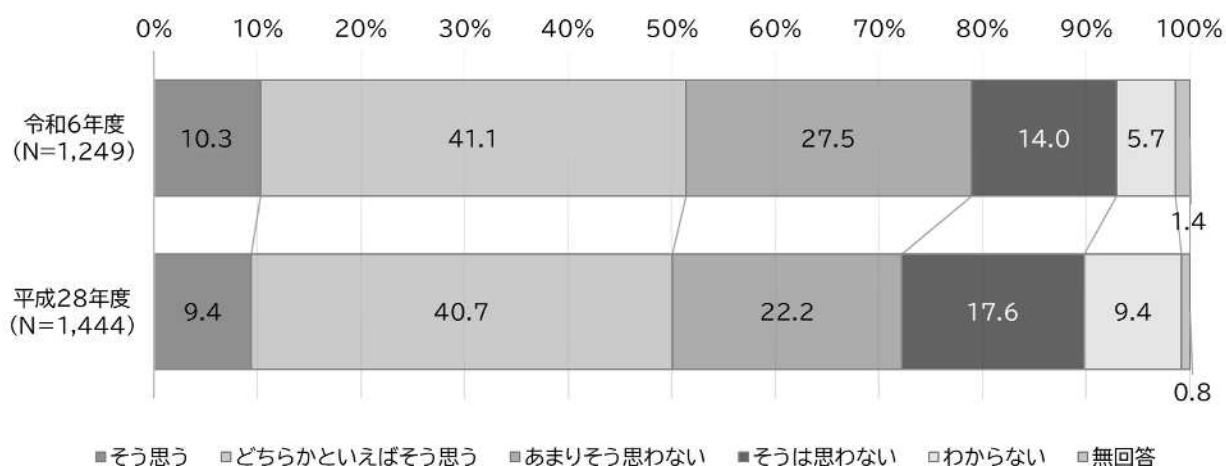


Ⅱ. 調査結果

1. 人権全般についての考えや意識について

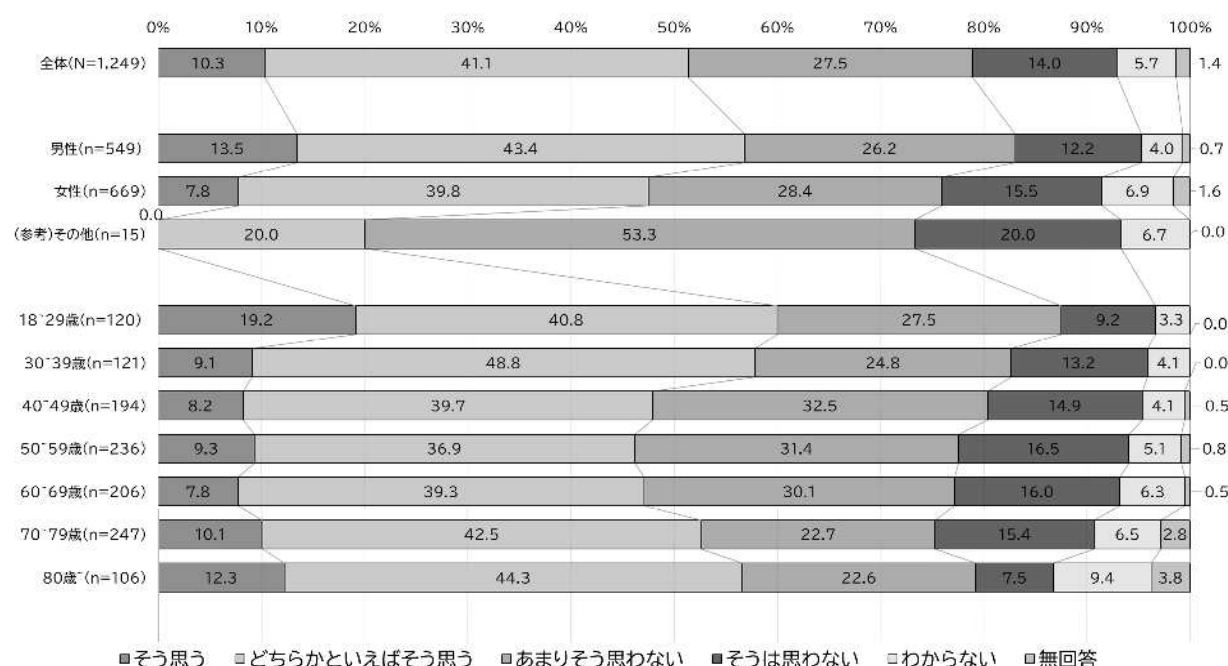
問1 あなたは、今の日本は、一人ひとりの人権が尊重されている社会だと思いますか。(〇は1つ)

- ・「どちらかといえばそう思う」が41.1%で最も多い。以下「あまりそう思わない」(27.5%)、「そうは思わない」(14.0%)、「そう思う」(10.3%)、「わからない」(5.7%)となっている。
- ・「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると51.4%で、全体のほぼ半数となっている。



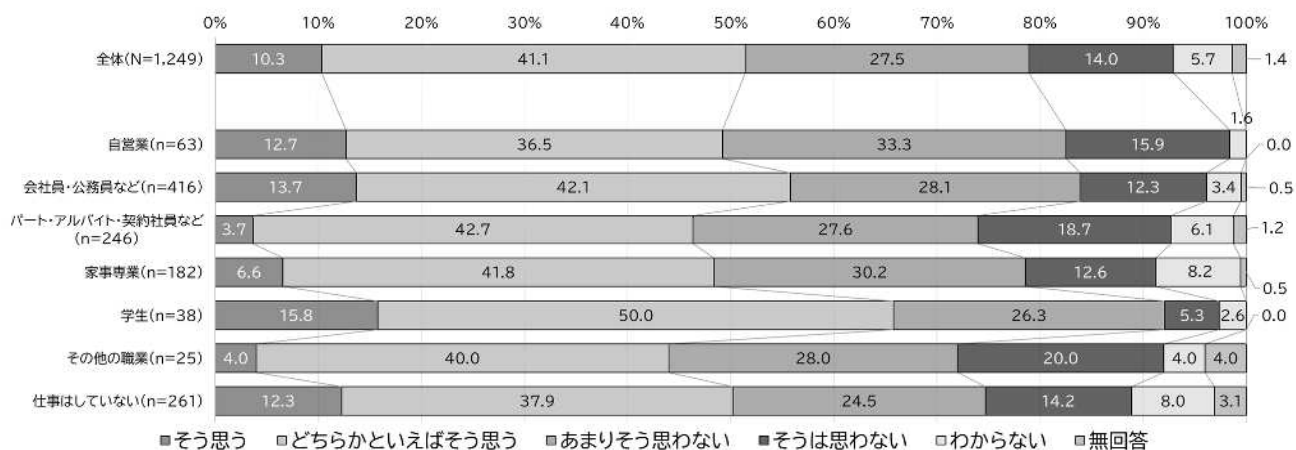
■ 性別・年齢別 今の日本は、一人ひとりの人権が尊重されている社会だと思うか

- ・性別では、男女とも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっている。また、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた数値は、男性の方が9.3ポイント女性より高くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっている。「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた数値は18～29歳で最も高くなっている。



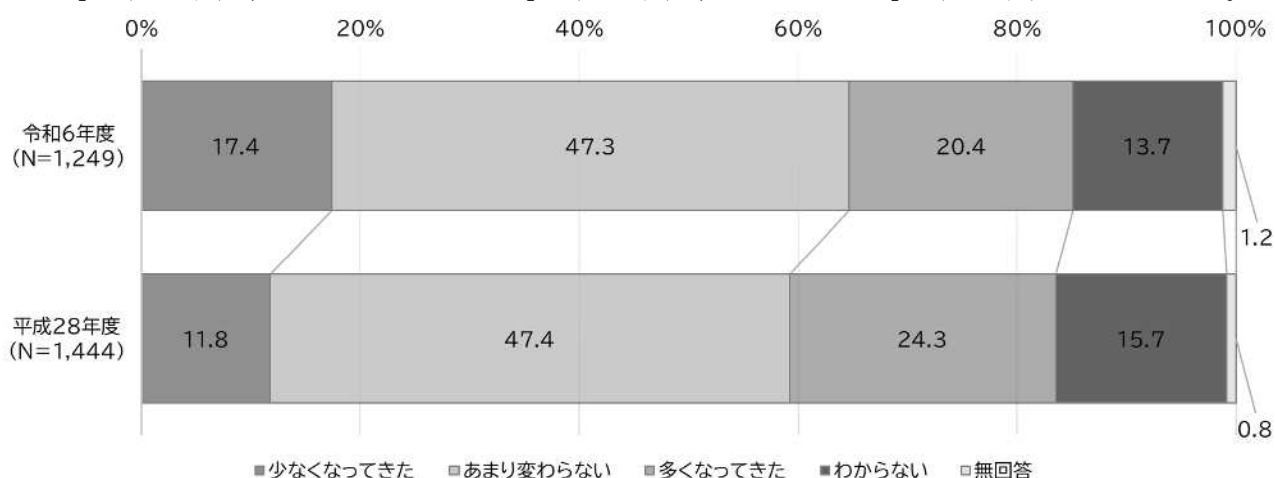
■ 職業別 今の日本は、一人ひとりの人権が尊重されている社会だと思うか

いずれの職業でも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっている。「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた数値が最も高いのは学生、低いのはその他の職業となっている。



問2 あなたは、この5～6年の間に、日本で、人権が侵害されるようなことは、次第に少なくなってきたと思いますか、あまり変わらないと思いますか、それとも次第に多くなってきたと思いますか。(〇は1つ)

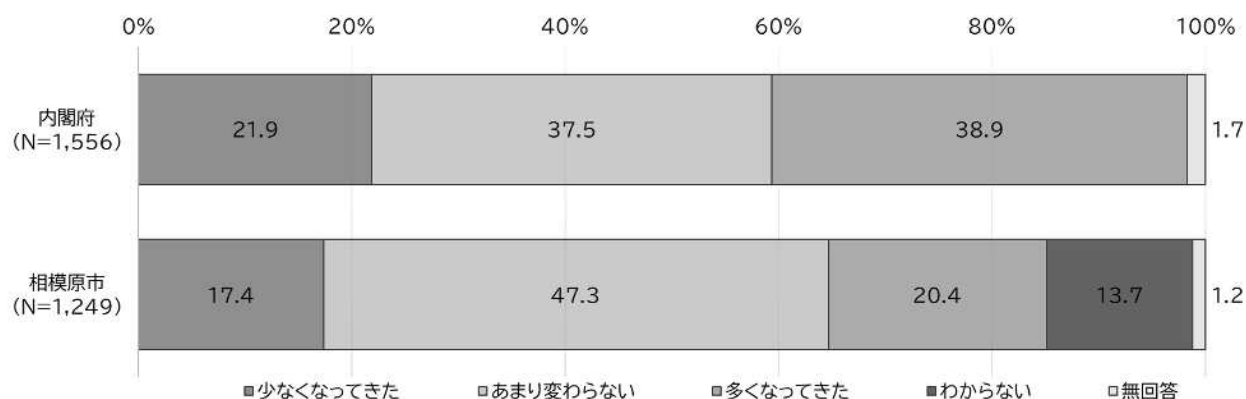
「あまり変わらない」が47.3%で最も多く、全体の約半数となっている。次いで「多くなってきた」(20.4%)、「少なくなってきた」(17.4%)、「わからない」(13.7%)となっている。



<参考>内閣府「人権擁護に関する世論調査」(令和4年度)

【人権侵害の推移】

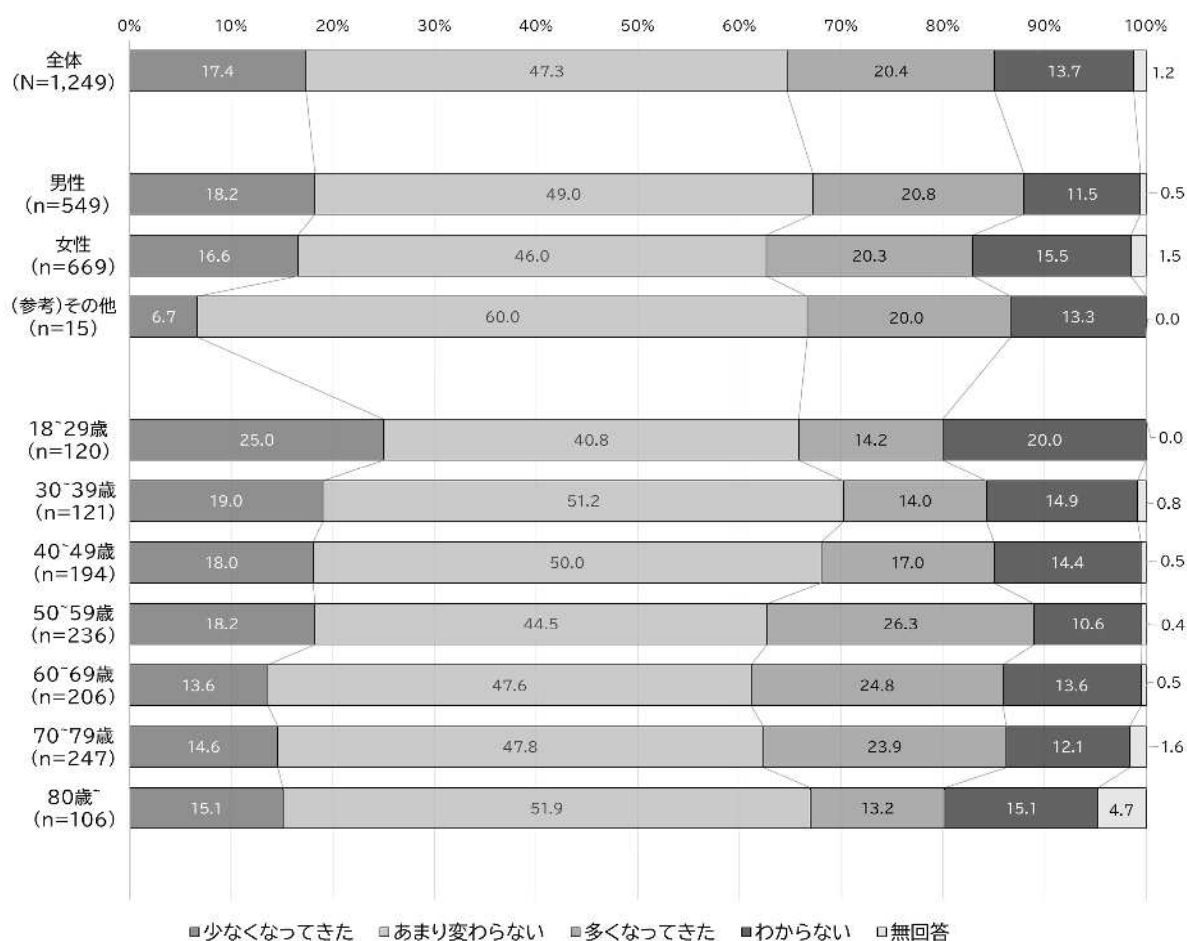
内閣府「人権擁護に関する世論調査」(令和4年度)と比較すると、相模原市調査では「あまり変わらない」が47.3%と内閣府調査(37.5%)より高くなっている。「多くなってきた」が20.4%と内閣府調査(38.9%)より低くなっている。



注) 内閣府調査では「わからない」を除いた集計となっている。

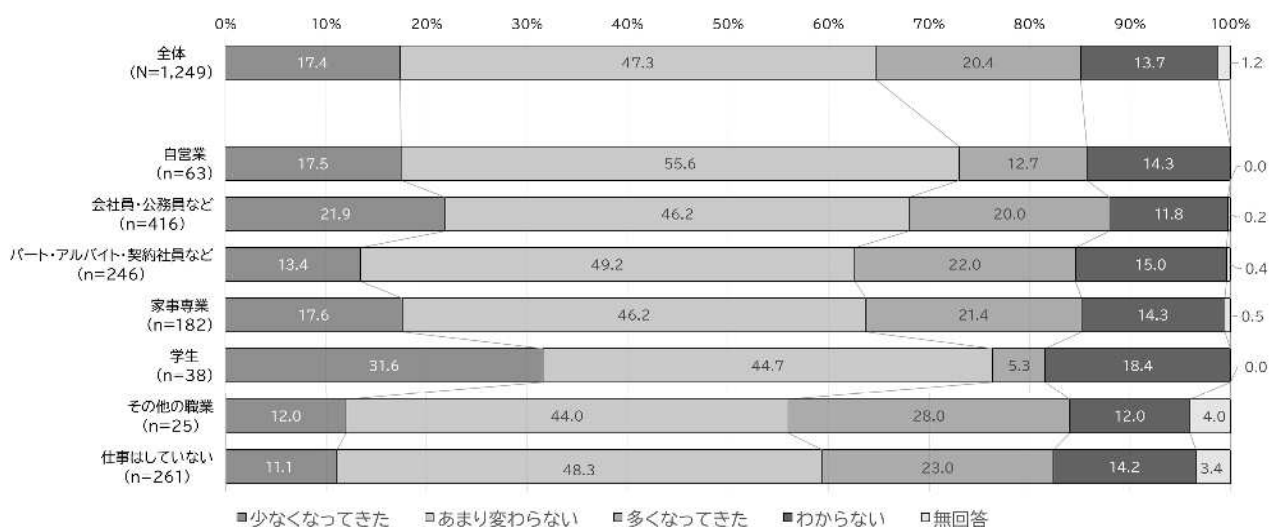
■ 性別・年齢別 この5～6年間の日本における人権侵害について

- ・性別では、男女とも「あまり変わらない」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「あまり変わらない」が最も多くなっている。「少なくなってきた」の数値が最も多いのは18～29歳で、「多くなってきた」の数値が最も多いのは50代となっている。



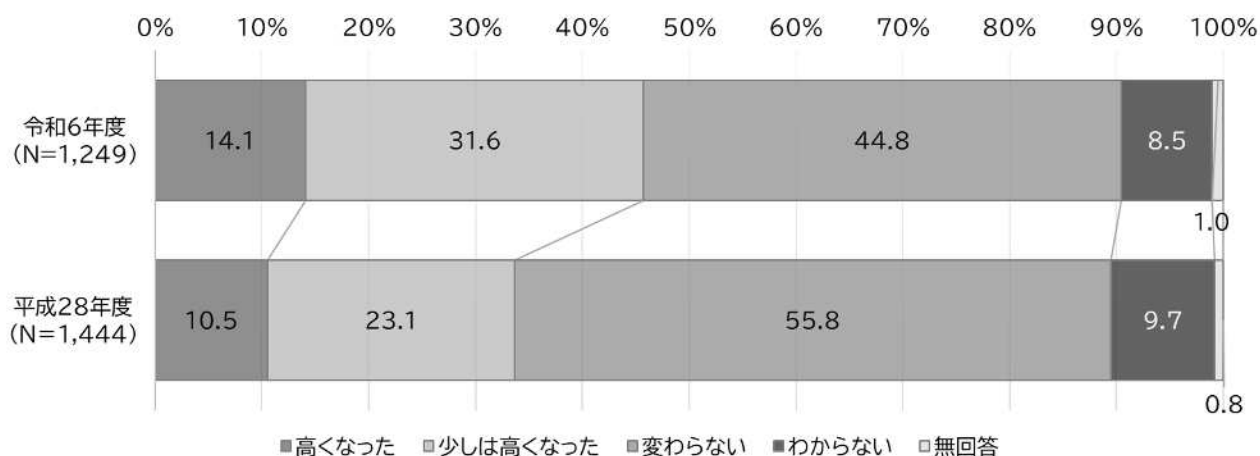
■ 職業別 この5～6年間の日本における人権侵害について

いずれの職業でも「あまり変わらない」が最も多くなっている。学生では「少なくなってきた」の数値が3割に達している。



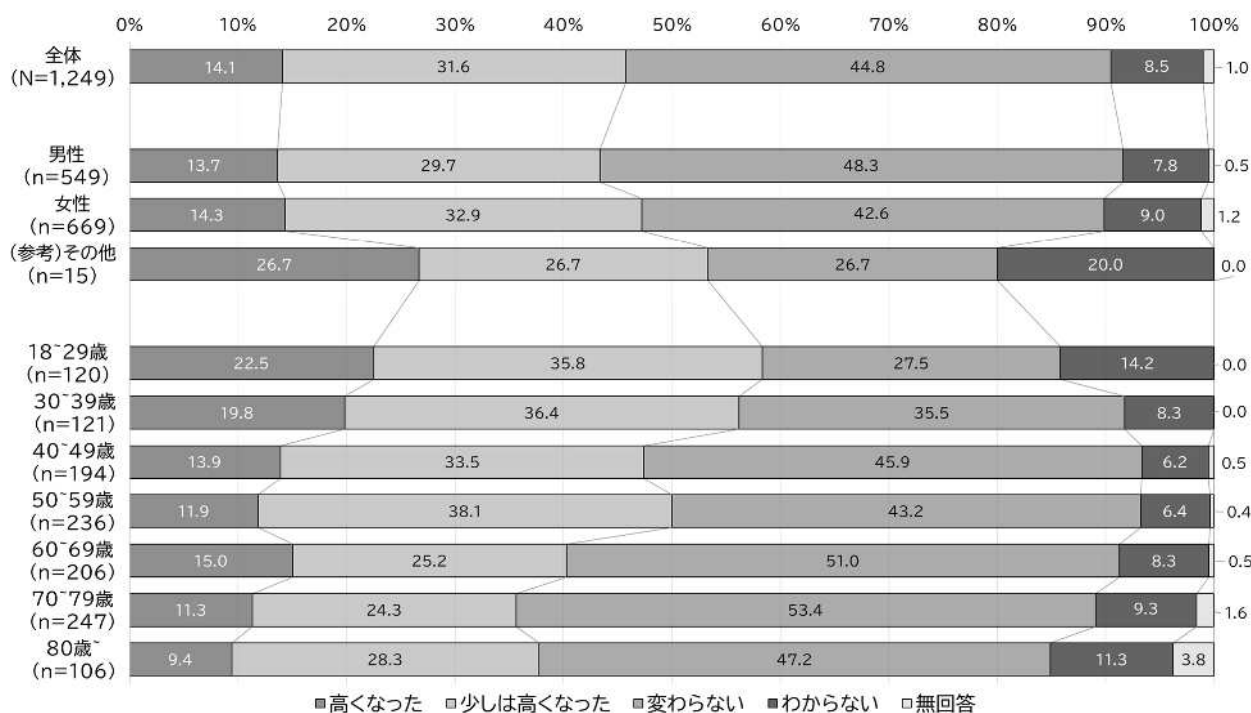
問3 あなた自身の人権意識は、5年前に比べ高くなったと思いますか。(〇は1つ)

「変わらない」が44.8%で最も多く、次いで「少しは高くなった」(31.6%)、「高くなった」(14.1%)、「わからない」(8.5%)となっている。



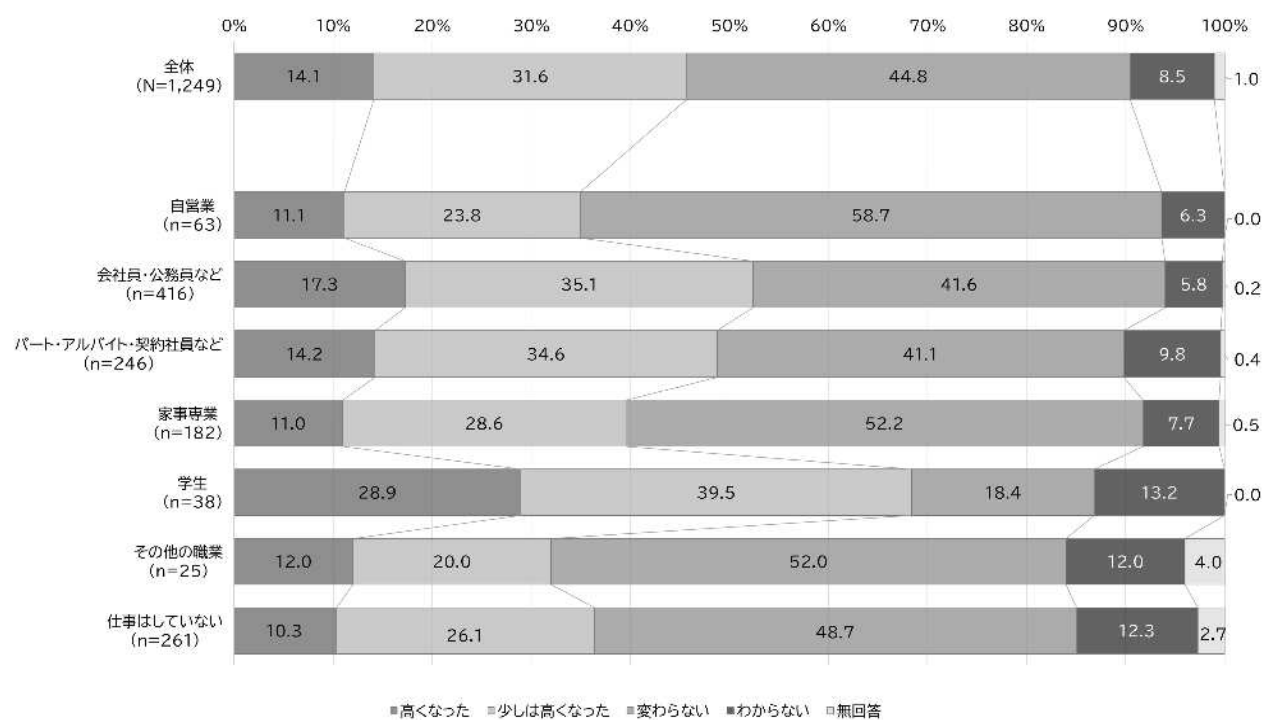
■ 性別・年齢別 5年前と比べた自分自身の人権意識

- ・性別では、男女とも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、18～29歳、30代で「少しは高くなった」が最も多く、40代以降の年代では「変わらない」が最も多くなっている。



■ 職業別 5年前と比べて自分自身の人権意識

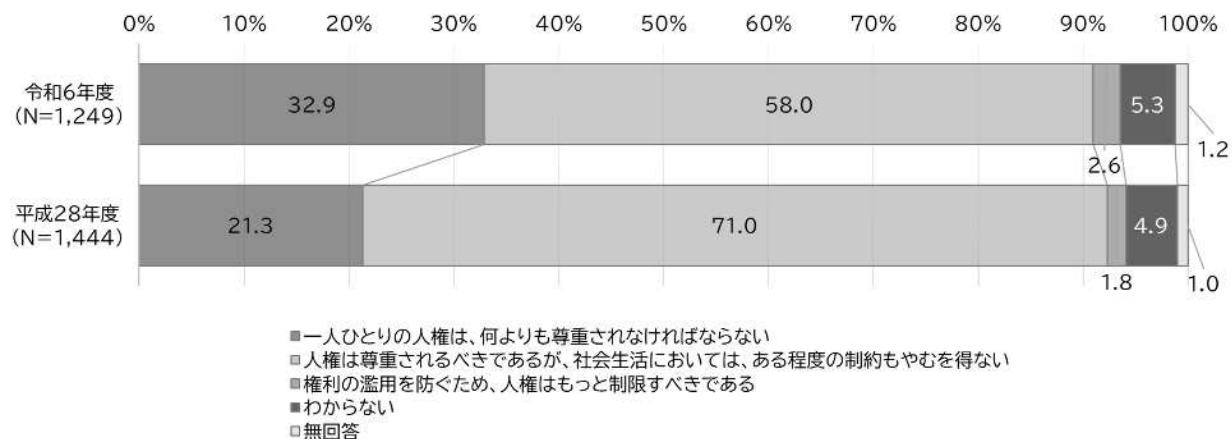
学生を除き「変わらない」が最も多くなっている。学生では「少しは高くなった」が最も多くなっている。



問4 あなたの「人権」に対する考えのうち、もっとも近いものは次のうちどれですか。

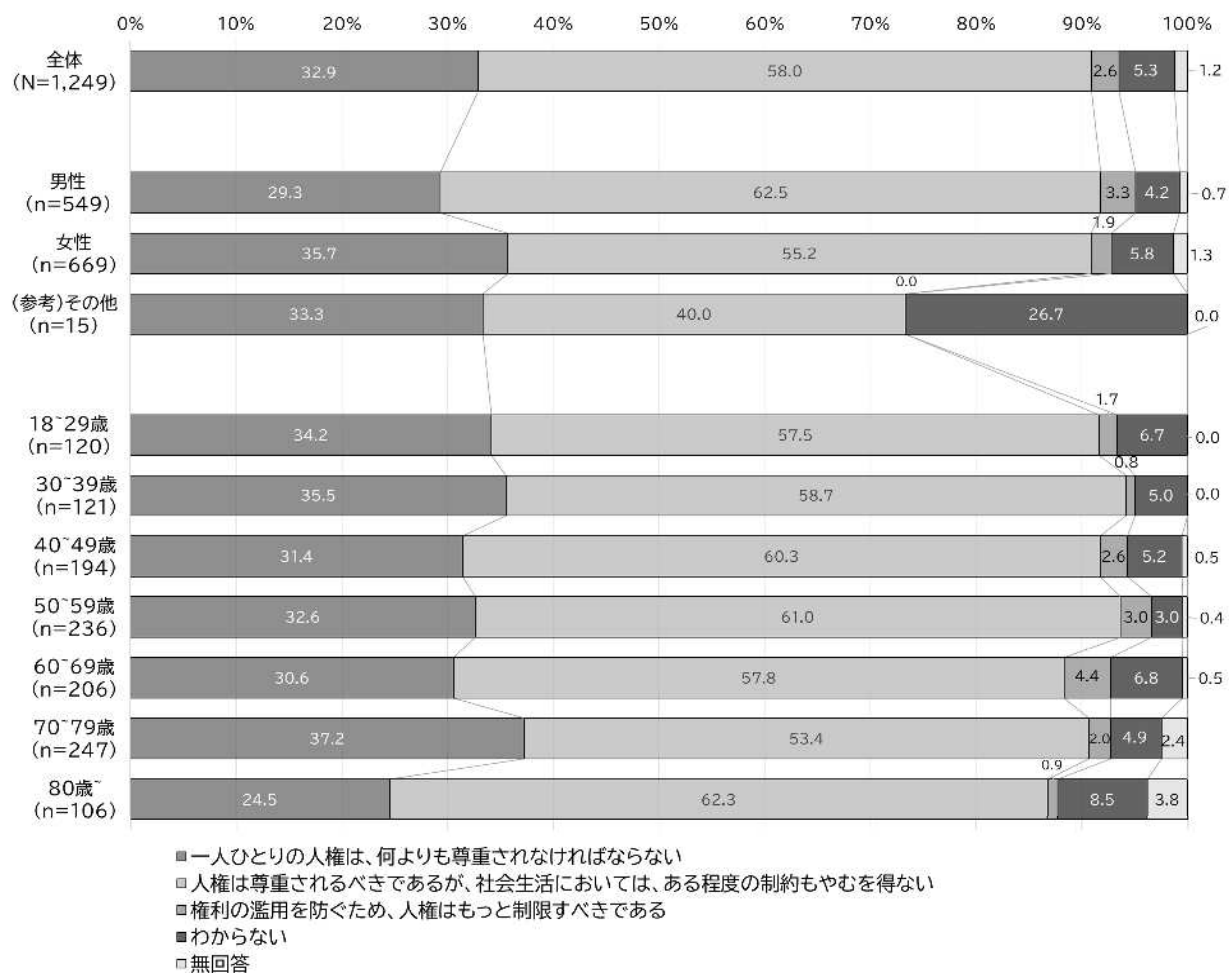
(○は1つ)

「人権は尊重されるべきであるが、社会生活においては、ある程度の制約もやむを得ない」が最も多く 58.0%と、全体の約6割となっている。以下「一人ひとりの人権は、何よりも尊重されなければならない」(32.9%)、「わからない」(5.3%)、「権利の濫用を防ぐため、人権はもっと制限すべきである」(2.6%)となっている。



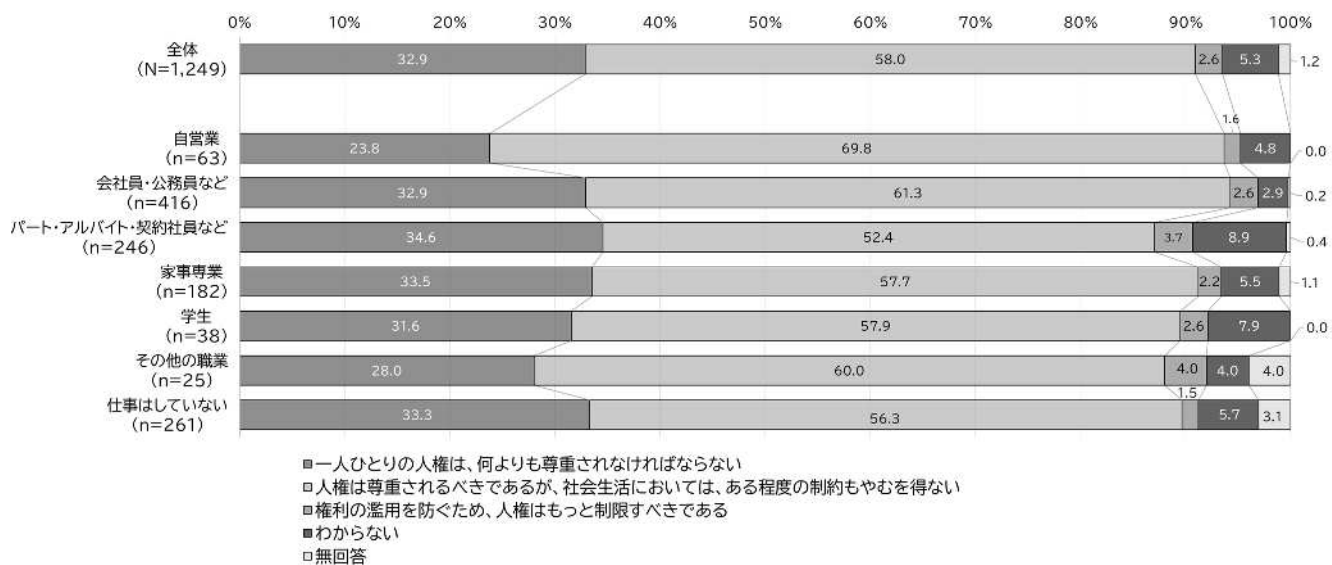
■ 性別・年齢別 人権についての考え方

- ・性別では、男女とも「人権は尊重されるべきであるが、社会生活においては、ある程度の制約もやむを得ない」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「人権は尊重されるべきであるが、社会生活においては、ある程度の制約もやむを得ない」が最も多くなっている。



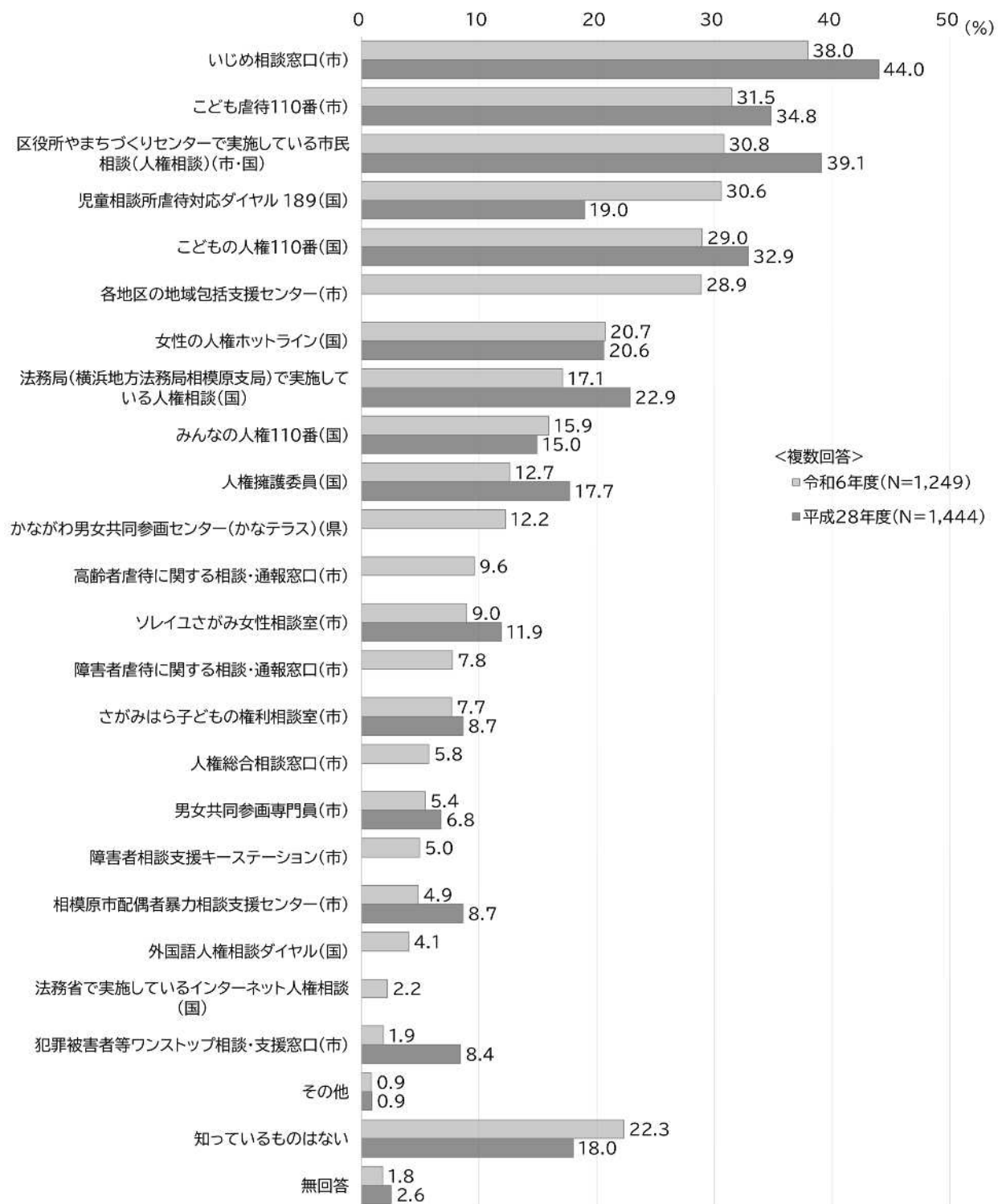
■ 職業別 人権についての考え方

いずれの職業でも「人権は尊重されるべきであるが、社会生活においては、ある程度の制約もやむを得ない」が最も多くなっている。



問5 次の人権に関する相談先のうち、あなたが知っているものがありますか。相談経験の有無は問いません。（カッコ内は実施主体等）（あてはまるものすべてに○）

最も認知度が高いのは「いじめ相談窓口（市）」の38.0%で、約4割となっている。次いで「子ども虐待110番（市）」が31.5%、「区役所やまちづくりセンターで実施している市民相談（人権相談）（市・国）」が30.8%、「児童相談所虐待対応ダイヤル189（国）」が30.6%で3割以上となっている。なお「知っているものはない」は22.3%で、約2割となっている。



■ 性別・年齢別 人権に関する相談先の認知度

- ・性別では、男性では「知っているものはない」が最も多く、女性では「いじめ相談窓口（市）」が最も多い。また、「女性の人権ホットライン（国）」、「児童相談所虐待対応ダイヤル１８９（国）」、「いじめ相談窓口（市）」、「各地区の地域包括支援センター（市）」については、性別により認知度の差が大きくなっている。
- ・年齢別では、60代以下の年代では「いじめ相談窓口（市）」が最も多くなっており、50代では同率で「こども虐待１１０番（市）」が多くなっている。70代より上の年代では「区役所やまちづくりセンターで実施している市民相談（人権相談）（市・国）」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問5 人権に関する相談先の認知度(%)																									
			人権擁護委員（国）	法務局（横浜地方支局）で実施している人権相談（国）	みんなの人権１１０番（国）	こどもの人権１１０番（国）	女性の人権ホットライン（国）	児童相談所虐待対応ダイヤル１８９（国）	外国語人権相談ダイヤル（国）	法務省で実施しているインターネット人権相談（国）	かながわ男女共同参画センター（かながわ県）	市民相談（人権相談）（市・国）	区役所やまちづくりセンターで実施している人権相談（市・国）	人権総合相談窓口（市）	さがみはら子どもの権利相談室（市）	いじめ相談窓口（市）	こども虐待１１０番（市）	高齢者虐待に関する相談・通報窓口（市）	障害者虐待に関する相談・通報窓口（市）	各地区的な地域包括支援センター（市）	障害者相談支援サービス（市）	男女共同参画専門員（市）	相模原市配偶者暴力相談支援センター（市）	ソレイユさがみ女性相談室（市）	犯罪被害者等ワンストップ相談・支援窓口（市）	その他	知っているものはない	無回答
	全体	1,249	12.7	17.1	15.9	29.0	20.7	30.6	4.1	2.2	12.2	30.8	5.8	7.7	38.0	31.5	9.6	7.8	28.9	5.0	5.4	4.9	9.0	1.9	0.9	22.3	1.8	
F1 性別	男性	549	14.4	19.1	14.9	23.9	11.3	24.4	3.8	2.2	8.6	26.4	6.4	5.8	31.7	26.0	8.9	7.1	22.2	3.6	4.6	3.6	3.6	1.8	0.4	32.2	0.9	
	女性	669	11.2	15.2	16.0	32.3	28.0	35.6	4.0	2.1	15.2	34.5	5.2	8.5	42.6	35.7	10.0	8.1	35.1	5.7	6.1	5.8	13.0	1.8	1.0	14.8	2.4	
	(参考)その他	15	13.3	20.0	33.3	53.3	26.7	33.3	20.0	13.3	13.3	33.3	13.3	40.0	53.3	46.7	13.3	20.0	13.3	13.3	13.3	13.3	20.0	13.3	13.3	13.3	0.0	
F2 年齢	18～29歳	120	5.8	14.2	25.8	34.2	19.2	35.0	4.2	3.3	10.0	15.8	4.2	5.8	50.0	30.8	0.8	1.7	8.3	3.3	7.5	4.2	3.3	3.3	0.8	25.0	0.8	
	30～39歳	121	9.1	12.4	17.4	38.8	33.1	34.7	4.1	3.3	10.7	13.2	1.7	9.1	39.7	37.2	3.3	6.6	13.2	5.0	5.8	6.6	7.4	1.7	0.8	29.8	0.8	
	40～49歳	194	6.2	11.3	13.9	31.4	22.7	33.5	3.6	2.6	11.9	19.1	4.6	9.3	43.8	27.8	5.2	5.2	17.0	3.1	2.6	3.6	7.7	2.6	0.0	30.9	1.5	
	50～59歳	236	9.3	14.0	15.3	29.2	22.9	29.2	5.1	1.3	12.7	23.7	3.8	8.1	33.5	33.5	8.5	6.8	30.1	4.2	3.4	5.1	10.6	2.1	0.4	24.6	0.8	
	60～69歳	206	16.5	17.0	14.6	29.6	21.8	35.0	3.9	2.4	11.7	34.0	7.3	8.3	35.9	34.5	13.6	10.7	33.5	6.3	5.8	5.3	10.2	2.4	1.5	21.8	1.9	
	70～79歳	247	18.2	20.2	14.6	23.5	15.0	28.7	4.5	1.2	11.7	51.0	6.9	5.7	36.4	31.6	13.8	9.3	42.5	6.1	7.3	4.5	8.9	1.2	1.6	13.4	3.2	
	80歳～	106	22.6	34.9	12.3	16.0	9.4	15.1	2.8	3.8	17.9	52.8	13.2	8.5	29.2	23.6	18.9	14.2	50.9	4.7	8.5	6.6	13.2	0.0	0.9	14.2	1.9	

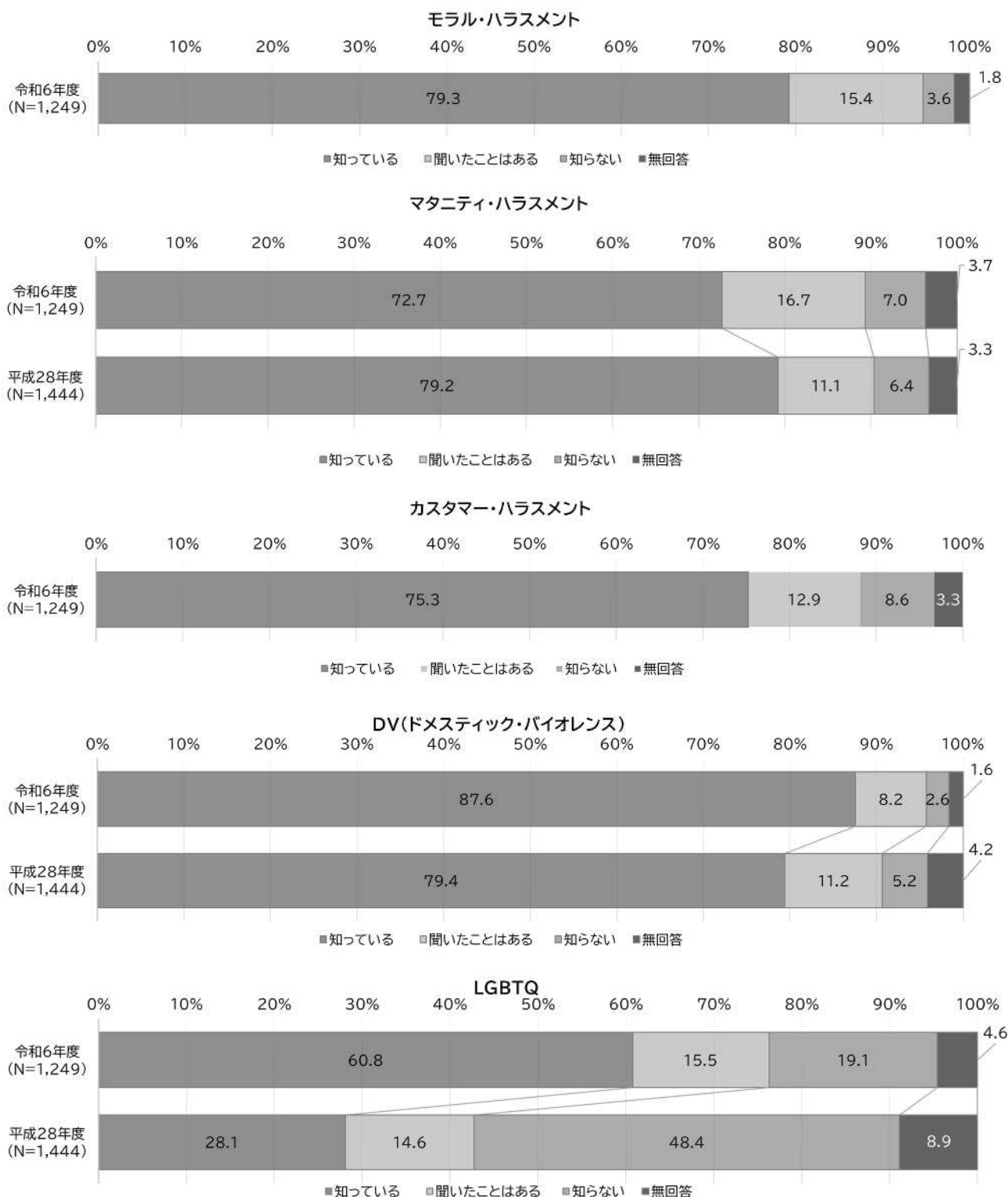
■ 職業別 人権に関する相談先の認知度

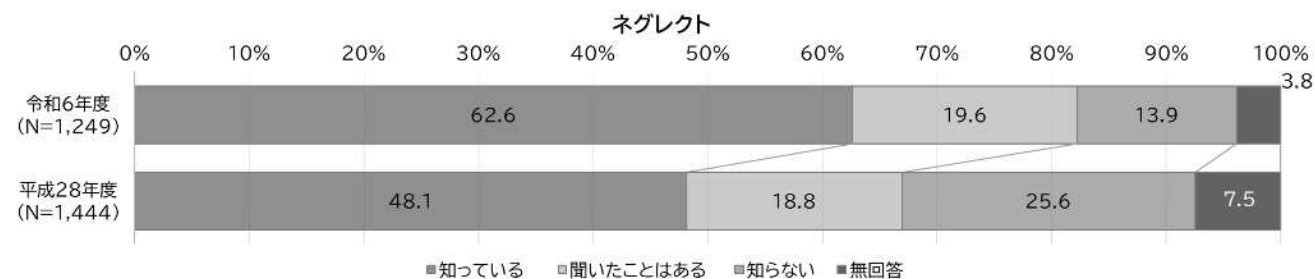
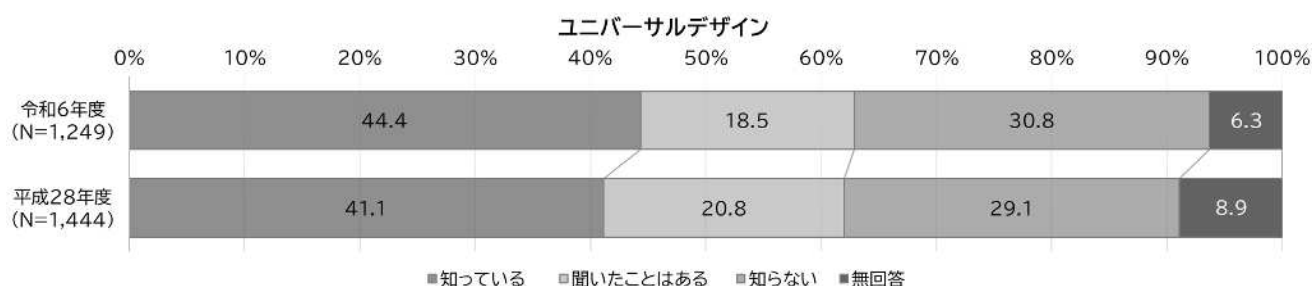
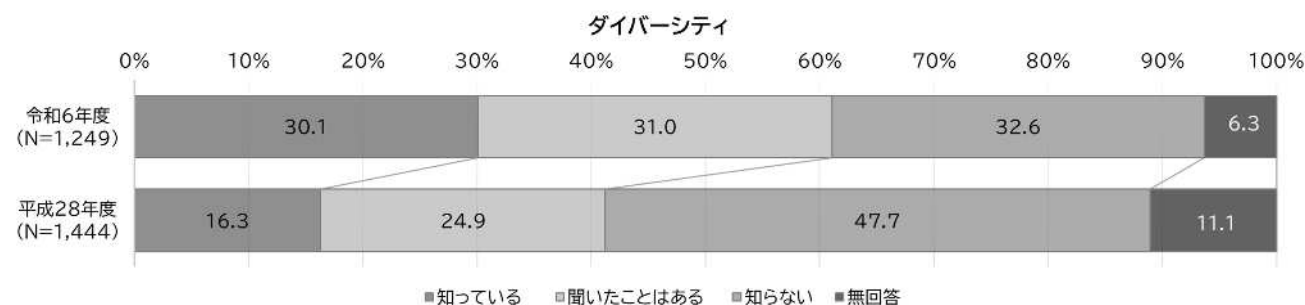
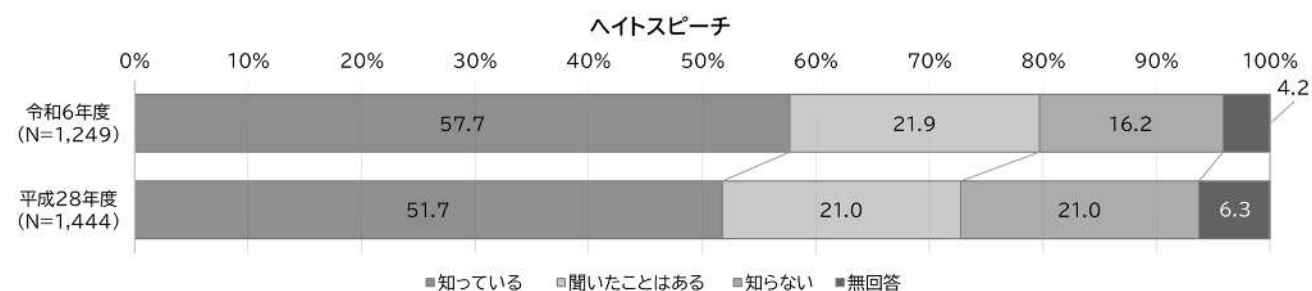
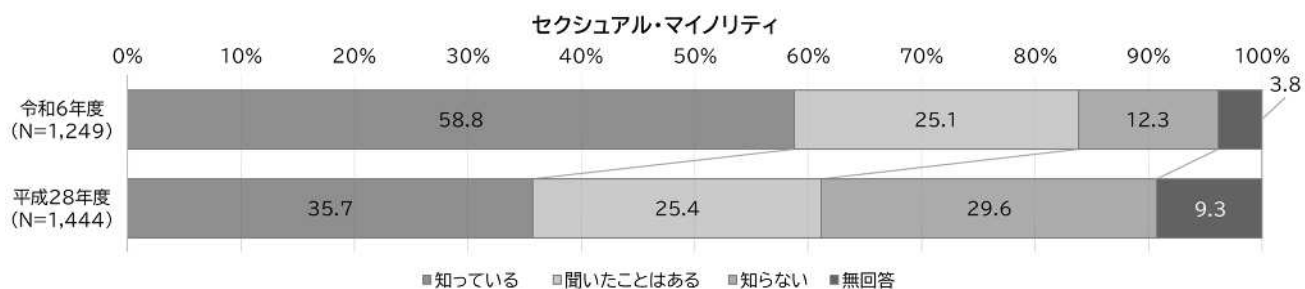
家事専業、仕事はしていないでは「区役所やまちづくりセンターで実施している市民相談（人権相談）（市・国）」が最も多くなっており、家事専業では同率で「各地区の地域包括支援センター（市）」が多くなっている。自営業では、「こども虐待１１０番(市)」、それ以外では「いじめ相談窓口（市）」が最も多くなっている。また、家事専業では「区役所やまちづくりセンターで実施している市民相談（人権相談）（市・国）」、「各地区の地域包括支援センター(市)」の、学生では「こどもの人権１１０番(国)」、「いじめ相談窓口（市）」の、仕事はしていないでは「区役所やまちづくりセンターで実施している市民相談（人権相談）（市・国）」、「各地区の地域包括支援センター(市)」の数値が全体値より10ポイント以上高くなっている。

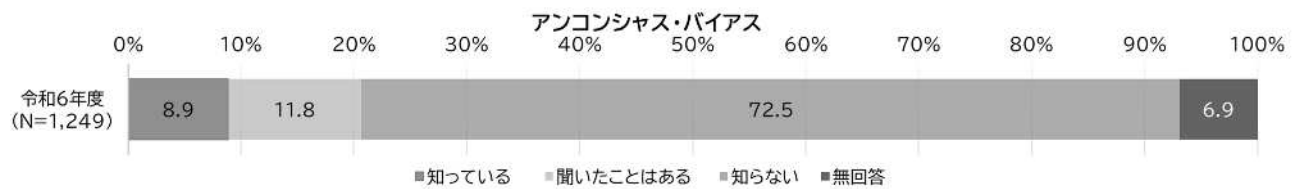
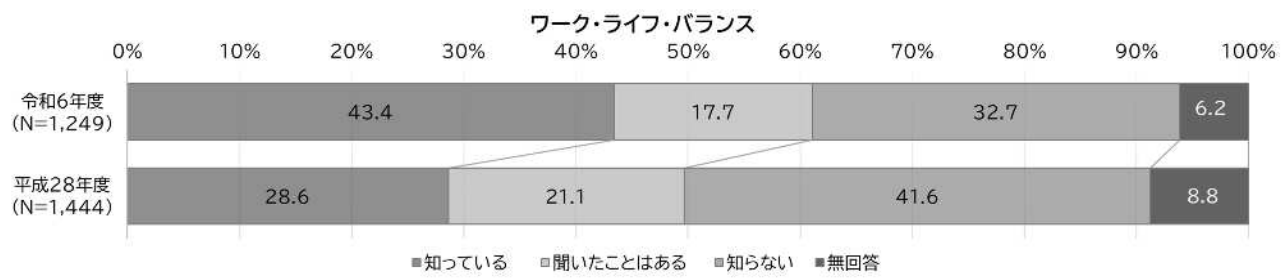
		合計 (人)	問5 人権に関する相談先の認知度(%)																									
			人権擁護委員（国）	法務局（横浜地方支局）で実施している人権相談（国）	みんなの人権１１０番（国）	こどもの人権１１０番（国）	女性の人権ホットライン（国）	児童相談所虐待対応ダイヤル １８９（国）	外国語人権相談ダイヤル（国）	法務省で実施しているインターネット人権相談（国）	かながわ男女共同参画センター（かながわ県）（県）	市民相談（人権相談）（市・国）	区役所やまちづくりセンターで実施している人権相談（市・国）	人権総合相談窓口（市）	さがみはら子どもの権利相談室（市）	いじめ相談窓口（市）	こども虐待１１０番（市）	高齢者虐待に関する相談・通報窓口（市）	障害者虐待に関する相談・通報窓口（市）	各地区の地域包括支援センター（市）	障害者相談支援キーステーション（市）	男女共同参画専門員（市）	相模原市配偶者暴力相談支援センター（市）	ソレイユさがみ女性相談室（市）	犯罪被害者等ワンストップ相談・支援窓口（市）	その他	知っているものはない	無回答
	全体	1,249	12.7	17.1	15.9	29.0	20.7	30.6	4.1	2.2	12.2	30.8	5.8	7.7	38.0	31.5	9.6	7.8	28.9	5.0	5.4	4.9	9.0	1.9	0.9	22.3	1.8	
F3 職業	自営業	63	11.1	14.3	11.1	30.2	23.8	27.0	4.8	0.0	14.3	33.3	4.8	9.5	31.7	38.1	11.1	6.3	33.3	4.8	7.9	0.0	6.3	1.6	1.6	23.8	0.0	
	会社員・公務員など	416	10.6	16.6	17.3	29.8	20.2	33.9	4.1	2.2	11.5	18.3	4.3	7.5	38.7	28.1	6.3	5.8	17.3	3.6	5.0	3.6	6.5	1.9	0.2	29.8	0.7	
	パート・アルバイト・契約社員など	246	8.5	13.8	15.9	33.7	24.4	31.3	3.3	2.4	11.4	33.3	5.3	6.9	42.3	38.6	11.0	9.3	30.5	4.9	3.7	6.1	10.2	1.6	1.2	19.9	2.4	
	家事専業	182	17.0	14.8	15.9	26.9	26.4	31.9	5.5	1.6	13.7	42.3	6.6	7.7	40.1	34.6	10.4	6.6	42.3	6.0	6.6	3.8	11.0	2.2	1.6	13.7	3.3	
	学生	38	5.3	5.3	18.4	39.5	7.9	36.8	5.3	2.6	10.5	10.5	5.3	5.3	52.6	39.5	0.0	0.0	2.6	0.0	7.9	5.3	5.3	2.6	0.0	23.7	0.0	
	その他の職業	25	16.0	8.0	16.0	28.0	16.0	28.0	4.0	4.0	16.0	28.0	8.0	8.0	32.0	28.0	4.0	8.0	28.0	4.0	4.0	8.0	4.0	0.0	4.0	24.0	8.0	
	仕事はしていない	261	18.0	25.7	13.8	22.2	14.9	24.1	3.8	3.1	12.6	43.7	8.4	8.8	31.0	25.7	14.6	11.9	40.6	6.9	6.5	7.7	11.9	2.3	0.8	18.8	1.5	

問6 次の人権課題に関連する言葉のうち、あなたが知っているものはありますか。番号で回答してください。（それぞれ〇は1つ）

- ・「アンコンシャス・バイアス」については「知らない」（72.5%）が最も多く、「ワーク・ライフ・バランス」（32.7%）、「ダイバーシティ」（32.6%）、「ユニバーサルデザイン」（30.8%）は3割以上「知らない」となっている。
- ・「DV（ドメスティック・バイオレンス）」（87.6%）は「知っている」が最も多く、「モラル・ハラスメント」（79.3%）、「マタニティ・ハラスメント」（72.7%）、「カスタマー・ハラスメント」（75.3%）などのハラスメントについては7割以上で、「ネグレクト」（62.6%）、「LGBTQ」（60.8%）は6割以上で「知っている」となっている。







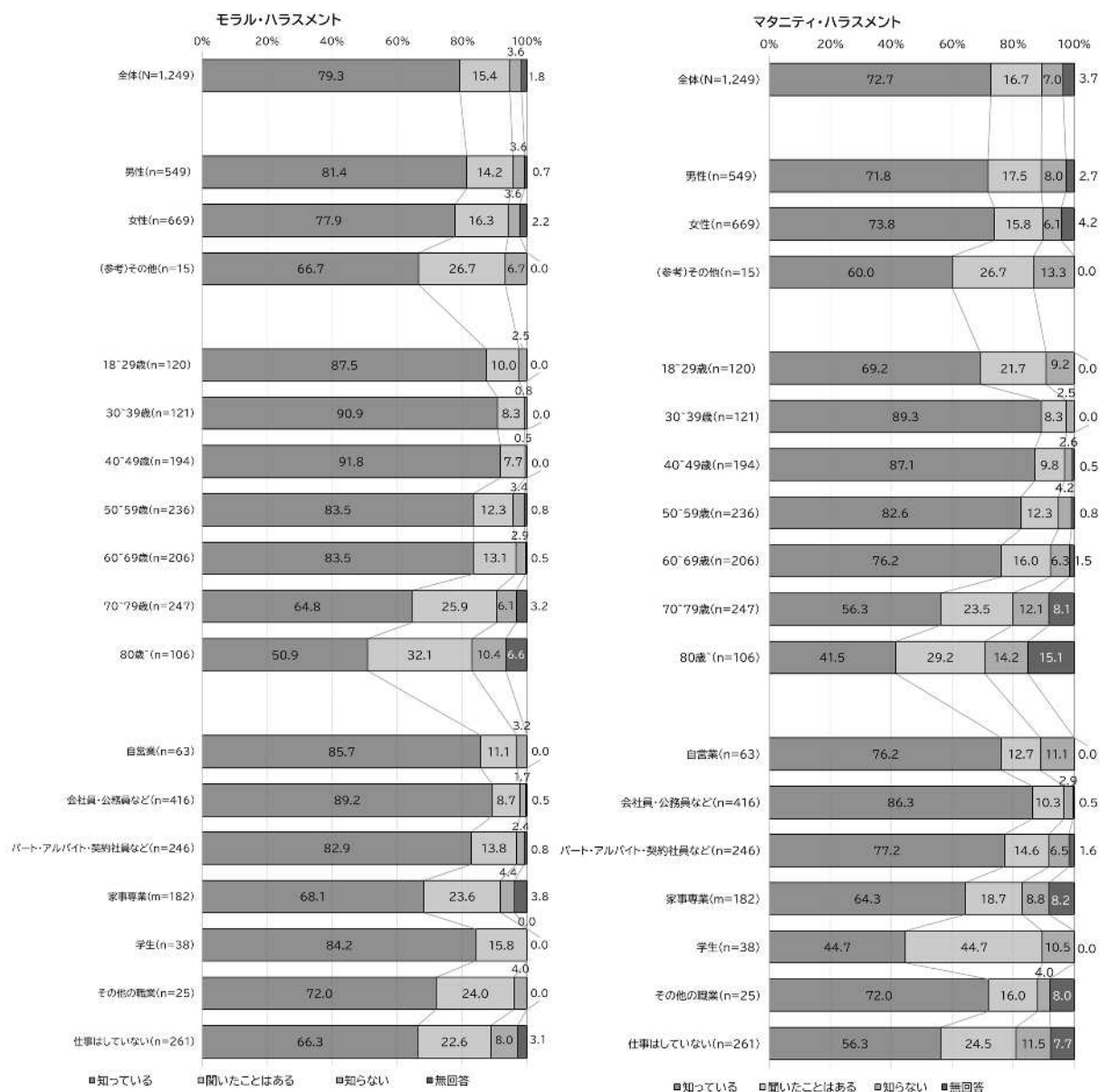
■ 性別・年齢別・職業別 人権課題に関連する言葉の認知度

(1) モラル・ハラスメント

- ・性別では、男女とも「知っている」が8割前後となっており、大きな男女差は見られない。
- ・年齢別では40代までの年代では「知っている」が約9割となっているが、年代が上がるとともに徐々に減少し、80歳以上では5割台となっている。
- ・職業別では、自営業、会社員・公務員など、パート・アルバイト・契約社員など、学生で「知っている」が8割台となっている。

(2) マタニティ・ハラスメント

- ・性別では、男女とも「知っている」が7割以上となっている。
- ・年齢別では、30代では「知っている」が約9割となっているが、その後、年代が上がるとともに徐々に減少し、80歳以上では「知っている」が約4割となっている。
- ・職業別では、会社員・公務員などは「知っている」が8割を超えており、次いでパート・アルバイト・契約社員など、自営業、その他の職業で、「知っている」が7割以上となっている。一方、学生では「知っている」が4割台となっている。

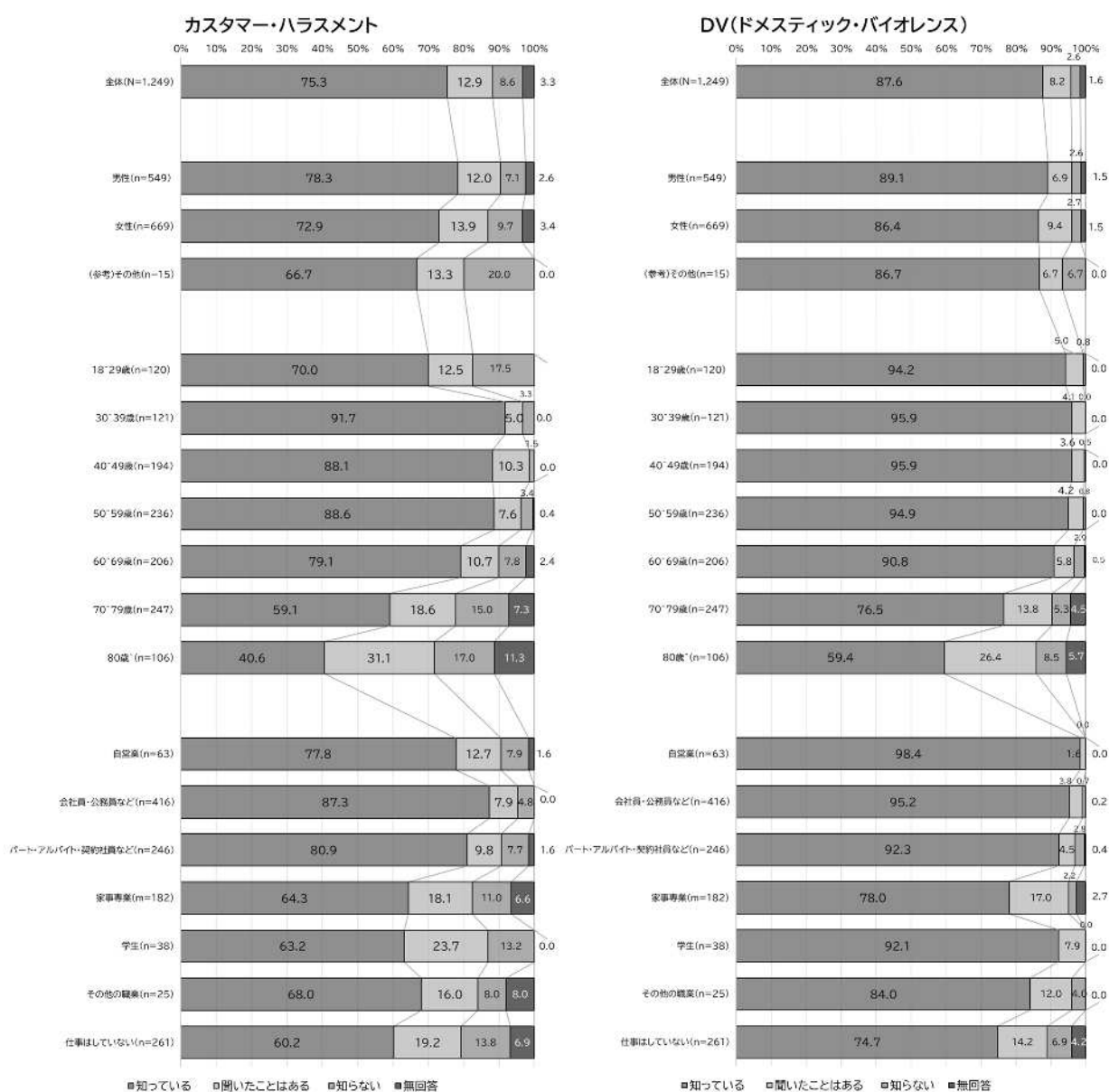


(3) カスタマー・ハラスメント

- ・性別では、男女とも「知っている」が7割台で、男性の方がやや高くなっている。
- ・年齢別では、30代から50代までの年代では「知っている」が約9割となっており、その後、年代が上がるとともに徐々に減少し、80歳以上では「知っている」が約4割となっている。
- ・職業別では、会社員・公務員などでは「知っている」が9割近くとなっており、自営業、パート・アルバイト・契約社員などでは「知っている」が約8割となっている。家事専業、学生、その他の職業、仕事はしていないでは6割台となっている。

(4) DV（ドメスティック・バイオレンス）

- ・性別では、男女とも「知っている」が9割弱で、男性は女性より高くなっている。
- ・年齢別では、60代までの年代では「知っている」が9割以上となっているが、その後、年代が上がるとともに徐々に減少し、80歳以上では「知っている」が約6割となっている。
- ・職業別では、自営業、会社員・公務員など、パート・アルバイト・契約社員など、学生では、「知っている」が9割以上となっている。一方、家事専業、仕事はしていないでは7割台となっている。

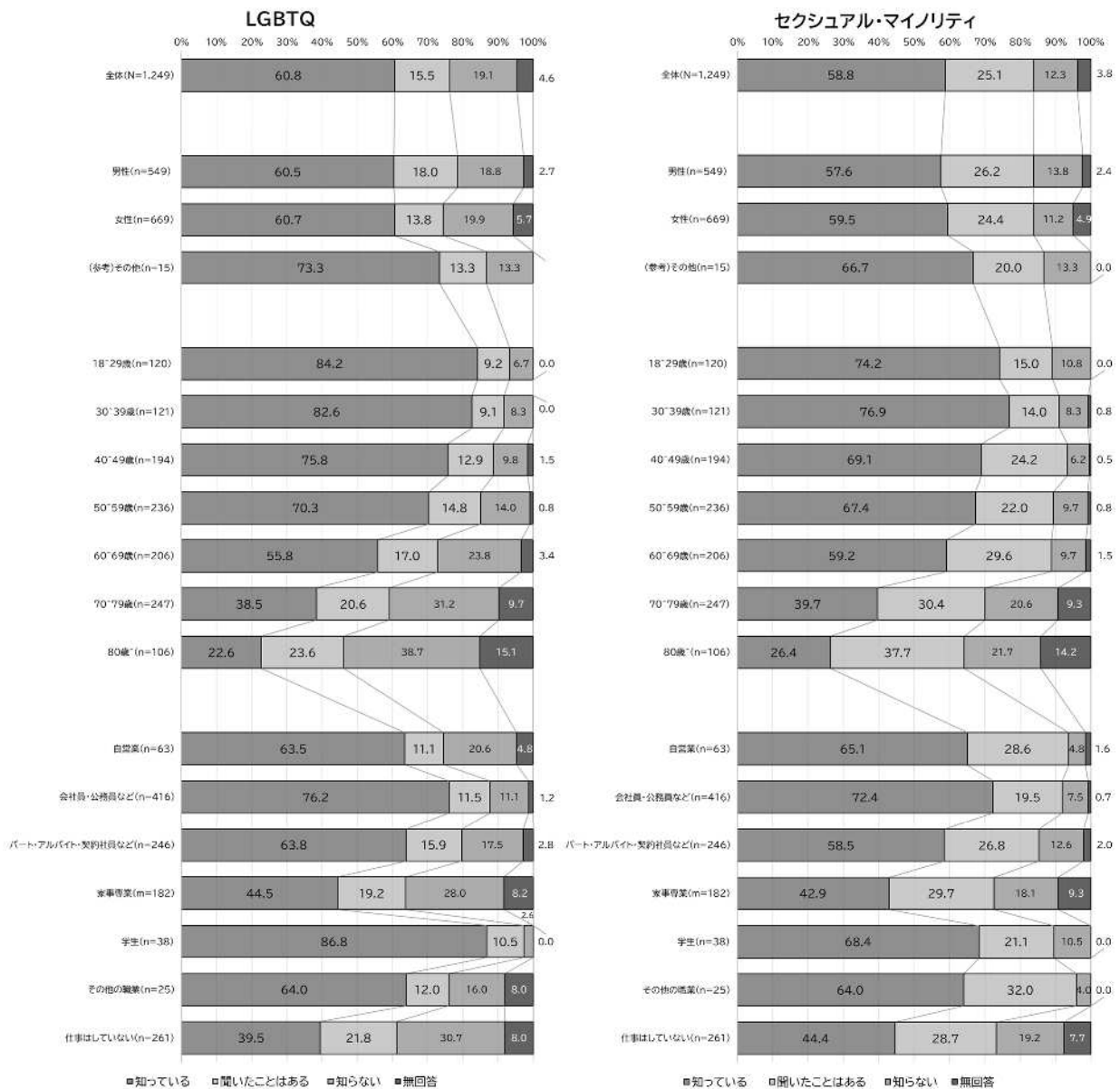


(5) LGBTQ

- ・性別では、男女とも「知っている」が約6割となっている。
- ・年齢別では、18～29歳以上では「知っている」が8割以上で、年代が上がるとともに徐々に減少し、80歳以上では約2割となっている。
- ・職業別では、学生のみ「知っている」が8割以上で、会社員・公務員など(76.2%)、その他の職業(64.0%)、パート・アルバイト・契約社員など(63.8%)、自営業(63.5%)となっている。また、仕事はしていない、家事専業で「知らない」が約3割となっている。

(6) セクシュアル・マイノリティ

- ・性別では、男女とも「知っている」が約6割となっている。
- ・年齢別では、18～29歳、30代では「知っている」が7割台で、年代が上がるとともに徐々に減少し、80歳以上では2割台となっている。
- ・職業別では、「知っている」は、会社員・公務員など(72.4%)、学生(68.4%)、自営業(65.1%)、その他の職業(64.0%)で6割以上となっている。

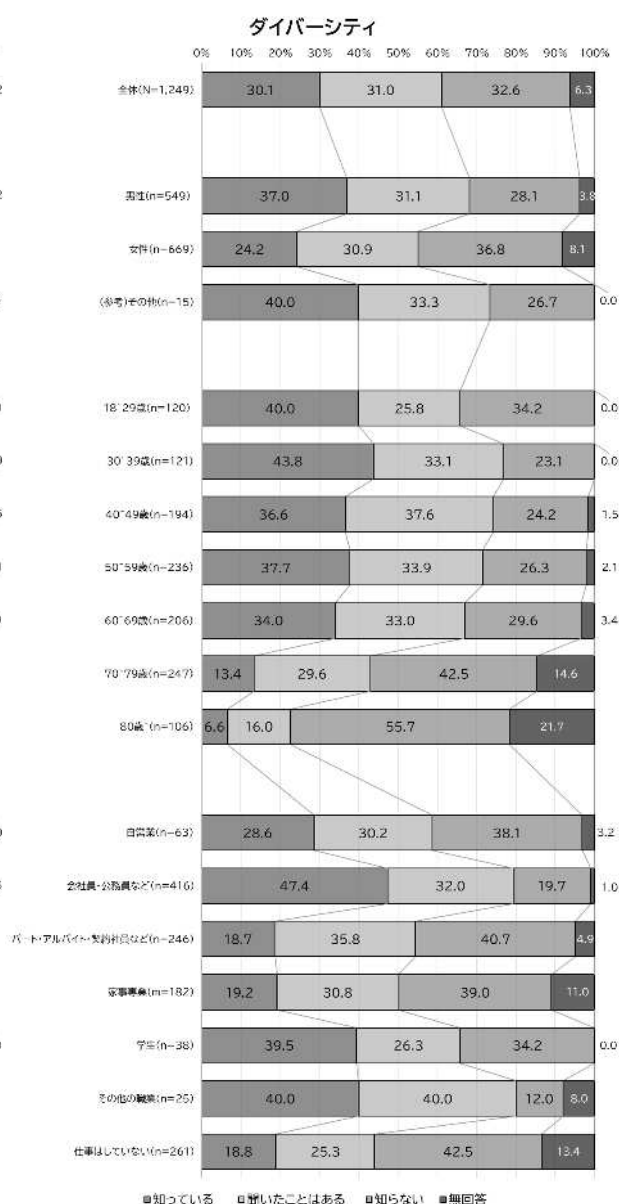
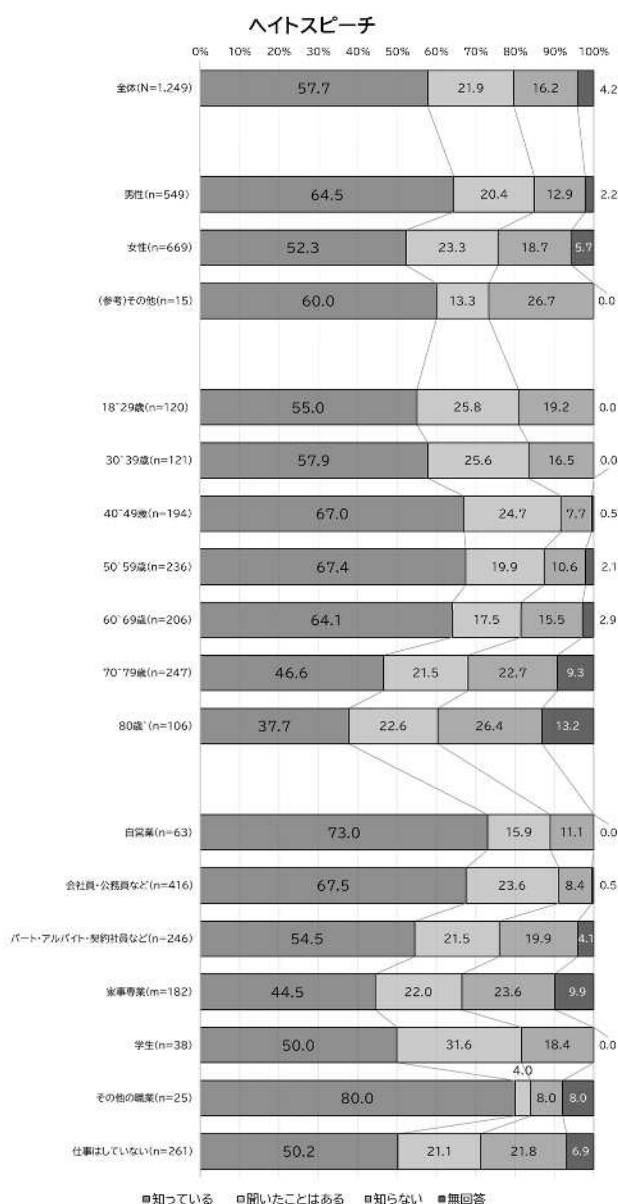


(7) ヘイトスピーチ

- ・性別では、男女とも「知っている」が最も多く、男性は女性より高くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「知っている」が最も多くなっている。特に40～60代で6割以上となっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「知っている」が最も多く、特に、その他の職業では「知っている」が8割となっており、次いで自営業（73.0%）、会社員・公務員など（67.5%）となっている。

(8) ダイバーシティ

- ・性別では、男性は「知っている」が4割弱で、女性は2割強となっている。
- ・年齢別では、18～29歳、30代で「知っている」が4割以上となっている。「知っている」が特に少ないのが、70代、80歳以上である。
- ・職業別では、会社員・公務員など、学生、その他の職業で「知っている」が最も多くなっている。

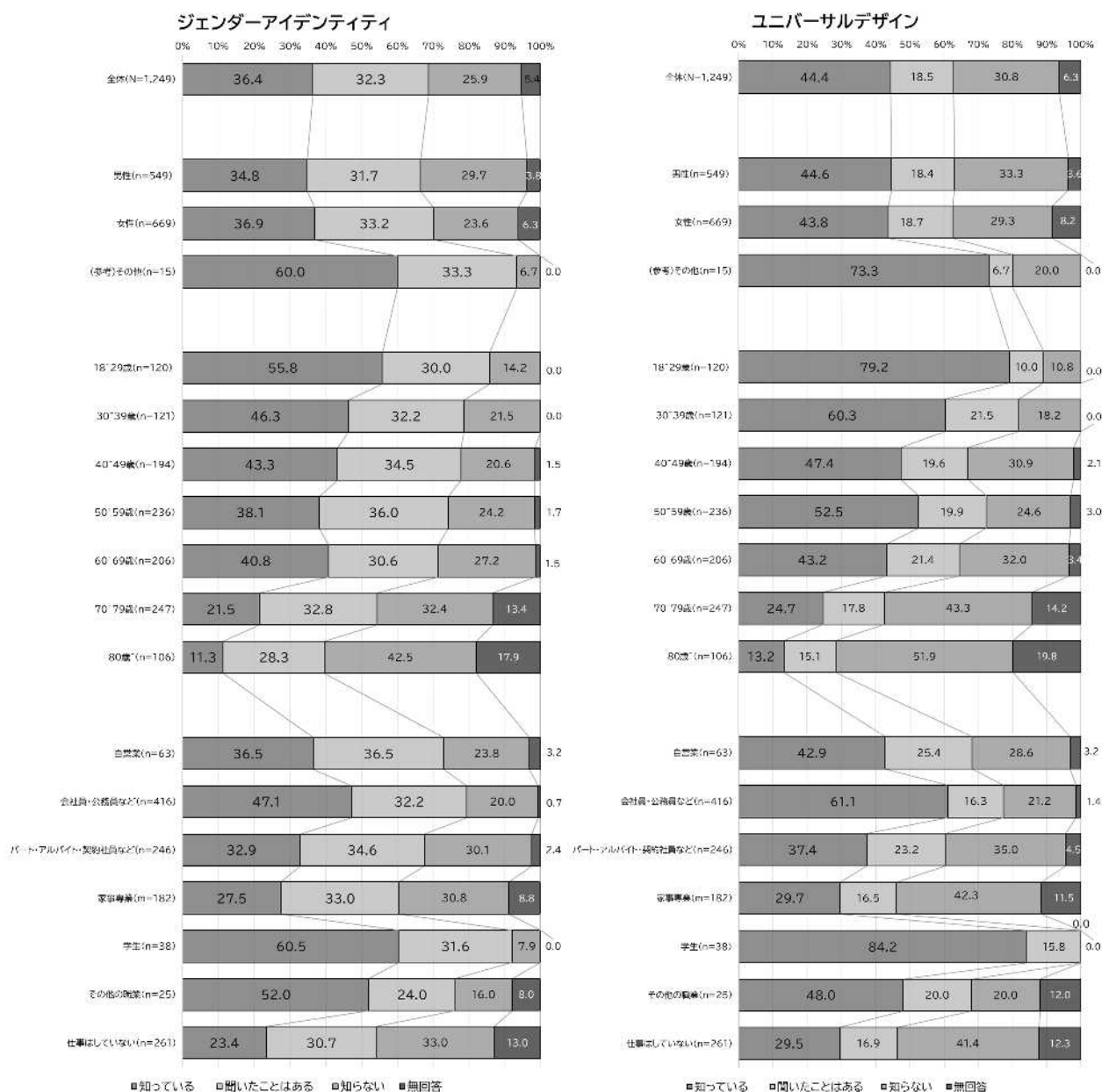


(9) ジェンダーアイデンティティ

- ・性別では、男女とも「知っている」3割台となっている。
- ・年齢別では、18～29歳が「知っている」が最も多く5割を超え、80歳以上では1割台となっている。
- ・職業別では、学生の「知っている」が約6割となっており、次いで、その他の職業(52.0%)となっている。「知らない」は、仕事はしていない(33.0%)、家事専業(30.8%)、パート・アルバイト・契約社員など(30.1%)となっている。

(10) ユニバーサルデザイン

- ・性別では、男女とも「知っている」が4割台となっている。
- ・年齢別では、18～29歳が「知っている」が約8割となっており、80歳以上では1割台となっている。
- ・職業別では、「知っている」が学生(84.2%)と最も多く、次いで会社員・公務員など(61.1%)となっている。「知らない」は、家事専業(42.3%)、仕事はしていない(41.4%)で4割を超えている。

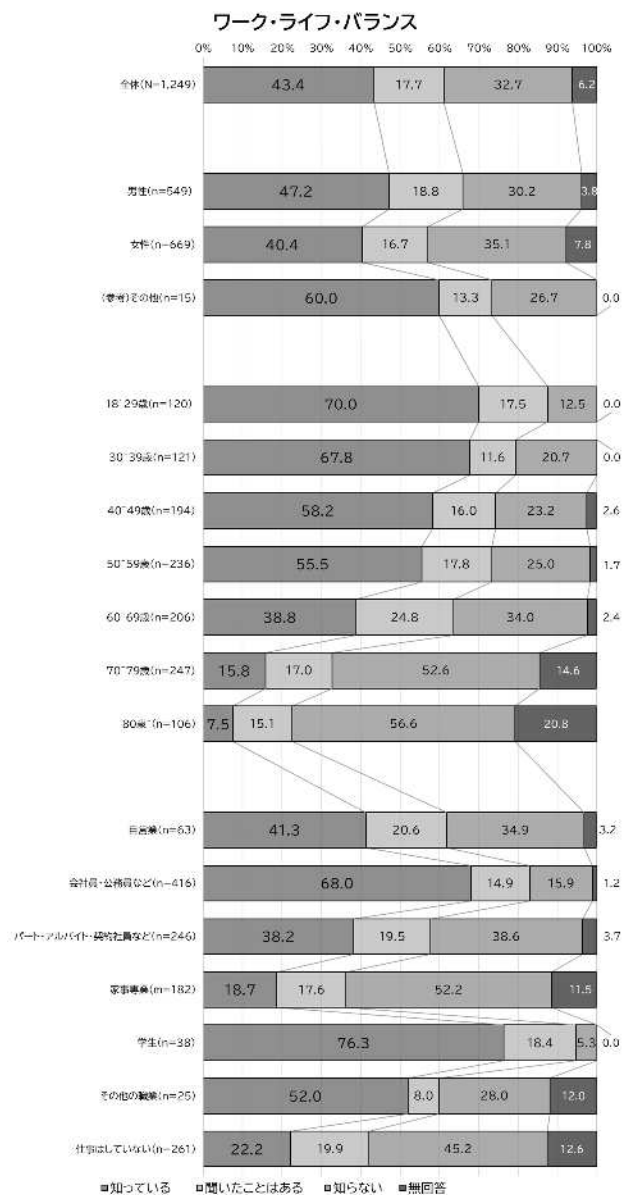
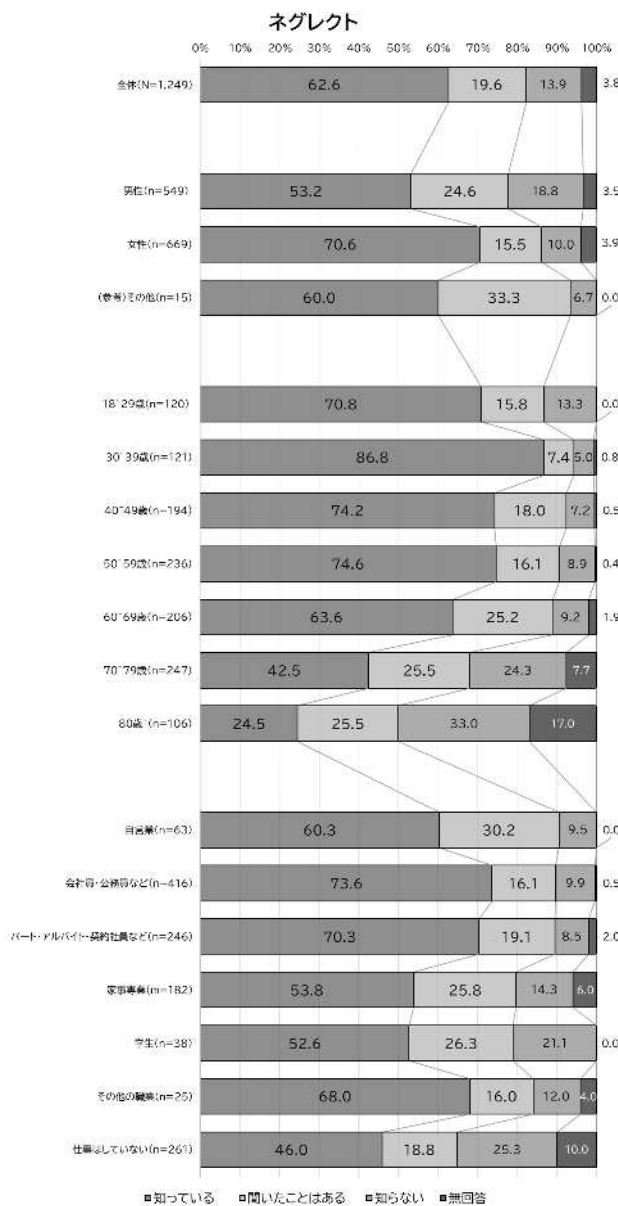


(11) ネグレクト

- ・性別では、男女とも「知っている」が最も多く、特に女性が7割以上となっている。
- ・年齢別では、「知っている」が30代(86.8%)で最も多く、18～29歳、40代、50代が7割台となっている。「知らない」は、30代が一番少なく、その後年代が上がるとともに徐々に増え、80歳以上では3割台となっている。
- ・職業別では、「知っている」が会社員・公務員など(73.6%)、パート・アルバイト・契約社員など(70.3%)、その他の職業(68.0%)、自営業(60.3%)となっており、6割を超えている。

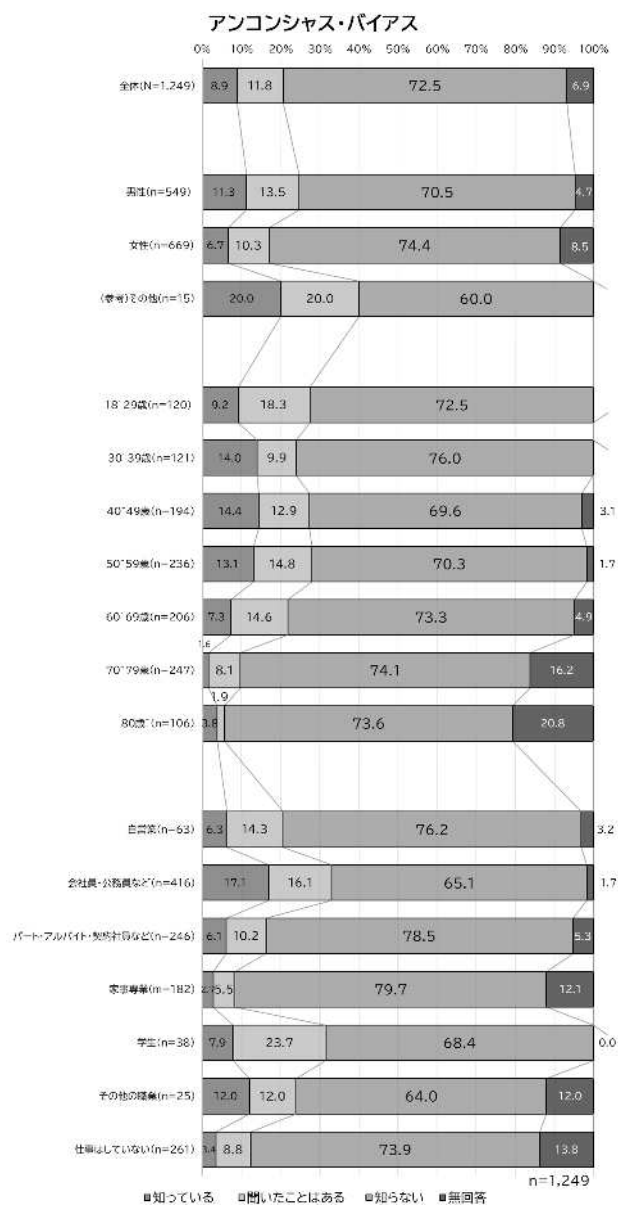
(12) ワーク・ライフ・バランス

- ・性別では、男女とも「知っている」が4割台となっている。
- ・年齢別では、「知っている」が18～29歳が最も高く、年代が上がるとともに徐々に減少し、80歳以上では1割弱となっている。
- ・職業別では、「知っている」が学生(76.3%)、会社員・公務員など(68.0%)で6割以上となっており、「知らない」が家事専業(52.2%)、仕事はしていない(45.2%)、パート・アルバイト・契約社員など(38.6%)となっている。



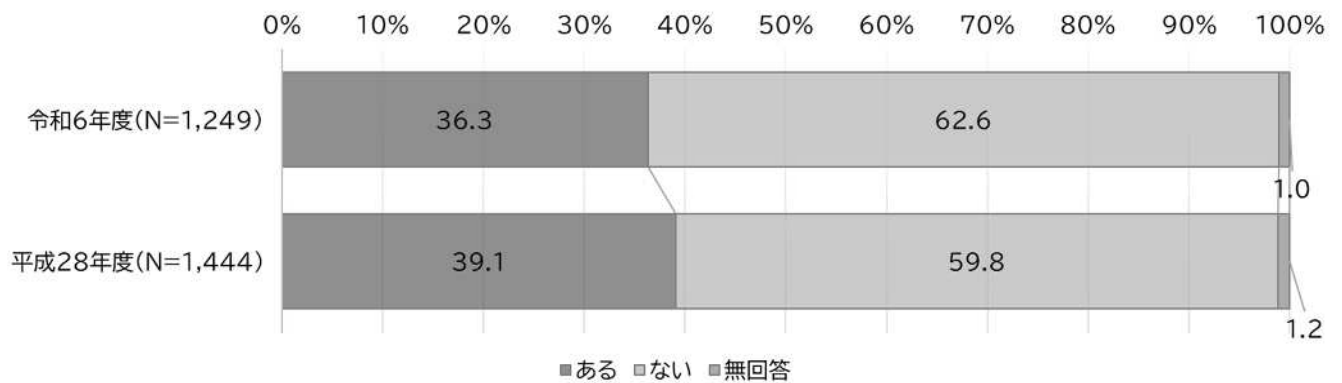
(13) アンコンシャス・バイアス

- ・性別では、男女とも「知らない」が一番多く、7割台となっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「知らない」が最も多くなっている。「知っている」は30代から50代までが1割台となっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「知らない」が最も多くなっている。「知っている」は会社員・公務員など、その他の職業で1割台となっている。



問7 あなたは、今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(○は1つ)

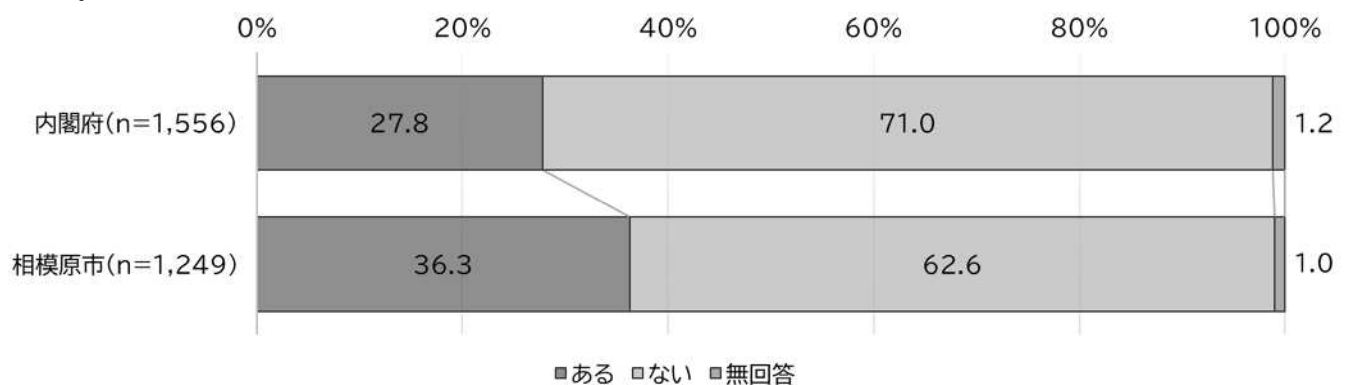
「ない」が62.6%で全体の約6割を占めており、「ある」は36.3%となっている。



<参考>内閣府「人権擁護に関する世論調査」(令和4年度)

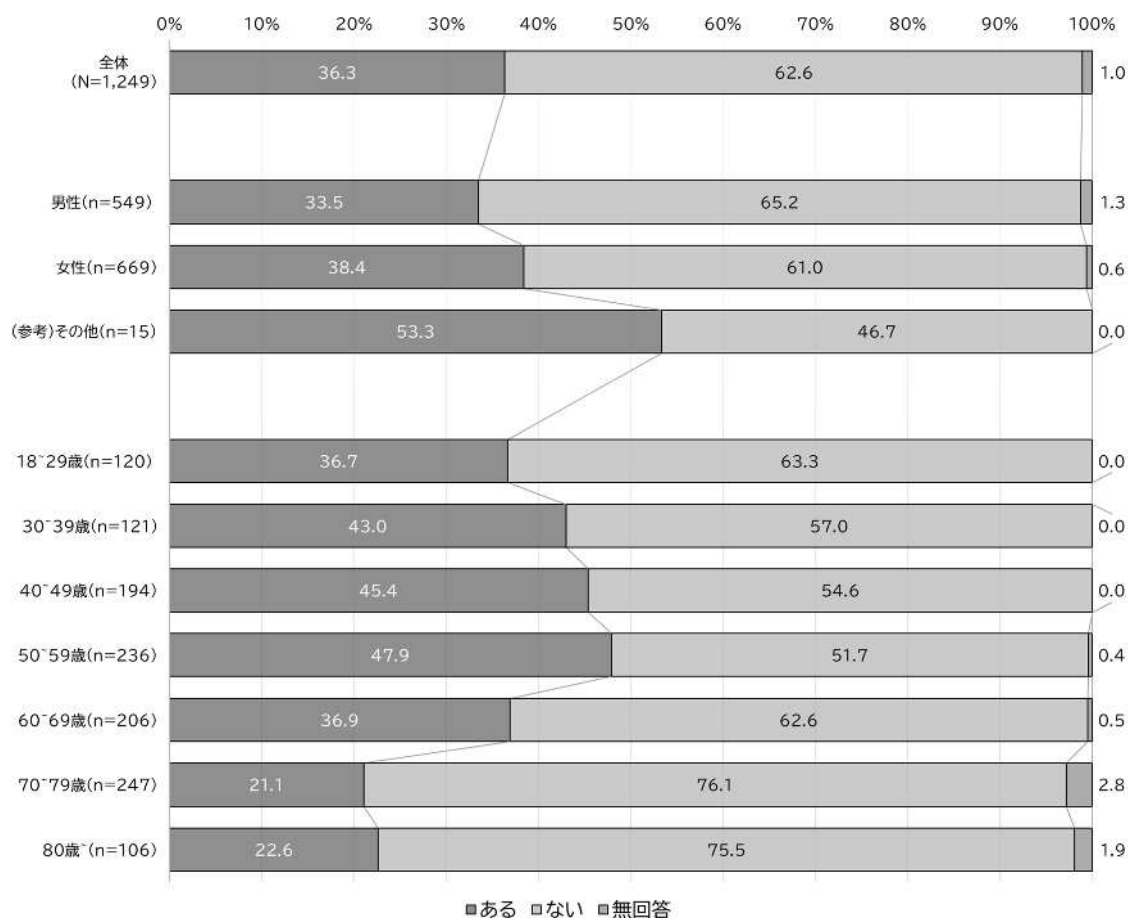
【人権侵害の経験】

内閣府「人権擁護に関する世論調査」(令和4年度)と比較すると、内閣府調査では「ない」が71.0%、「ある」が27.8%で、「ある」の数値は相模原市調査のほうが8.5ポイント高くなっている。



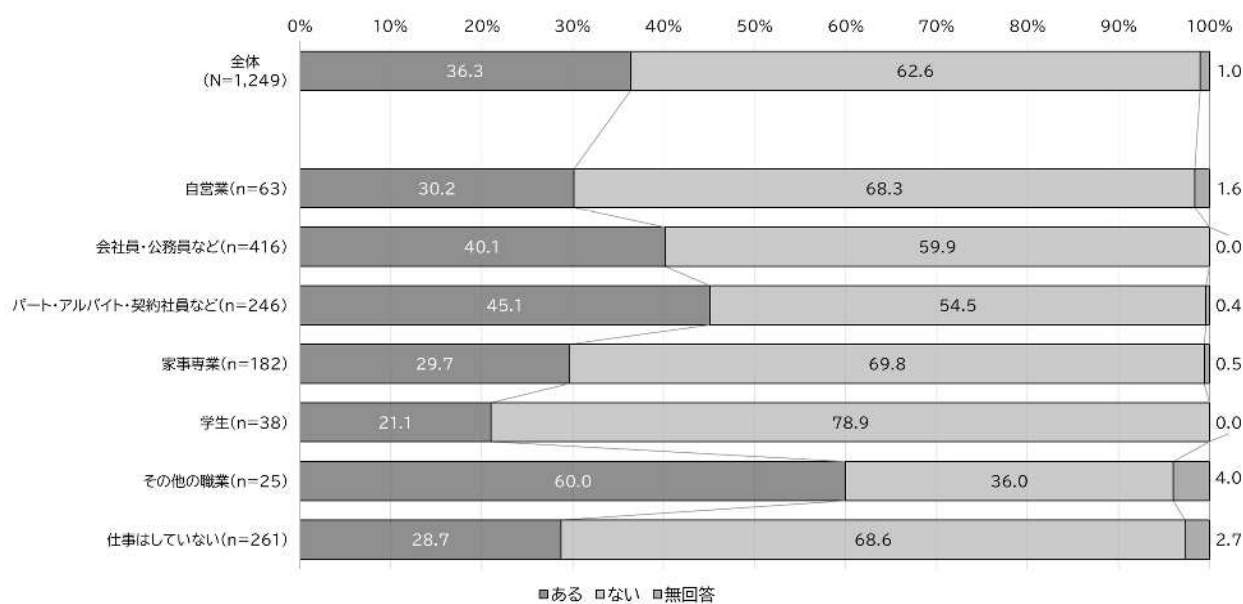
■ 性別・年齢別 自分の人権が侵害されたと思ったことの有無

- ・性別では、男女とも「ない」が6割以上となっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「ない」が「ある」を上回っている。



■ 職業別 自分の人権が侵害されたと思ったことの有無

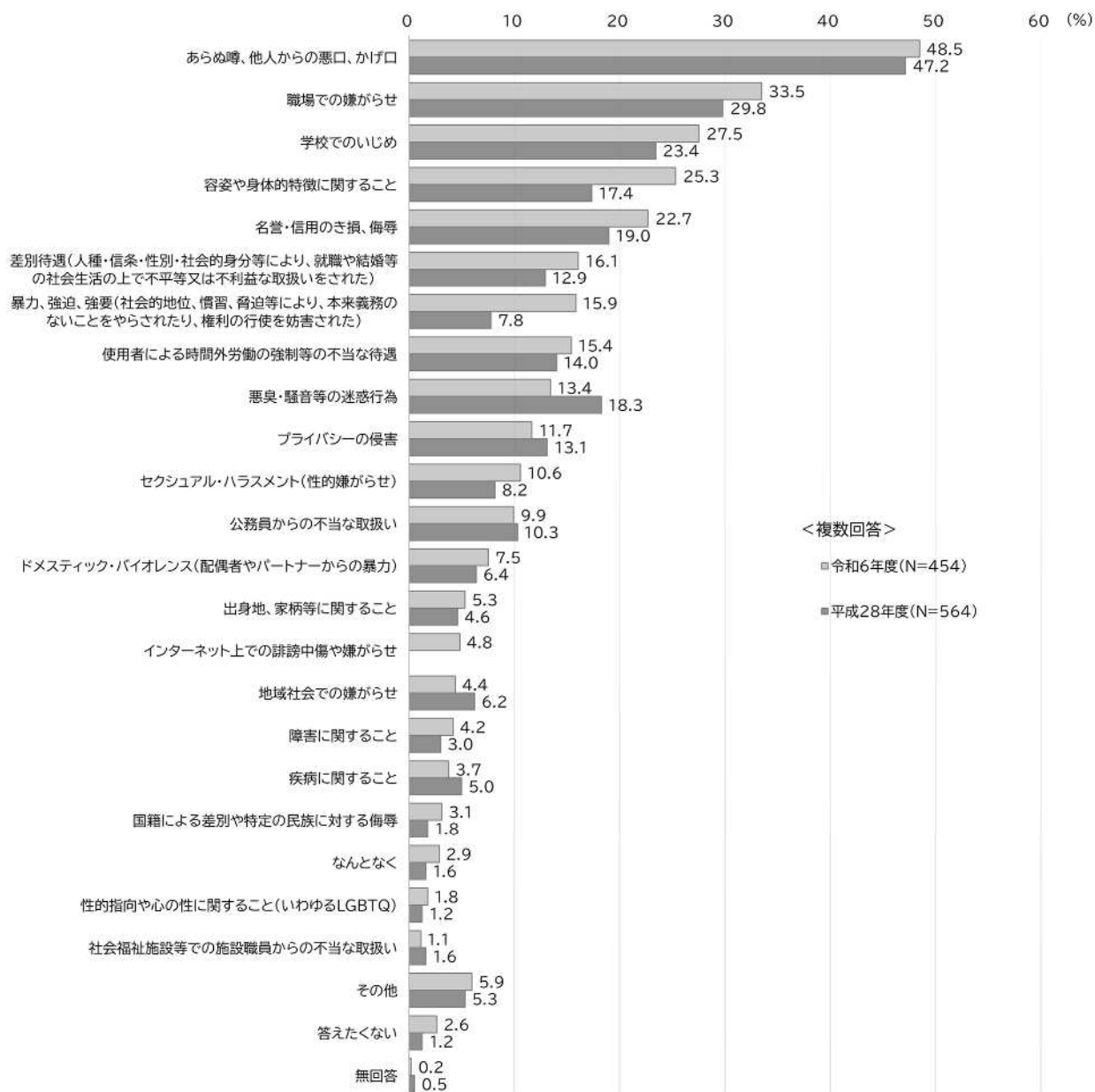
職業別では「ある」の数値が多いのは、その他の職業(60.0%)、パート・アルバイト・契約社員など(45.1%)、会社員・公務員など(40.1%)となっている。



問8 それは、次のうちどのようなものですか。(問7で「ある」とお答えの方、あてはまるものすべてに○)

「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が最も多く 48.5%で前回より 1.3 ポイント高く、約 5 割となっている。次いで「職場での嫌がらせ」が 33.5%、「学校でのいじめ」が 27.5%となっている。以下「容姿や身体的特徴に関すること」(25.3%)、「名誉・信用のき損、侮辱」(22.7%)、「差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱いをされた)」(16.1%)、「暴力、強迫、強要(社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことをやらされたり、権利の行使を妨害された)」(15.9%)、「使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇」(15.4%)などとなっている。

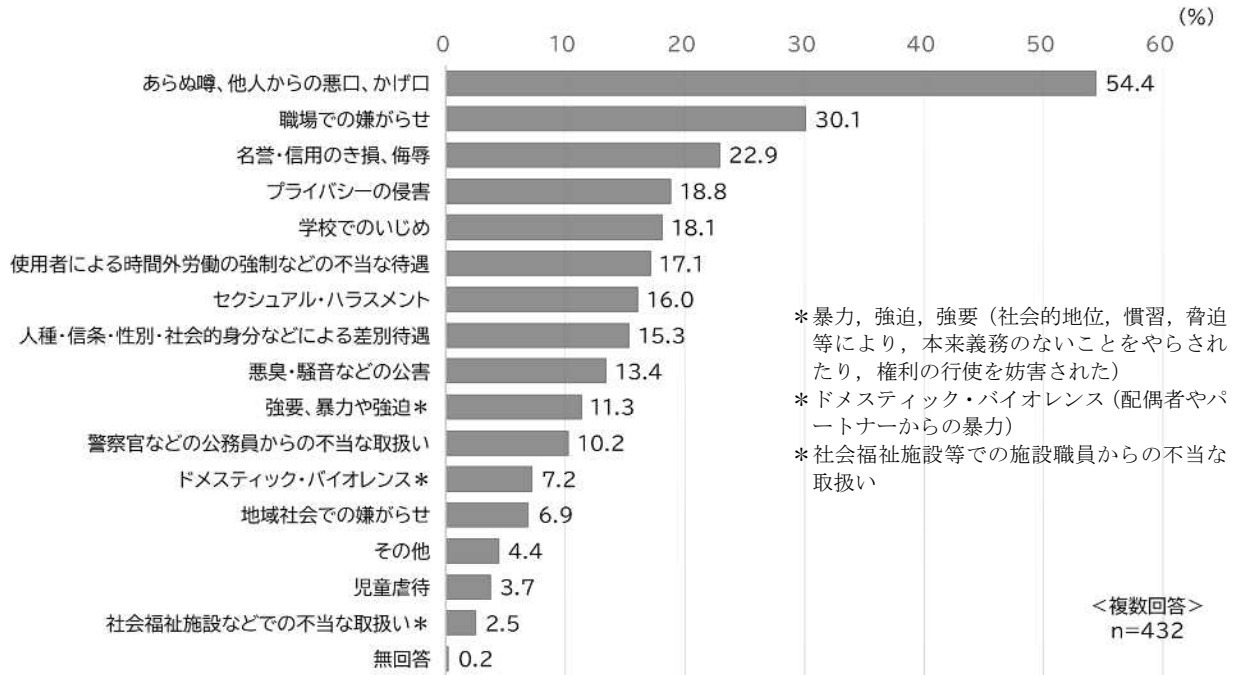
※ インターネット上での誹謗中傷や嫌がらせは、今回調査からの回答項目



<参考>内閣府「人権擁護に関する世論調査」（令和4年度）

【人権侵害の内容】

内閣府「人権擁護に関する世論調査」（令和4年度）をみると、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が最も多く54.4%、次いで「職場での嫌がらせ」（30.1%）、「名誉・信用のき損、侮辱」（22.9%）などとなっている。



■ 性別・年齢別 自己的人権が侵害されたと思った内容

- ・性別では、男女とも「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、80歳以上を除くいずれの年代でも「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が最も多くなっている。また、18～29歳では「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」の、30代では「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」、「出身地、家柄等に関すること」、「容姿や身体的特徴に関すること」などの、50代では「プライバシーの侵害」の数値が、それぞれ全体値より10ポイント以上高くなっている。

		合計 (人)	問8 自分の人権が侵害されたと思った内容(%)																									
			あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	公務員からの不当な取扱い	暴力、強迫、強要（社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことをやらされたり、権利を妨害された）	悪臭・騒音等の迷惑行為	利益な取扱いをされた	差別待遇（人種・信条・性別・社会生活の上で不平等又は不利な取扱いをされた）	出身地、家柄等に関する事	国籍による差別や特定の民族に対する侮辱	容姿や身体的特徴に関する事	障害に関する事	疾病に関する事	TQ（性的指向や心の性に関する事（いわゆるLGB）	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	職場での嫌がらせ	使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇	社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い	プライバシーの侵害	セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）	ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力）	インターネット上での誹謗中傷や嫌がらせ	その他	なんとなく	答えたくない	無回答
F1 性別	全体	454	48.5	22.7	9.9	15.9	13.4	16.1	5.3	3.1	25.3	4.2	3.7	1.8	4.4	27.5	33.5	15.4	1.1	11.7	10.6	7.5	4.8	5.9	2.9	2.6	0.2	
	男性	184	51.6	28.3	10.9	16.3	19.6	10.3	4.3	2.7	23.4	4.9	2.7	0.5	4.9	24.5	33.7	21.7	1.1	12.0	1.1	2.7	4.3	2.7	3.3	0.0		
	女性	257	45.9	18.7	8.9	15.2	8.9	19.5	5.8	2.7	26.5	3.5	4.3	1.6	2.7	28.4	33.9	11.3	0.8	11.3	17.5	10.9	5.8	6.6	2.3	2.3	0.0	
(参考)その他		8	50.0	25.0	12.5	37.5	12.5	50.0	12.5	25.0	50.0	12.5	12.5	37.5	37.5	62.5	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	
F2 年齢	18～29歳	44	70.5	18.2	9.1	18.2	18.2	22.7	4.5	4.5	29.5	11.4	4.5	9.1	4.5	31.8	18.2	11.4	4.5	9.1	6.8	4.5	13.6	2.3	2.3	0.0	0.0	
	30～39歳	52	61.5	21.2	13.5	25.0	17.3	25.0	15.4	3.8	53.8	1.9	7.7	1.9	3.8	50.0	30.8	19.2	1.9	9.6	19.2	7.7	9.6	3.8	0.0	3.8	0.0	
	40～49歳	88	47.7	15.9	9.1	18.2	11.4	15.9	4.5	2.3	28.4	3.4	0.0	1.1	2.3	30.7	37.5	17.0	0.0	5.7	9.1	9.1	2.3	9.1	3.4	3.4	0.0	
	50～59歳	113	49.6	23.9	8.0	18.6	16.8	16.8	4.4	5.3	24.8	2.7	7.1	1.8	4.4	29.2	41.6	23.0	0.9	23.0	16.8	9.7	3.5	7.1	1.8	3.5	0.0	
	60～69歳	76	38.2	27.6	10.5	10.5	9.2	14.5	3.9	2.6	17.1	7.9	2.6	0.0	7.9	19.7	31.6	11.8	1.3	9.2	9.2	3.9	2.6	5.3	5.3	2.6	0.0	
	70～79歳	52	38.5	28.8	11.5	7.7	5.8	7.7	1.9	0.0	11.5	1.9	0.0	0.0	1.9	9.6	28.8	5.8	0.0	5.8	1.9	5.8	3.8	3.8	3.8	1.9	0.0	
	80歳～	24	29.2	25.0	8.3	8.3	16.7	8.3	4.2	0.0	8.3	0.0	4.2	0.0	4.2	12.5	33.3	8.3	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	

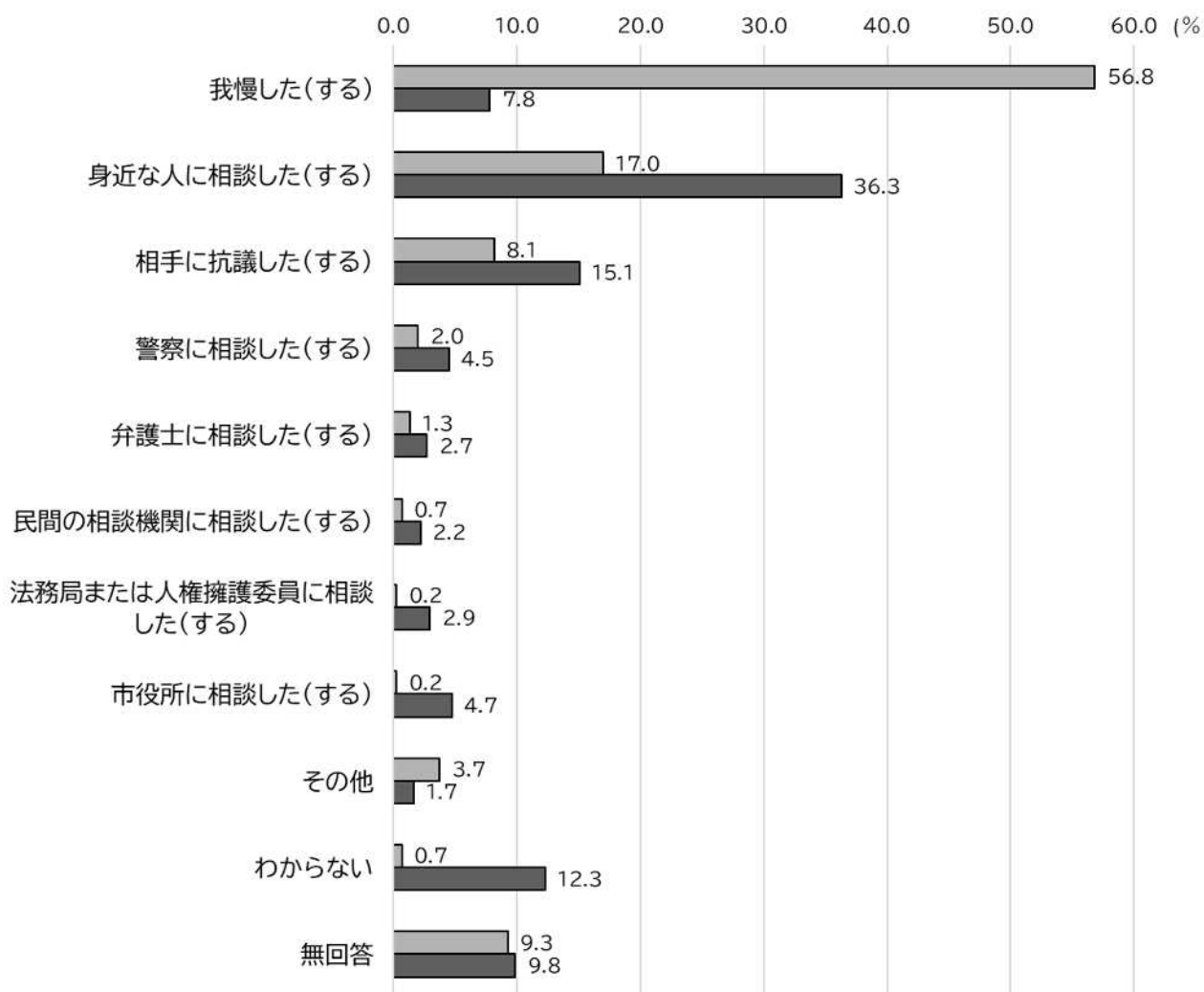
■ 職業別 自分の人権が侵害されたと思った内容

- ・家事専業以外のいずれの職業でも「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が最も多くなっており、家事専業では「職場での嫌がらせ」が最も多くなっている。
- ・自営業では「セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）」、「なんとなく」の、学生では「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」、「差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱いをされた）」、「国籍による差別や特定の民族に対する侮辱」、「容姿や身体的特徴に関すること」、「インターネット上での誹謗中傷や嫌がらせ」などの、その他の職業では「名誉・信用のき損、侮辱」の数値が、それぞれ全体値より 10 ポイント以上高くなっている。

		合計 (人)	問8 自分の人権が侵害されたと思った内容(%)																											
			あらぬ噂、他人からの悪口、かけ口	名誉・信用の毀損、侮辱	公務員からの不当な取扱い	暴力、強迫、強要（社会的地位、慣習、脅迫等を利用し、被害を妨害された）	悪臭・騒音等の迷惑行為	差別待遇（人種・信条・性別・性的指向や心の性に関すること（いわゆるLGB T Q））	利益な取扱い（結婚等）	出身地、家柄等に関すること	国籍による差別や特定の民族に対する侮辱	容姿や身体的特徴に関すること	障害に関すること	疾病に関すること	性的指向や心の性に関すること（いわゆるLGB T Q）	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	職場での嫌がらせ	使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇	社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い	プライバシーの侵害	セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）	ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力）	インターネット上での誹謗中傷や嫌がらせ	その他	なんとなく	答えたくない	無回答		
F3 職業	全体	454	48.5	22.7	9.9	15.9	13.4	16.1	5.3	3.1	25.3	4.2	3.7	1.8	4.4	27.5	33.5	15.4	1.1	11.7	10.6	7.5	4.8	5.9	2.9	2.6	0.2			
	自営業	19	31.6	21.1	15.8	10.5	10.5	15.8	5.3	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	31.6	10.5	0.0	5.3	21.1	0.0	0.0	0.0	21.1	5.3	0.0			
	会社員・公務員など	167	58.1	21.6	8.4	18.0	15.0	16.2	6.6	2.4	33.5	4.2	4.2	3.0	4.8	28.7	31.1	20.4	1.2	10.2	10.8	9.0	4.2	4.8	0.6	1.2	0.0			
	パート・アルバイト・契約社員など	111	46.8	26.1	7.2	18.0	10.8	17.1	5.4	4.5	25.2	4.5	2.7	0.0	1.8	33.3	38.7	14.4	1.8	11.7	14.4	8.1	3.6	7.2	2.7	2.7	0.0			
	家事専業	54	35.2	22.2	13.0	9.3	11.1	16.7	3.7	0.0	16.7	1.9	1.9	0.0	3.7	27.8	37.0	3.4	0.0	11.1	13.0	3.7	3.7	5.6	3.7	3.7	0.0			
	学生	8	62.5	0.0	0.0	12.5	12.5	37.5	0.0	25.0	37.5	12.5	25.0	25.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0			
	その他の職業	15	46.7	33.3	13.3	13.3	20.0	20.0	13.3	0.0	20.0	0.0	6.7	0.0	0.0	26.7	26.7	13.3	0.0	20.0	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	13.3	0.0			
	仕事はしていない	75	41.3	21.3	13.3	16.0	14.7	12.0	2.7	4.0	17.3	6.7	4.0	1.3	9.3	18.7	33.3	18.7	1.3	16.0	4.0	9.3	8.0	6.0	2.7	2.7	0.0			

問9 (問7で「ある」とお答えの方)自分の人権が侵害されたと思ったとき、どうしましたか。
(問7で「ない」とお答えの方)もし、自分の人権が侵害された場合、どうしますか。
(もっともあてはまるものに○を1つ)

- ・人権侵害を受けたことが「ある」人の対応としては、「我慢した」が最も多く 56.8%となっている。次いで「身近な人に相談した」(17.0%)、「相手に抗議した」(8.1%)などとなっている。
- ・人権侵害を受けたことが「ない」人が想定する対応としては、「身近な人に相談する」(36.3%)が最も多くなっている。次いで「相手に抗議する」(15.1%)、「わからない」(12.3%)などとなっている。



□(人権が侵害されたと思ったことのある方)自分が侵害されたと思った時の対応(n=454)

■(人権が侵害されたと思ったことのない方)もし、自分が侵害された場合の対応(n=782)

（自分の人権が侵害されたと思ったことのある方）

■ 性別・年齢別 自分の人権が侵害されたと思ったときどうしたか

- ・性別では、男女とも「我慢した」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「我慢した」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問9-1（自分の人権が侵害されたと思ったことのある方）自分が侵害されたと思った時の対応（％）										
			我慢した	相手に抗議した	身近な人に相談した	弁護士に相談した	市役所に相談した	法務局または人権擁護委員に相談した	民間の相談機関に相談した	警察に相談した	その他	わからない	無回答
	全体	454	56.8	8.1	17.0	1.3	0.2	0.2	0.7	2.0	3.7	0.7	9.3
F1 性別	男性	184	62.0	10.9	8.7	1.1	0.0	0.5	0.5	0.5	4.3	1.1	10.3
	女性	257	52.9	6.6	23.0	1.6	0.4	0.0	0.8	3.1	3.5	0.4	7.8
	(参考)その他	8	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
F2 年齢	18～29歳	44	47.7	4.5	29.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	4.5	11.4
	30～39歳	52	59.6	3.8	25.0	1.9	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	5.8
	40～49歳	88	67.0	6.8	14.8	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	1.1	5.7
	50～59歳	113	59.3	12.4	13.3	1.8	0.0	0.0	1.8	3.5	3.5	0.0	4.4
	60～69歳	76	55.3	6.6	14.5	0.0	0.0	0.0	1.3	2.6	3.9	0.0	15.8
	70～79歳	52	42.3	13.5	15.4	1.9	0.0	1.9	0.0	1.9	11.5	0.0	11.5
	80歳～	24	58.3	4.2	8.3	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	20.8

■ 職業別 自分の人権が侵害されたと思ったときどうしたか

- ・学生を除くいずれの職業でも「我慢した」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問9-1（自分の人権が侵害されたと思ったことのある方）自分が侵害されたと思った時の対応(%)										
			我慢した	相手に抗議した	身近な人に相談した	弁護士に相談した	市役所に相談した	法務局または人権擁護委員に相談した	民間の相談機関に相談した	警察に相談した	その他	わからない	無回答
	全体	454	56.8	8.1	17.0	1.3	0.2	0.2	0.7	2.0	3.7	0.7	9.3
F3 職業	自営業	19	68.4	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	21.1
	会社員・公務員など	167	60.5	7.8	19.2	1.2	0.0	0.0	0.6	1.8	1.2	1.2	6.6
	パート・アルバイト・契約社員など	111	56.8	10.8	16.2	1.8	0.0	0.0	0.9	3.6	3.6	0.0	6.3
	家事専業	54	50.0	9.3	18.5	1.9	0.0	0.0	0.0	1.9	7.4	0.0	11.1
	学生	8	37.5	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
	その他の職業	15	46.7	6.7	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7
	仕事はしていない	75	56.0	6.7	9.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	5.3	0.0	16.0

(自分の人権が侵害されたと思ったことのない方)

■ 性別・年齢別 もし自分の人権が侵害された場合どうするか

- ・性別では、男女とも「身近な人に相談する」が最も多く、女性は全体と比較して 10 ポイント以上高くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「身近な人に相談する」が最も多くなっている。また、30 代では「相手に抗議する」が全体と比較して 10 ポイント以上高くなっている。

		合計 (人)	問9-2（自分の人権が侵害されたと思ったことがない方）自分が侵害された場合の対応（％）										
			我慢する	相手に抗議する	身近な人に相談する	弁護士に相談する	市役所に相談する	法務局または人権擁護委員に相談する	民間の相談機関に相談する	警察に相談する	その他	わからない	無回答
	全体	782	7.8	15.1	36.3	2.7	4.7	2.9	2.2	4.5	1.7	12.3	9.8
F1 性別	男性	358	7.8	23.5	24.3	3.9	4.5	2.8	2.0	6.7	2.8	14.8	7.0
	女性	408	8.1	7.6	46.8	1.5	4.9	2.9	2.5	2.7	0.5	10.3	12.3
	(参考)その他	7	0.0	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0
F2 年齢	18～29歳	76	14.5	15.8	48.7	2.6	1.3	2.6	1.3	0.0	1.3	10.5	1.3
	30～39歳	69	10.1	30.4	34.8	0.0	1.4	1.4	4.3	1.4	0.0	13.0	2.9
	40～49歳	106	7.5	22.6	40.6	3.8	0.9	2.8	2.8	1.9	2.8	9.4	4.7
	50～59歳	122	11.5	12.3	45.9	4.1	2.5	1.6	2.5	4.1	1.6	12.3	1.6
	60～69歳	129	5.4	13.2	36.4	2.3	7.8	1.6	3.9	5.4	2.3	12.4	9.3
	70～79歳	188	4.3	11.2	26.6	2.7	9.0	5.3	1.1	6.4	1.6	15.4	16.5
	80歳～	80	7.5	8.8	27.5	1.3	2.5	3.8	0.0	10.0	1.3	10.0	27.5

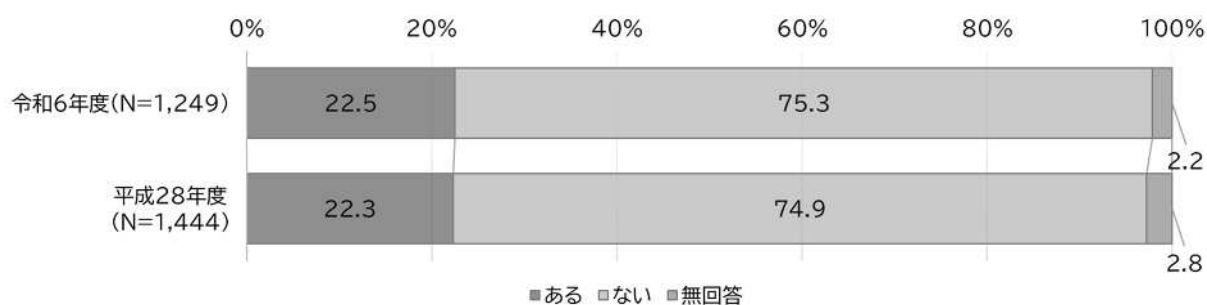
■ 職業別 もし自分の人権が侵害された場合どうするか

- ・いずれの職業でも「身近な人に相談する」が最も多くなっている。また、学生では「我慢する」の数値が全体値より 10 ポイント以上高くなっており、家事専業で「相手に抗議する」の数値が全体値より 10 ポイント以上低くなっている。

		合計 (人)	問9-2（自分の人権が侵害されたと思ったことがない方）自分が侵害された場合の対応（%）										
			我慢する	相手に抗議する	身近な人に相談する	弁護士に相談する	市役所に相談する	法務局または人権擁護委員に相談する	民間の相談機関に相談する	警察に相談する	その他	わからない	無回答
	全体	782	7.8	15.1	36.3	2.7	4.7	2.9	2.2	4.5	1.7	12.3	9.8
F3 職業	自営業	43	7.0	23.3	27.9	4.7	2.3	4.7	0.0	2.3	2.3	16.3	9.3
	会社員・公務員など	249	8.8	22.9	35.7	2.4	3.2	3.2	2.0	2.8	2.8	12.9	3.2
	パート・アルバイト・契約社員など	134	9.0	11.2	47.8	3.0	3.0	1.5	3.7	4.5	2.2	6.7	7.5
	家事専業	127	4.7	3.9	41.7	2.4	7.9	2.4	3.9	3.1	0.0	11.8	18.1
	学生	30	20.0	13.3	43.3	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	その他の職業	9	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1
	仕事はしていない	179	6.7	13.4	25.1	2.2	6.7	3.9	0.6	8.9	1.1	15.1	16.2

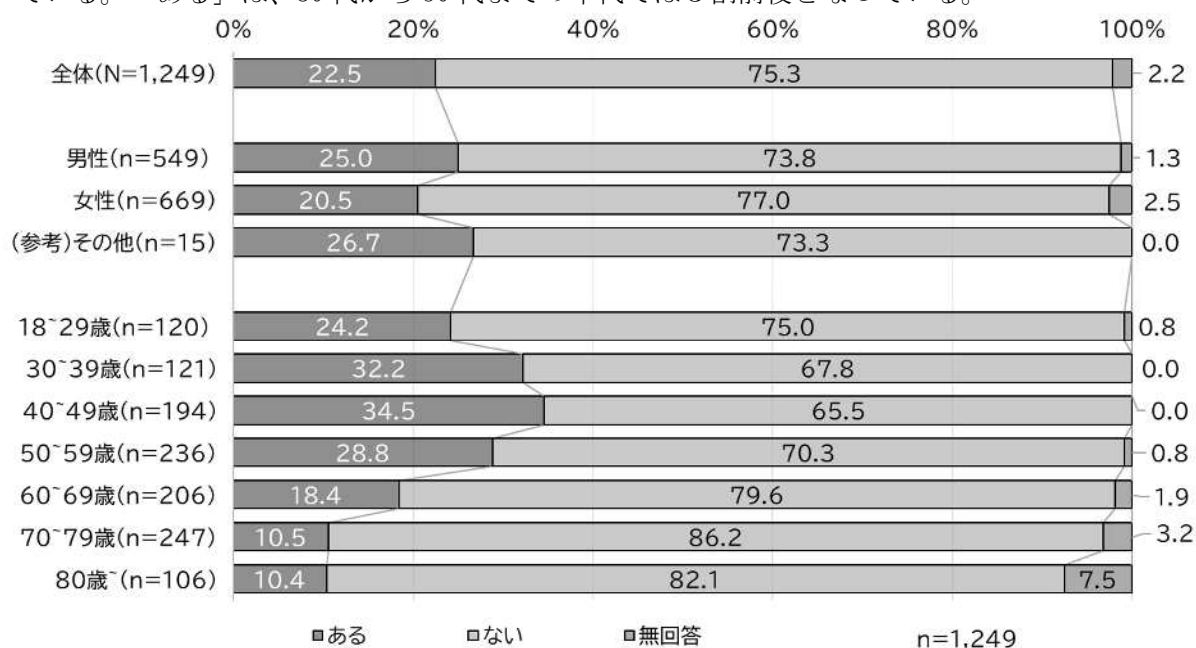
問10 あなたはこれまでに、他人の人権を侵害してしまったと思うことがありますか。(〇は1つ)

「ない」が75.3%と全体の4分の3以上となっている。「ある」は22.5%となっている。



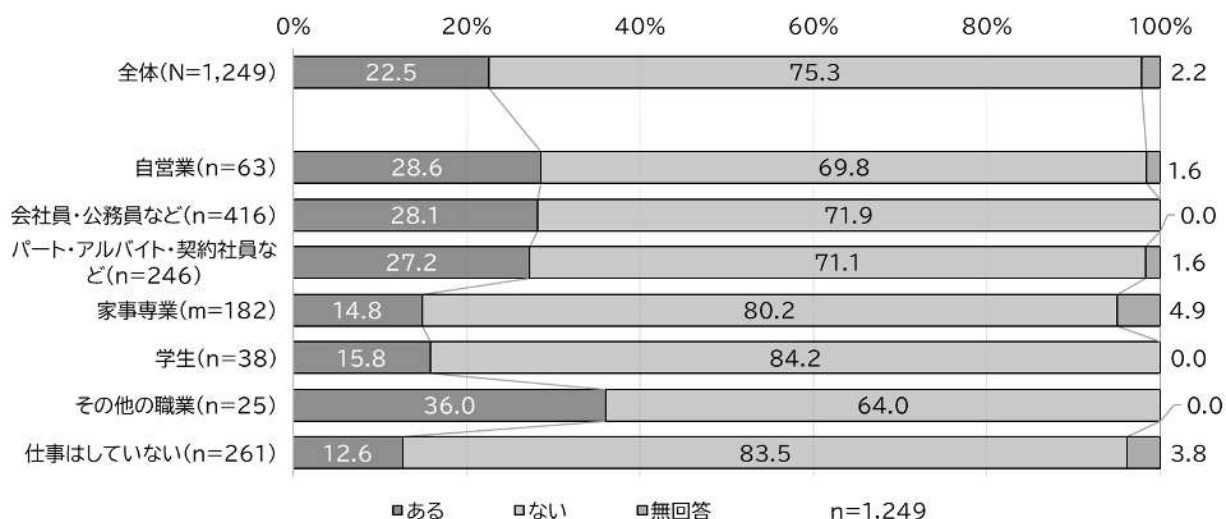
■ 性別・年齢別 他人の人権を侵害してしまったと思うことの有無

- ・性別では、男女とも「ない」が7割以上となっており、性別による大きな差は見られない。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「ない」の方が多く、60代以降の年代で「ない」の割合が高くなっている。「ある」は、30代から50代までの年代では3割前後となっている。



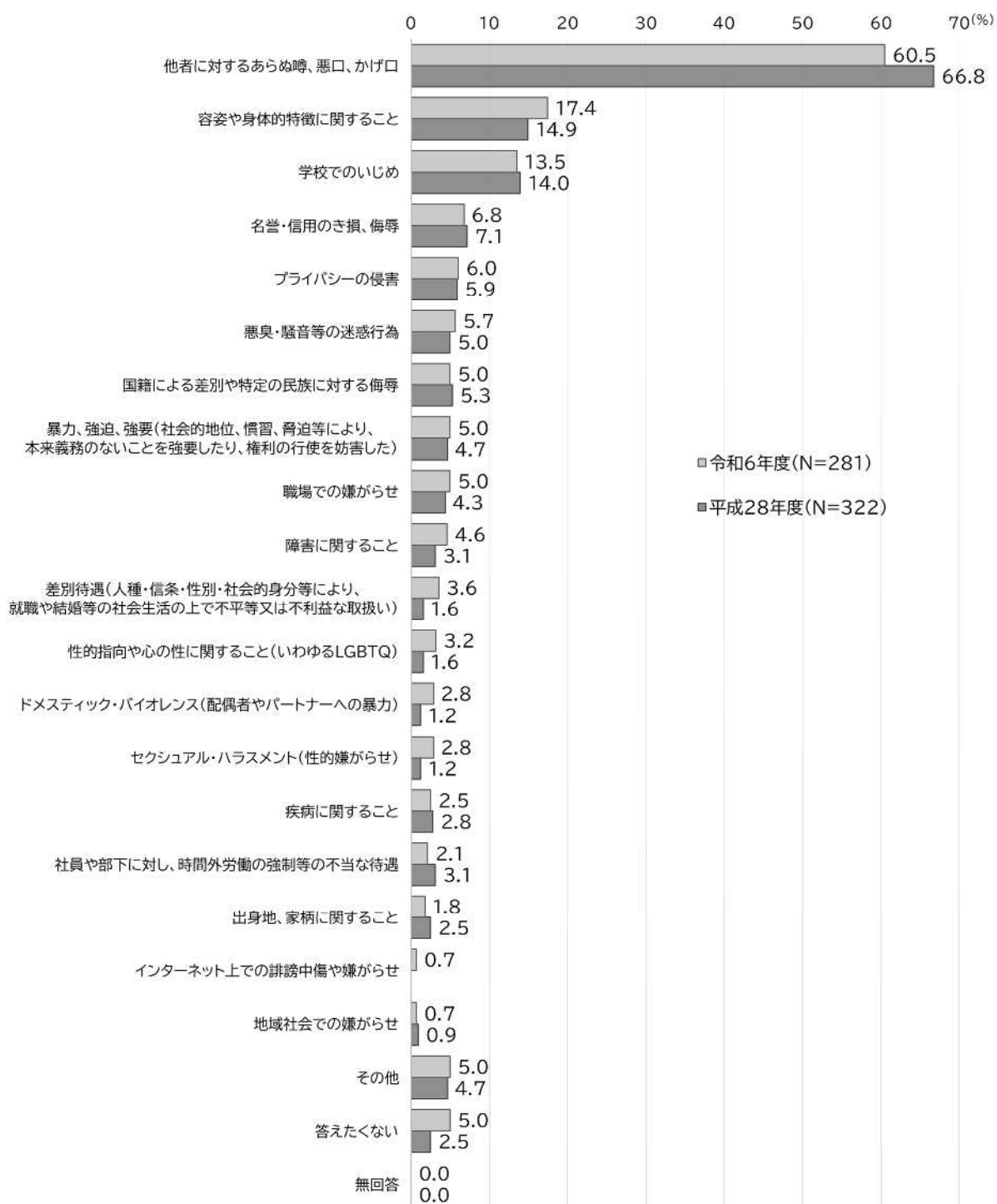
■ 職業別 他人の人権を侵害してしまったと思うことの有無

職業別では、いずれの職業でも「ない」が多くなっている。特に家事専業、学生、仕事はしていないでは8割以上となっている。



問11 それは、次のうちどのようなものですか。(問10で「ある」とお答えの方、あてはまるものすべてに○)

「他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口」が最も多く、60.5%となっている。次いで「容姿や身体的特徴に関すること」(17.4%)、「学校でのいじめ」(13.5%)などとなっている。



■ 性別・年齢別 他人の人権を侵害してしまったと思った内容

- ・性別では、男女とも「他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口」が最も多くなっている。そのうち18～29歳、70代、80歳以上では全体値より10ポイント以上差がある。また、70代では「暴力、強迫、強要（社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことを強要したり、権利の行使を妨害した）」、「容姿や身体的特徴に関すること」の数値が全体値より10ポイント以上の差がある。

		合計 (人)	問11 他人の人権を侵害してしまったと思った内容(%)																							
			他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	暴力・強迫・強要（社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことを強要したり、権利の行使を妨害した）	悪臭・騒音等の迷惑行為	差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱）	出身地、家柄に関すること	国籍による差別や特定の民族に対する侮辱	容姿や身体的特徴に関すること	障害に関すること	疾病に関すること	性的指向や心の性に関すること（いわゆるLGBTQ）	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	職場での嫌がらせ	社員や部下に対し、時間外労働の強制等の不当な待遇	プライバシーの侵害	セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）	ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーへの暴力）	インターネット上での誹謗中傷や嫌がらせ	その他	答えたくない	無回答		
F1 性別	全体	281	60.5	6.8	5.0	5.7	3.6	1.8	5.0	17.4	4.6	2.5	3.2	0.7	13.5	5.0	2.1	6.0	2.8	2.8	0.7	5.0	5.0	0.0		
	男性	137	55.5	7.3	6.6	6.6	4.4	2.9	6.6	19.0	5.8	2.2	2.2	0.7	15.3	5.1	3.6	6.6	2.2	2.9	1.5	4.4	6.6	0.0		
	女性	137	66.4	6.6	3.6	4.4	2.9	0.7	3.6	16.8	3.6	2.9	4.4	0.7	11.7	5.1	0.7	5.8	3.6	2.9	0.0	5.1	2.9	0.0		
	(参考)その他	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0			
F2 年齢	18～29歳	29	86.2	13.8	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	10.3	6.9	0.0	6.9	0.0	6.9	3.4	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0		
	30～39歳	39	59.0	7.7	7.7	5.1	2.6	0.0	5.1	17.9	2.6	5.1	7.7	0.0	20.5	5.1	2.6	2.6	2.6	0.0	2.6	7.7	7.7	0.0		
	40～49歳	67	62.7	4.5	1.5	1.5	3.0	0.0	1.5	23.9	4.5	0.0	0.0	0.0	10.4	3.0	0.0	7.5	0.0	0.0	1.5	4.5	6.0	0.0		
	50～59歳	68	55.9	4.4	7.4	14.7	4.4	4.4	13.2	23.5	7.4	5.9	2.9	1.5	19.1	4.4	2.9	11.8	2.9	4.4	0.0	4.4	4.4	0.0		
	60～69歳	38	55.3	10.5	0.0	2.6	0.0	0.0	5.3	10.5	0.0	0.0	2.6	0.0	15.8	5.3	2.6	5.3	2.6	2.6	0.0	7.9	5.3	0.0		
	70～79歳	26	50.0	3.8	15.4	0.0	11.5	3.8	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	11.5	3.8	3.8	11.5	11.5	0.0	7.7	0.0	0.0		
	80歳～	11	45.5	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0		

■ 職業別 他人の人権を侵害してしまったと思った内容

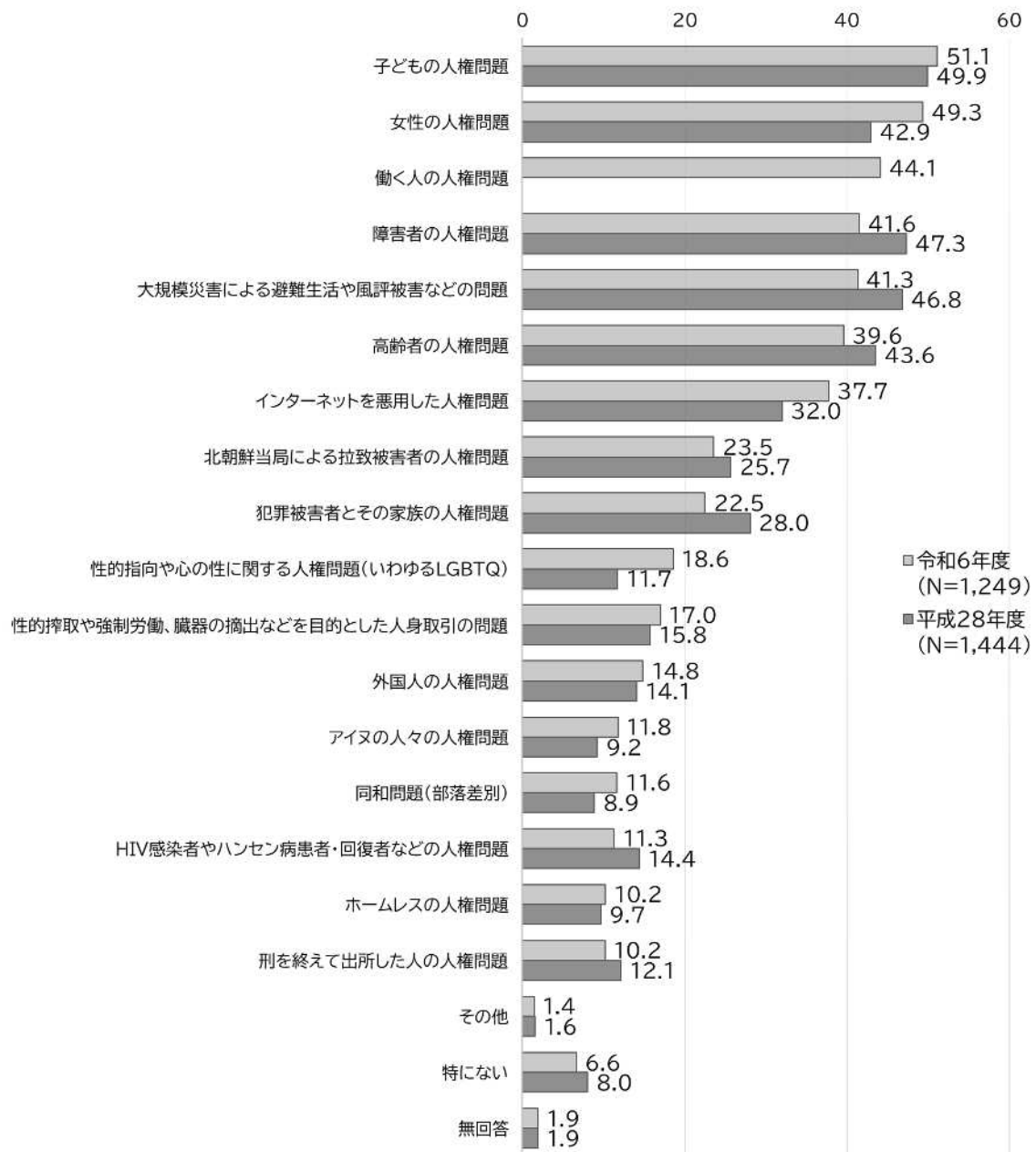
その他の職業を除きいずれの職業でも「他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口」が最も多くなっている。その他の職業では「悪臭・騒音等の迷惑行為」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問11 他人の人権を侵害してしまったと思った内容(%)																						
			他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	暴力・強迫・強要（社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことを強要したり、権利の行使を妨害した）	悪臭・騒音等の迷惑行為	いじめ・差別・差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱）	出身地、家柄に関すること	国籍による差別や特定の民族に対する侮辱	容姿や身体的特徴に関すること	障害に関すること	疾病に関すること	性的指向や心の性に関すること（いわゆるLGBTQ）	地域社会での嫌がらせ	学校でのいじめ	職場での嫌がらせ	社員や部下に対し、時間外労働の強制等の不当な待遇	プライバシーの侵害	セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）	ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーへの暴力）	インターネット上での誹謗中傷や嫌がらせ	その他	答えたくない	無回答	
	全体	281	60.5	6.8	5.0	5.7	3.6	1.8	5.0	17.4	4.6	2.5	3.2	0.7	13.5	5.0	2.1	6.0	2.8	2.8	0.7	5.0	5.0	0.0	
F3 職業	自営業	18	50.0	16.7	0.0	0.0	5.6	0.0	16.7	11.1	11.1	0.0	0.0	5.6	16.7	11.1	0.0	16.7	5.6	0.0	0.0	5.6	11.1	0.0	
	会社員・公務員など	117	65.0	6.8	4.3	3.4	3.4	0.9	5.1	24.8	6.0	3.4	3.4	0.0	15.4	0.9	1.7	6.8	1.7	1.7	0.9	4.3	4.3	0.0	
	パート・アルバイト・契約社員など	67	61.2	9.0	4.5	7.5	4.5	1.5	3.0	14.9	1.5	3.0	0.0	0.0	11.9	9.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	3.0	4.5	0.0	
	家事専業	27	63.0	3.7	7.4	3.7	7.4	3.7	3.7	11.1	7.4	3.7	3.7	3.7	14.8	7.4	3.7	7.4	3.7	3.7	0.0	11.1	0.0	0.0	
	学生	6	100.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	
	その他の職業	9	11.1	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	
	仕事はしていない	33	51.5	3.0	9.1	9.1	0.0	6.1	3.0	15.2	3.0	0.0	6.1	0.0	9.1	6.1	3.0	6.1	6.1	12.1	0.0	6.1	6.1	0.0	

問 12 あなたは、人権に関わるさまざまな問題のうち、どのような人権問題に関心がありますか。（あてはまるものをすべてに○）

「子どもの人権問題」が最も多く 51.1%で、全体の約半数となっている。次いで「女性の人権問題」（49.3%）、「働く人の人権問題」（44.1%）、「障害者の人権問題」（41.6%）、「大規模災害による避難生活や風評被害などの問題」（41.3%）が4割以上となっている。

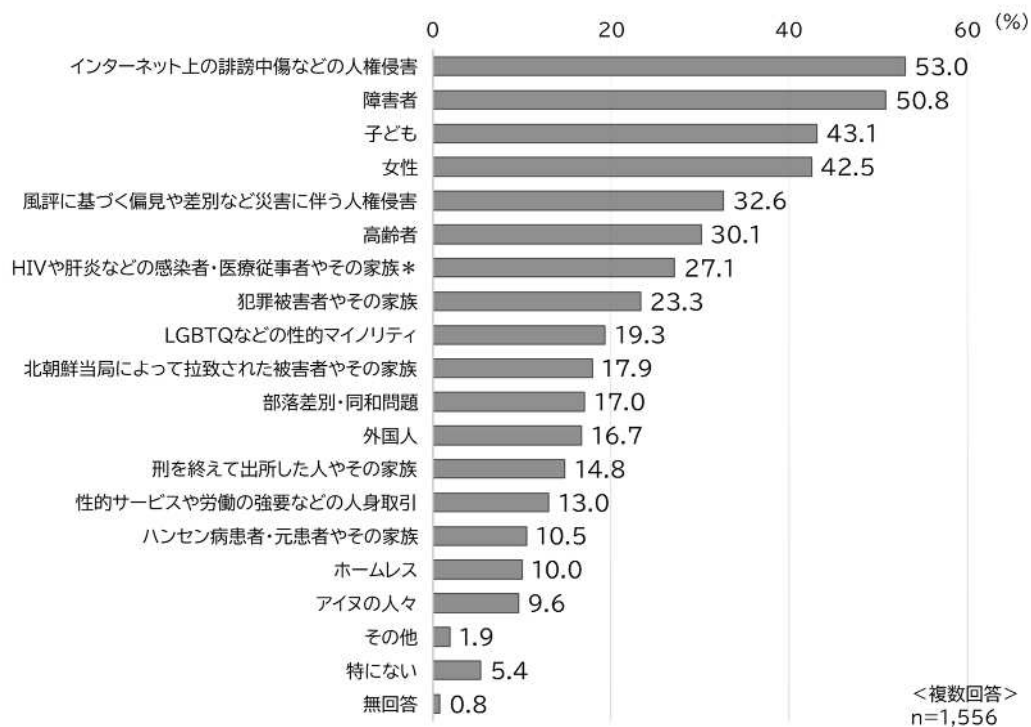
※ 働く人の人権問題は、今回調査からの回答項目



<参考>内閣府「人権擁護に関する世論調査」（令和4年度）

【人権課題に対する関心】

内閣府「人権擁護に関する世論調査」（令和4年度）をみると、「インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害」が最も多く 53.0%、次いで「障害者」が 50.8%、「子ども」が 43.1%、以下「女性」（42.5%）、「風評に基づく偏見や差別など災害に伴う人権侵害」（32.6%）、「高齢者」（30.1%）などとなっている。



* 一部を省略して表章してあるもの

■ 性別・年齢別 関心のある人権問題

- ・性別では、男性は「子どもの人権問題」が、女性は「女性の人権問題」が最も多くなっている。男性は、「女性の人権問題」が全体値より 10 ポイント以上の差がある。
- ・年齢別では、30 代から 60 代の年代では「子どもの人権問題」が、70 代以上の年代では「高齢者の人権問題」が最も多くなっている。18～29 歳では「性的指向や心の性に関する人権問題（いわゆる L G B T Q）」の、60 代では「高齢者の人権問題」、「インターネットを悪用した人権問題」の、70 代では「高齢者の人権問題」、「障害者の人権問題」などの、80 歳以上では「高齢者の人権問題」の数値が全体値より 10 ポイント以上高くなっている。

		合計 (人)	問12 関心のある人権問題(%)																			
			女性 の人権 問題	子 ども の人権 問題	高 齢 者 の 人権 問題	障 害 者 の 人権 問題	同 和 問 題 (部 落 差 別)	アイヌ の人々 の人権 問題	外国 人 の 人権 問題	H I V感 染者 やハン セン 病患 者・回 復者 な ど の 人権 問題	働く 人 の 人権 問題	刑を終 えて出 所した 人 の人権 問題	犯罪被 害者と その家 族 の人権 問題	インタ ーネッ トを悪 用した 人権問 題	北朝鮮 当局に よる拉 致被害 者の人 権問題	ホーム レスの 人権問 題	性的指向 や心の 性に関 する人 権問題 (いわゆる C B T Q)	性的搾取 や強制 労働・臓 器の摘 出など を目的 とした 人身取 引の問 題	大規模 災害に よる避難 生活や 風評被害 などの 問題	その他	特に ない	無回 答
F1 性別	全体	1,249	49.3	51.1	39.6	41.6	11.6	11.8	14.8	11.3	44.1	10.2	22.5	37.7	23.5	10.2	18.6	17.0	41.3	1.4	6.6	1.9
	男性	549	34.4	45.4	36.6	37.3	11.5	12.4	16.2	10.9	44.3	10.6	23.0	40.3	23.7	10.9	14.0	15.5	37.3	1.1	9.1	1.3
	女性	669	61.9	56.1	41.9	44.8	11.5	10.9	13.2	11.7	43.9	10.2	22.1	35.9	23.3	9.6	22.0	18.1	44.5	1.3	4.3	2.1
	(参考)その他	15	53.3	46.7	40.0	46.7	20.0	26.7	46.7	6.7	66.7	6.7	33.3	46.7	26.7	26.7	46.7	40.0	46.7	20.0	13.3	0.0
F2 年齢	18～29歳	120	50.0	41.7	15.8	35.0	6.7	10.0	20.0	7.5	41.7	10.0	20.0	31.7	10.0	8.3	30.0	19.2	20.8	0.0	7.5	1.7
	30～39歳	121	53.7	55.4	16.5	31.4	9.9	9.9	19.0	8.3	48.8	9.1	19.0	38.8	9.9	9.1	28.1	15.7	23.1	1.7	8.3	0.8
	40～49歳	194	49.5	59.3	20.6	29.9	8.8	8.2	13.4	8.8	47.4	8.8	22.7	29.9	10.8	9.3	18.6	17.5	33.0	0.5	7.7	0.0
	50～59歳	236	50.8	52.1	37.7	44.9	15.3	12.7	16.9	14.0	52.5	10.6	25.8	41.9	25.0	10.6	20.8	19.5	44.9	2.1	6.4	0.4
	60～69歳	206	51.9	56.3	50.5	47.1	12.1	13.1	18.0	11.2	45.6	9.7	24.8	48.1	27.7	12.6	15.5	18.4	50.0	1.0	5.3	0.5
	70～79歳	247	49.4	46.6	60.3	51.8	14.6	16.2	12.6	13.4	38.5	11.3	23.9	43.3	38.1	10.1	13.4	15.4	54.7	2.0	4.0	2.8
	80歳～	106	37.7	41.5	60.4	39.6	8.5	6.6	2.8	13.2	30.2	13.2	16.0	17.9	32.1	12.3	10.4	13.2	44.3	2.8	10.4	7.5

■ 職業別 関心のある人権問題

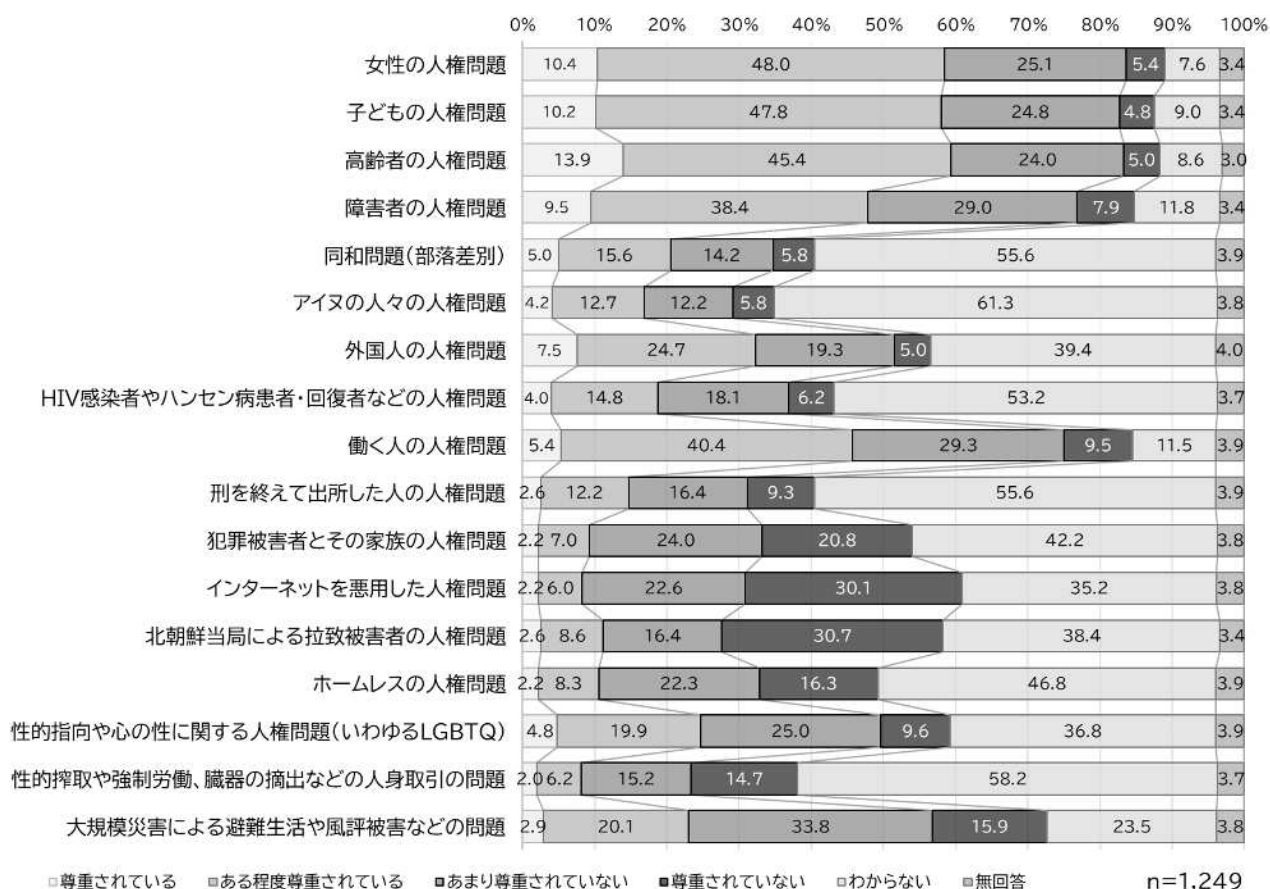
自営業では「インターネットを悪用した人権問題」が、会社員・公務員などでは「子どもの人権問題」が、パート・アルバイト・契約社員など、家事専業では「女性の人権問題」が、仕事はしていないでは「高齢者の人権問題」が、その他の職業では「女性の人権問題」、「大規模災害による避難生活や風評被害などの問題」が最も多くなっている。

自営業者では「インターネットを悪用した人権問題」の、家事専業では「高齢者の人権問題」などの、学生では「外国人の人権問題」、「性的指向や心の性に関する人権問題（いわゆる L G B T Q）」の、その他の職業では「性的搾取や強制労働、臓器の摘出などを目的とした人身取引の問題」、「大規模災害による避難生活や風評被害などの問題」などの、仕事はしていないでは「高齢者の人権問題」の数値が全体値より 10 ポイント以上高くなっている。

		合計 (人)	問12 関心のある人権問題(%)																			
			女性の 人権問題	子どもの 人権問題	高齢者の 人権問題	障害者の 人権問題	同和問題 (部落差別)	アイヌの 人々の人権 問題	外国人の 人権問題	HIV感染者 やハンセン 病患者・回復 者などの 人権問題	働く人の 人権問題	刑を終えて 出所した人の 人権問題	犯罪被害者 とその家族の 人権問題	インターネット を悪用した 人権問題	北朝鮮当局 による拉致被害 者の人権問題	ホームレス の人権問題	性的指向や 心の性に関する 人権問題（いわゆる LGBTQ）	性的取引や 強制労働、臓器 の摘出などを 目的とした 人身取引の問題	大規模災害 による避難生活 や風評被害などの 問題	その他	特 に な い	無 回 答
	全体	1,249	49.3	51.1	39.6	41.6	11.6	11.8	14.8	11.3	44.1	10.2	22.5	37.7	23.5	10.2	18.6	17.0	41.3	1.4	6.6	1.9
F3 職業	自営業	63	50.8	55.6	41.3	46.0	7.9	7.9	17.5	12.7	47.6	11.1	25.4	57.1	30.2	11.1	9.5	12.7	39.7	0.0	6.3	0.0
	会社員・公務員など	416	46.9	52.4	25.2	35.6	10.8	11.1	16.3	9.4	50.2	10.1	21.9	39.2	16.3	8.9	20.7	16.3	32.2	0.7	6.3	0.5
	パート・アルバイト・ 契約社員など	246	58.5	57.3	39.0	41.9	12.6	8.9	12.2	8.1	48.8	8.9	22.8	35.0	19.5	9.3	19.5	18.3	40.2	0.8	6.5	0.4
	家事専業	182	59.3	56.6	52.2	48.9	14.3	14.3	10.4	13.2	36.3	10.4	28.6	31.3	33.5	8.8	17.0	17.6	57.7	2.7	3.3	3.8
	学生	38	39.5	34.2	13.2	36.8	5.3	13.2	26.3	10.5	34.2	15.8	15.8	36.8	13.2	13.2	44.7	23.7	18.4	0.0	10.5	0.0
	その他の職業	25	52.0	36.0	36.0	40.0	12.0	16.0	16.0	20.0	48.0	8.0	24.0	36.0	36.0	20.0	28.0	28.0	52.0	0.0	8.0	0.0
	仕事はしていない	261	39.8	42.5	57.9	45.6	11.5	14.2	16.1	14.9	37.2	11.1	19.9	39.5	30.7	13.4	13.8	16.5	48.7	3.1	8.4	4.2

問 13 あなたは、次の人権に関わるさまざまな問題について、どの程度人権が尊重されていると思いますか。（それぞれ〇は1つ）

- ・「尊重されている」と「ある程度尊重されている」を合わせて見てみると、上位5位は、「高齢者の人権問題」（59.3%）、「女性の人権問題」（58.4%）、「子どもの人権問題」（58.0%）、「障害者の人権問題」（47.9%）、「働く人の人権問題」（45.8%）となっている。
- ・「あまり尊重されていない」と「尊重されていない」を合わせて見てみると、上位5位は、「インターネットを悪用した人権問題」（52.7%）、「大規模災害による避難生活や風評被害などの問題」（49.7%）、「北朝鮮当局による拉致被害者の人権問題」（47.1%）、「犯罪被害者とその家族の人権問題」（44.8%）、「働く人の人権問題」（38.8%）となっている。
- ・「アイヌの人々の人権問題」（61.3%）、「性的搾取や強制労働、臓器の摘出などの人身取引の問題」（58.2%）、「刑を終えて出所した人の人権問題」（55.6%）、「同和問題（部落差別）」（55.6%）、「H I V感染者やハンセン病患者・回復者などの人権問題」（53.2%）では5割以上の人が「わからない」としている。



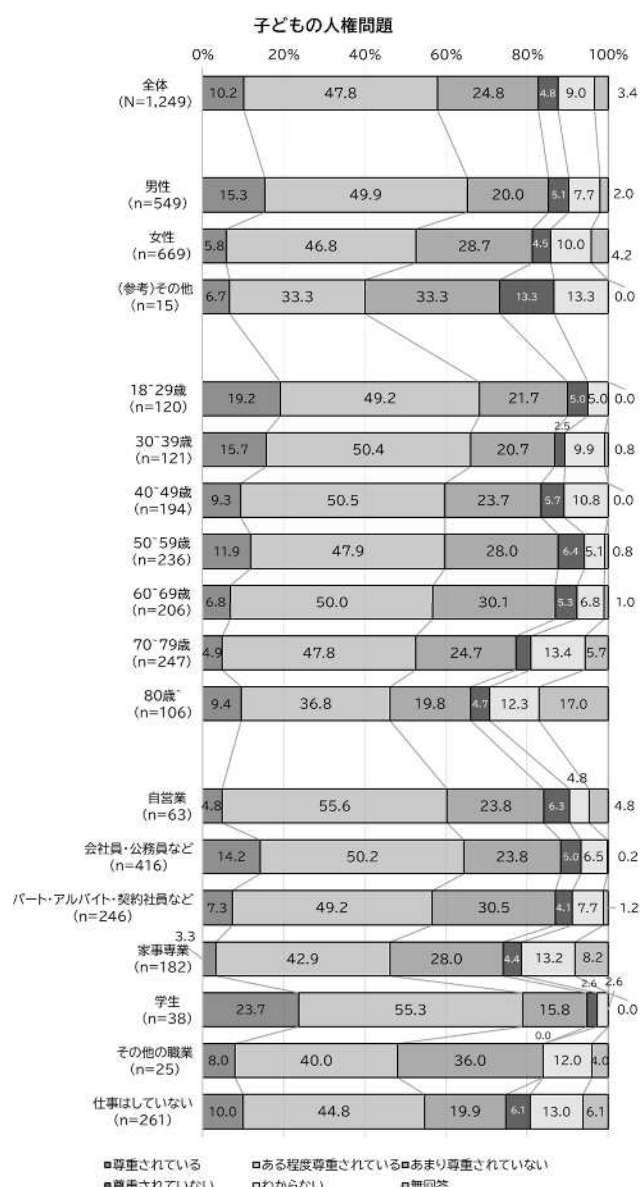
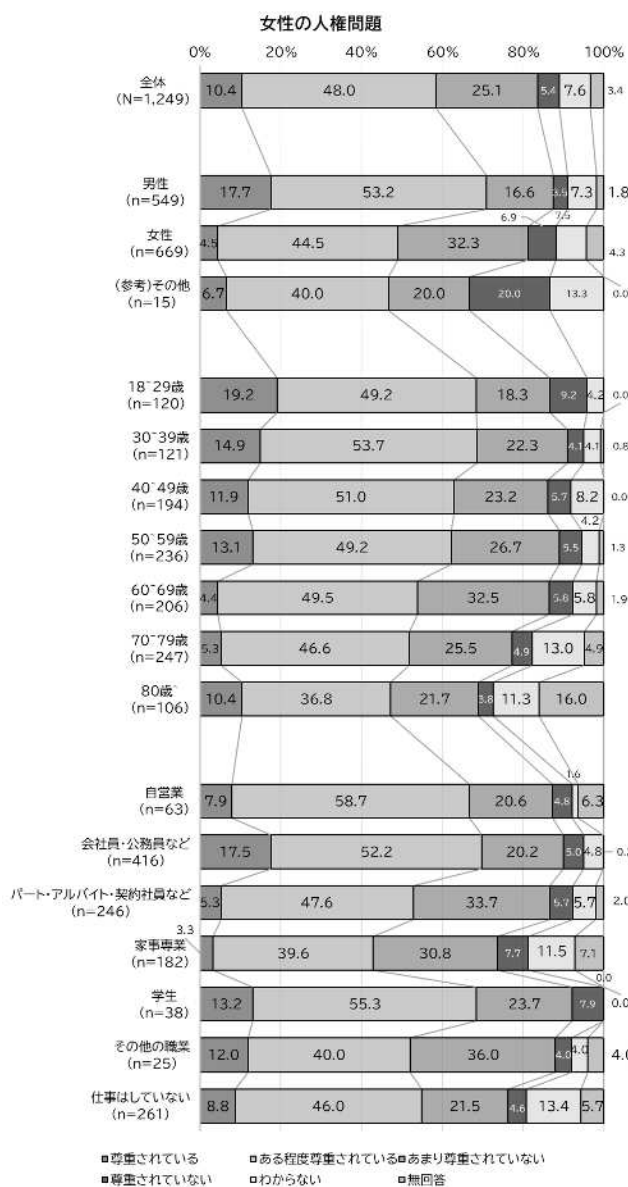
■ 性別・年齢別・職業別 人権に関わる課題の尊重

(1) 女性の人権問題

- ・全体では、「尊重されている」と「ある程度尊重されている」を合わせて『尊重』とし、「尊重されていない」と「あまり尊重されていない」を合わせて『非尊重』とした場合、男性は約7割が『尊重』となっており、女性は約5割となっている。女性は4割が『非尊重』となっており、男性は2割となっている。
- ・年齢別では、年代が上がるほど『尊重』の数値が減少しており、『非尊重』の数値は60代(38.3%)が一番高くなっている。
- ・職業別では、『尊重』が会社員・公務員など(69.7%)、学生(68.5%)、自営業(66.6%)となっており、『非尊重』は、その他の職業(40.0%)、パート・アルバイト・契約社員など(39.4%)、家事専業(38.5%)となっている。

(2) 子どもの人権問題

- ・性別では、『尊重』は、男性(65.2%)、女性(52.6%)となっている。
- ・年齢別では、『尊重』は、40代以降年代が上がるにつれ数値が低くなっている。いずれの年代でも「ある程度尊重されている」が最も多くなっている。
- ・職業別では、『尊重』は、学生(79.0%)、会社員・公務員など(64.4%)、自営業(60.4%)となっている。『非尊重』は、その他の職業(36.0%)、パート・アルバイト・契約社員など(34.6%)、家事専業(32.4%)となっている。

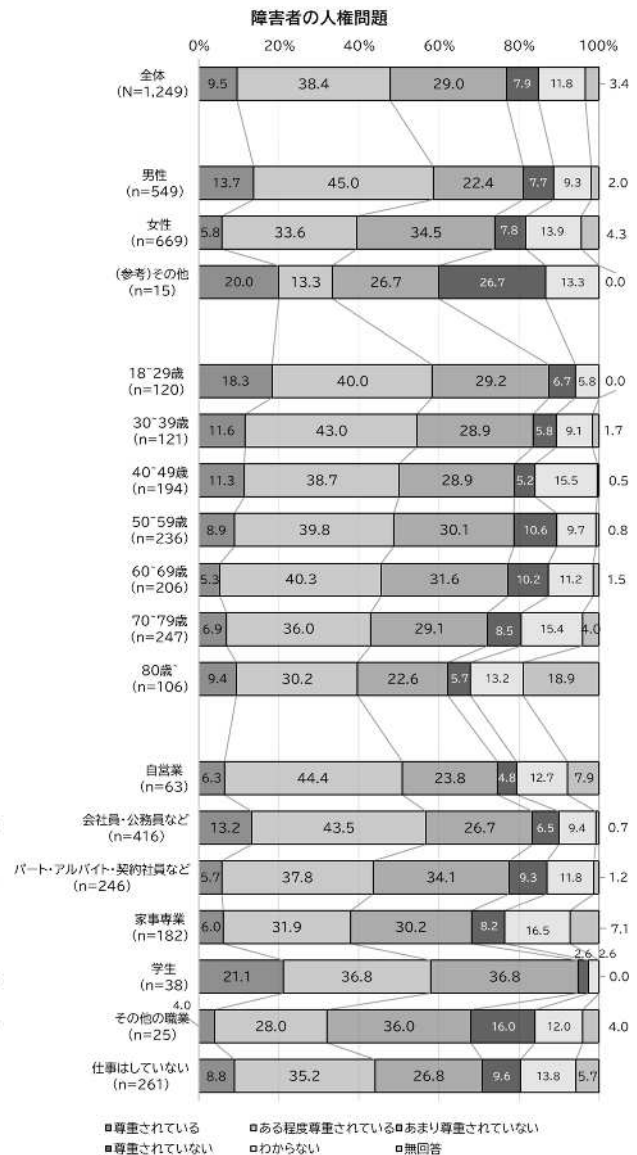
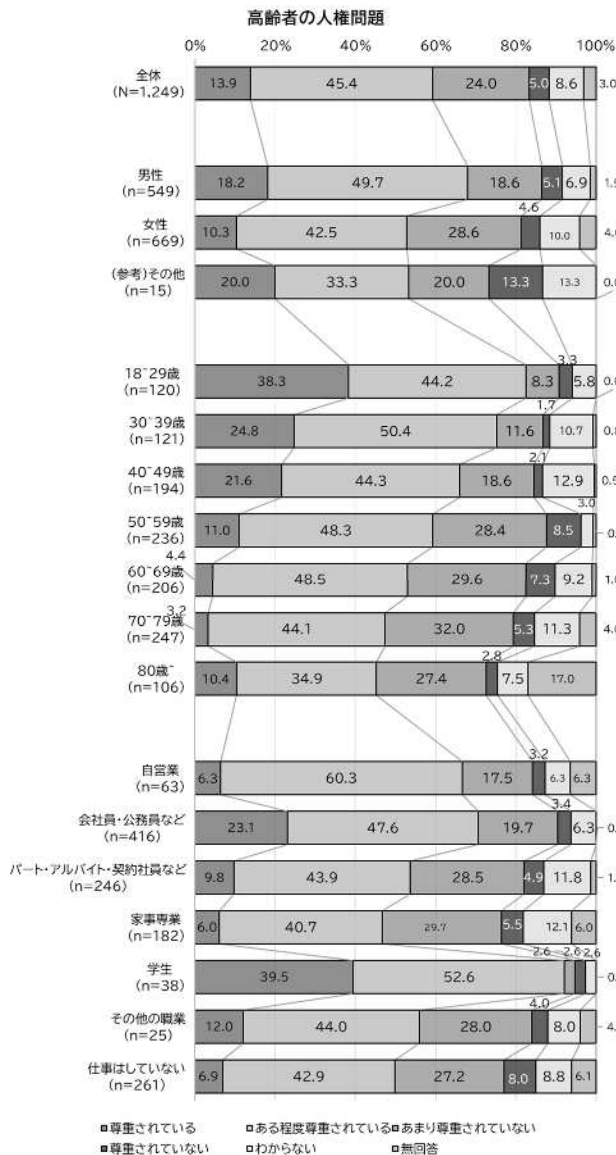


(3) 高齢者の人権問題

- ・性別では、『尊重』は、男性(67.9%)、女性(52.8%)となっている。
- ・年齢別では、年代が上がるとともに『尊重』が減少しており、18～29歳と80歳以上では35ポイント以上差がある。
- ・職業別では、『尊重』は、学生(92.1%)、会社員・公務員など(70.7%)、自営業(66.6%)となっており、いずれの職業でも「ある程度尊重されている」が最も多くなっている。

(4) 障害者の人権問題

- ・性別では、『尊重』は、男性(58.7%)、女性(39.4%)となっている。
- ・年齢別では、年代が上がるとともに『尊重』が減少しており、18～29歳と80歳以上では20ポイント近く差がある。
- ・職業別では、『尊重』が学生(57.9%)、会社員・公務員など(56.7%)となっており、『非尊重』がその他の職業(52.0%)、パート・アルバイト・契約社員など(43.4%)となっている。

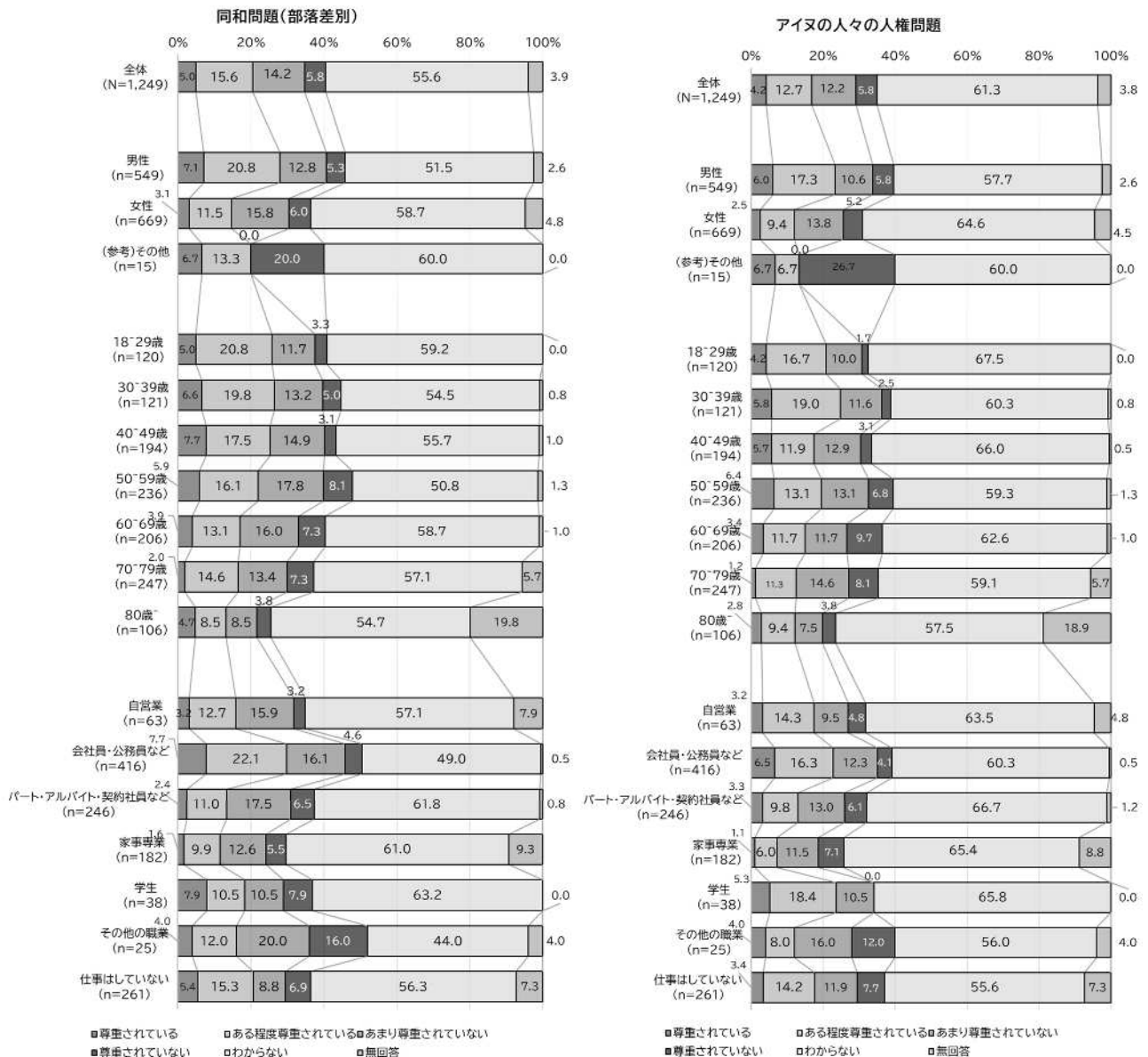


(5) 同和問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多く、『尊重』が、男性が女性より 13.3 ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「わからない」が最も多くなっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「わからない」が最も多くなっている。また、会社員・公務員などでは『尊重』が全体値より約 10 ポイント高くなっており、一方でその他の職業では『非尊重』が全体値より 10 ポイント以上高くなっている。

(6) アイヌの人々の人権問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「わからない」が最も多くなっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「わからない」が最も多くなっている。また、その他の職業では『非尊重』が全体値より 10 ポイント高くなっている。

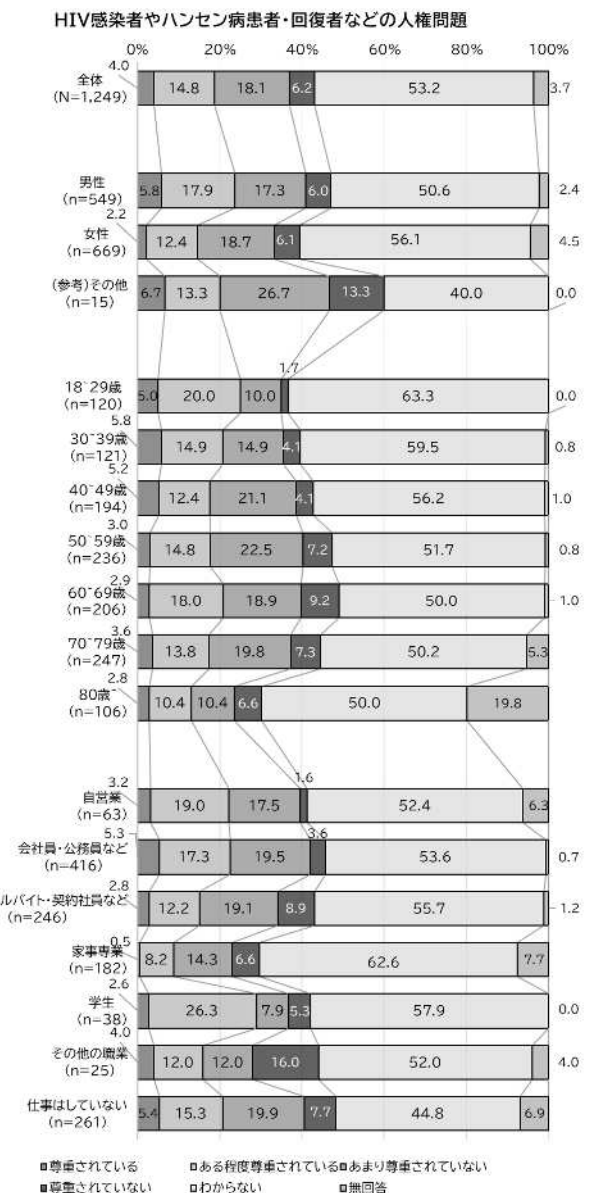
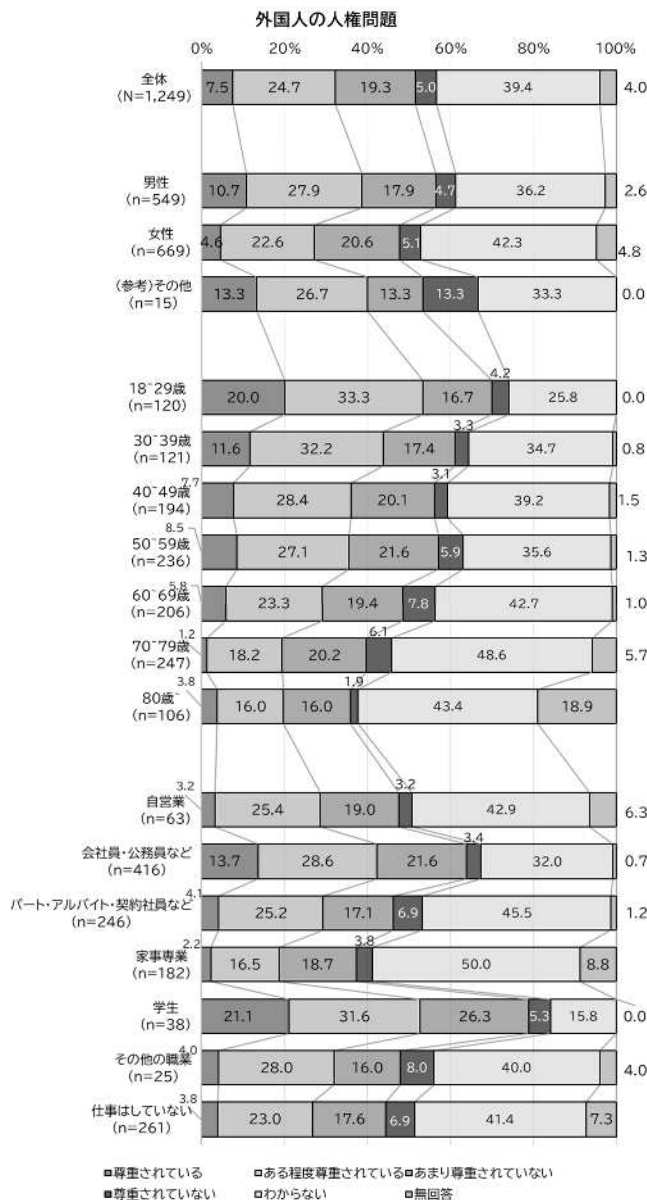


(7) 外国人の人権問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多くなっている。また、『尊重』は、男性は女性に比べ10ポイント以上高くなっている。
- ・年齢別では、『尊重』は年代が上がるとともに減少しており、18～29歳と80歳以上では30ポイント以上差がある。
- ・職業別では、「わからない」が、家事専業(50.0%)、パート・アルバイト・契約社員など(45.5%)、自営業(42.9%)、仕事はしていない(41.4%)、その他の職業(40.0%)となっている。

(8) HIV感染者やハンセン病患者・回復者などの人権問題

- ・性別では、男性では『尊重』(23.7%)と『非尊重』(23.3%)は同程度となっているが、女性では『尊重』(14.6%)と『非尊重』(24.8%)の差が大きくなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「わからない」が最も多くなっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「わからない」が最も多くなっている。

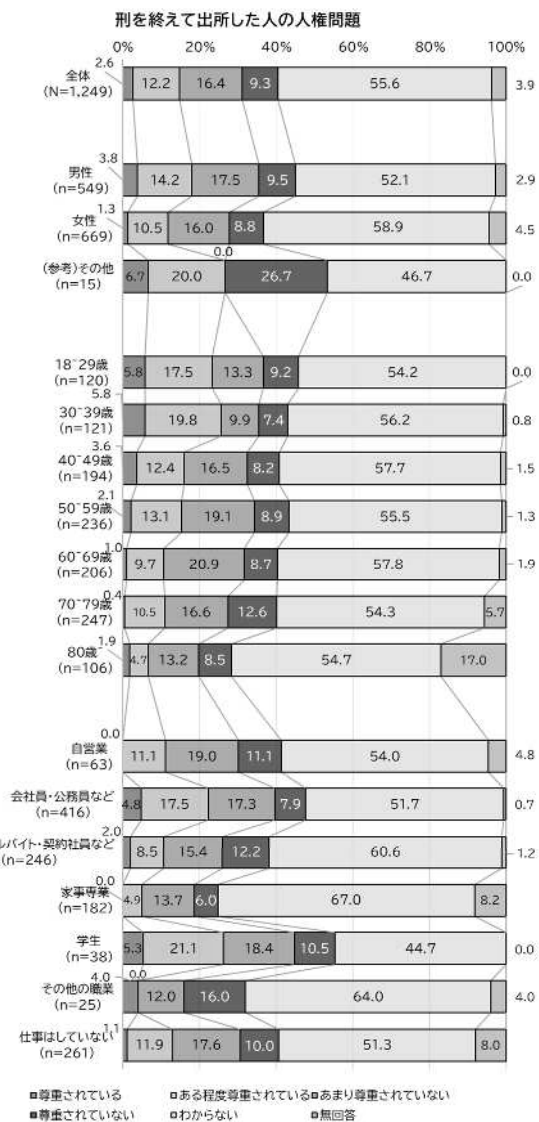
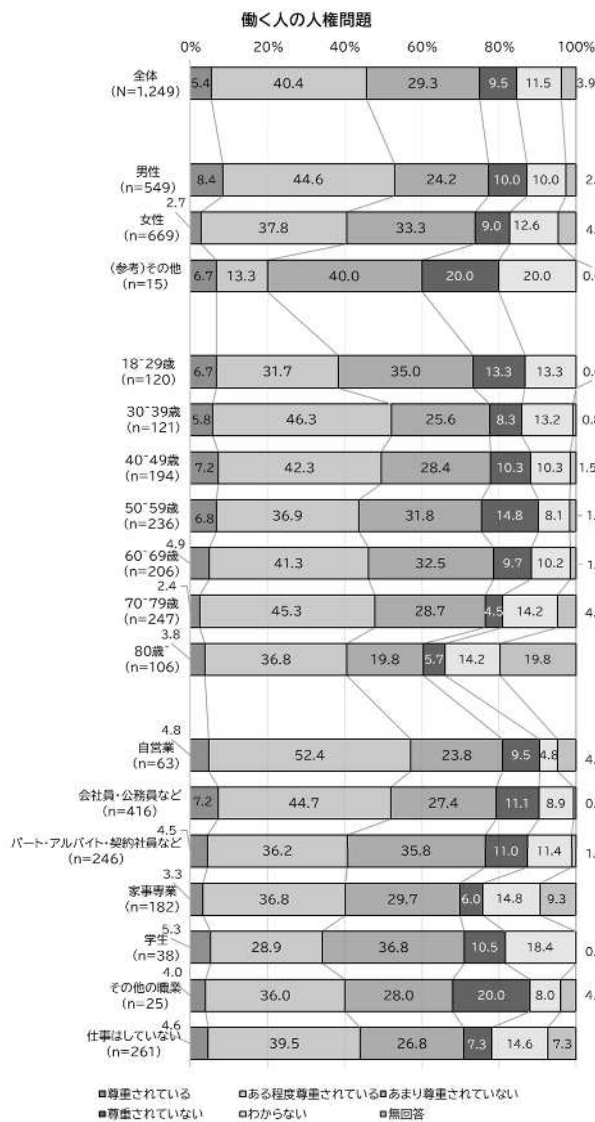


(9) 働く人の人権問題

- ・性別では、男性では『尊重』(53.0%)が多く、女性では『非尊重』(42.3%)が多くなっている。
- ・年齢別では、30代、40代、60代から80歳以上では、『尊重』が多く、18～29歳、50代では『非尊重』が多くなっている。
- ・職業別では、自営業、会社員・公務員など、家事専業、仕事はしていないでは『尊重』が多く、パート・アルバイト・契約社員など、その他の職業、学生では『非尊重』が多くなっている。

(10) 刑を終えて出所した人の人権問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「わからない」が最も多くなっている。18～29歳、30代は『尊重』が多く、40代から80歳以上までは『非尊重』が多くなっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「わからない」が最も多くなっている。また、いずれの職業でも『尊重』と比べて『非尊重』が多くなっている。

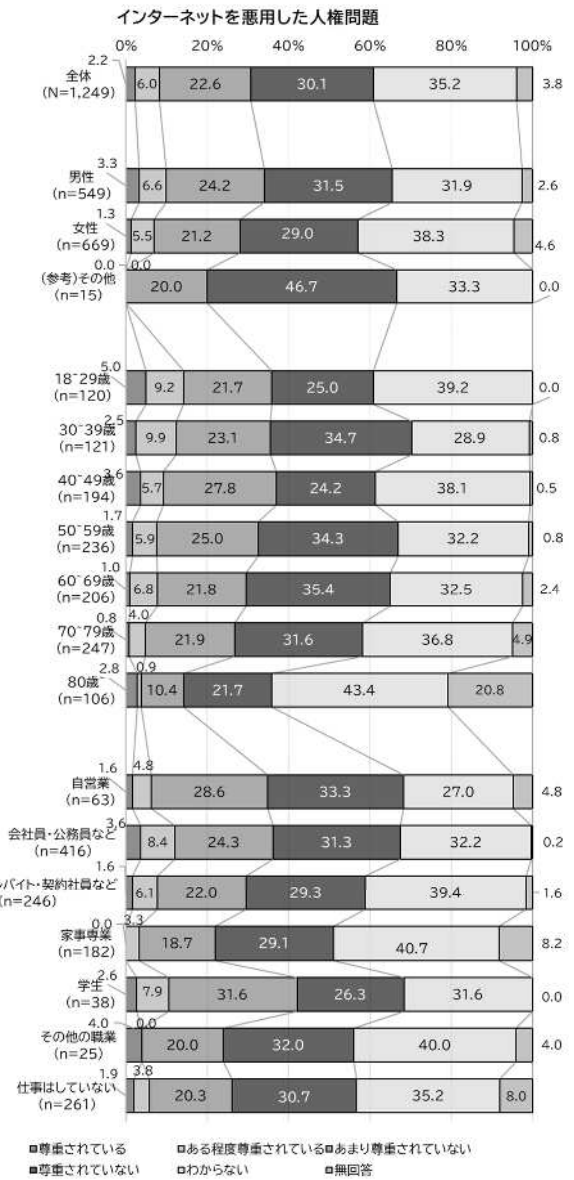
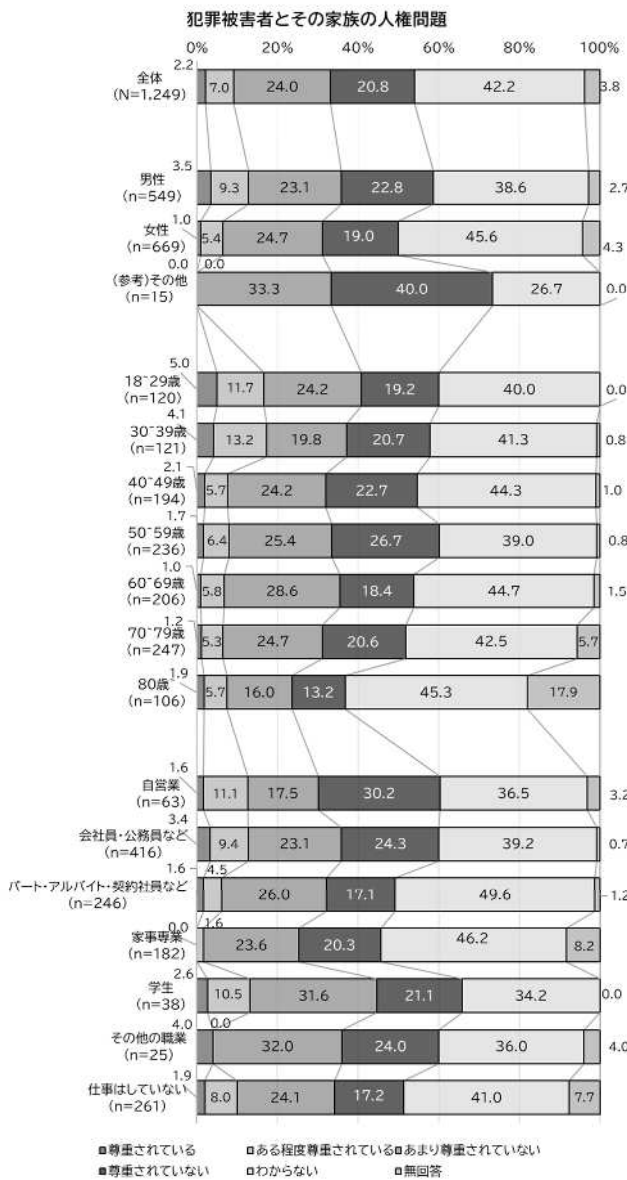


(11) 犯罪被害者とその家族の人権問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「わからない」が最も多くなっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「わからない」が最も多くなっている。

(12) インターネットを悪用した人権問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多く、『尊重』よりも『非尊重』が多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも『非尊重』が多くなっている。80歳以上では『非尊重』より「わからない」が多くなっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも『非尊重』が多くなっている。

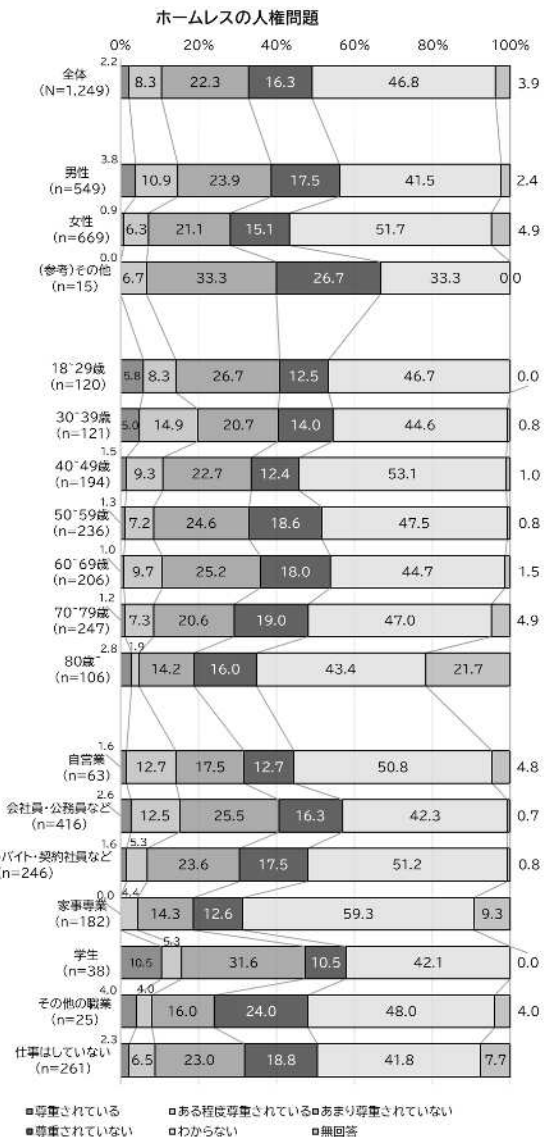
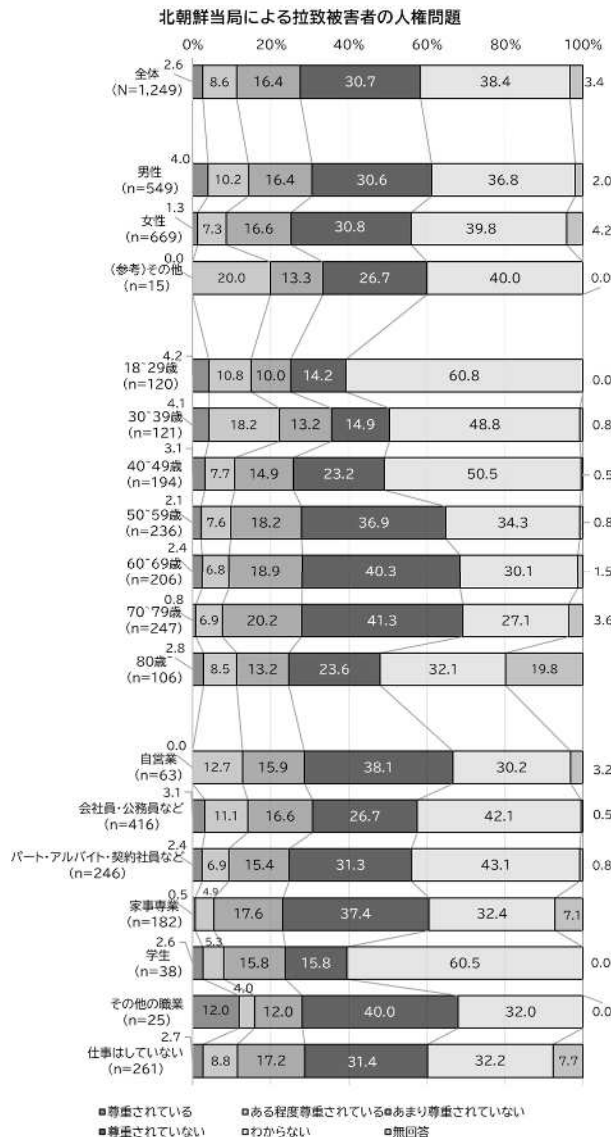


(13) 北朝鮮当局による拉致被害者の人権問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多くなっている。また、男女とも『尊重』より『非尊重』が多くなっている。
- ・年齢別では、18～29 歳から 40 代までの年代では「わからない」が多いが、50 代から 80 歳以上までの年代では『非尊重』が多くなっている。
- ・職業別では、学生を除くいずれの職業でも『非尊重』が最も多く、学生では「わからない」が最も多くなっている。

(14) ホームレスの人権問題

- ・性別では、「わからない」が最も多くなっている。また、男女とも『尊重』より『非尊重』が多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「わからない」が最も多くなっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「わからない」が最も多くなっている。また、『尊重』より『非尊重』が多くなっている。

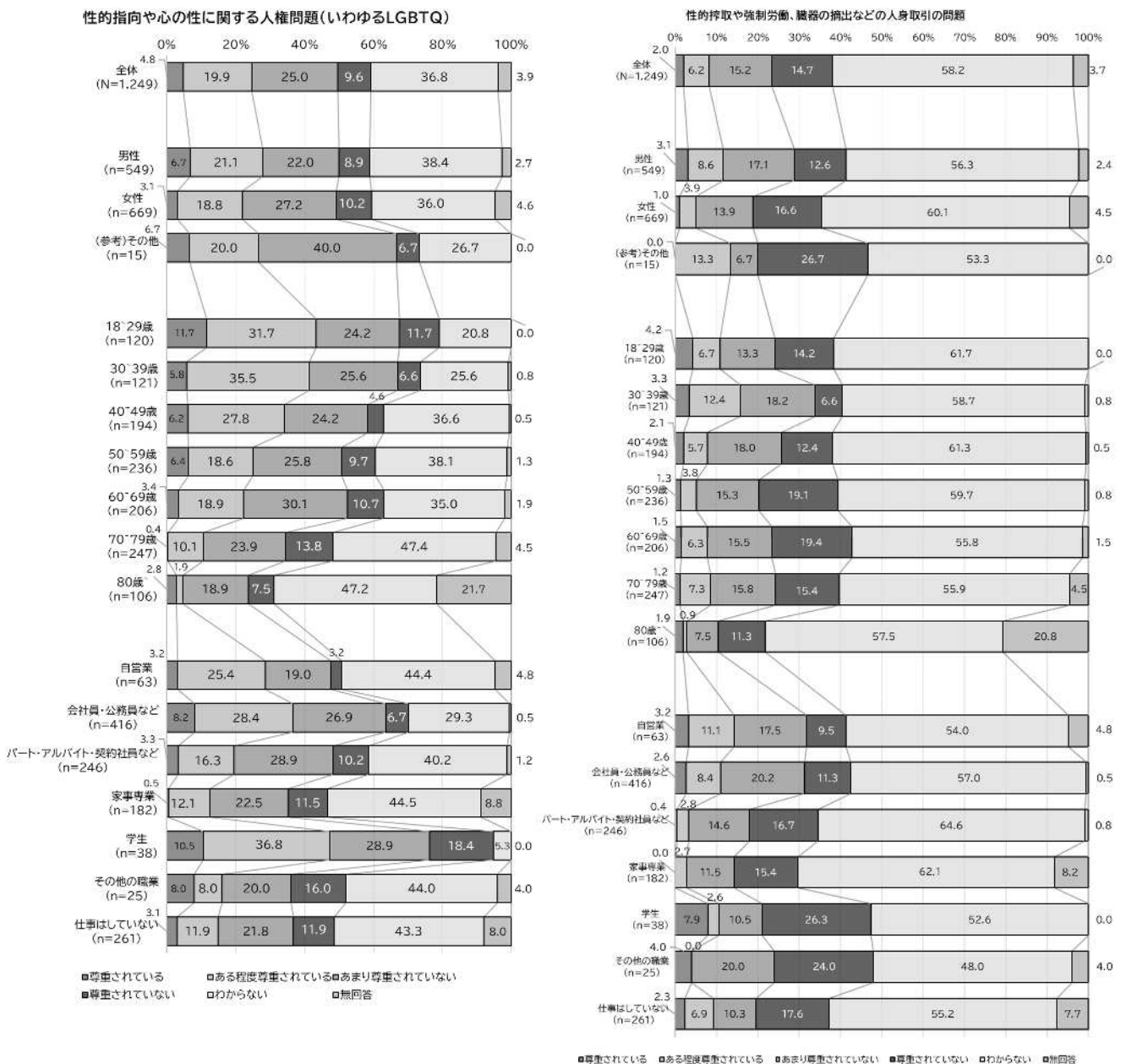


(15) 性的指向や心の性に関する人権問題（いわゆるLGBTQ）

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多くなっている。また、男女とも『尊重』より『非尊重』が多くなっている。
- ・年齢別では、年代が下がるほど『尊重』が多くなっている。
- ・職業別では、学生を除きいずれの職業でも「わからない」が最も多くなっている。

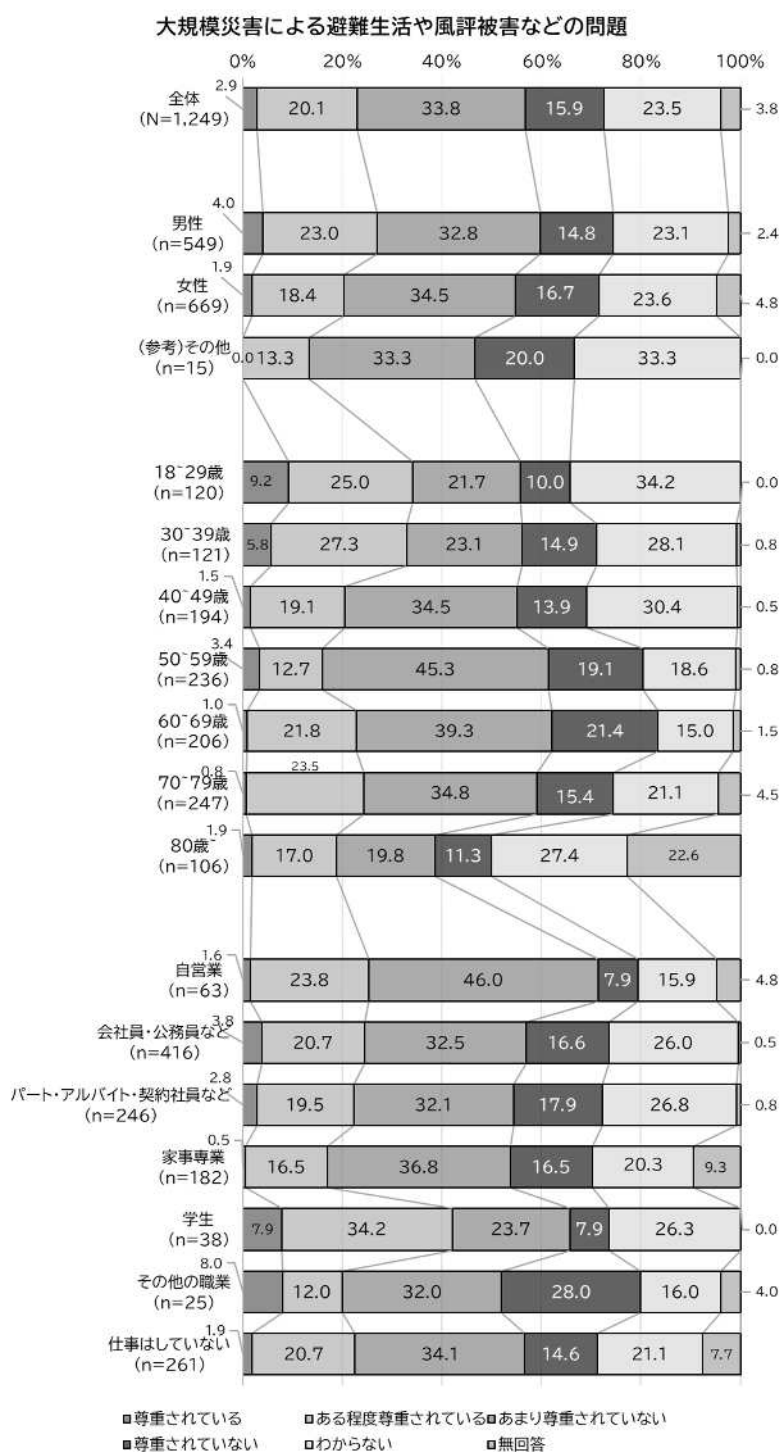
(16) 性的搾取や強制労働、臓器の摘出などの人身取引の問題

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多くなっている。また、男女とも『尊重』より『非尊重』が多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「わからない」が最も多く、『尊重』より『非尊重』が多くなっている。
- ・職業別では、いずれの職業でも「わからない」が最も多く、『尊重』より『非尊重』が多くなっている。



(17) 大規模災害による避難生活や風評被害などの問題

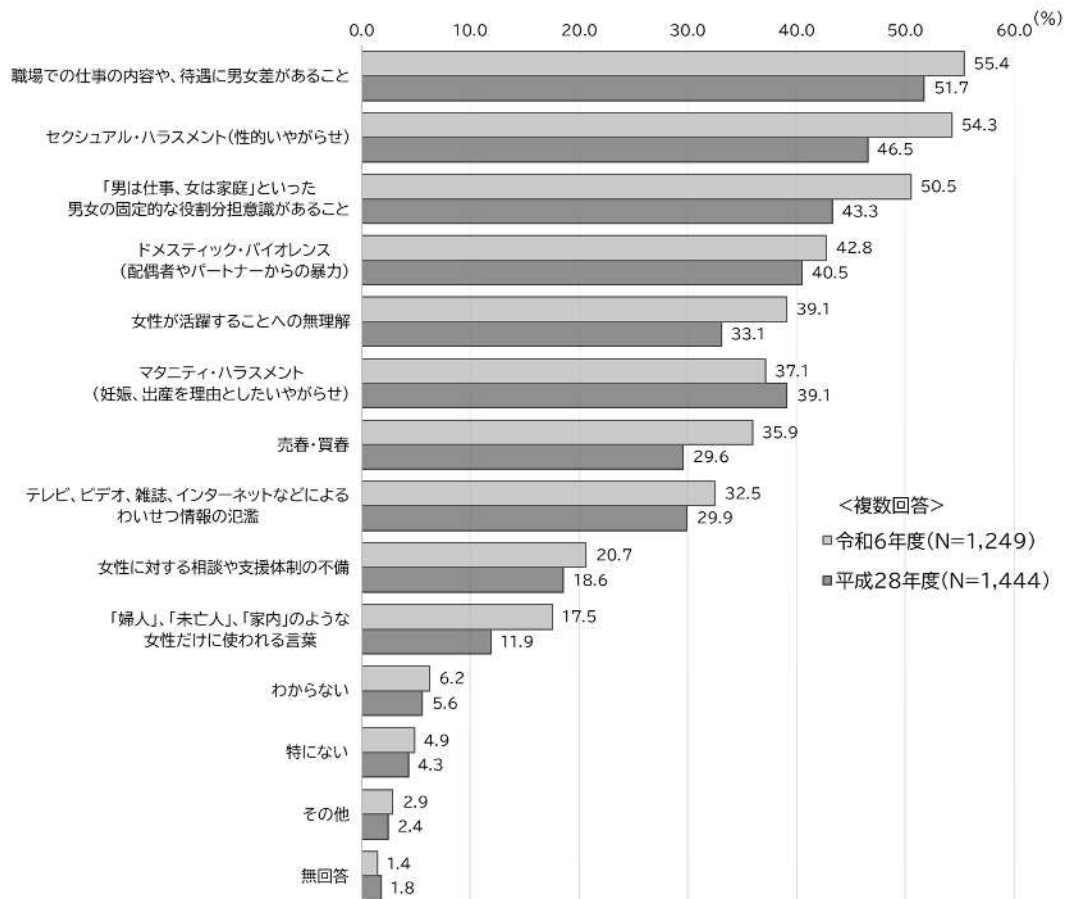
- ・性別では、男女とも『非尊重』が多くなっている。
- ・年齢別では、18～29歳、30代、80歳以上では「わからない」が、それ以外の年代では「あまり尊重されていない」が多くなっている。
- ・職業別では、学生を除き『尊重』より『非尊重』が多くなっている。



2. 女性の人権について

問 14 あなたは、女性の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

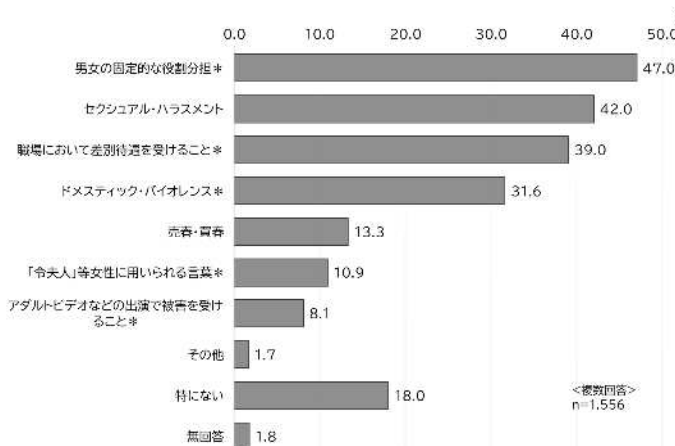
「職場での仕事の内容や、待遇に男女差があること」が最も多く 55.4%となっている。次いで「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」が 54.3%、以下「「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識があること」が 50.5%などとなっている。



<参考>内閣府「人権擁護に関する世論調査」（令和4年度）

【女性に関する人権問題】

内閣府「人権擁護に関する世論調査」（令和4年度）をみると、「男女の固定的な役割分担」が最も多く 47.0%、以下「セクシュアル・ハラスメント」（42.0%）、「職場において差別待遇を受けること」（39.0%）、「ドメスティック・バイオレンス」（31.6%）などとなっている。



* 男女の固定的な役割分担意識（「家事は女性」等）に基づく差別的取扱いを受けること

* 職場において差別待遇（女性が管理職になりにくい等）を受けること

* ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力）

* 「令夫人」、「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性に用いられる言葉が使われること

■ 性別・年齢別 女性の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男性では「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」が、女性では「職場での仕事の内容や、待遇に男女差があること」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、18～29 歳、30 代、50 代、60 代の年代では、「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」が、40 代、70 代、80 歳以上の年代では「職場での仕事の内容や、待遇に男女差があること」が最も多くなっている。また、18～29 歳、30 代では「マタニティ・ハラスメント（妊娠、出産を理由としたいやがらせ）」の数値が全体値より 10 ポイント以上高くなっている。

		合計 (人)	問14 女性の人権に関して問題だと思うこと(%)														
			分 担 意 識 が あ る こ と	「男は仕事、女は家庭」といつた男女の固定的な役割	職場での仕事の内容や、待遇に男女差があること	セクシユアル・ハラスメント（性的いやがらせ）	ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力）	売春・買春	「婦人」、「未亡人」に使われる言葉	インターネットなどによるわいせつ情報の氾濫	テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどによるわいせつ情報の氾濫	マタニティ・ハラスメント（妊娠、出産を理由としたいやがらせ）	女性に対する相談や支援体制の不備	女性が活躍することへの無理解	その他	特 に な い	わ か ら な い
	全体	1,249	50.5	55.4	54.3	42.8	35.9	17.5	32.5	37.1	20.7	39.1	2.9	4.9	6.2	1.4	
F1 性別	男性	549	42.3	52.1	53.6	37.2	34.4	15.3	25.0	32.2	18.2	35.5	2.4	5.5	8.7	1.1	
	女性	669	57.1	58.4	54.3	46.8	37.2	19.4	38.6	41.1	22.6	42.3	3.0	4.5	4.3	1.3	
	(参考)その他	15	66.7	60.0	73.3	60.0	46.7	13.3	33.3	40.0	26.7	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
F2 年齢	18～29歳	120	52.5	47.5	56.7	38.3	30.0	15.8	20.0	47.5	24.2	35.0	5.8	4.2	7.5	0.0	
	30～39歳	121	46.3	47.9	59.5	35.5	36.4	21.5	29.8	47.9	25.6	40.5	4.1	6.6	4.1	0.8	
	40～49歳	194	51.5	58.2	53.6	43.3	36.1	12.9	25.8	42.8	17.0	35.6	4.6	4.1	5.7	0.0	
	50～59歳	236	48.7	52.1	56.8	44.9	33.5	19.1	30.5	36.0	17.8	43.2	3.0	3.8	6.8	0.4	
	60～69歳	206	54.4	59.7	60.2	44.2	41.3	22.3	39.3	38.8	18.4	39.3	1.9	3.4	2.4	1.0	
	70～79歳	247	51.4	62.3	46.2	44.1	36.0	17.4	39.7	29.1	25.5	43.3	1.2	4.5	7.3	1.6	
	80歳～	106	47.2	52.8	49.1	44.3	39.6	11.3	35.8	21.7	17.9	33.0	0.9	11.3	12.3	6.6	

■ 職業別 女性の人権に関して問題だと思うこと

自営業、会社員・公務員など、学生では、「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」が、パート・アルバイト・契約社員など、家事専業、仕事はしていないでは「職場での仕事の内容や、待遇に男女差があること」が、その他の職業では「「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識があること」が最も多くなっている。

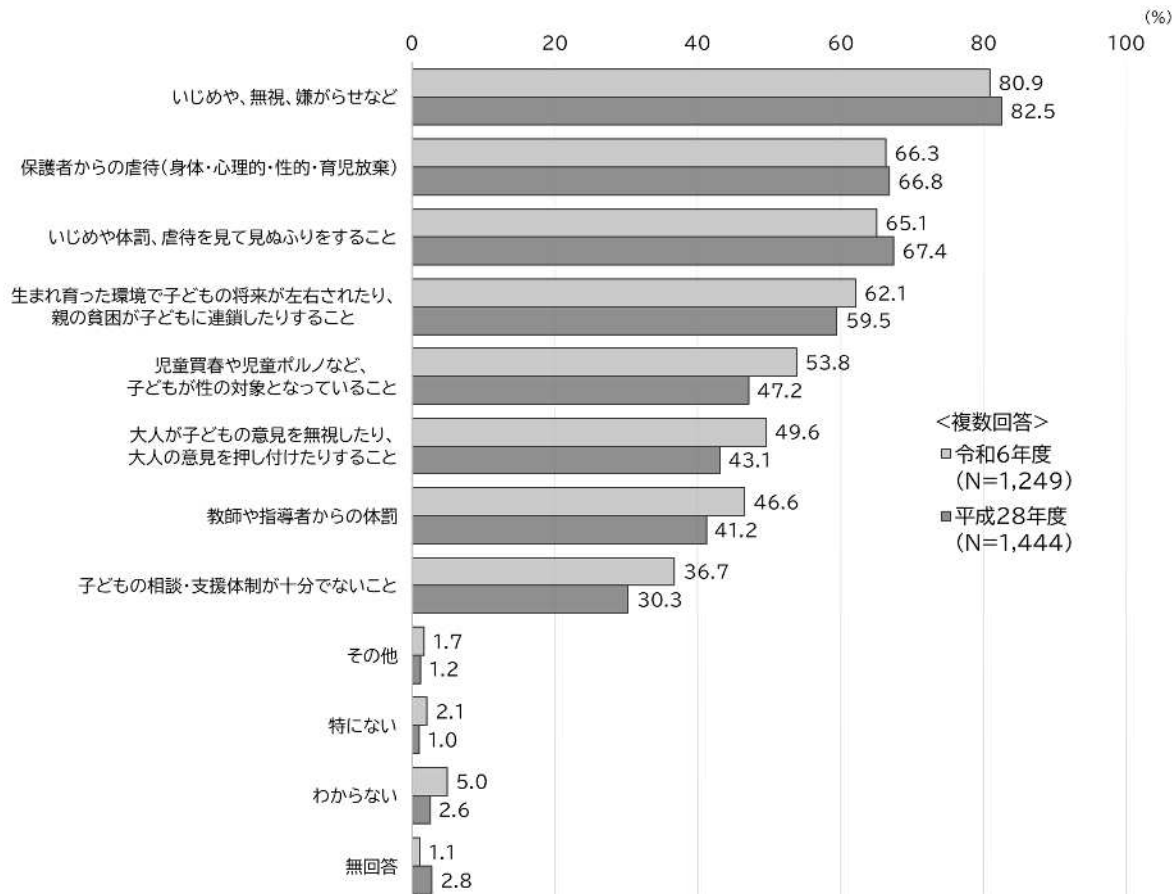
また、家事専業では「テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどによるわいせつ情報の氾濫」の、学生では「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」、「マタニティ・ハラスメント（妊娠、出産を理由としたいやがらせ）」の、その他の職業では「「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識があること」、「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」、「ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力）」などの数値が全体値より 10 ポイント以上高くなっている。

		合計 (人)	問14 女性の人権に関して問題だと思うこと(%)														
			分 担 意 識 が あ る こ と	「男は仕事、女は家庭役割」と い う 性 差 が あ る こ と	職 場 で の 仕 事 の 内 容 や、 待 遇 に 男 女 差 が あ る こ と	セ ク シ ュ ア ル ・ ハ ラ ス メ ン ト (性 的 い や が ら せ)	ド メ ス テ ィ ッ ク ・ バ イ オ レ ン ス (配 偶 者 や パ ー ト ナ ー に 対 す る 暴 力)	売 春 ・ 買 春	「 婦 人 」 ・ 「 未 亡 人 」 に 使 わ れ る 言 葉	い せ つ 情 報 の 氾 濫	テ レ ビ ・ ビ デ オ ・ 雑 誌 ・ イ ン タ ー ネ ッ ト な ど に よ る わ い せ つ 情 報 の 氾 濫	マ タ ニ テ ィ ・ ハ ラ ス メ ン ト (妊 娠 ・ 出 産 を 理 由 と し た い や が ら せ)	性 性 に 対 す る 相 談 や 支 援 体 制 の 不 備	理 解 性 性 が 活 躍 す る こ と へ の 無 理 解	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い
	全体	1,249	50.5	55.4	54.3	42.8	35.9	17.5	32.5	37.1	20.7	39.1	2.9	4.9	6.2	1.4	
F3 職業	自営業	63	41.3	54.0	58.7	46.0	34.9	15.9	28.6	28.6	15.9	33.3	4.8	1.6	6.3	1.6	
	会社員・公務員など	416	47.1	52.6	53.8	34.4	32.0	15.4	23.8	40.1	16.6	37.3	3.8	6.0	5.8	0.0	
	パート・アルバイト・ 契約社員など	246	54.5	58.1	54.9	45.1	39.8	19.9	37.4	39.0	22.8	43.5	2.0	3.7	4.1	1.2	
	家事専業	182	55.5	62.6	56.0	52.2	41.2	20.3	45.1	41.8	23.6	40.1	2.2	3.3	4.9	2.2	
	学生	38	55.3	55.3	68.4	47.4	31.6	13.2	18.4	57.9	23.7	42.1	5.3	2.6	2.6	0.0	
	その他の職業	25	76.0	64.0	68.0	60.0	40.0	28.0	32.0	52.0	28.0	52.0	0.0	4.0	8.0	0.0	
	仕事はしていない	261	48.3	53.3	48.3	43.7	36.4	16.9	36.0	25.3	23.4	38.7	2.3	6.5	10.3	2.7	

3. 子どもの人権について

問 15 あなたは、子どもの人権に関することで、どのようなことが問題だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

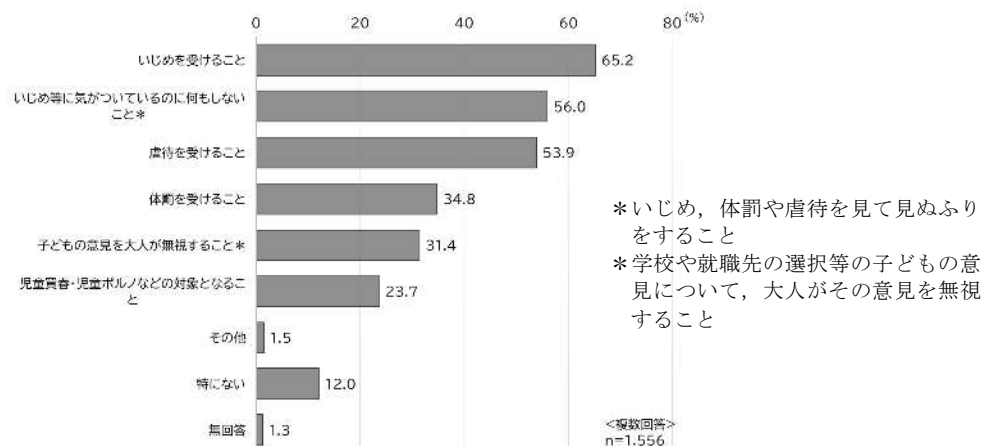
「いじめや、無視、嫌がらせなど」（80.9%）が最も多くなっている。次いで「保護者からの虐待（身体・心理的・性的・育児放棄）」（66.3%）、「いじめや体罰、虐待を見て見ぬふりをする事」（65.1%）、「生まれ育った環境で子どもの将来が左右されたり、親の貧困が子どもに連鎖したりすること」（62.1%）などとなっている。



<参考>内閣府「人権擁護に関する世論調査」（令和4年度）

【子どもに関する人権問題】

内閣府「人権擁護に関する世論調査」（令和4年度）をみると、「いじめを受けること」が最も多く 65.2%、以下「いじめ等に気がついているのに何もしないこと」（56.0%）、「虐待を受けること」（53.9%）、「体罰を受けること」（34.8%）などとなっている。



■ 性別・年齢別 子どもの人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「いじめや、無視、嫌がらせなど」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「いじめや、無視、嫌がらせなど」が最も多くなっており、80歳以上の年代で「保護者からの虐待（身体・心理的・性的・育児放棄）」、「いじめや体罰、虐待を見て見ぬふりをする事」、「生まれ育った環境で子どもの将来が左右されたり、親の貧困が子どもに連鎖したりすること」について全体値と比べ10ポイント以上の差がある。

		合計 (人)	問15 子どもの人権に関して問題だと思うこと(%)											
			いじめや、無視、嫌がらせなど	教師や指導者からの体罰	保護者からの虐待（身体・心理的・性的・育児放棄）	いじめや体罰、虐待を見て見ぬふりをする	大人が子どもの意見を無視したり、大人の意見を押し付けること	児童買春や児童ポルノなど、子どもが性的対象となっていること	将来子どもが育った環境で子どもの困りが左右されたり、親の貧困が連鎖したりする	子どもの相談・支援体制が十分でないこと	その他	特にない	わからない	無回答
	全体	1,249	80.9	46.6	66.3	65.1	49.6	53.8	62.1	36.7	1.7	2.1	5.0	1.1
F1 性別	男性	549	77.0	42.6	61.6	60.1	43.9	46.6	57.7	31.7	1.8	2.2	6.9	0.9
	女性	669	84.2	49.8	70.6	69.1	54.3	59.8	66.1	40.8	1.5	1.8	3.6	0.9
	(参考)その他	15	80.0	53.3	66.7	86.7	66.7	66.7	66.7	46.7	6.7	0.0	0.0	0.0
F2 年齢	18～29歳	120	72.5	53.3	64.2	58.3	55.0	43.3	60.0	40.0	0.8	2.5	6.7	0.0
	30～39歳	121	83.5	43.0	67.8	62.0	57.9	55.4	58.7	34.7	1.7	0.8	5.0	0.8
	40～49歳	194	77.8	41.8	65.5	62.4	51.5	53.6	64.9	35.1	3.1	2.6	4.1	0.0
	50～59歳	236	82.2	43.2	68.2	66.9	44.1	61.0	65.3	33.1	1.7	0.8	5.5	0.4
	60～69歳	206	88.8	50.0	74.8	69.9	48.5	56.3	68.4	38.3	0.5	1.0	2.4	1.0
	70～79歳	247	82.2	50.6	65.2	71.7	50.2	54.7	60.7	39.7	0.8	2.0	5.3	1.6
	80歳～	106	72.6	44.3	53.8	54.7	46.2	44.3	50.0	37.7	4.7	5.7	8.5	2.8

■ 職業別 子どもの人権に関して問題だと思うこと

学生では「保護者からの虐待（身体・心理的・性的・育児放棄）」が、それ以外の職業では「いじめや、無視、嫌がらせなど」が最も多くなっている。

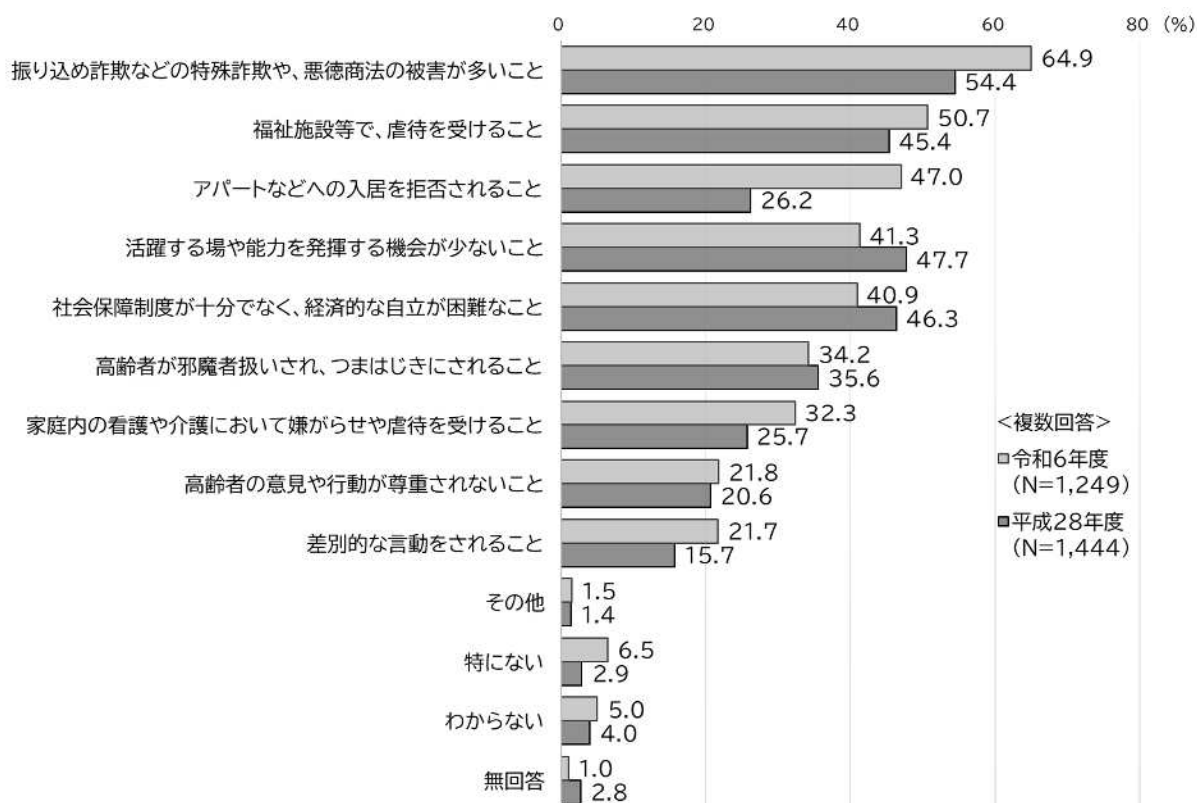
また、学生では「教師や指導者からの体罰」、「保護者からの虐待（身体・心理的・性的・育児放棄）」などの、その他の職業では「保護者からの虐待（身体・心理的・性的・育児放棄）」、「いじめや体罰、虐待を見て見ぬふりをする事」などの数値が全体値より10ポイント以上高くなっている。

		合計 (人)	問15 子どもの人権に関して問題だと思うこと(%)											
			いじめや、無視、嫌がらせなど	教師や指導者からの体罰	保護者からの虐待（身体・心理的・性的・育児放棄）	いじめや体罰、虐待を見て見ぬふりをする	大人が子どもの意見を無視したり、大人の意見を押し付けたりすること	子どもが性的対象となっていること	児童買春や児童ポルノなど、子どもが性的虐待を受けること	生まれ育った環境で子どもの将来が左右されたり、親の貧困が子どもに連鎖したりすること	子どもの相談・支援体制が十分でないこと	その他	特にない	わからない
	全体	1,249	80.9	46.6	66.3	65.1	49.6	53.8	62.1	36.7	1.7	2.1	5.0	1.1
F3 職業	自営業	63	76.2	31.7	58.7	65.1	46.0	49.2	69.8	25.4	0.0	1.6	7.9	1.6
	会社員・公務員など	416	79.6	41.8	67.3	62.3	45.0	50.7	61.1	32.2	2.2	1.4	5.0	0.0
	パート・アルバイト・契約社員など	246	85.8	50.8	69.1	68.7	57.3	58.1	69.9	38.6	0.0	2.0	3.7	1.2
	家事専業	182	90.1	52.7	66.5	71.4	54.9	61.5	58.2	44.5	3.3	1.1	3.8	1.6
	学生	38	65.8	60.5	78.9	68.4	60.5	47.4	68.4	36.8	0.0	2.6	2.6	0.0
	その他の職業	25	88.0	44.0	80.0	76.0	64.0	64.0	64.0	36.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	仕事はしていない	261	74.7	47.5	61.3	61.3	44.8	51.3	57.5	39.8	2.3	3.4	7.3	1.5

4. 高齢者の人権について

問 16 あなたは、高齢者の人権に関することで、どのようなことが問題だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

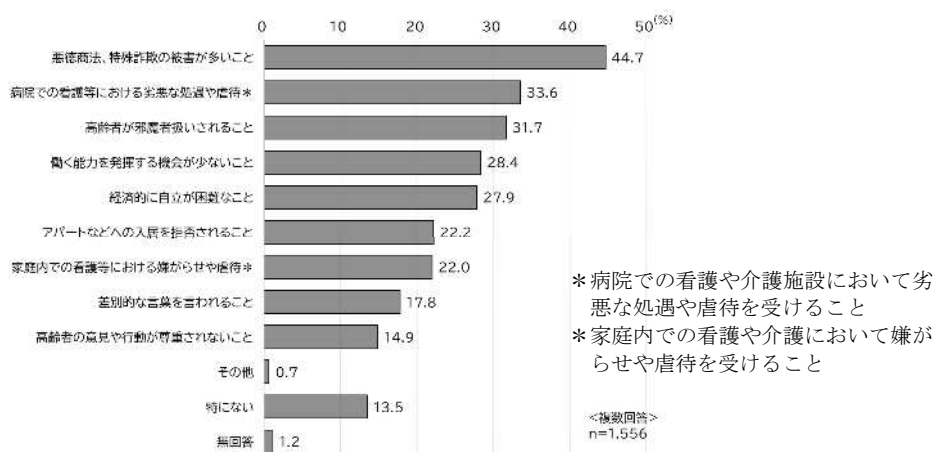
「振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと」(64.9%)が最も多くなっている。次いで「福祉施設等で、虐待を受けること」(50.7%)、「アパートなどへの入居を拒否されること」(47.0%)などとなっている。



<参考>内閣府「人権擁護に関する世論調査」(令和4年度)

【高齢者に関する人権問題】

内閣府「人権擁護に関する世論調査」(令和4年度)をみると、「悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと」が最も多く 44.7%、次いで「病院での看護等における劣悪な処遇や虐待」(33.6%)、「高齢者が邪魔者扱いされること」(31.7%)、「働く能力を発揮する機会が少ないこと」(28.4%)、「経済的に自立が困難なこと」(27.9%)などとなっている。



■ 性別・年齢別 高齢者の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと」が最も多くなっている。全体値と比べ10ポイント以上の差がある項目が多くなっている。

		合計 (人)	問16 高齢者の人権に関して問題だと思うこと(%)													
			が活躍する場や能力を発揮する機会が少ないこと	差別的な言動をされること	振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと	アパートなどへの入居を拒否されること	家庭内の看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること	福祉施設等で、虐待を受けること	高齢者が邪魔者扱いされ、つまはじきにされること	高齢者の意見や行動が尊重されないこと	社会的な自立が困難なこと	その他	特にない	わからない	無回答	
	全体	1,249	41.3	21.7	64.9	47.0	32.3	50.7	34.2	21.8	40.9	1.5	6.5	5.0	1.0	
F1 性別	男性	549	43.0	18.2	58.5	41.9	27.9	44.4	33.0	20.8	40.8	1.3	7.8	5.3	0.7	
	女性	669	40.2	24.4	70.9	51.1	35.6	55.8	35.0	22.4	41.1	1.5	4.9	5.1	0.9	
	(参考)その他	15	26.7	46.7	53.3	46.7	53.3	66.7	33.3	20.0	33.3	13.3	20.0	0.0	0.0	
F2 年齢	18～29歳	120	21.7	19.2	46.7	28.3	33.3	43.3	32.5	12.5	25.0	2.5	19.2	12.5	0.0	
	30～39歳	121	36.4	11.6	55.4	32.2	27.3	51.2	24.0	12.4	24.0	1.7	12.4	8.3	0.0	
	40～49歳	194	37.6	24.7	57.7	44.3	34.5	49.0	38.7	19.6	31.4	2.1	6.2	8.2	0.0	
	50～59歳	236	48.7	25.8	68.6	56.8	38.1	56.4	40.7	23.3	46.6	0.4	2.1	3.4	0.4	
	60～69歳	206	51.5	24.8	74.8	58.7	30.1	53.9	31.6	22.3	54.4	1.0	1.0	1.9	1.5	
	70～79歳	247	43.3	21.9	74.1	50.6	33.2	56.7	31.6	29.1	50.6	1.6	4.0	1.6	1.2	
	80歳～	106	35.8	17.9	63.2	36.8	23.6	31.1	34.9	22.6	33.0	2.8	11.3	5.7	2.8	

■ 職業別 高齢者の人権に関して問題だと思うこと

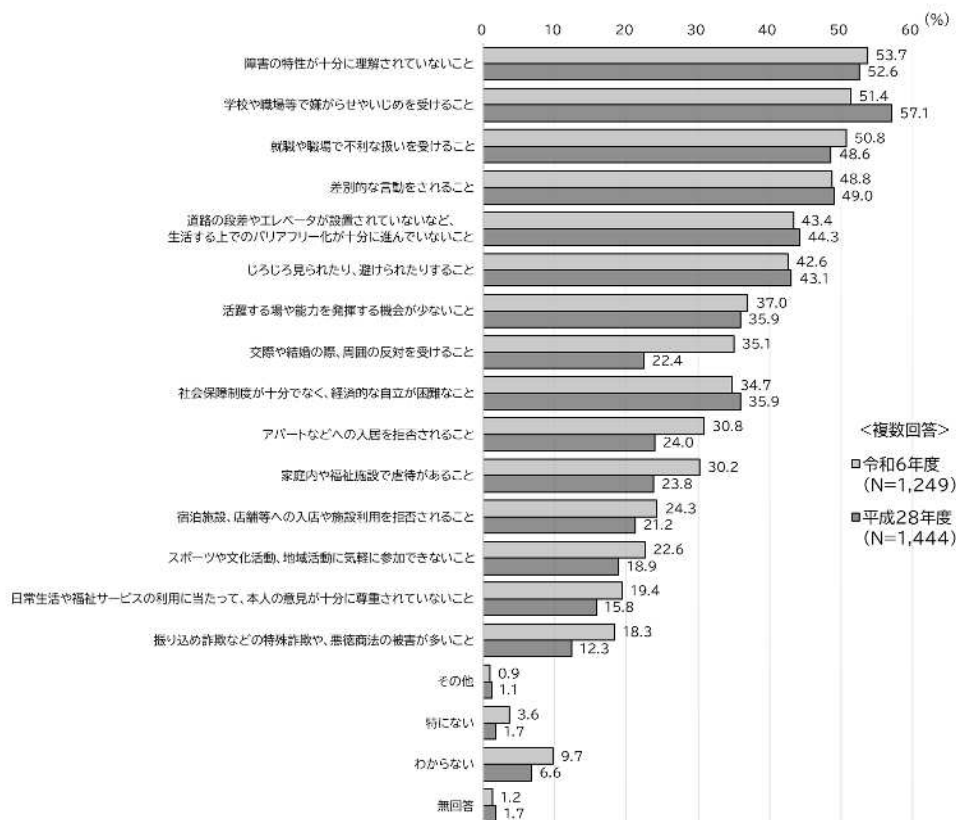
いずれの職業でも「振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問16 高齢者の人権に関して問題だと思うこと(%)														
			が活躍する場や能力を発揮する機会が少ないこと	差別的な言動をされること	悪徳商法の被害が多いこと	振り込み詐欺などの特殊詐欺や、	アパートなどへの入居を拒否されること	家庭内の看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること	福祉施設等で、虐待を受けること	高齢者が邪魔者扱いされ、つまはじきにされること	高齢者の意見や行動が尊重されないこと	社会的自立が困難なこと	その他	特にない	わからない	無回答	
	全体	1,249	41.3	21.7	64.9	47.0	32.3	50.7	34.2	21.8	40.9	1.5	6.5	5.0	1.0		
F3 職業	自営業	63	36.5	7.9	73.0	54.0	38.1	55.6	30.2	15.9	39.7	1.6	4.8	4.8	0.0		
	会社員・公務員など	416	40.9	20.0	56.7	38.0	28.4	46.4	32.2	17.5	33.7	1.7	8.4	6.0	0.0		
	パート・アルバイト・契約社員など	246	43.9	28.0	68.3	57.7	35.8	54.9	34.1	20.3	47.2	1.6	5.7	4.9	1.2		
	家事専業	182	40.1	19.2	75.8	49.5	34.1	58.2	35.2	25.8	42.9	2.2	2.7	3.3	1.6		
	学生	38	23.7	15.8	47.4	31.6	36.8	44.7	34.2	10.5	26.3	0.0	15.8	13.2	0.0		
	その他の職業	25	40.0	32.0	68.0	64.0	48.0	56.0	56.0	40.0	40.0	0.0	12.0	4.0	0.0		
	仕事はしていない	261	44.1	24.5	69.0	48.3	30.3	47.9	34.5	28.0	47.9	1.1	5.0	4.2	1.5		

5. 障害のある人の人権について

問 17 あなたは、障害のある人の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

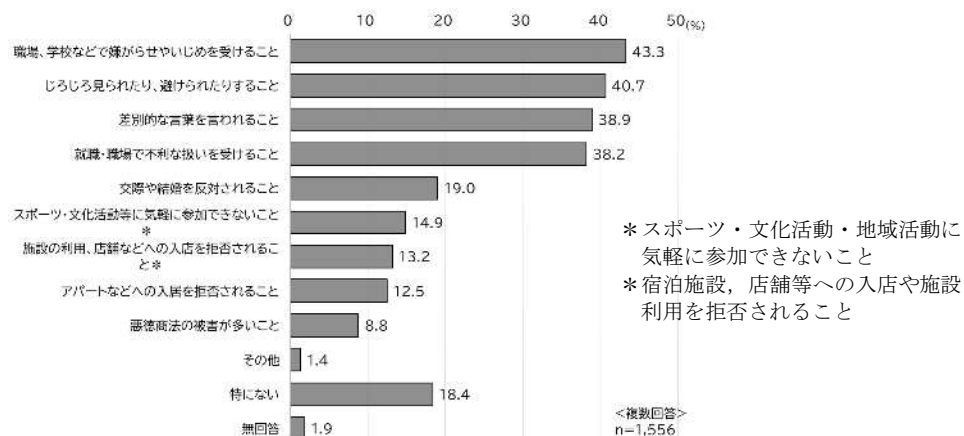
「障害の特性が十分に理解されていないこと」(53.7%)で最も多く、次いで「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」(51.4%)、「就職や職場で不利な扱いを受けること」(50.8%)、「差別的な言動をされること」(48.8%)などとなっている。



<参考>内閣府「人権擁護に関する世論調査」(令和4年度)

【障害者に関する人権問題】

内閣府「人権擁護に関する世論調査」(令和4年度)をみると、「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」が最も多く 43.3%、次いで「じろじろ見られたり避けられたりすること」が 40.7%となっている。以下「差別的な言葉を言われること」(38.9%)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(38.2%)などとなっている。



■ 性別・年齢別 障害のある人の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男性では「就職や職場で不利な扱いを受けること」(50.5%)が、女性では「障害の特性が十分に理解されていないこと」(57.0%)が最も多くなっている。
- ・年齢別では、「道路の段差やエレベータが設置されていないなど、生活する上でのバリアフリー化が十分に進んでいないこと」について、18～29歳、30代は全体値より10ポイント以上低く、60代、70代は全体値より10ポイント以上高くなっている。

		合計 (人)	問17 障害者の人権に関して問題だと思うこと(%)																		
			じ 学 校 や 職 場 等 で 嫌 が ら せ や い	を 交 際 し や 結 婚 の 際 、 周 圍 の 反 対	け 就 職 し や 職 場 で 不 利 な 扱 い を 受	差 別 的 な 言 動 を さ れ る こ と	と や 振 り 回 り の 場 合 に 不 利 な 言 動 を さ れ る こ と	ア パ ー ト な ど の 入 居 を 拒 否 さ れ る こ と	施 設 利 用 を 拒 否 さ れ る こ と	ス ポ ー ツ や 文 化 活 動 、 地 域 活 動 に 参 加 し な い	れ じ ろ ら し う 見 ら れ た り 、 避 け ら れ る こ と	機 会 が 少 な い こ と を 発 揮 す る	て 障 害 の 特 性 が 十 分 に 理 解 さ れ て い な い	家 内 や 福 祉 施 設 で 接 待 が あ る こ と	十 分 に 当 た つ て は 本 人 の 意 見 が 利 用 に 反 映 さ れ て い な い	分 る 上 で の バ リ エ ー な ア イ エ ン グ 化 が 十 分 に 進 ん で い な い	道 路 の 段 差 や エ レ ベ ー タ が 十 分 に 設 置 さ れ て い な い	経 済 的 保 障 が 十 分 に あ る こ と	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い
F1 性別	全体	1,249	51.4	35.1	50.8	48.8	18.3	30.8	24.3	22.6	42.6	37.0	53.7	30.2	19.4	43.4	34.7	0.9	3.6	9.7	1.2
	男性	549	47.7	34.2	50.5	43.7	15.5	29.5	23.7	22.6	37.7	36.1	50.3	25.5	18.8	38.1	32.8	0.9	4.6	10.7	0.7
	女性	669	53.8	35.6	51.0	52.5	20.3	31.1	24.5	22.1	46.8	38.0	57.0	33.3	19.6	48.1	36.3	0.6	2.8	9.1	1.2
	(参考)その他	15	73.3	46.7	66.7	73.3	33.3	53.3	40.0	40.0	53.3	40.0	46.7	60.0	40.0	46.7	46.7	13.3	0.0	6.7	0.0
F2 年齢	18～29歳	120	52.5	36.7	51.7	60.8	10.8	25.0	23.3	20.0	40.8	30.0	52.5	33.3	17.5	30.0	25.8	1.7	4.2	10.0	0.0
	30～39歳	121	57.0	31.4	47.1	47.9	15.7	16.5	19.0	17.4	43.0	33.1	57.0	30.6	16.5	28.9	28.9	0.8	1.7	10.7	0.0
	40～49歳	194	53.1	34.5	50.0	49.5	19.6	26.8	24.2	24.7	43.8	37.6	49.5	30.4	18.6	34.5	33.5	1.0	3.1	10.3	0.0
	50～59歳	236	48.7	36.0	50.4	48.3	19.9	33.9	26.7	22.5	41.9	36.0	58.9	28.4	18.6	40.7	34.7	0.8	3.8	10.2	0.4
	60～69歳	206	50.0	32.5	51.5	51.0	17.0	33.5	23.3	21.4	48.5	42.2	58.7	29.6	24.8	56.3	41.3	0.0	3.9	6.8	1.0
	70～79歳	247	55.1	39.7	55.5	45.7	21.1	38.5	27.1	26.3	44.5	39.3	53.8	32.8	19.0	55.9	38.9	0.8	2.4	9.7	0.8
	80歳～	106	40.6	31.1	45.3	39.6	20.8	29.2	21.7	21.7	30.2	36.8	38.7	25.5	19.8	46.2	33.0	1.9	7.5	12.3	6.6

■ 職業別 障害のある人の人権に関して問題だと思うこと

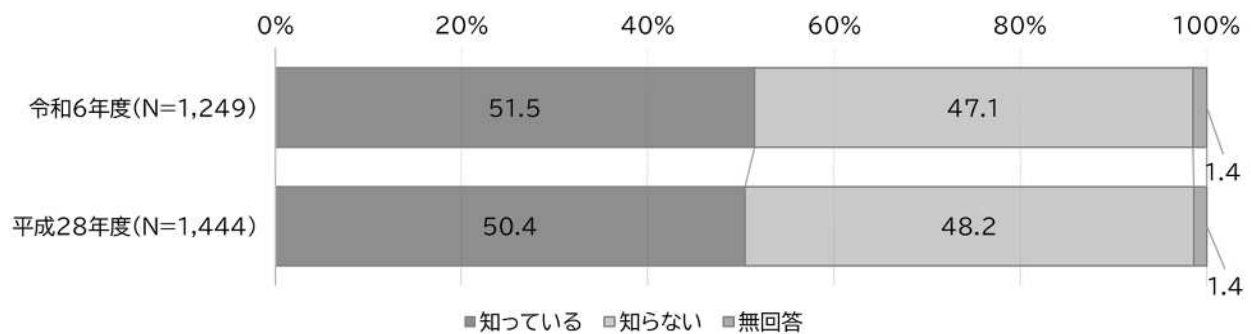
自営業、会社員・公務員など、パート・アルバイト・契約社員など、仕事はしていないで「障害の特性が十分に理解されていないこと」が、家事専業で「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」が、学生、その他の職業では「差別的な言動をされること」がそれぞれ最も多くなっている。

		合計 (人)	問17 障害者の人権に関して問題だと思うこと(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			学校や職場などで嫌がらせやいじめを受けたりすること	交際や結婚の際、周囲の反対を受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	とや振る舞い、態度などの特殊な理由で差別的な言動をされること	差別的な言動をされること	施設利用を拒否されること	施設利用を拒否されること	スポーツや文化活動、地域活動に参加できないこと	いろいろな見られ方、避けられようとすること	機会が少なく能力を発揮すること	障害の特性が十分に理解されず、偏見や差別を受けること	家庭や福祉施設で虐待があること	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと	日常生活や仕事、本人の意見が十分に尊重されていないこと

6. 同和問題（部落差別）について

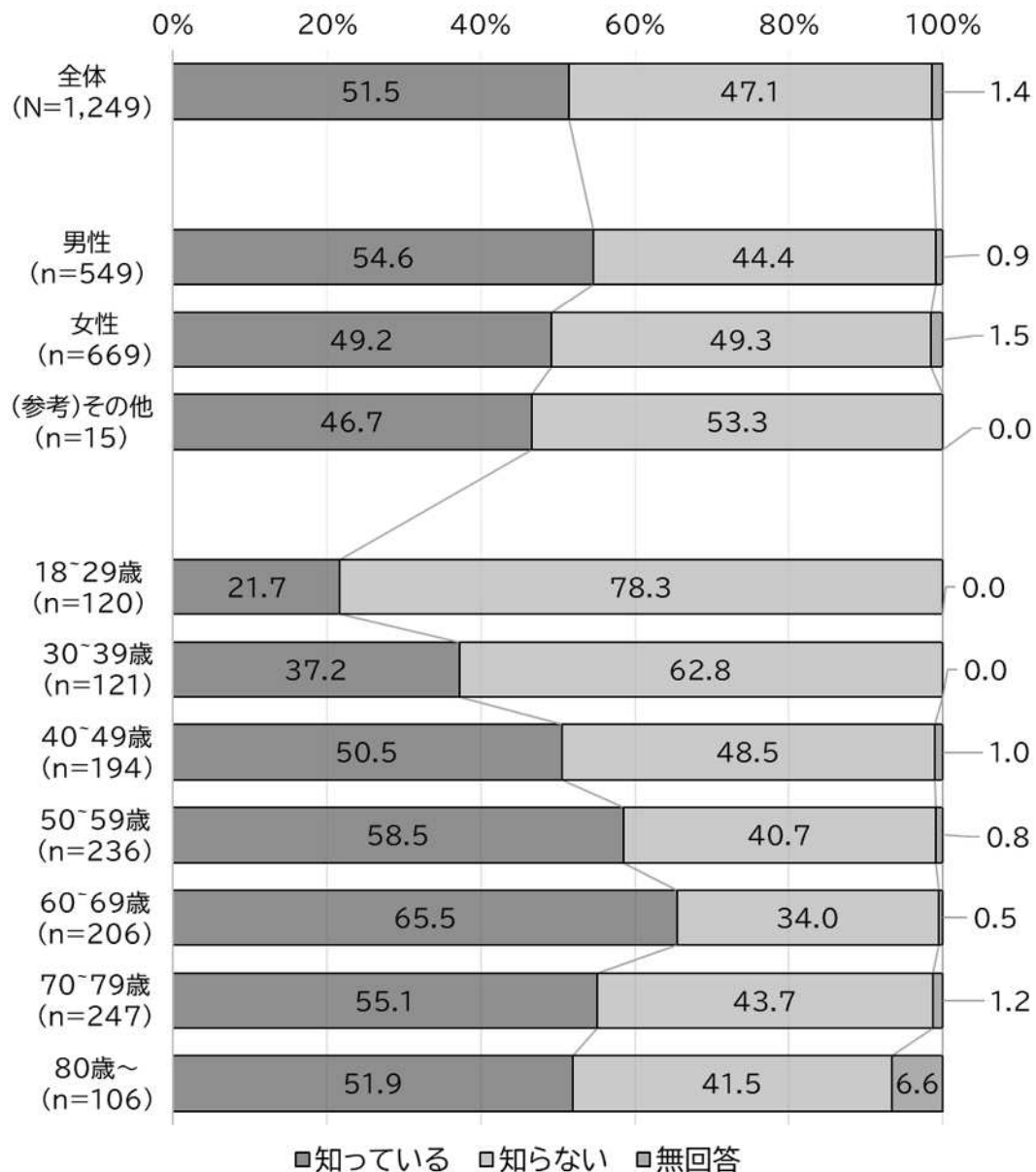
問 18 あなたは、同和問題を知っていますか。（○は1つ）

「知っている」が51.5%、「知らない」が47.1%となっている。



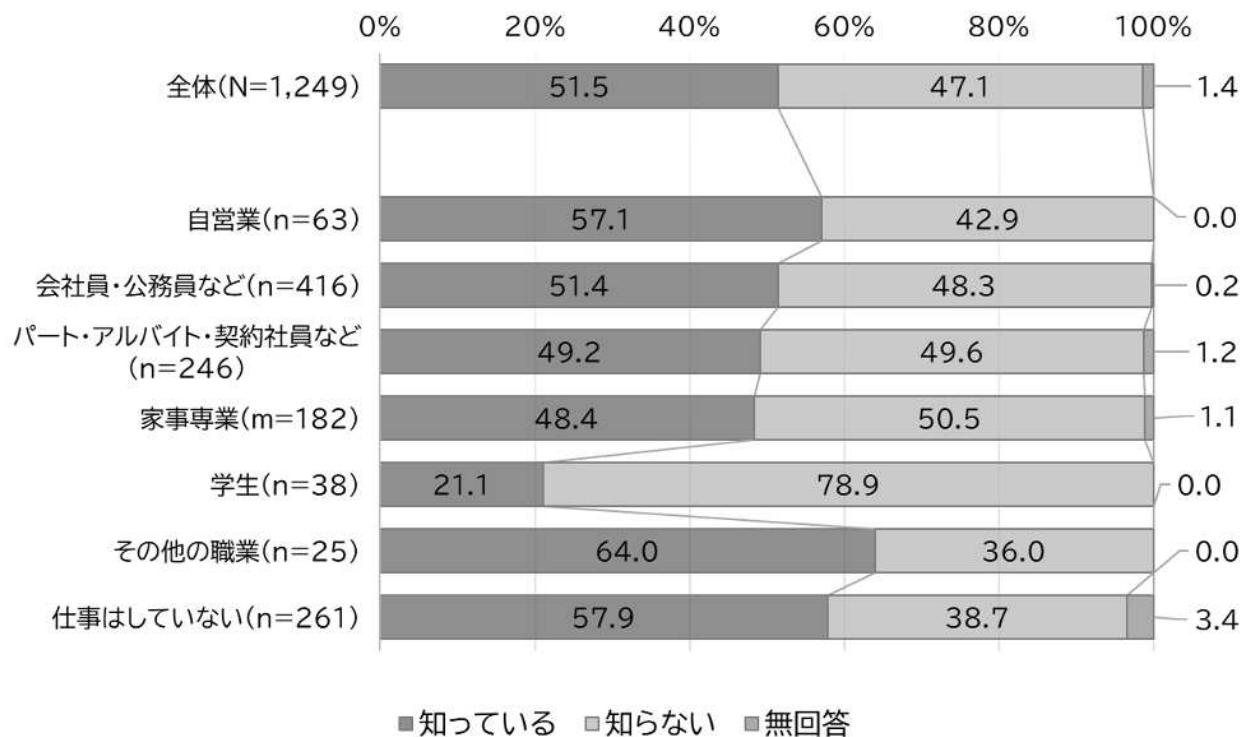
■ 性別・年齢別 同和問題の認知度

- ・性別では、男性は「知っている」が多く、女性は「知っている」と「知らない」がほぼ同率となっている。
- ・年齢別では、40代から80歳以上までの年代では「知っている」の方が、30代以下の年代では「知らない」の方が多くなっている。



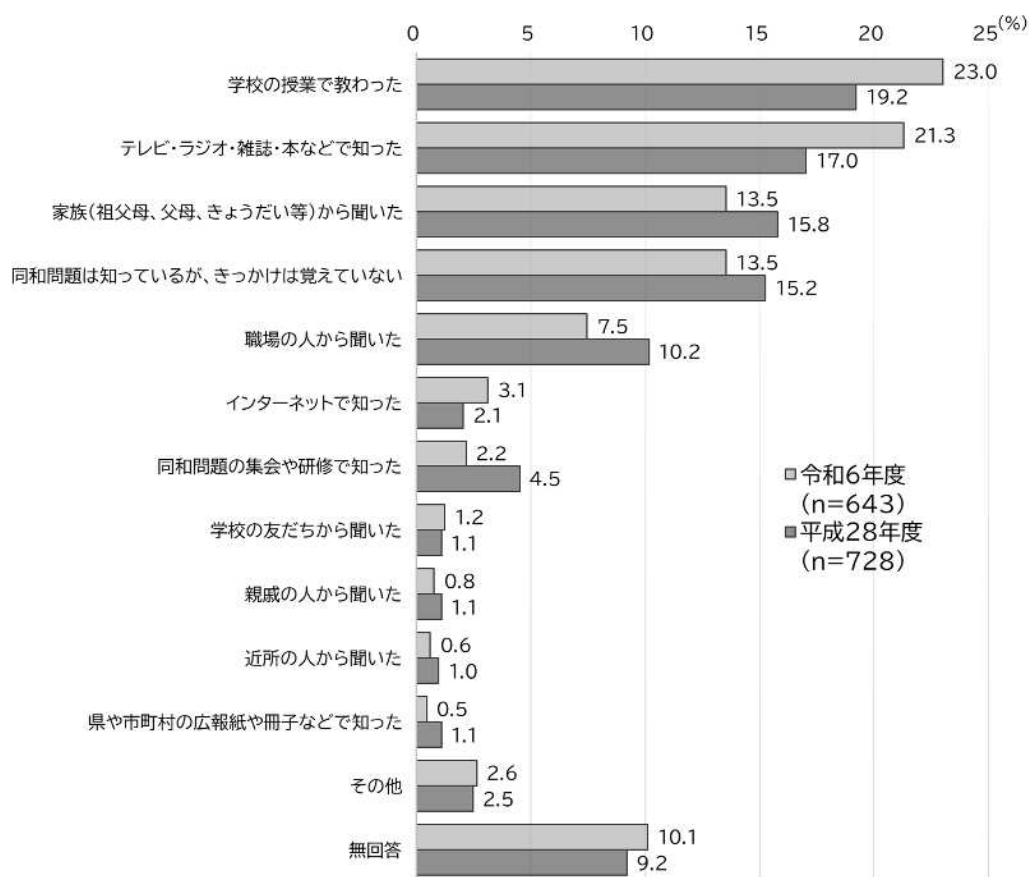
■ 職業別 同和問題の認知度

パート・アルバイト・契約社員など、家事専業、学生では「知らない」の方が、それ以外の職業では「知っている」の方が多くなっている。特に学生では「知らない」が多くなっている。



問 19 あなたが同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。(問 18 で「知っている」とお答えの方、○は 1 つ)

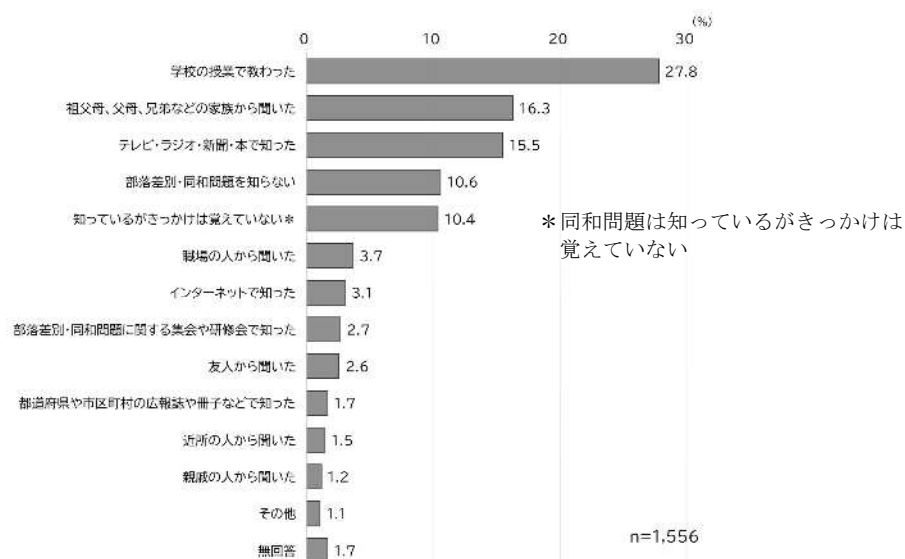
「学校の授業で教わった」(23.0%) が最も多くなっている。次いで「テレビ・ラジオ・雑誌・本などで知った」(21.3%)、「家族(祖父母、父母、きょうだい等)から聞いた」(13.5%)、「同和問題は知っているが、きっかけは覚えていない」(13.5%) などとなっている。



<参考>内閣府「人権擁護に関する世論調査」(令和4年度)

【同和問題を知ったきっかけ】

内閣府「人権擁護に関する世論調査」(令和4年度)をみると、同和問題を初めて知ったきっかけとして最も多いのは「学校の授業で教わった」(27.8%)、以下「祖父母、父母、兄弟などの家族から聞いた」(16.3%)、「テレビ・ラジオ・新聞・本で知った」(15.5%) などとなっている。



■ 性別・年齢別 同和問題について初めて知ったきっかけ

- ・性別では、男性では「テレビ・ラジオ・雑誌・本などで知った」が、女性では「学校の授業で教わった」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、50代以下の年代では「学校の授業で教わった」が、60代以上では「テレビ・ラジオ・雑誌・本などで知った」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問19 同和問題について初めて知ったきっかけ(%)													
			大家族（祖父母、父母、きょうだい等）から聞いた	親戚の人から聞いた	近所の人から聞いた	職場の人から聞いた	学校の友だちから聞いた	学校の授業で教わった	テレビ・ラジオ・雑誌・本などで知った	同和問題の集会や研修で知った						
	全体	643	13.5	0.8	0.6	7.5	1.2	23.0	21.3	2.2	0.5	3.1	13.5	2.6	10.1	
F1 性別	男性	300	9.0	0.3	0.0	11.0	1.7	18.0	22.7	4.0	1.0	4.0	14.0	3.3	11.0	
	女性	329	17.0	1.2	1.2	4.0	0.9	28.3	20.4	0.6	0.0	2.1	13.7	1.8	8.8	
	(参考)その他	7	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	
F2 年齢	18～29歳	26	19.2	0.0	0.0	3.8	0.0	46.2	7.7	0.0	0.0	11.5	7.7	3.8	0.0	
	30～39歳	45	22.2	2.2	0.0	6.7	0.0	35.6	13.3	2.2	2.2	6.7	2.2	2.2	4.4	
	40～49歳	98	14.3	0.0	1.0	3.1	1.0	38.8	23.5	1.0	0.0	6.1	3.1	0.0	8.2	
	50～59歳	138	9.4	1.4	0.0	7.2	0.7	33.3	20.3	0.7	0.7	4.3	13.8	2.2	5.8	
	60～69歳	135	13.3	1.5	0.0	12.6	3.0	15.6	21.5	2.2	0.7	0.7	19.3	2.2	7.4	
	70～79歳	136	11.0	0.0	2.2	5.9	1.5	9.6	23.5	4.4	0.0	0.7	19.9	5.9	15.4	
	80歳～	55	18.2	0.0	0.0	7.3	0.0	3.6	27.3	1.8	0.0	0.0	16.4	1.8	23.6	

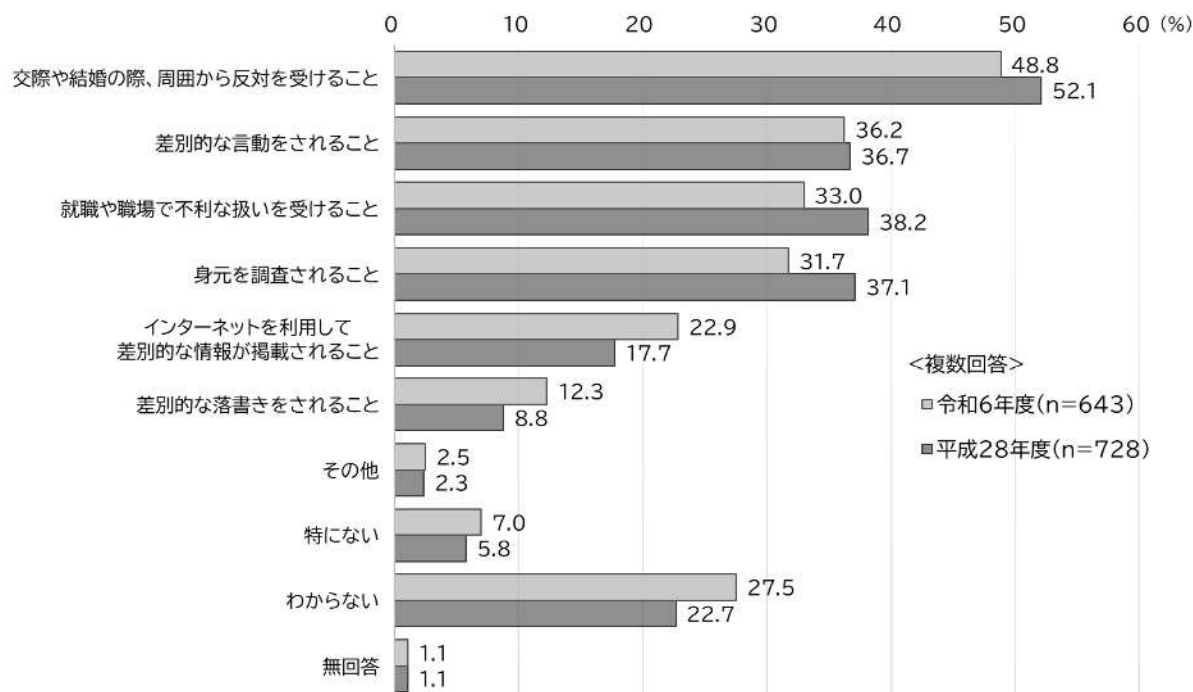
■ 職業別 同和問題について初めて知ったきっかけ

自営業、会社員・公務員など、パート・アルバイト・契約社員など、学生、その他の職業では「学校の授業で教わった」が、家事専業、仕事はしていないでは「テレビ・ラジオ・雑誌・本などで知った」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問19 同和問題について初めて知ったきっかけ(%)														
			だ い 等	親 戚 の 人 か ら 聞 い た	近 所 の 人 か ら 聞 い た	職 場 の 人 か ら 聞 い た	学 校 の 友 だ ち か ら 聞 い た	学 校 の 授 業 で 教 わ っ た	と で 知 っ た	テ レ ビ ・ ラ ジ オ ・ 雑 誌 ・ 本 な	同 和 問 題 の 集 会 や 研 修 で 知 っ た	県 や 市 町 村 の 広 報 紙 や 冊 子 な ど で 知 っ た	イ ン タ ー ネ ッ ト で 知 っ た	同 和 問 題 は 知 っ て い る が 、 き っ か け は 覚 え て い な い が 、	そ の 他	無 回 答	
	全体	643	13.5	0.8	0.6	7.5	1.2	23.0	21.3	2.2	0.5	3.1	13.5	2.6	10.1		
F3 職業	自営業	36	8.3	0.0	2.8	11.1	2.8	30.6	16.7	0.0	0.0	2.8	11.1	8.3	5.6		
	会社員・公務員など	214	10.3	1.4	0.0	8.9	1.4	32.2	20.1	2.8	1.4	5.6	8.9	0.5	6.5		
	パート・アルバイト・契約社員など	121	14.9	0.8	0.8	6.6	1.7	25.6	21.5	2.5	0.0	1.7	12.4	3.3	8.3		
	家事専業	88	19.3	1.1	2.3	2.3	1.1	14.8	23.9	1.1	0.0	2.3	19.3	1.1	11.4		
	学生	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0		
	その他の職業	16	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3	12.5	0.0	0.0	0.0	18.8	6.3	18.8		
	仕事はしていない	151	13.9	0.0	0.0	8.6	0.7	9.3	24.5	2.6	0.0	2.0	19.2	4.0	15.2		

問 20 あなたは、同和問題について、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。（問18で「知っている」とお答えの方、あてはまるものすべてに○）

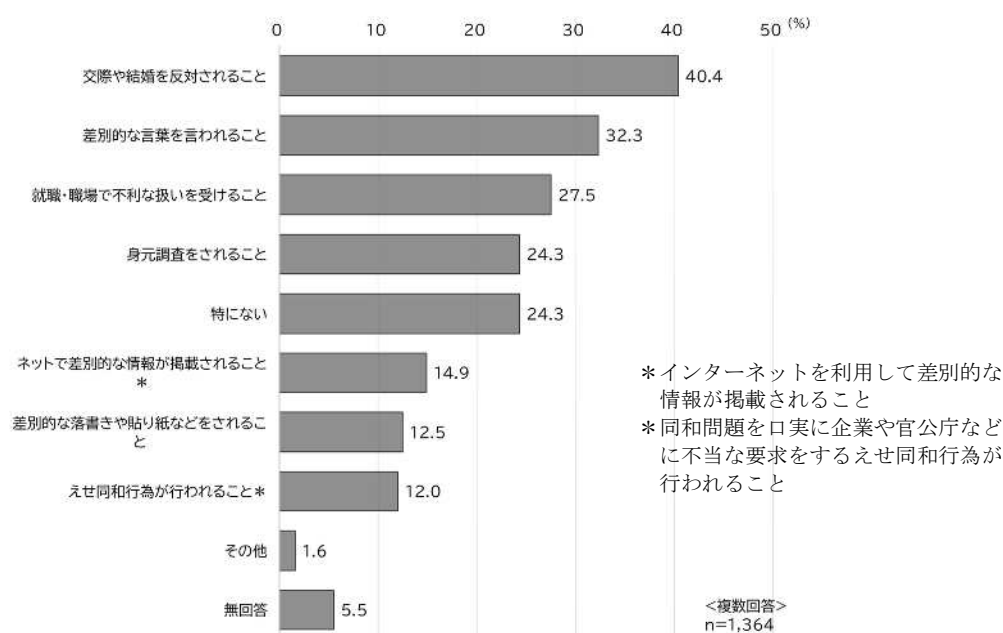
「交際や結婚の際、周囲から反対を受けること」が最も多く 48.8%となっている。次いで「差別的な言動をされること」（36.2%）、「就職や職場で不利な扱いを受けること」（33.0%）、「身元を調査されること」（31.7%）などとなっている。なお、「わからない」も 27.5%と 2 割を超えている。



<参考>内閣府「人権擁護に関する世論調査」（令和4年度）

【同和問題に関する人権問題】

内閣府「人権擁護に関する世論調査」（令和4年度）をみると、「交際や結婚を反対されること」が最も多く 40.4%となっている。次いで「差別的な言葉を言われること」が 32.3%となっている。以下「就職・職場で不利な扱いを受けること」（27.5%）、「身元調査をされること」（24.3%）などとなっている。



■ 性別・年齢別 同和問題について、現在起きていると思う人権問題

- ・性別では、男女とも「交際や結婚の際、周囲から反対を受けること」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、30代以上では「交際や結婚の際、周囲から反対を受けること」が、18～29歳では「差別的な言動をされること」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問20 同和問題について、現在起きていると思う人権問題(%)										無回答
			交際や結婚の際、周囲から反対を受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	差別的な落書きをされること	身元を調査されること	インターネットが掲載されること	その他	特にない	わからない		
	全体	643	48.8	33.0	36.2	12.3	31.7	22.9	2.5	7.0	27.5	1.1	
F1 性別	男性	300	48.7	33.3	36.3	10.3	31.3	24.7	3.0	9.3	25.3	0.7	
	女性	329	48.9	32.8	36.2	14.0	31.9	21.3	1.8	4.6	29.2	1.5	
	(参考)その他	7	85.7	57.1	57.1	28.6	71.4	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	
F2 年齢	18～29歳	26	53.8	38.5	57.7	19.2	34.6	34.6	3.8	3.8	11.5	0.0	
	30～39歳	45	46.7	15.6	40.0	24.4	33.3	26.7	6.7	8.9	22.2	0.0	
	40～49歳	98	52.0	32.7	32.7	12.2	27.6	22.4	2.0	6.1	23.5	2.0	
	50～59歳	138	51.4	37.0	37.0	13.0	38.4	26.8	4.3	8.7	26.8	0.0	
	60～69歳	135	48.1	35.6	40.0	12.6	29.6	26.7	1.5	4.4	26.7	0.0	
	70～79歳	136	47.1	33.8	30.9	11.0	31.6	17.6	0.7	6.6	33.8	2.2	
	80歳～	55	49.1	32.7	36.4	1.8	30.9	12.7	1.8	10.9	25.5	3.6	

■ 職業別 同和問題について、現在起きていると思う人権問題

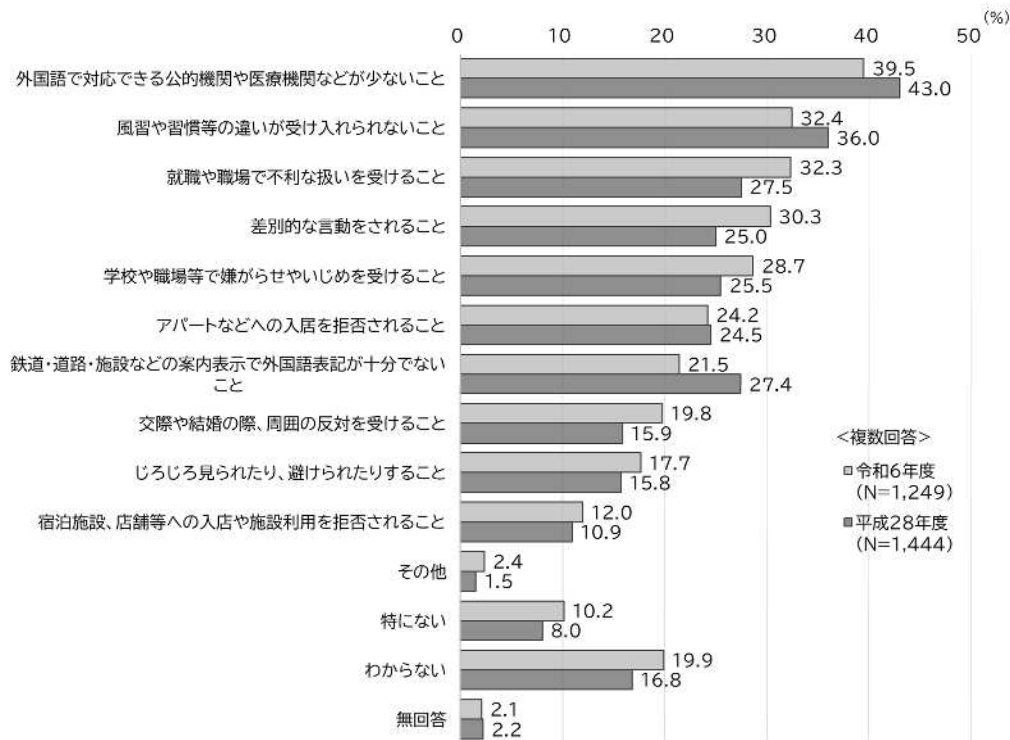
いずれの職業でも「交際や結婚の際、周囲から反対を受けること」が最も多くなっている。なお、サンプル数は少ないが、学生では「差別的な言動をされること」も同率となっている。

		合計 (人)	問20 同和問題について、現在起きていると思う人権問題(%)										
			交 際 や 結 婚 の 際 、 周 圍 か ら 反 対 を 受 け る こ と	就 職 や 職 場 で 不 利 な 扱 い を 受 け る こ と	差 別 的 な 言 動 を さ れ る こ と	差 別 的 な 落 書 き を さ れ る こ と	身 元 を 調 査 さ れ る こ と	イン ター ネ ッ ト を 利 用 し て 差 別 的 な 情 報 が 掲 載 さ れ る こ と	そ の 他	特 に ない	わ か ら ない	無 回 答	
	全体	643	48.8	33.0	36.2	12.3	31.7	22.9	2.5	7.0	27.5	1.1	
F3 職業	自営業	36	50.0	25.0	25.0	13.9	30.6	22.2	0.0	5.6	30.6	0.0	
	会社員・公務員など	214	50.0	29.4	36.9	10.7	30.4	27.1	3.3	7.5	25.7	0.5	
	パート・アルバイト・契約社員など	121	53.7	43.0	37.2	14.0	33.1	27.3	1.7	4.1	28.1	0.0	
	家事専業	88	46.6	29.5	39.8	12.5	34.1	13.6	1.1	5.7	31.8	3.4	
	学生	8	37.5	12.5	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	
	その他の職業	16	50.0	43.8	31.3	25.0	37.5	43.8	0.0	0.0	31.3	0.0	
	仕事はしていない	151	45.7	35.1	36.4	11.3	32.5	18.5	3.3	9.9	25.2	2.0	

7. 外国人の人権について

問 21 あなたは、外国人の人権に関することで、どのようなことが問題だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

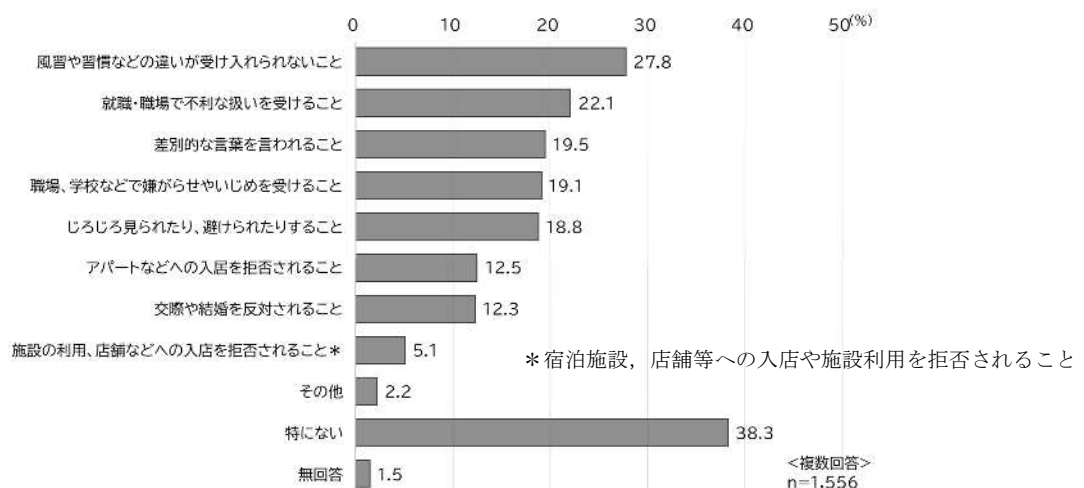
「外国語で対応できる公的機関や医療機関などが少ないこと」が 39.5%で最も多く、約4割となっている。次いで「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」が 32.4%となっている。以下「就職や職場で不利な扱いを受けること」（32.3%）、「差別的な言動をされること」（30.3%）、「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」（28.7%）、「アパートなどへの入居を拒否されること」（24.2%）、「鉄道・道路・施設などの案内表示で外国語表記が十分でないこと」（21.5%）などとなっている。



<参考>内閣府「人権擁護に関する世論調査」（令和4年度）

【外国人に関する人権問題】

内閣府「人権擁護に関する世論調査」（令和4年度）をみると、「特にない」を除くと「風習や習慣の違いが受け入れられないこと」が 27.8%で最も多くなっている。次いで「就職・職場で不利な扱いを受けること」（22.1%）、「差別的な言葉を言われること」（19.5%）などとなっている。



■ 性別・年齢別 外国人の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「外国語で対応できる公的機関や医療機関などが少ないこと」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、18～29 歳、30 代では「差別的な言動をされること」が、40 代以上の世代では「外国語で対応できる公的機関や医療機関などが少ないこと」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問21 外国人の人権に関して問題だと思うこと(%)														
			学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること	交際や結婚の際、周囲の反対を受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否されること	施設利用を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	風習や習慣等の違いが受け入れられないこと	じろじろ見られたり、避けられたりする こと</th <th>外国語で対応できる公的機関や医療機関などが少ないこと</th> <th>鉄道・道路・施設などの案内表示で外国語表記が十分でないこと</th> <th>その他</th> <th>特 に ない</th> <th>わ か ら な い</th> <th>無 回 答</th>	外国語で対応できる公的機関や医療機関などが少ないこと	鉄道・道路・施設などの案内表示で外国語表記が十分でないこと	その他	特 に ない	わ か ら な い	無 回 答
	全体	1,249	28.7	19.8	32.3	30.3	24.2	12.0	32.4	17.7	39.5	21.5	2.4	10.2	19.9	2.1	
F1 性別	男性	549	26.0	18.0	29.9	26.6	21.9	10.2	31.5	16.6	37.7	19.9	3.3	12.0	19.5	1.3	
	女性	669	30.5	21.2	34.2	33.3	25.9	13.0	33.5	18.7	41.3	23.3	1.5	8.5	20.3	2.4	
	(参考)その他	15	40.0	33.3	40.0	46.7	26.7	26.7	26.7	26.7	46.7	20.0	13.3	6.7	20.0	0.0	
F2 年齢	18～29歳	120	30.0	18.3	28.3	42.5	24.2	12.5	35.0	23.3	33.3	10.0	2.5	15.8	10.8	0.0	
	30～39歳	121	28.9	22.3	27.3	41.3	21.5	13.2	33.1	14.9	38.8	16.5	0.8	10.7	11.6	0.8	
	40～49歳	194	33.0	17.0	33.5	30.4	20.6	13.9	28.4	18.6	34.5	19.6	3.1	8.8	19.6	1.5	
	50～59歳	236	29.7	17.4	33.9	30.5	25.8	11.9	35.6	19.5	42.8	24.2	3.4	10.2	16.9	0.8	
	60～69歳	206	27.7	22.8	34.0	30.6	30.6	12.1	35.4	18.9	44.7	24.3	1.5	9.7	18.9	1.5	
	70～79歳	247	26.7	21.9	33.6	25.5	21.5	10.5	31.6	15.0	42.9	25.1	2.8	6.5	30.0	2.4	
	80歳～	106	23.6	19.8	31.1	17.0	22.6	9.4	26.4	15.1	34.9	27.4	1.9	14.2	25.5	7.5	

■ 職業別 外国人の人権に関して問題だと思うこと

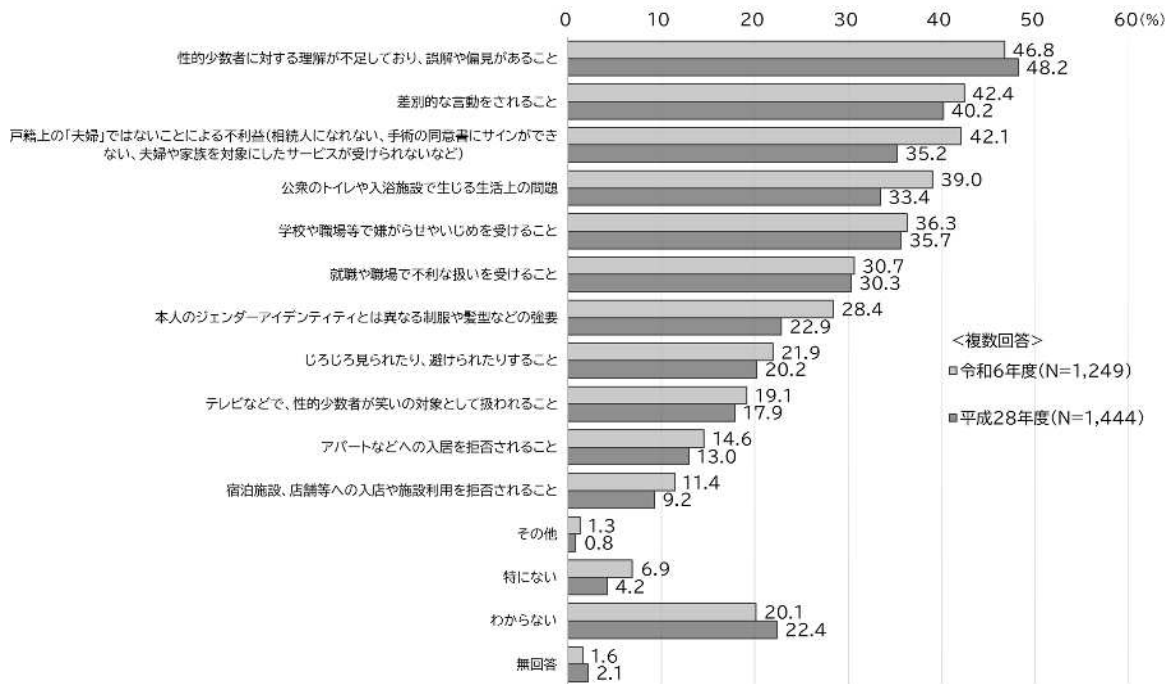
学生を除くいずれの職業でも「外国語で対応できる公的機関や医療機関などが少ないこと」が最も多くなっている。学生では「差別的な言動をされること」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問21 外国人の人権に関して問題だと思うこと(%)														
			学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること	交際や結婚の際、周囲の反対を受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	風習や習慣等の違いが受け入れられないこと	じろじろ見られたり、避けられたいすること	や医療機関などで対応できる公的機関が少なくないこと	外国語で対応できる公的機関が少なくないこと	鉄道・道路・施設などの案内表示で外国語表記が十分でないこと	その他	特 に ない	わ か ら な い	無 回 答
	全体	1,249	28.7	19.8	32.3	30.3	24.2	12.0	32.4	17.7	39.5	21.5	2.4	10.2	19.9	2.1	
F3 職業	自営業	63	30.2	22.2	33.3	33.3	27.0	9.5	33.3	19.0	36.5	19.0	6.3	4.8	17.5	1.6	
	会社員・公務員など	416	27.4	16.8	28.4	28.8	20.7	11.1	32.9	18.0	36.8	18.8	2.9	12.0	15.4	0.5	
	パート・アルバイト・契約社員など	246	29.7	23.6	36.6	37.0	26.8	13.8	35.8	18.7	45.1	22.4	1.6	8.1	17.5	1.6	
	家事専業	182	34.1	20.3	36.8	30.2	24.2	13.2	31.9	18.7	41.2	25.8	1.1	9.3	24.7	2.2	
	学生	38	34.2	21.1	36.8	55.3	26.3	15.8	39.5	23.7	42.1	13.2	2.6	15.8	2.6	0.0	
	その他の職業	25	28.0	20.0	40.0	36.0	36.0	16.0	32.0	20.0	44.0	20.0	0.0	12.0	20.0	4.0	
	仕事はしていない	261	24.5	20.7	30.3	22.2	24.9	10.3	28.4	14.6	38.7	25.3	2.7	9.6	29.5	3.8	

8. 性的少数者の人権について

問 22 あなたは、いわゆるLGBTQなどの性的少数者の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「性的少数者に対する理解が不足しており、誤解や偏見があること」が46.8%で最も多くなっている。次いで「差別的な言動をされること」が42.4%となっている。以下「戸籍上の『夫婦』ではないことによる不利益(相続人になれない、手術の同意書にサインができない、夫婦や家族を対象にしたサービスが受けられないなど)」(42.1%)、「公衆のトイレや入浴施設で生じる生活上の問題」(39.0%)、「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」(36.3%)、「就職や職場で不利な扱いを受けること」(30.7%)などとなっている。



■ 性別・年齢別 LGBTQなどの性的少数者の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「性的少数者に対する理解が不足しており、誤解や偏見があること」が最も多くなっている。参考であるが、その他では「就職や職場で不利な扱いを受けること」、「戸籍上の「夫婦」ではないことによる不利益(相続人になれない、手術の同意書にサインができない、夫婦や家族を対象にしたサービスが受けられないなど)」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、18～29歳、30代では「差別的な言動をされること」が、40代から70代までの年代では「性的少数者に対する理解が不足しており、誤解や偏見があること」が最も多くなっている。80歳以上では「わからない」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問22 LGBTQなどの性的少数者の人権に関して問題だと思うこと(%)														
			学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	とアパートなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	性的少数者に対する理解が不足していること、誤解や偏見があること	戸籍上の「夫婦」ではないことによる不利益(相続人になれない、手術の同意書にサインができない、夫婦や家族を対象にしたサービスが受けられないなど)	公衆のトイレや入浴施設で生じる生活上の問題	本人のジェンダーアイデンティティとは異なる制服や髪型などの強要	テレビなどで、性的少数者が笑いの対象として扱われること	その他	特になし	わからない	無回答
	全体	1,249	36.3	30.7	42.4	14.6	11.4	21.9	46.8	42.1	39.0	28.4	19.1	1.3	6.9	20.1	1.6
F1 性別	男性	549	32.2	27.0	38.1	11.3	9.3	20.0	41.7	33.2	36.1	21.5	15.1	1.5	10.0	22.2	0.7
	女性	669	39.8	33.5	46.2	16.4	12.7	23.5	51.4	49.5	41.6	34.1	22.0	0.7	4.0	18.8	1.8
	その他	15	53.3	60.0	53.3	46.7	40.0	40.0	53.3	60.0	53.3	53.3	46.7	20.0	6.7	6.7	0.0
F2 年齢	18～29歳	120	38.3	30.0	53.3	18.3	12.5	23.3	47.5	41.7	35.8	35.8	24.2	2.5	8.3	14.2	0.0
	30～39歳	121	39.7	25.6	50.4	11.6	8.3	20.7	40.5	42.1	38.8	28.9	22.3	2.5	7.4	13.2	0.0
	40～49歳	194	40.2	31.4	45.4	16.0	13.9	22.2	45.9	43.3	38.1	37.6	22.2	2.1	4.6	16.0	0.0
	50～59歳	236	39.0	34.3	44.9	14.4	13.1	26.3	56.8	51.3	45.3	32.2	20.3	0.4	8.5	11.9	0.4
	60～69歳	206	40.3	36.4	48.1	14.6	11.7	27.2	50.5	50.5	46.6	35.0	19.4	1.5	5.8	18.9	0.0
	70～79歳	247	32.0	30.0	35.6	13.8	11.3	17.8	44.9	34.8	37.2	17.8	15.0	0.4	6.1	29.6	2.0
	80歳～	106	23.6	21.7	18.9	13.2	6.6	14.2	34.9	24.5	23.6	10.4	12.3	0.9	7.5	39.6	9.4

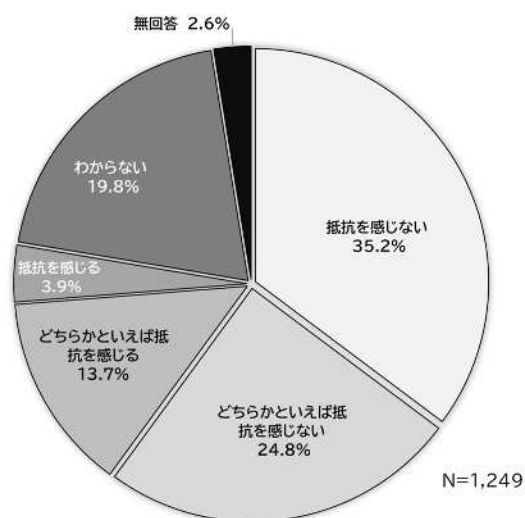
■ 職業別 L G B T Qなどの性的少数者の人権に関して問題だと思うこと

会社員・公務員など、家事専業、学生、仕事はしていないでは「性的少数者に対する理解が不足しており、誤解や偏見があること」が、自営業、パート・アルバイト・契約社員などでは「戸籍上の「夫婦」ではないことによる不利益（相続人になれない、手術の同意書にサインができない、夫婦や家族を対象にしたサービスが受けられないなど）」などが、その他の職業では「差別的な言動をされること」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問22 LGBTQなどの性的少数者の人権に関して問題だと思うこと(%)																
			学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	とじろじろ見られたり、避けられたりする	性的少数者に対する理解が不足しており、誤解や偏見があること	サインが受けられないなど、手術の同意書にサインできないことによる不利益	戸籍上の「夫婦」ではないことによる不利益	公衆のトイレや入浴施設で生じる生活上の問題	本人の制服や髪型などの強要	テレビなどで、性的少数者が笑いの対象として扱われること	その他	特になし	わからない	無回答	
	全体	1,249	36.3	30.7	42.4	14.6	11.4	21.9	46.8	42.1	39.0	28.4	19.1	1.3	6.9	20.1	1.6		
F3 職業	自営業	63	28.6	25.4	34.9	9.5	4.8	17.5	33.3	39.7	39.7	27.0	19.0	0.0	11.1	23.8	0.0		
	会社員・公務員など	416	37.5	27.6	45.4	10.6	10.3	22.1	48.1	40.6	40.6	31.0	18.0	1.7	8.4	12.3	0.0		
	パート・アルバイト・契約社員など	246	39.0	36.2	49.2	17.9	14.2	27.2	52.0	52.8	43.5	35.8	21.5	1.2	4.5	17.5	0.0		
	家事専業	182	34.6	30.2	42.3	14.3	11.0	18.7	47.3	40.7	35.7	24.7	17.0	1.1	4.4	27.5	3.3		
	学生	38	39.5	31.6	52.6	36.8	21.1	23.7	57.9	50.0	39.5	39.5	23.7	0.0	10.5	10.5	0.0		
	その他の職業	25	48.0	52.0	56.0	16.0	20.0	24.0	44.0	52.0	32.0	24.0	28.0	0.0	0.0	24.0	0.0		
	仕事はしていない	261	34.5	31.0	31.8	15.3	10.7	20.3	43.3	35.2	36.4	20.3	19.2	1.5	6.9	30.7	3.8		

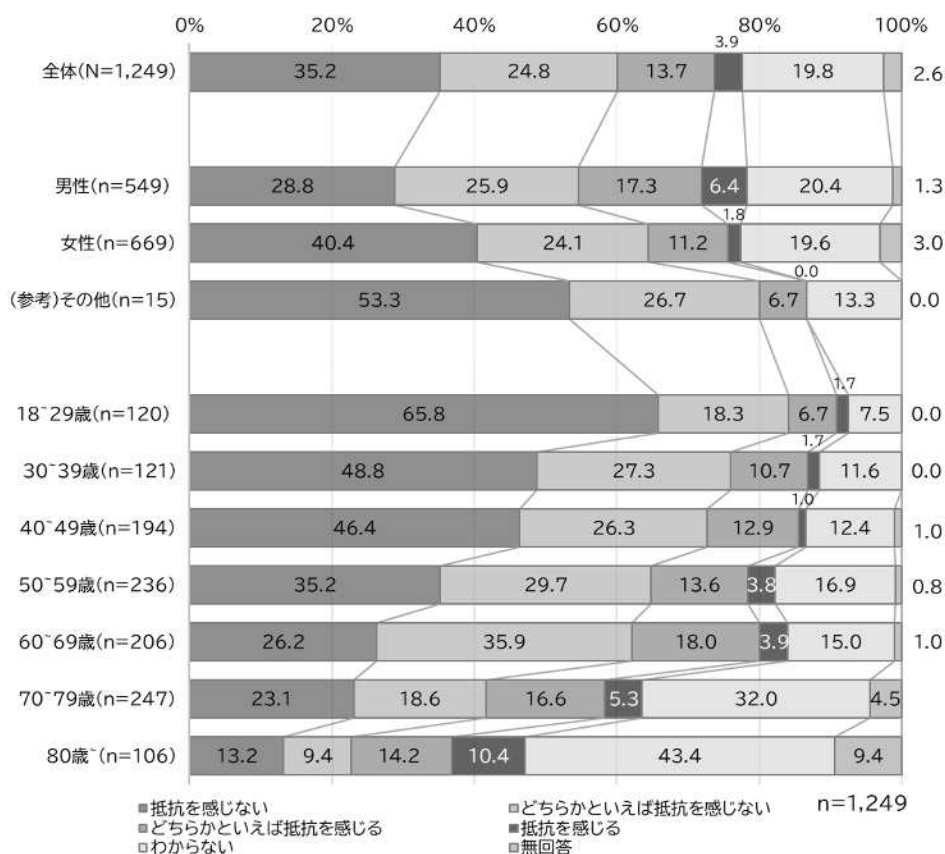
問 23 あなたの身の回りの人（友人、同僚等）から、性的少数者だと打ち明けられた場合、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

「抵抗を感じない」が最も多く 35.2%で、「どちらかといえば抵抗を感じない」（24.8%）と合わせると 6 割となっている。



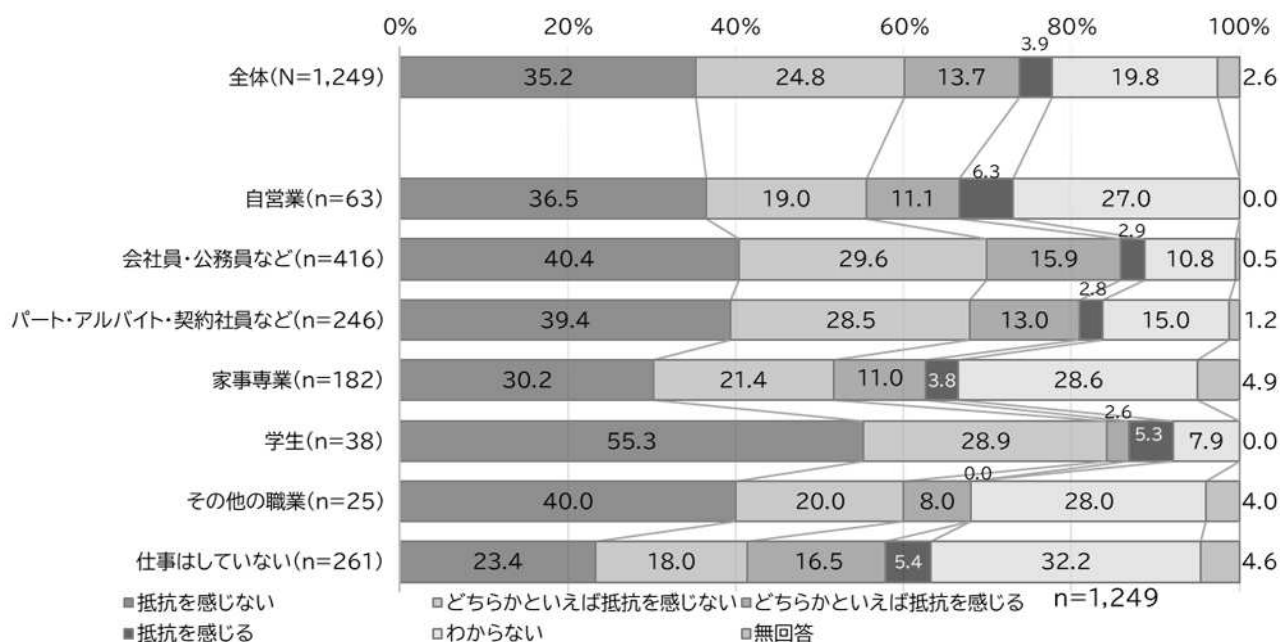
■ 性別・年齢別 性的少数者と打ち明けられた際の感じ方

- ・性別では、「抵抗を感じない」が女性(40.4%)、男性(28.8%)と最も多くなっているが、男性と女性で 11.6 ポイントの差がある。
- ・年齢別では、18～29 歳から 50 代までの年代で「抵抗を感じない」が最も多く、年代が上がる则数値が減少している。70 代以上では「わからない」が最も多くなっている。



■ 職業別 性的少数者と打ち明けられた際の感じ方

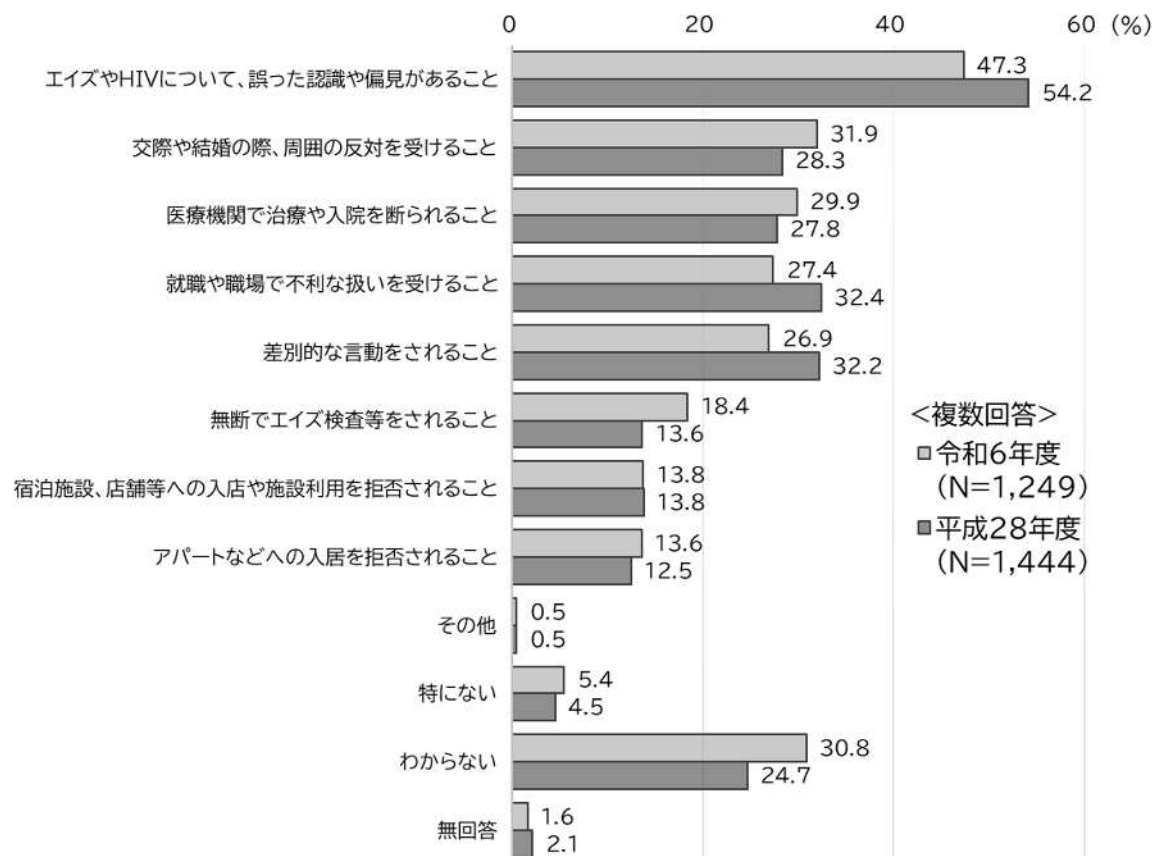
仕事はしていないを除くいずれの職業でも「抵抗を感じない」が最も多くなっている。いずれの職業でも「抵抗を感じない」、「どちらかといえば抵抗を感じない」を合わせた数値が、「どちらかといえば抵抗を感じる」、「抵抗を感じる」を合わせた数値より多くなっている。



9. エイズ患者やH I V感染者の人権について

問 24 あなたは、エイズ患者やH I V（エイズウィルス）の感染者の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「エイズやH I Vについて、誤った認識や偏見があること」が最も多く 47.3%で、約半数となっている。次いで「交際や結婚の際、周囲の反対を受けること」（31.9%）、「医療機関で治療や入院を断られること」（29.9%）、「就職や職場で不利な扱いを受けること」（27.4%）、「差別的な言動をされること」（26.9%）、「わからない」（30.8%）などとなっている。



■ 性別・年齢別 エイズ患者やHIV感染者の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「エイズやHIVについて、誤った認識や偏見があること」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、80歳以上を除くいずれの年代でも「エイズやHIVについて、誤った認識や偏見があること」が、80歳以上では「わからない」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問24 エイズ患者やHIV感染者の人権に関して問題だと思うこと(%)													
			交際や結婚の際、周囲の反対を受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	医療機関で治療や入院を断られること	無断でエイズ検査等をする	差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	エイズやHIVについて、誤った認識や偏見があること	その他	特にない	わからない	無回答		
	全体	1,249	31.9	27.4	29.9	18.4	26.9	13.6	13.8	47.3	0.5	5.4	30.8	1.6		
F1 性別	男性	549	31.3	26.6	26.4	15.7	25.9	12.8	13.1	44.1	0.5	6.7	31.3	0.5		
	女性	669	32.3	28.1	32.4	20.2	27.8	13.9	14.1	50.5	0.1	4.3	30.2	1.9		
	(参考)その他	15	40.0	33.3	46.7	40.0	33.3	26.7	26.7	46.7	13.3	0.0	40.0	0.0		
F2 年齢	18～29歳	120	20.8	20.8	24.2	18.3	26.7	16.7	16.7	42.5	0.0	9.2	32.5	0.0		
	30～39歳	121	28.9	21.5	27.3	15.7	24.8	11.6	9.9	43.0	0.8	6.6	31.4	0.0		
	40～49歳	194	37.6	30.9	33.0	21.6	25.8	12.4	12.9	51.0	1.0	4.1	27.3	0.0		
	50～59歳	236	32.6	27.5	30.5	22.0	26.7	13.1	16.5	56.4	0.0	5.5	25.8	0.0		
	60～69歳	206	38.3	31.6	35.4	18.4	30.6	15.0	14.6	51.5	0.5	4.4	27.2	1.5		
	70～79歳	247	31.6	29.6	28.7	17.0	30.0	12.6	13.4	44.5	0.0	4.0	35.2	2.4		
	80歳～	106	25.5	23.6	25.5	11.3	18.9	15.1	10.4	34.0	1.9	6.6	40.6	6.6		

■ 職業別 エイズ患者やHIV感染者の人権に関して問題だと思うこと

その他の職業を除くいずれの職業でも「エイズやHIVについて、誤った認識や偏見があること」が最も多くなっている。その他の職業では「医療機関で治療や入院を断られること」が最も多くなっている。

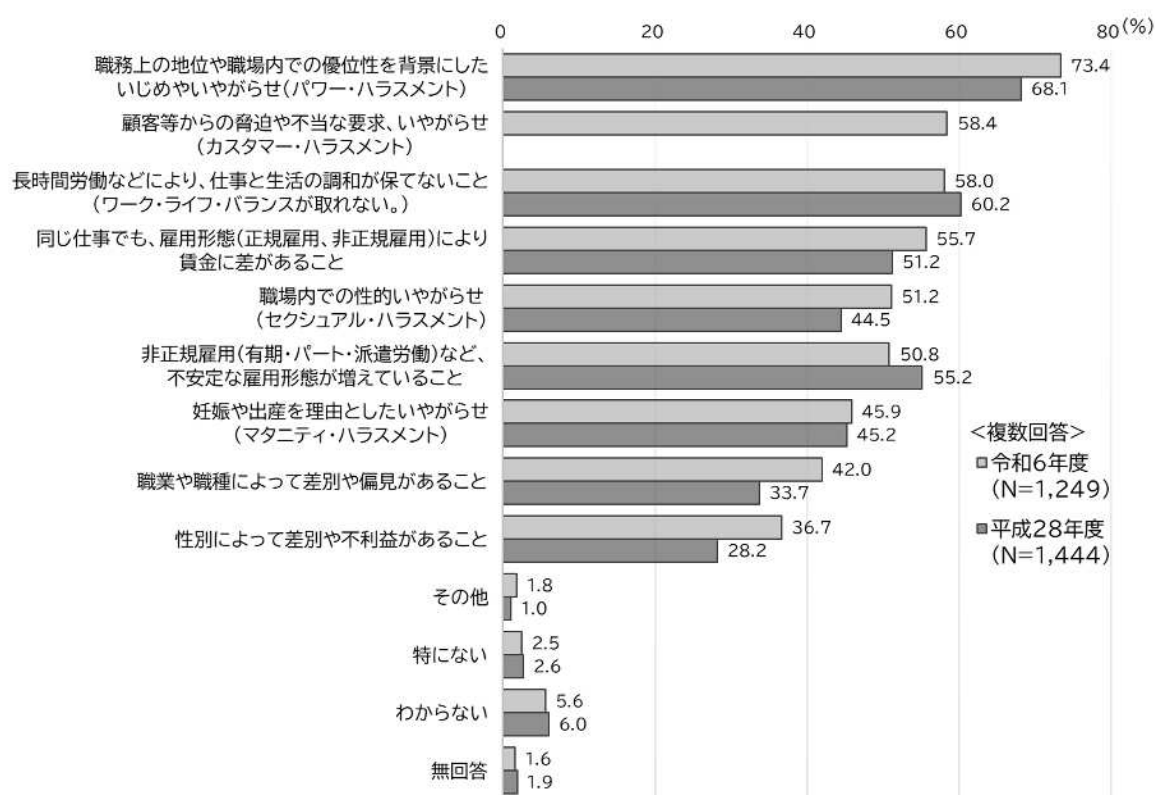
		合計 (人)	問24 エイズ患者やHIV感染者の人権に関して問題だと思うこと(%)								その他	特 に ない	わ か ら ない	無 回 答
			交 際 や 結 婚 の 際 、 周 囲 の 反 対 を 受 け る こ と	就 職 や 職 場 で 不 利 な 扱 い を 受 ける こ と	医 療 機 関 で 治 療 や 入 院 を 断 ら れる こ と	無 断 で エ イ ズ 検 査 等 を さ れ る こ と	差 別 的 な 言 動 を さ れ る こ と	ア パ ー ト な ど へ の 入 居 を 拒 否 さ れ る こ と	宿 泊 施 設 、 店 舗 等 へ の 入 店 や 施 設 利 用 を 拒 否 さ れ る こ と	エ イ ズ や H I V に つ い て 、 誤 っ た 認 識 や 偏 見 が あ る こ と				
	全体	1,249	31.9	27.4	29.9	18.4	26.9	13.6	13.8	47.3	0.5	5.4	30.8	1.6
F3 職業	自営業	63	30.2	30.2	28.6	15.9	22.2	7.9	11.1	54.0	0.0	6.3	30.2	0.0
	会社員・公務員など	416	32.2	25.7	26.7	16.6	27.2	10.6	11.1	49.5	0.5	6.7	26.9	0.0
	パート・アルバイト・契約社員など	246	34.6	29.7	35.0	20.3	26.4	14.2	15.9	49.6	0.0	4.9	29.7	0.8
	家事専業	182	33.0	25.3	33.0	20.9	26.4	15.4	13.7	47.8	0.0	2.2	35.2	3.8
	学生	38	13.2	18.4	18.4	18.4	34.2	18.4	21.1	44.7	0.0	7.9	34.2	0.0
	その他の職業	25	36.0	32.0	40.0	32.0	28.0	28.0	28.0	36.0	0.0	4.0	36.0	0.0
	仕事はしていない	261	31.0	29.9	29.1	17.2	27.6	15.3	14.6	42.5	1.5	5.4	34.1	2.7

10. 働く人の人権について

問 25 あなたは、働く人の人権に関することで、どのようなことが問題だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

「職務上の地位や職場内での優位性を背景にしたいじめやいやがらせ(パワー・ハラスメント)」が最も多く 73.4%と7割を超えている。次いで「顧客等からの脅迫や不当な要求、いやがらせ(カスタマー・ハラスメント)」(58.4%)、「長時間労働などにより、仕事と生活の調和が保てないこと(ワーク・ライフ・バランスが取れない。)」(58.0%)が約6割、「同じ仕事でも、雇用形態(正規雇用、非正規雇用)により賃金に差があること」(55.7%)、「職場内での性的いやがらせ(セクシュアル・ハラスメント)」(51.2%)、「非正規雇用(有期・パート・派遣労働)など、不安定な雇用形態が増えていること」(50.8%)が5割以上となっている。

※ 「顧客等からの脅迫や不当な要求、いやがらせ(カスタマー・ハラスメント)」は、今回調査からの回答項目



■ 性別・年齢別 働く人の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「職務上の地位や職場内での優位性を背景にしたいじめやいやがらせ（パワー・ハラスメント）」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「職務上の地位や職場内での優位性を背景にしたいじめやいやがらせ（パワー・ハラスメント）」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問25 働く人の人権に関して問題だと思うこと(%)												無回答	
			ンが性職 がらせ上 せ背景の （ハワリ たい場 内での スやい 優	トヘン 一セク シアル ハハラ ラセン	メラン ンセハ マ産を 理由と したラ イス	妊婚や 出産を マ産を 理由と したラ イス	マ客等 からの 脅迫や 不当な 要 求・ハ ラスメ ン（カ ブ）タ	長時 間労働 など により 、仕事 が生活 の調和 が保て ない、 ンスト	非正規 労働が 増え ている 不安定 な雇 用形態 が	正 規雇用 （有期 ・無期 ）と非 正規雇 用（正 規雇用 ）の差 が	同じ仕 事でも 、雇 用形態 （正 規雇用 ）によ り賃金 に差が あるこ と	職業や 職種に よって 差別や 偏見が あるこ と	性別に よって 差別や 不利益 がある こと	その他		特 に ない
	全体	1,249	73.4	51.2	45.9	58.4	58.0	50.8	55.7	42.0	36.7	1.8	2.5	5.6	1.6	
F1 性別	男性	549	75.8	49.4	41.5	58.3	57.0	50.1	53.4	42.1	34.6	1.5	2.9	4.7	0.5	
	女性	669	71.4	52.6	49.6	59.0	59.5	51.7	58.1	41.9	38.4	1.8	2.2	6.3	1.9	
	(参考)その他	15	86.7	60.0	53.3	60.0	73.3	53.3	60.0	53.3	53.3	13.3	0.0	6.7	0.0	
F2 年齢	18～29歳	120	75.0	52.5	55.0	60.8	70.0	38.3	48.3	45.8	40.0	2.5	2.5	6.7	0.0	
	30～39歳	121	79.3	57.0	55.4	71.9	73.6	47.1	49.6	39.7	38.8	4.1	2.5	3.3	0.0	
	40～49歳	194	78.4	58.8	51.0	67.0	67.0	44.8	50.5	45.4	38.7	1.5	1.0	4.6	0.0	
	50～59歳	236	78.4	54.7	42.8	64.8	62.7	59.7	59.7	47.5	36.4	2.1	1.7	1.7	0.4	
	60～69歳	206	78.6	53.4	49.5	68.0	52.9	57.3	62.6	38.8	36.4	1.9	1.0	3.4	0.5	
	70～79歳	247	66.0	44.1	39.3	42.5	51.0	53.4	62.8	41.7	37.7	0.4	4.0	7.3	2.4	
	80歳～	106	53.8	35.8	34.0	33.0	33.0	45.3	45.3	31.1	29.2	0.9	6.6	17.0	7.5	

■ 職業別 働く人の人権に関して問題だと思うこと

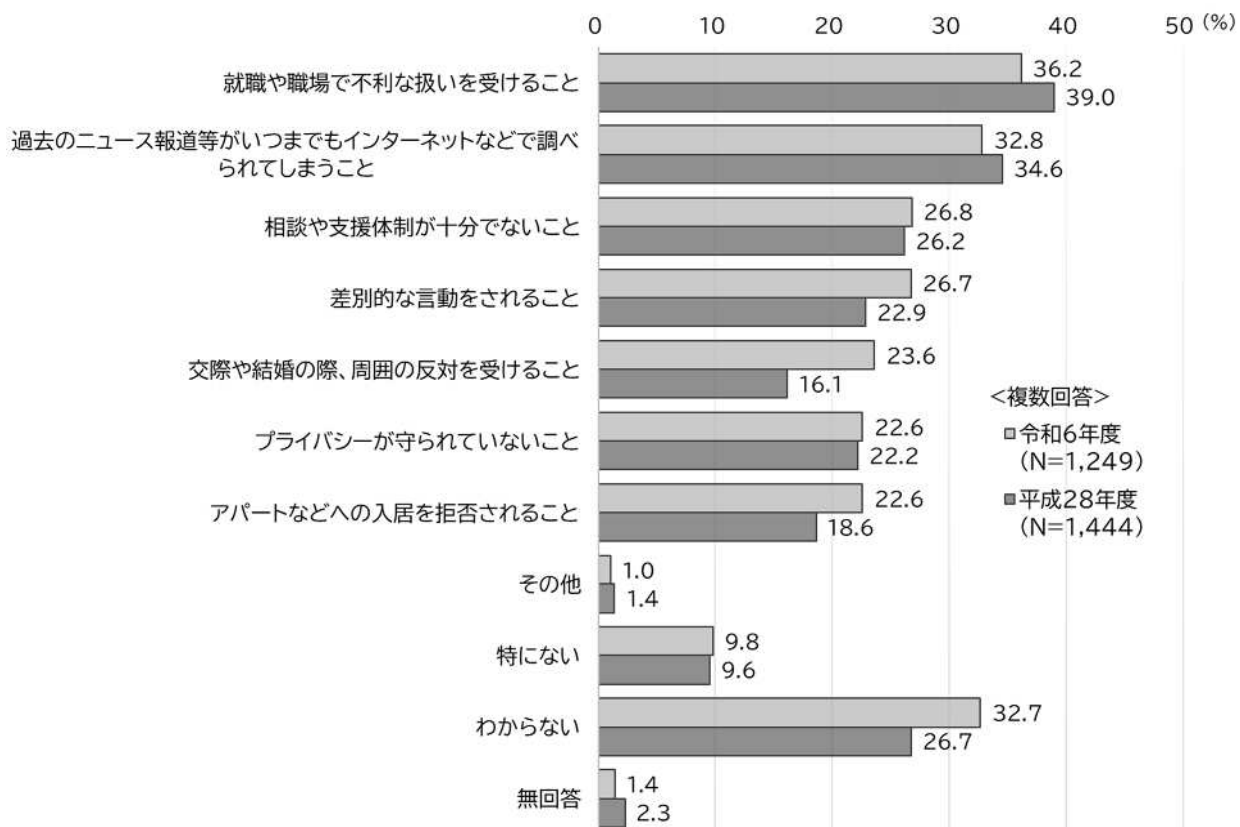
その他の職業を除きいずれの職業でも「職務上の地位や職場内での優位性を背景にしたいじめやいやがらせ（パワー・ハラスメント）」が最も多く、学生では同率で「長時間労働などにより、仕事と生活の調和が保てないこと（ワーク・ライフ・バランスが取れない。）」が多くなっている。その他の職業では「同じ仕事でも、雇用形態（正規雇用、非正規雇用）により賃金に差があること」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問25 働く人の人権に関して問題だと思うこと(%)																
			ンが位職 ヤ性上の らせ背景 (ハワ ーにいた い場内 でス メイ	トヘ場 ク内シ ュアル ・ハバ ラセメ ン	メ妊 ン出 ヤ生 産を 理由 とし ハた ラし ヤ	顧客 等か らの 脅迫 や不 当な 要 求・ハ ハラ セメ ント (カブ ツ)	長時 間労 働と 生活 の調 和が 保て ない こと 、パ ラノ ース ト	非正 規雇 用(有 期、 不安 定な 雇 用形 態)が 増え てい るこ と	正 規雇 用事 でも 、雇 用形 態へ 正 常化 する こと が あ る こ と	同 じ仕 事だ ても 、雇 用形 態に よ り 賃金 に差 があ るこ と	見 があ るこ と	職 業や 職種 によ って 差別 や偏							
	全体	1,249	73.4	51.2	45.9	58.4	50.8	55.7	42.0	36.7	1.8	2.5	5.6	1.6					
F3 職業	自営業	63	73.0	58.7	49.2	57.1	54.0	47.6	60.3	42.9	36.5	0.0	3.2	6.3	0.0				
	会社員・公務員など	416	76.9	51.9	46.6	66.6	65.9	44.2	47.1	41.1	33.9	2.4	1.4	2.9	0.0				
	パート・アルバイト・契約社員など	246	78.5	52.0	46.3	64.6	65.5	61.0	65.9	44.7	35.8	2.0	1.6	4.5	0.8				
	家事専業	182	67.0	52.2	45.1	52.7	56.0	46.7	57.1	41.2	36.8	1.1	4.4	6.6	3.8				
	学生	38	73.7	60.5	63.2	57.9	73.7	36.8	44.7	50.0	52.6	2.6	5.3	5.3	0.0				
	その他の職業	25	80.0	60.0	60.0	68.0	72.0	76.0	84.0	52.0	56.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	仕事はしていない	261	67.4	44.8	41.0	44.4	48.3	55.9	58.6	39.8	39.1	1.5	3.4	10.7	2.7				

11. 刑を終えて出所した人の人権について

問 26 あなたは、刑を終えて出所した人の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「就職や職場で不利な扱いを受けること」が36.2%で最も多くなっている。次いで「過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」が32.8%となっている。一方、「わからない」も32.7%となっている。



■ 性別・年齢別 刑を終えて出所した人の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男性では「就職や職場で不利な扱いを受けること」が、女性では「過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、50代から80歳以上の年代では「就職や職場で不利な扱いを受けること」が、18～29歳、40代では「わからない」が、30代では「過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問26 刑を終えて出所した人の人権に関して問題だと思うこと(%)											
			交際や結婚の際、周囲の反対を受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	と差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否されること	プライバシーが守られていないこと	過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと	相談や支援体制が十分でないこと	その他	特にない	わからない	無回答	
	全体	1,249	23.6	36.2	26.7	22.6	22.6	32.8	26.8	1.0	9.8	32.7	1.4	
F1 性別	男性	549	22.8	35.0	25.9	20.4	18.8	26.8	23.5	1.1	13.1	33.5	1.1	
	女性	669	24.5	37.4	27.7	24.4	25.9	37.7	29.7	0.6	7.0	32.1	1.5	
	(参考)その他	15	33.3	53.3	26.7	33.3	33.3	33.3	33.3	20.0	6.7	26.7	0.0	
F2 年齢	18～29歳	120	23.3	26.7	25.0	15.8	25.0	22.5	21.7	0.0	20.0	27.5	0.0	
	30～39歳	121	14.0	22.3	22.3	17.4	24.0	34.7	18.2	0.8	16.5	30.6	0.0	
	40～49歳	194	20.6	26.3	23.2	20.1	22.2	27.8	25.3	2.1	12.9	34.0	0.5	
	50～59歳	236	21.6	37.3	22.5	22.0	19.9	31.8	25.0	1.7	10.2	34.3	0.4	
	60～69歳	206	25.2	43.2	31.6	26.2	23.8	35.4	30.1	0.5	4.9	35.4	1.0	
	70～79歳	247	32.0	49.4	33.2	27.9	25.1	43.3	34.0	0.4	4.0	30.4	2.4	
	80歳～	106	25.5	38.7	27.4	24.5	18.9	24.5	29.2	1.9	6.6	34.0	5.7	

■ 職業別 刑を終えて出所した人の人権に関して問題だと思うこと

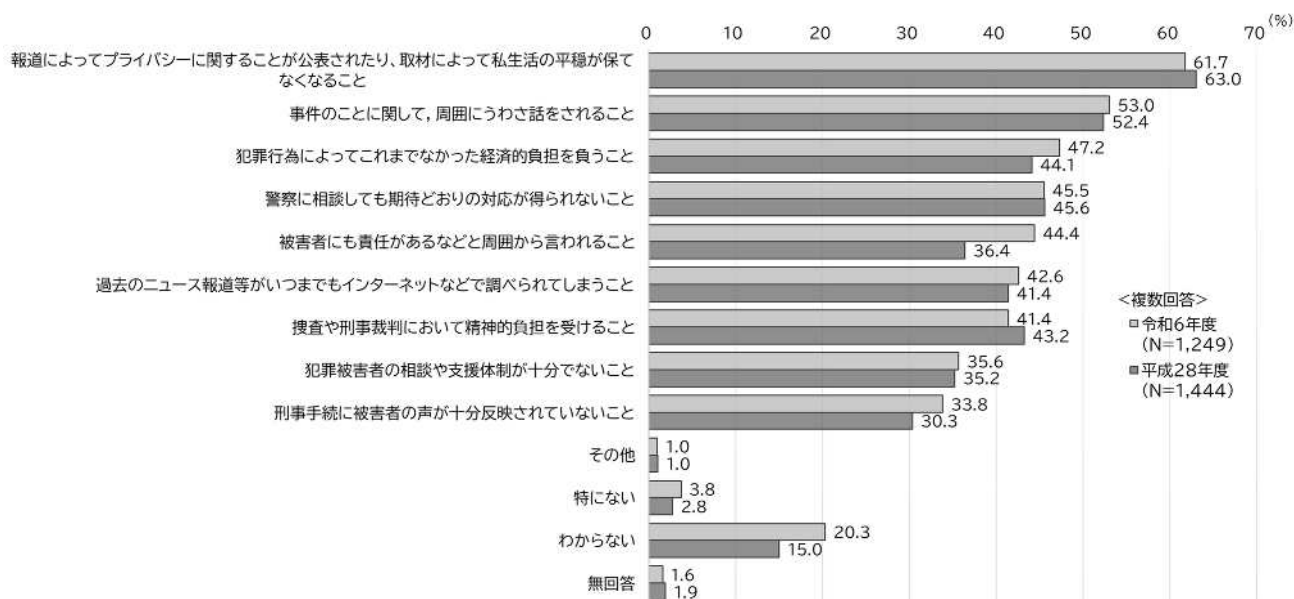
会社員・公務員などを除くいずれの職業でも「就職や職場で不利な扱いを受けること」が最も多くなっている。家事専業では同率で「過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」が、学生では同率で「相談や支援体制が十分でないこと」が多くなっている。会社員・公務員などでは「わからない」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問26 刑を終えて出所した人の人権に関して問題だと思うこと(%)								その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
			交際や結婚の際、周囲の反対を受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否されること	プライバシーが守られていないこと	過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと	相談や支援体制が十分でないこと					
	全体	1,249	23.6	36.2	26.7	22.6	22.6	32.8	26.8	1.0	9.8	32.7	1.4	
F3 職業	自営業	63	25.4	49.2	17.5	27.0	19.0	41.3	23.8	0.0	11.1	30.2	0.0	
	会社員・公務員など	416	19.2	27.2	22.8	17.1	18.8	27.9	21.4	1.2	14.4	31.7	0.2	
	パート・アルバイト・契約社員など	246	26.0	39.4	28.5	24.4	25.2	34.6	29.7	0.4	5.7	35.8	1.6	
	家事専業	182	28.6	41.2	28.6	25.3	24.2	41.2	30.2	2.2	8.2	31.9	2.7	
	学生	38	15.8	31.6	23.7	21.1	28.9	15.8	31.6	0.0	23.7	13.2	0.0	
	その他の職業	25	28.0	40.0	32.0	36.0	28.0	28.0	28.0	0.0	12.0	36.0	0.0	
	仕事はしていない	261	26.1	42.5	32.6	26.1	25.3	33.7	31.0	1.1	4.6	34.9	2.3	

12. 犯罪被害者等の人権について

問 27 あなたは、犯罪被害者やその家族の人権に関することで、どのようなことが問題だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる事」が61.7%で最も多くなっている。次いで「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」が53.0%となっている。以下「犯罪行為によってこれまでなかった経済的負担を負うこと」(47.2%)、「警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと」(45.5%)、「被害者にも責任があるなどと周囲から言われること」(44.4%)、「過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」(42.6%)、「捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること」(41.4%)が4割以上となっている。



■ 性別・年齢別 犯罪被害者やその家族の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる」とが最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる」とが最も多くなっている。

		合計 (人)	問27 犯罪被害者やその家族の人権に関して問題だと思うこと(%)														
			か犯罪行為によって経済的負担を負うことなど	事件のことに伴って、周囲にうわさ話をされること	警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	刑事手続に被害者の声が十分反映されていないこと	保釈や報道によってプライバシーが侵害されること	取材によって公表された生活の平穏が被害者から責められること	過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと	犯罪被害者の相談や支援体制が十分でないこと	その他	特にな	わからない	無回答		
	全体	1,249	47.2	53.0	45.5	41.4	33.8	61.7	44.4	42.6	35.6	1.0	3.8	20.3	1.6		
F1 性別	男性	549	49.2	52.6	47.5	40.8	35.0	57.0	43.7	39.0	35.5	0.9	4.4	20.4	1.1		
	女性	669	45.3	53.8	43.8	42.0	32.7	65.8	45.0	45.6	35.9	0.4	3.3	20.2	1.8		
	(参考)その他	15	66.7	60.0	60.0	60.0	53.3	66.7	53.3	40.0	46.7	26.7	0.0	20.0	0.0		
F2 年齢	18～29歳	120	43.3	49.2	46.7	35.8	32.5	55.8	44.2	39.2	30.0	2.5	8.3	17.5	0.0		
	30～39歳	121	43.0	55.4	48.8	43.0	33.9	62.8	48.8	45.5	29.8	1.7	6.6	19.0	0.0		
	40～49歳	194	51.5	56.2	46.9	45.4	38.7	61.3	50.0	45.4	39.2	2.1	2.1	23.2	0.5		
	50～59歳	236	54.7	59.3	56.4	44.5	44.9	68.6	52.5	47.9	41.5	0.4	1.7	15.3	0.4		
	60～69歳	206	51.5	59.2	45.6	47.1	35.9	66.0	48.5	45.1	40.8	0.0	2.4	18.0	1.0		
	70～79歳	247	41.3	50.6	41.7	41.3	25.9	63.6	38.5	43.7	33.2	0.4	3.2	22.3	2.8		
	80歳～	106	39.6	34.0	25.5	25.5	18.9	43.4	19.8	19.8	28.3	0.9	6.6	28.3	6.6		

■ 職業別 犯罪被害者やその家族の人権に関して問題だと思うこと

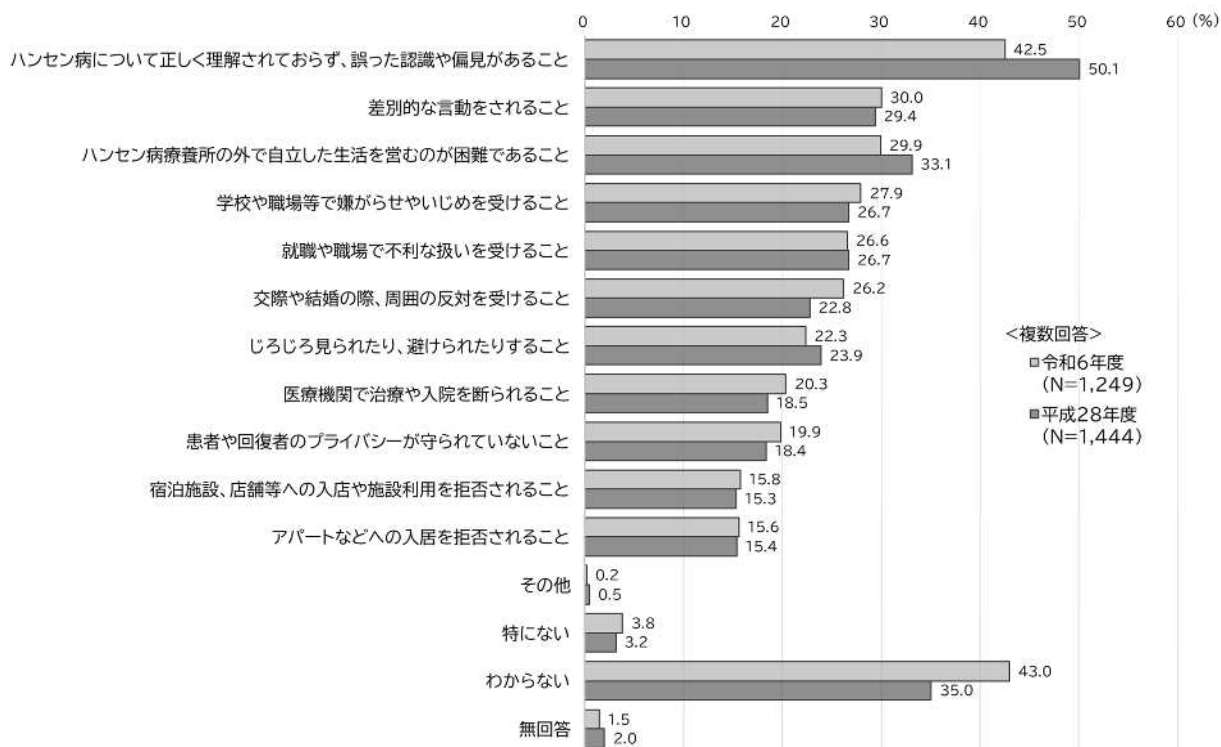
いずれの職業でも「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる」とが最も多くなっている。

		合計 (人)	問27 犯罪被害者やその家族の人権に関して問題だと思うこと(%)															無回答
			か犯罪行為によって経済的負担を負うことなど	事件のことに伴って、周囲にうわさ話をされること	警察に相談しても期待どおり の対応が得られないこと	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	刑事手続に被害者の声 が十分反映されていないこと	取材によって公表された生活の平穏が保たなくなる こと	報道によってプライバシーに 関すること	被害者にも責任がある こと	周囲から言われること	過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと						
	全体	1,249	47.2	53.0	45.5	41.4	33.8	61.7	44.4	42.6	35.6	1.0	3.8	20.3	1.6			
F3 職業	自営業	63	60.3	65.1	57.1	54.0	30.2	77.8	46.0	47.6	36.5	1.6	1.6	14.3	0.0			
	会社員・公務員など	416	47.4	55.3	47.4	42.5	38.2	59.1	48.1	42.1	33.4	1.2	3.6	19.0	0.2			
	パート・アルバイト・契約社員など	246	48.8	56.5	48.8	42.3	36.2	67.5	48.4	46.7	38.2	0.4	2.4	19.9	1.2			
	家事専業	182	43.4	49.5	37.9	37.4	23.6	63.2	41.2	46.7	34.1	0.5	5.5	20.9	3.3			
	学生	38	39.5	50.0	50.0	31.6	31.6	60.5	36.8	39.5	39.5	0.0	13.2	10.5	0.0			
	その他の職業	25	52.0	48.0	56.0	40.0	36.0	60.0	52.0	40.0	44.0	0.0	4.0	24.0	0.0			
	仕事はしていない	261	45.6	47.9	40.6	41.4	33.3	56.7	37.2	35.6	37.2	1.5	3.1	24.9	3.1			

13. ハンセン病患者や回復者の人権について

問 28 あなたは、ハンセン病患者や回復者の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

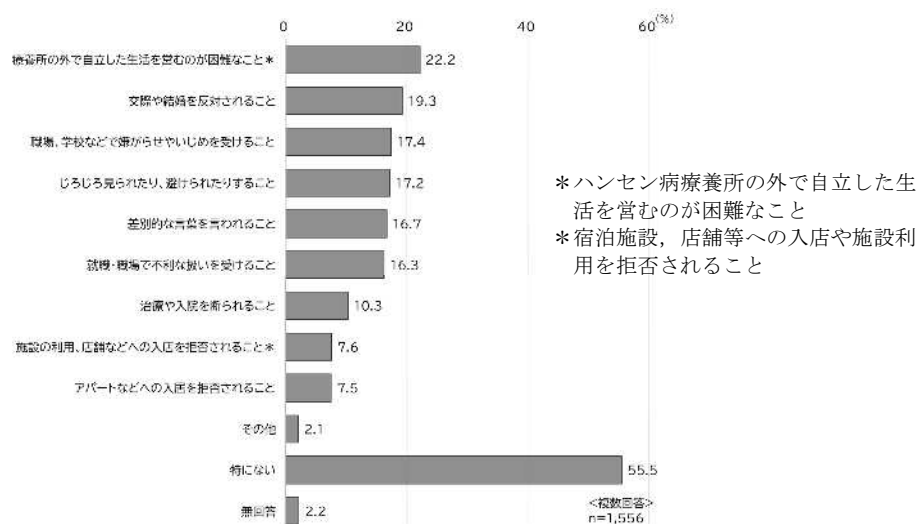
「わからない」を除き「ハンセン病について正しく理解されておらず、誤った認識や偏見があること」が42.5%で最も多くなっている。次いで「差別的な言動をされること」(30.0%)、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難であること」(29.9%)となっている。なお、「わからない」は43.0%となっている。



<参考>内閣府「人権擁護に関する世論調査」(令和4年度)

【ハンセン病患者等に関する人権問題】

内閣府「人権擁護に関する世論調査」(令和4年度)をみると、「特になし」を除き「療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」が最も多く22.2%となっている。次いで「交際や結婚を反対されること」が19.3%となっている。以下「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」(17.4%)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(17.2%)、「差別的な言葉を言われること」(16.7%)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(16.3%)などとなっている。



■ 性別・年齢別 ハンセン病患者や回復者の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男性では「わからない」が、女性では「ハンセン病について正しく理解されておらず、誤った認識や偏見があること」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、18～29 歳から 40 代、80 歳以上の年代では「わからない」が、50 代から 70 代の年代では「ハンセン病について正しく理解されておらず、誤った認識や偏見があること」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問28 ハンセン病患者や回復者の人権に関して問題だと思うこと(%)																		
			じ学校や職場等 で嫌がらせやい	を交際や結婚の際、 周囲の反対	け就職や職場で不利な扱いを受 けること	医療機関で治療や入院を断ら れること	ハンセン病患者の療養所の外で自立 した生活を営むのが困難で自立 すること	差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否 されること	施設利用を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や 施設利用を拒否されること	じろじろ見られること、避けら れたりすること	や解ハンセン病について正しく認識 偏見があること	が患者や回復者のプライバシー が守られていないこと	その他	特 に ない	わ か ら な い	無 回 答			
	全体	1,249	27.9	26.2	26.6	20.3	29.9	30.0	15.6	15.8	22.3	42.5	19.9	0.2	3.8	43.0	1.5				
F1 性別	男性	549	25.3	24.8	24.6	17.3	25.7	27.3	13.7	13.1	19.9	36.6	16.2	0.0	5.5	45.5	1.1				
	女性	669	30.3	27.5	28.4	22.7	34.1	32.7	17.0	17.8	24.5	48.1	22.7	0.1	2.5	40.4	1.6				
	(参考)その他	15	46.7	46.7	46.7	40.0	33.3	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	46.7	13.3	0.0	46.7	0.0				
F2 年齢	18～29歳	120	25.8	15.0	16.7	16.7	19.2	28.3	10.8	12.5	17.5	31.7	19.2	0.0	6.7	51.7	0.0				
	30～39歳	121	20.7	16.5	19.0	15.7	19.0	21.5	7.4	9.1	13.2	32.2	14.9	0.8	3.3	55.4	0.0				
	40～49歳	194	25.3	26.3	26.8	19.6	25.8	25.8	13.4	14.4	19.6	34.0	16.5	0.0	2.6	49.5	1.0				
	50～59歳	236	28.0	27.5	24.6	23.7	31.8	30.5	18.2	18.2	26.3	43.6	24.2	0.4	3.0	43.2	0.4				
	60～69歳	206	34.5	35.0	32.5	24.3	42.7	40.8	20.9	20.4	30.1	54.4	21.8	0.0	2.9	28.6	1.5				
	70～79歳	247	30.8	29.1	34.8	19.8	36.8	32.8	17.8	17.4	24.7	52.2	21.1	0.0	4.0	37.2	2.4				
	80歳～	106	28.3	26.4	23.6	18.9	21.7	25.5	15.1	13.2	17.0	38.7	18.9	0.9	6.6	44.3	4.7				

■ 職業別 ハンセン病患者や回復者の人権に関して問題だと思うこと

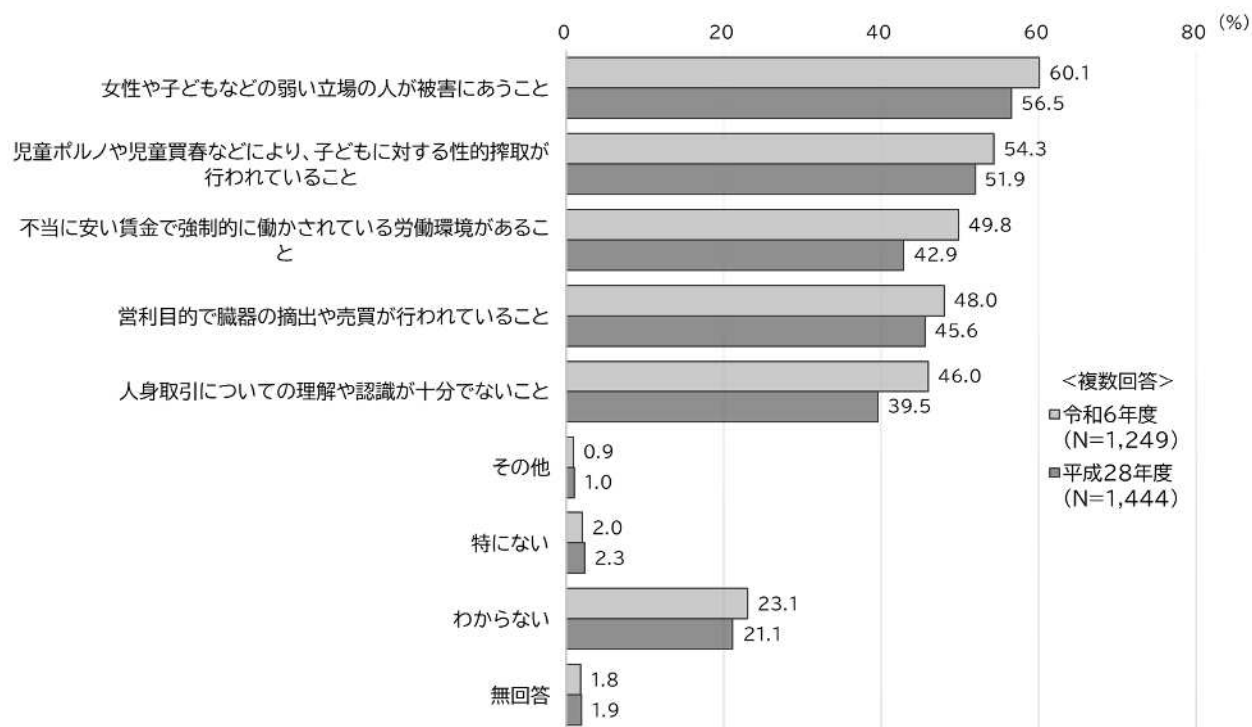
会社員・公務員などを除きいずれの職業でも「ハンセン病について正しく理解されておらず、誤った認識や偏見があること」が最も多くなっている。学生では同率で「わからない」が、その他の職業では同率で「交際や結婚の際、周囲の反対を受けること」、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難であること」、「差別的な言動をされること」が多くなっている。会社員・公務員などでは「わからない」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問28 ハンセン病患者や回復者の人権に関して問題だと思うこと(%)																			
			じ学校や職場等 で嫌がらせやい	を交際や結婚の際、周囲の反対 を受けること	け就職や職場で不利な扱いを受 けること	医療機関で治療や入院を断ら れること	ハンセン病患者養護所の外で自立 した生活を営むのが困難である こと	差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否 されること	施設利用を拒否されること （施設利用を拒否されること や施設利用を拒否されること など）	じろじろ見られること、避けら れたりすること	や解ハンセン病について正しく理 解されていないこと	が患者や回復者のプライバシー が守られていないこと	その他	特 に ない	わ か ら な い	無回 答					
	全体	1,249	27.9	26.2	26.6	20.3	29.9	30.0	15.6	15.8	22.3	42.5	19.9	0.2	3.8	43.0	1.5					
F3 職業	自営業	63	0.0	23.8	33.3	15.9	33.3	30.2	15.9	14.3	22.2	47.6	17.5	0.0	3.2	44.4	0.0					
	会社員・公務員など	416	22.8	21.2	18.5	14.9	23.3	25.5	9.1	10.3	18.0	33.4	12.7	0.0	4.8	48.1	0.2					
	パート・アルバイト・契約社員など	246	30.5	30.9	32.1	24.4	31.7	33.3	19.1	18.3	26.0	47.6	24.4	0.0	2.0	40.2	1.6					
	家事専業	182	32.4	29.1	31.9	26.9	37.4	34.6	20.9	22.5	24.2	50.5	21.4	0.5	3.8	40.7	2.7					
	学生	38	31.6	18.4	18.4	15.8	26.3	31.6	13.2	15.8	21.1	42.1	23.7	0.0	7.9	42.1	0.0					
	その他の職業	25	44.0	48.0	44.0	44.0	48.0	48.0	40.0	36.0	40.0	48.0	36.0	0.0	0.0	32.0	0.0					
	仕事はしていない	261	30.3	28.7	29.9	20.7	33.3	30.7	17.6	16.5	24.1	46.7	25.3	0.8	3.8	38.7	2.7					

14. 人身取引に関する人権問題について

問 29 あなたは、人身取引に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「女性や子どもなどの弱い立場の人が被害にあうこと」が 60.1%、「児童ポルノや児童買春などにより、子どもに対する性的搾取が行われていること」が 54.3%とともに半数以上となっている。次いで「不当に安い賃金で強制的に働かされている労働環境があること」（49.8%）、「営利目的で臓器の摘出や売買が行われていること」（48.0%）、「人身取引についての理解や認識が十分でないこと」（46.0%）と続き、「わからない」は 23.1%となっている。



■ 性別・年齢別 人身取引に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「女性や子どもなどの弱い立場の人が被害にあうこと」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「女性や子どもなどの弱い立場の人が被害にあうこと」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問29 人身取引に関して問題だと思うこと(%)					その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
			識人が身取引について の理解や認識が十分でないこと	児童、子どもや児童買春など に行われていること	不当に安い賃金で強制的に働 かされていること	の女性や子どもなどの弱い立場 の人が被害にあうこと	営利目的で臓器の摘出や売買 が行われていること				
	全体	1,249	46.0	54.3	49.8	60.1	48.0	0.9	2.0	23.1	1.8
F1 性別	男性	549	43.7	49.5	47.2	52.3	43.9	0.9	2.4	25.9	1.5
	女性	669	48.1	58.4	52.5	66.5	51.9	0.4	1.6	20.5	1.9
	(参考)その他	15	53.3	66.7	66.7	80.0	53.3	20.0	0.0	20.0	0.0
F2 年齢	18～29歳	120	48.3	48.3	46.7	56.7	35.0	1.7	5.0	24.2	0.0
	30～39歳	121	46.3	50.4	42.1	57.0	38.0	0.8	0.8	27.3	0.0
	40～49歳	194	46.9	58.2	53.6	60.8	47.4	2.1	1.5	24.7	0.5
	50～59歳	236	44.5	61.0	56.8	67.4	60.2	1.3	0.4	19.5	0.4
	60～69歳	206	53.4	60.2	56.8	66.5	58.3	0.0	1.0	15.5	1.0
	70～79歳	247	44.9	51.8	47.4	57.9	47.8	0.0	3.2	23.5	3.6
	80歳～	106	35.8	42.5	38.7	47.2	34.0	0.9	2.8	32.1	7.5

■ 職業別 人身取引に関して問題だと思うこと

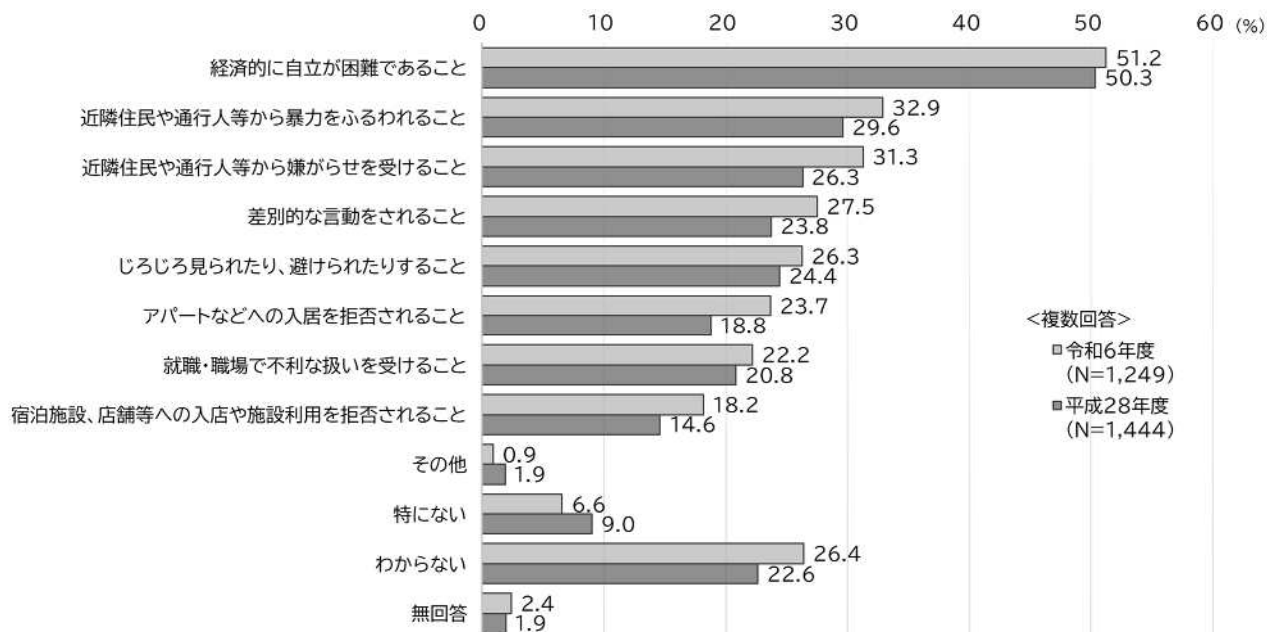
その他の職業を除くいずれの職業でも「女性や子どもなどの弱い立場の人が被害にあうこと」が最も多くなっている。学生では同率で「人身取引についての理解や認識が十分でないこと」が多くなっている。その他の職業では「児童ポルノや児童買春などにより、子どもに対する性的搾取が行われていること」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問29 人身取引に関して問題だと思うこと(%)						その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
			識 人 が 身 取 引 に 関 し て の 理 解 や 認	取 り 違 い が 行 わ れ て い る こ と	こ こ に あ い る 賃 金 で 強 制 的 に 働 か せ ら れ て い る こ と	の 女 性 や 子 ど も な ど の 弱 い 立 場 の 人 が 被 害 に あ う こ と	が 営 利 目 的 で 臓 器 の 摘 出 や 売 買 が 行 わ れ て い る こ と					
	全体	1,249	46.0	54.3	49.8	60.1	48.0	0.9	2.0	23.1	1.8	
F3 職業	自営業	63	47.6	61.9	61.9	68.3	54.0	0.0	0.0	15.9	0.0	
	会社員・公務員など	416	43.8	53.6	48.6	60.1	43.5	0.7	1.9	22.6	0.2	
	パート・アルバイト・契約社員など	246	49.6	56.9	55.3	64.6	56.5	0.4	0.4	19.5	1.6	
	家事専業	182	45.6	54.4	48.9	57.1	51.1	0.5	3.3	24.7	4.4	
	学生	38	63.2	50.0	50.0	63.2	36.8	5.3	5.3	18.4	0.0	
	その他の職業	25	32.0	68.0	56.0	64.0	64.0	0.0	0.0	24.0	0.0	
	仕事はしていない	261	46.0	51.7	46.0	56.3	45.2	1.5	2.7	27.2	3.1	

15. ホームレスの人権について

問 30 あなたは、ホームレスの人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「経済的に自立が困難であること」が51.2%で最も多く、約半数となっている。次いで「近隣住民や通行人等から暴力をふるわれること」(32.9%)、「近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること」(31.3%)、「差別的な言動をされること」(27.5%)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(26.3%)と続く。「わからない」は26.4%となっている。



■ 性別・年齢別 ホームレスの人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「経済的に自立が困難であること」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「経済的に自立が困難であること」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問30 ホームレスの人権に関して問題だと思うこと(%)													
			近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること	近隣住民や通行人等から暴力をふるわれること	けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否されること	施設利用を拒否されること							
	全体	1,249	31.3	32.9	22.2	27.5	23.7	18.2	26.3	51.2	0.9	6.6	26.4	2.4		
F1 性別	男性	549	30.4	29.9	20.4	27.1	22.8	17.1	25.0	46.4	1.3	9.3	25.9	1.6		
	女性	669	32.4	35.7	23.9	28.0	24.1	19.3	27.5	56.1	0.3	4.5	26.5	2.5		
	(参考)その他	15	46.7	53.3	33.3	53.3	53.3	26.7	40.0	53.3	13.3	0.0	26.7	0.0		
F2 年齢	18～29歳	120	30.0	33.3	16.7	28.3	18.3	12.5	26.7	41.7	0.8	11.7	26.7	0.0		
	30～39歳	121	25.6	33.1	14.9	20.7	17.4	11.6	24.0	43.0	1.7	6.6	28.1	0.0		
	40～49歳	194	34.0	38.1	21.6	26.8	25.8	17.5	22.7	50.5	0.5	8.2	26.3	0.0		
	50～59歳	236	30.5	37.3	28.0	26.3	26.3	19.9	26.7	55.1	1.3	5.9	26.3	0.4		
	60～69歳	206	32.0	37.4	21.4	33.5	25.2	24.3	33.0	59.2	0.0	5.8	22.8	1.9		
	70～79歳	247	32.8	27.9	24.7	30.8	26.7	19.8	27.1	54.7	0.8	5.7	25.5	5.7		
	80歳～	106	36.8	21.7	24.5	24.5	19.8	17.0	21.7	47.2	1.9	2.8	31.1	6.6		

■ 職業別 ホームレスの人権に関して問題だと思うこと

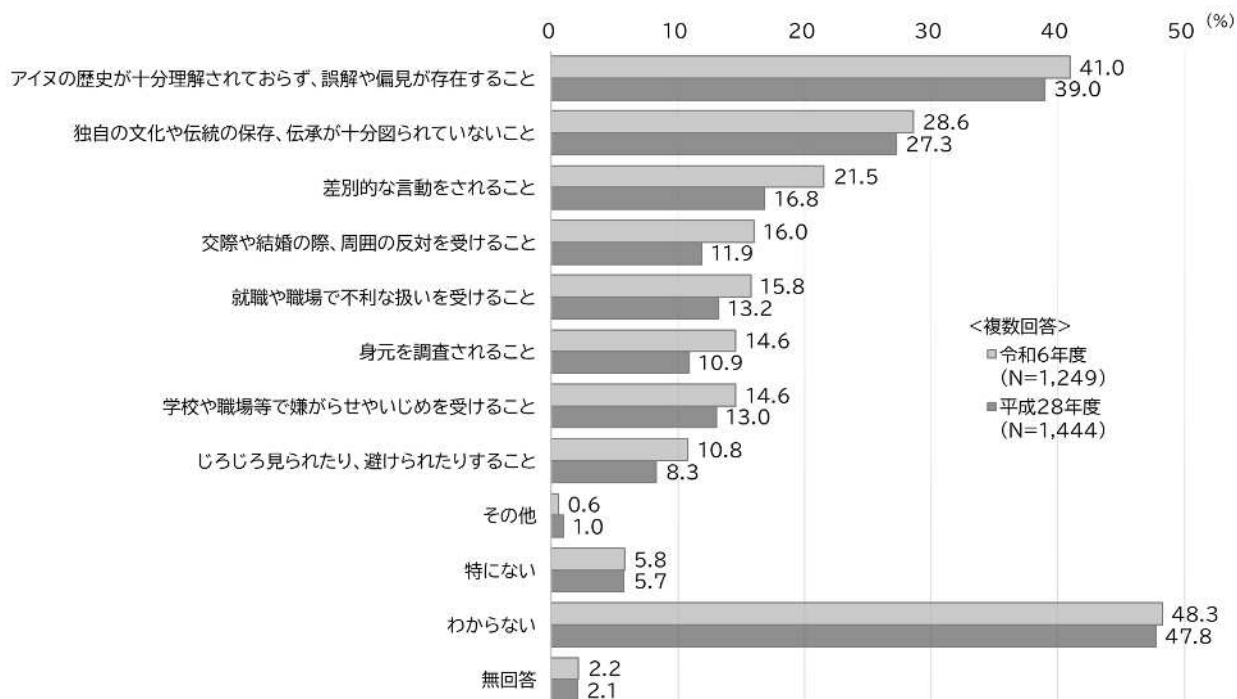
学生を除くいずれの職業でも「経済的に自立が困難であること」が最も多くなっており、学生では「近隣住民や通行人等から暴力をふるわれること」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問30 ホームレスの人権に関して問題だと思うこと(%)												
			近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること	近隣住民や通行人等から暴力をふるわれること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパートなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	じろじろ見られたり、避けられたりすること						
	全体	1,249	31.3	32.9	22.2	27.5	23.7	18.2	26.3	51.2	0.9	6.6	26.4	2.4	
F3 職業	自営業	63	38.1	42.9	20.6	34.9	27.0	14.3	31.7	61.9	0.0	11.1	14.3	0.0	
	会社員・公務員など	416	27.2	32.2	17.5	24.5	19.7	14.2	24.0	46.2	1.0	8.4	26.2	0.0	
	パート・アルバイト・契約社員など	246	31.7	34.1	24.4	30.9	25.6	22.8	28.5	57.3	0.4	5.3	26.8	0.8	
	家事専業	182	31.3	30.2	24.2	24.7	22.5	20.3	24.7	52.2	0.0	6.6	29.7	4.9	
	学生	38	36.8	44.7	15.8	31.6	21.1	13.2	31.6	42.1	2.6	10.5	15.8	0.0	
	その他の職業	25	40.0	32.0	32.0	36.0	40.0	28.0	28.0	60.0	0.0	0.0	32.0	0.0	
	仕事はしていない	261	35.6	32.2	27.6	29.5	27.6	20.3	27.6	53.3	1.9	3.8	27.2	5.7	

16. アイヌの人々の人権について

問 31 あなたは、アイヌの人々の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「わからない」が48.3%と最も多くなっている。次いで「アイヌの歴史が十分理解されておらず、誤解や偏見が存在すること」(41.0%)、「独自の文化や伝統の保存、伝承が十分図られていないこと」(28.6%)などとなっている。



■ 性別・年齢別 アイヌの人々の人権に関して問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「わからない」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、50代、60代を除くいずれの年代でも「わからない」が最も多くなっている。70代では同率で「アイヌの歴史が十分理解されておらず、誤解や偏見が存在すること」が多くなっている。50代、60代では「アイヌの歴史が十分理解されておらず、誤解や偏見が存在すること」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問31 アイヌの人々の人権に関して問題だと思うこと(%)										わからない	無回答
			じ学校や職場等 で嫌がらせや いじめを受けること	交際や結婚の際、 周囲の反対 を受けること	就職や職場で不利な 扱いを受けること	差別的な言動をされること	承独自の文化や伝統の 保存、伝 承が十分図られていないこと	れじろ見られたり、避け たりすること	すておらず、誤解や偏見が 存在すること	身元を調査されること	その他	特にな い		
	全体	1,249	14.6	16.0	15.8	21.5	28.6	10.8	41.0	14.6	0.6	5.8	48.3	2.2
F1 性別	男性	549	12.9	14.4	14.0	19.7	27.1	10.2	39.0	11.8	0.4	7.3	48.5	1.5
	女性	669	15.8	17.5	17.2	23.3	30.3	11.2	43.3	16.7	0.4	4.5	48.0	2.2
	(参考)その他	15	33.3	26.7	33.3	33.3	33.3	26.7	40.0	33.3	13.3	6.7	46.7	0.0
F2 年齢	18～29歳	120	14.2	15.0	14.2	17.5	25.8	13.3	30.8	18.3	0.0	5.0	55.8	0.0
	30～39歳	121	8.3	9.1	7.4	16.5	19.8	6.6	33.9	14.0	0.0	7.4	53.7	0.0
	40～49歳	194	17.5	17.0	16.5	24.7	26.8	10.8	37.1	13.9	0.0	7.7	52.6	0.0
	50～59歳	236	16.9	17.4	18.6	25.4	32.2	12.7	46.2	18.2	2.5	5.5	45.8	0.4
	60～69歳	206	16.0	19.9	18.0	21.8	35.4	13.1	51.5	13.6	0.0	4.9	41.7	2.4
	70～79歳	247	15.4	17.8	19.4	23.9	33.6	10.1	44.5	15.0	0.0	4.0	44.5	4.9
	80歳～	106	9.4	11.3	9.4	15.1	17.0	7.5	33.0	7.5	0.9	6.6	50.9	4.7

■ 職業別 アイヌの人々の人権に関して問題だと思うこと

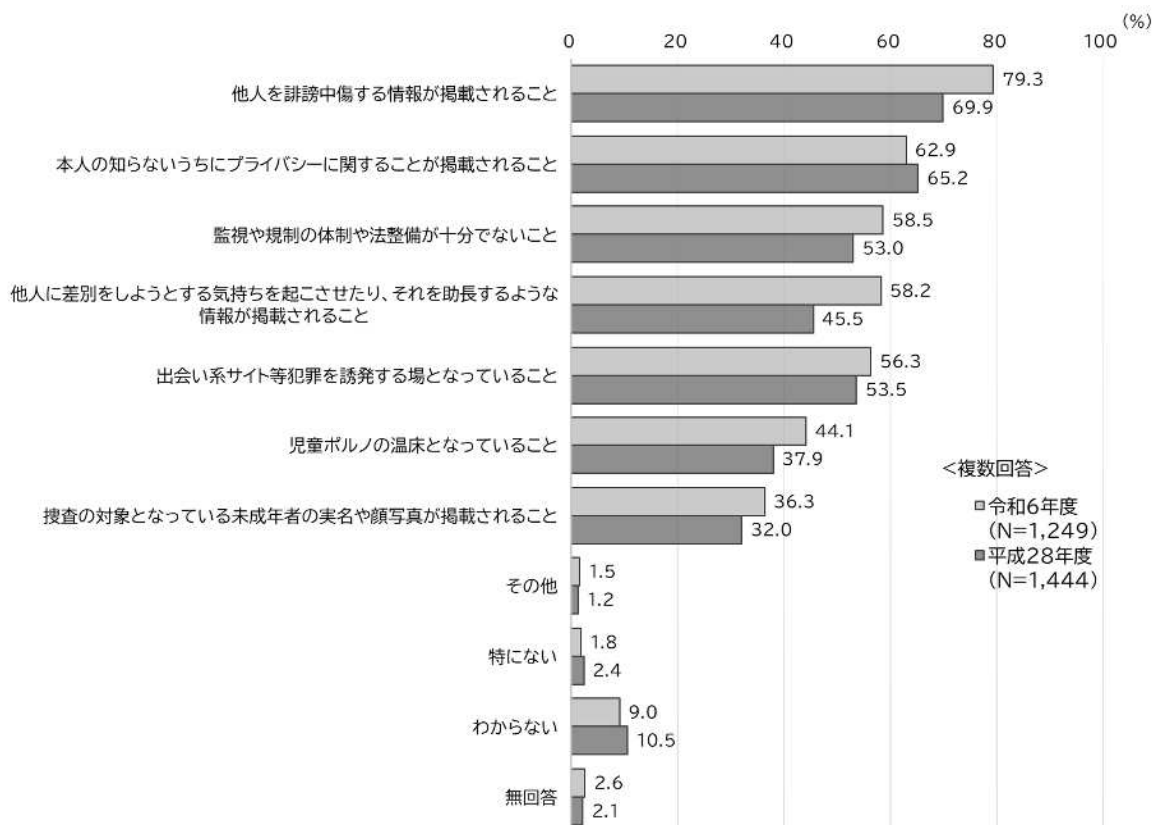
いずれの職業でも「わからない」が最も多くなっている。その他の職業では同率で「アイヌの歴史が十分理解されておらず、誤解や偏見が存在すること」が多くなっている。

		合計 (人)	問31 アイヌの人々の人権に関して問題だと思うこと(%)										わからない	無回答
			じ学校や職場等 で嫌がらせや いじめを受けること	交際や結婚の際、 周囲の反対 を受けること	就職や職場で不利な 扱いを受けること	差別的な言動をされること	承独自の文化や伝統の 保存、伝 承が十分図られていないこと	れじろ見られたり、避け たりすること	すておらず、誤解や偏見が 存在すること	身元を調査されること	その他	特にな い		
	全体	1,249	14.6	16.0	15.8	21.5	28.6	10.8	41.0	14.6	0.6	5.8	48.3	2.2
F3 職業	自営業	63	12.7	11.1	15.9	14.3	28.6	11.1	47.6	15.9	0.0	3.2	49.2	1.6
	会社員・公務員など	416	11.5	12.5	11.1	20.0	26.4	8.2	36.8	12.0	0.7	7.0	49.0	0.0
	パート・アルバイト・契約社員など	246	16.7	19.5	19.5	22.0	30.5	15.4	44.7	17.5	0.0	4.1	50.0	0.8
	家事専業	182	18.1	22.0	22.5	26.9	34.1	10.4	42.3	17.0	0.5	5.5	47.8	3.8
	学生	38	15.8	15.8	15.8	21.1	31.6	13.2	42.1	21.1	0.0	7.9	47.4	0.0
	その他の職業	25	20.0	20.0	24.0	28.0	32.0	24.0	48.0	24.0	0.0	0.0	48.0	0.0
	仕事はしていない	261	15.3	15.7	14.9	22.2	27.2	9.6	42.5	12.6	1.1	6.5	45.2	5.0

17. インターネットを利用した人権問題について

問 32 あなたは、インターネットを利用した人権問題について、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

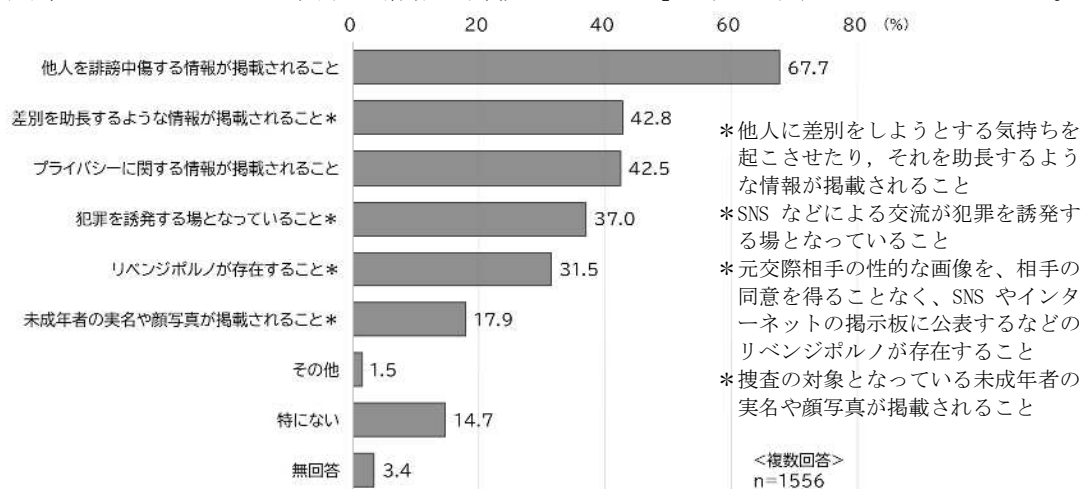
「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が 79.3%で最も多く、約 8 割となっている。次いで「本人の知らないうちにプライバシーに関する情報が掲載されること」が 62.9%となっている。以下「監視や規制の体制や法整備が十分でないこと」(58.5%)、「他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること」(58.2%)「出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること」(56.3%)などとなっている。



<参考>内閣府「人権擁護に関する世論調査」(令和4年度)

【インターネットによる人権侵害に関する人権問題】

内閣府「人権擁護に関する世論調査」(令和4年度)をみると、「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が最も多く 67.7%となっている。次いで「差別を助長するような情報が掲載されること」(42.8%)、「プライバシーに関する情報が掲載されること」(42.5%)などとなっている。



■ 性別・年齢別 インターネットを利用した人権問題について問題だと思うこと

- ・性別では、男女とも「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問32 インターネットを利用した人権問題について問題だと思うこと(%)										
			他人を誹謗中傷する情報が掲載されること	他人に差別をしようとする気持を助長するような情報が掲載されること	出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること	年次調査の対象となっており、顔写真が掲載されていないこと	児童ポルノの温床となっていること	本人の知らないうちにプライバシーに関することが掲載されること	監視や規制の体制や法整備が十分でないこと	その他	特にない	わからない	無回答
	全体	1,249	79.3	58.2	56.3	36.3	44.1	62.9	58.5	1.5	1.8	9.0	2.6
F1 性別	男性	549	78.7	57.2	51.0	28.6	37.7	55.6	59.0	1.6	2.9	8.4	1.6
	女性	669	80.4	59.2	61.1	43.2	49.6	69.4	58.7	1.0	0.7	9.6	2.8
	(参考)その他	15	80.0	73.3	60.0	33.3	60.0	73.3	60.0	20.0	0.0	13.3	0.0
F2 年齢	18～29歳	100	77.5	58.3	43.3	34.2	41.7	65.0	43.3	2.5	2.5	10.0	0.0
	30～39歳	121	78.5	69.4	54.5	38.0	48.8	63.6	53.7	1.7	3.3	6.6	0.0
	40～49歳	194	85.1	66.5	60.3	38.1	54.1	67.0	63.9	1.5	1.5	7.2	0.0
	50～59歳	236	86.4	62.3	60.6	39.4	51.7	69.9	67.4	2.5	0.8	3.4	0.4
	60～69歳	206	87.4	65.0	63.6	42.7	46.1	68.0	68.0	1.0	0.5	4.9	1.5
	70～79歳	247	74.1	47.8	59.1	32.4	36.4	58.7	57.1	0.4	1.6	13.4	6.5
	80歳～	106	56.6	34.9	39.6	26.4	24.5	40.6	40.6	1.9	3.8	24.5	7.5

■ 職業別 インターネットを利用した人権問題について問題だと思うこと

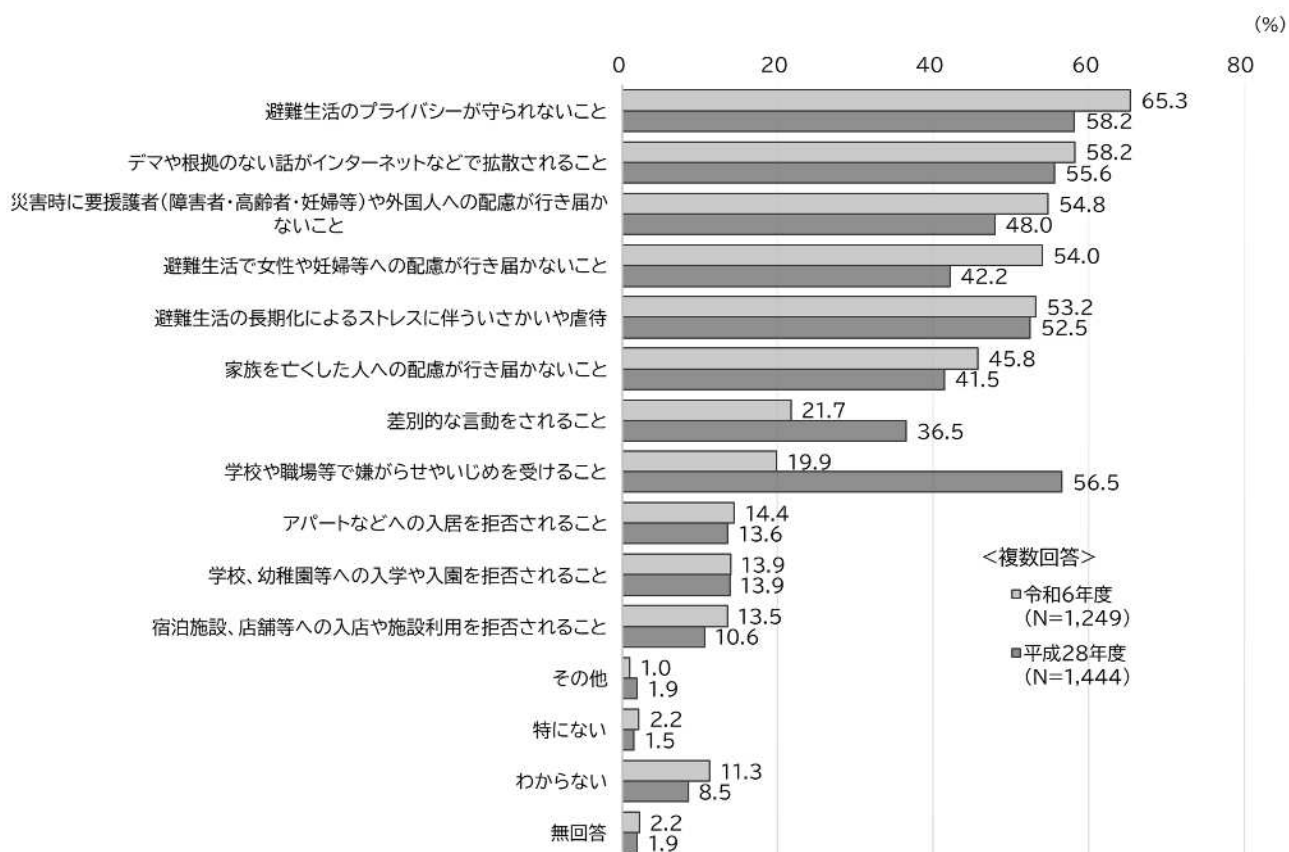
いずれの職業でも「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問32 インターネットを利用した人権問題について問題だと思うこと(%)								その他	特にな い	わか らない	無回 答
			他人を誹 謗中傷す る情報が 掲載され ること	他人に差 別をしよう とする気 持を助長 するよう な情報が 掲載され ること	出会い系 サイト等 犯罪を誘 発する場 となっ ているこ と	捜査の対 象となっ ていない 人々の名 や顔写真 が掲載さ れてい ること	児童ポル ノの温床 となっ てい ること	本人の知 らないう ちにプラ イバシー に関す ることが 掲載され ること	監視や規 制の体制 や法整備 が十分で ないこと					
	全体	1,249	79.3	58.2	56.3	36.3	44.1	62.9	58.5	1.5	1.8	9.0	2.6	
F3 職業	自営業	63	85.7	76.2	66.7	39.7	47.6	71.4	77.8	1.6	0.0	6.3	0.0	
	会社員・公務員など	416	82.0	62.7	53.4	32.0	44.2	63.2	57.9	1.2	2.4	5.8	0.0	
	パート・アルバイト・契約社員など	246	82.9	56.5	60.6	44.3	50.4	69.9	63.0	0.8	1.2	7.3	1.2	
	家事専業	182	79.7	54.4	62.6	39.0	47.8	67.6	57.1	1.6	0.5	9.3	5.5	
	学生	38	76.3	63.2	42.1	44.7	47.4	68.4	39.5	5.3	2.6	7.9	0.0	
	その他の職業	25	88.0	76.0	68.0	44.0	52.0	80.0	72.0	0.0	0.0	8.0	0.0	
	仕事はしていない	261	70.9	49.4	52.5	31.8	34.9	49.8	54.8	2.3	2.3	16.9	5.7	

18. 災害に起因する人権問題について

問 33 あなたは、地震や台風などの自然災害により被災した方々に、どのような人権問題が起きていると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「避難生活のプライバシーが守られないこと」が最も多く 65.3%、次いで「デマや根拠のない話がインターネットなどで拡散されること」(58.2%)、「災害時に要援護者(障害者・高齢者・妊婦等)や外国人への配慮が行き届かないこと」(54.8%)、「避難生活で女性や妊婦等への配慮が行き届かないこと」(54.0%)、「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待」(53.2%)が5割以上となっている。



■ 性別・年齢別 自然災害や災害に伴って起きている人権問題

- ・性別では、男女とも「避難生活のプライバシーが守られないこと」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、18～29 歳、50 代から 80 歳以上の年代では「避難生活のプライバシーが守られないこと」が、30 代、40 代では「デマや根拠のない話がインターネットなどで拡散されること」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問33 自然災害や災害に伴って起きている人権問題(%)																
			高齢者・障害者・妊婦等への配慮が 行き届かないこと	避難生活で女性や妊婦等への 配慮が行き届かないこと	避難生活のプライバシーが守 られないこと	家族を亡くした人への配慮が 行き届かないこと	デマや根拠のない話がイン ターネットなどで拡散される こと	学校や職場等で嫌がらせや いじめを受けること	差別的な言動をされること	アルバイトなどへの入居を拒否 されること	宿泊施設・店舗等への入店や 施設利用を拒否されること	学校・幼稚園等への入学や入 園を拒否されること	避難生活の長期化によるスト レスに伴ういさかやうな虐待	その他	特 に ない	わ か ら な い	無 回 答		
F1 性別	全体	1,249	54.8	54.0	65.3	45.8	58.2	19.9	21.7	14.4	13.5	13.9	53.2	1.0	2.2	11.3	2.2		
	男性	549	50.6	48.1	60.3	43.0	59.7	17.7	20.6	13.5	12.8	12.2	50.5	1.1	3.3	11.3	1.3		
	女性	669	58.4	59.3	70.0	48.3	57.7	21.2	22.1	14.8	13.8	14.9	55.8	0.4	1.2	10.9	2.5		
	(参考)その他	15	53.3	66.7	73.3	53.3	53.3	40.0	40.0	33.3	33.3	33.3	80.0	20.0	0.0	20.0	0.0		
F2 年齢	18～29歳	120	44.2	49.2	58.3	36.7	55.0	20.8	23.3	16.7	16.7	19.2	47.5	0.8	4.2	13.3	0.0		
	30～39歳	121	42.1	52.1	52.9	45.5	62.8	19.0	24.0	9.1	8.3	11.6	52.1	0.8	3.3	13.2	0.0		
	40～49歳	194	52.1	57.7	62.9	50.5	63.4	24.7	25.8	14.9	16.5	16.0	53.6	1.0	1.0	12.9	0.0		
	50～59歳	236	58.5	55.5	68.6	49.2	65.7	22.0	25.0	18.2	17.4	16.9	62.7	1.7	1.3	6.8	0.4		
	60～69歳	206	63.1	61.7	76.7	51.0	67.5	20.9	22.8	14.1	12.6	15.0	56.3	0.0	0.5	7.8	1.5		
	70～79歳	247	61.1	52.6	69.2	44.5	53.4	17.0	16.6	13.0	10.5	9.3	53.4	0.8	2.4	11.3	5.3		
	80歳～	106	48.1	44.3	58.5	35.8	27.4	10.4	11.3	13.2	11.3	9.4	37.7	1.9	4.7	19.8	6.6		

■ 職業別 自然災害や災害に伴って起きている人権問題

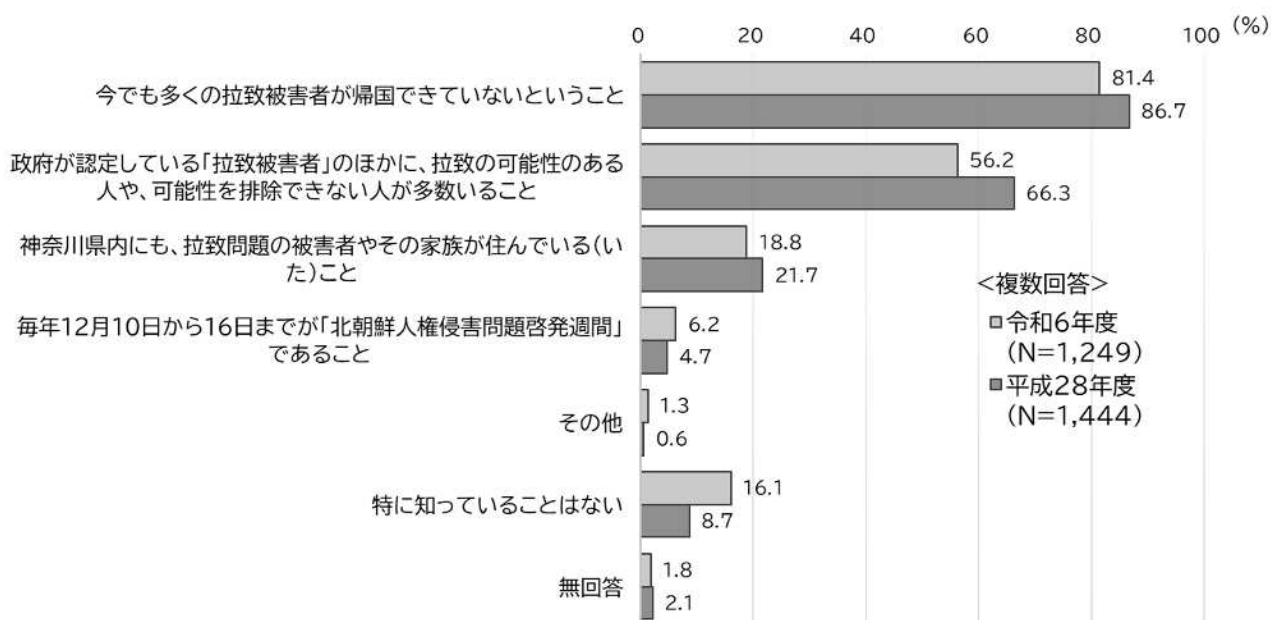
いずれの職業でも「避難生活のプライバシーが守られないこと」が最も多く、学生では同率で「避難生活で女性や妊婦等への配慮が行き届かないこと」が多くなっている。

		合計 (人)	問33 自然災害や災害に伴って起きている人権問題(%)																
			の高齢者等が、災害時に避難生活で女性や妊婦等への配慮が行き届かないこと	避難生活で女性や妊婦等への配慮が行き届かないこと	避難生活のプライバシーが守られないこと	家族を亡くした人への配慮が行き届かないこと	デマや根拠のない話がインターネットなどで拡散されること	学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること	差別的な言動をされること	アルバイトなどへの入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	学校、幼稚園等への入学や入園を拒否されること	避難生活の長期化によるストレスに付き合いにくいや虐待	その他	特になし	わからない	無回答		
	全体	1,249	54.8	54.0	65.3	45.8	58.2	19.9	21.7	14.4	13.5	13.9	53.2	1.0	2.2	11.3	2.2		
F3 職業	自営業	63	63.5	60.3	74.6	60.3	73.0	23.8	25.4	15.9	12.7	14.3	66.7	1.6	0.0	4.8	0.0		
	会社員・公務員など	416	47.8	51.7	61.5	46.2	59.9	17.1	19.2	11.5	11.1	11.3	52.2	1.2	2.6	10.6	0.0		
	パート・アルバイト・契約社員など	246	58.1	56.5	69.9	47.2	63.0	23.2	25.2	17.1	15.4	17.1	54.5	0.4	1.2	10.6	1.2		
	家事専業	182	63.2	58.8	70.3	45.1	57.7	22.5	20.3	15.9	14.8	15.9	54.4	0.5	1.1	9.3	4.4		
	学生	38	55.3	52.6	52.6	31.6	50.0	18.4	23.7	15.8	21.1	18.4	52.6	0.0	2.6	10.5	0.0		
	その他の職業	25	52.0	64.0	80.0	48.0	68.0	36.0	40.0	40.0	36.0	36.0	72.0	0.0	0.0	8.0	0.0		
	仕事はしていない	261	55.2	51.3	63.6	43.3	49.4	16.9	19.9	12.3	11.5	10.7	49.8	1.5	3.4	16.1	5.0		

19. 北朝鮮当局による拉致被害者等の人権について

問 34 北朝鮮当局による拉致問題について、あなたが知っていることはどのようなことですか。 (あてはまるものすべてに○)

「今でも多くの拉致被害者が帰国できていないということ」が81.4%と最も多くなっている。次いで「政府が認定している『拉致被害者』のほかに、拉致の可能性のある人や、可能性を排除できない人が多数いること」が56.2%などとなっている。



■ 性別・年齢別 北朝鮮当局による拉致問題について知っていること

- ・性別では、男女とも「今でも多くの拉致被害者が帰国できていないということ」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、いずれの年代でも「今でも多くの拉致被害者が帰国できていないということ」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問34 北朝鮮当局による拉致問題について知っていること(%)						特に知 っていることは ない	無 回 答
			国 今 で も 多 く の 拉 致 被 害 者 が 帰	で 性 害 政 府 が 認 定 し て い る 人 が 多 く 、 可 能 性 を 排 除	る 被 害 者 川 内 に も 、 拉 致 問 題 の	ま で 毎 年 1 ～ 2 月 1 0 日 か ら 1 6 日 の 間 に あ る こ と	そ の 他			
	全体	1,249	81.4	56.2	18.8	6.2	1.3	16.1	1.8	
F1 性別	男性	549	79.4	55.9	17.3	6.7	1.3	17.1	0.7	
	女性	669	83.6	56.5	20.0	5.7	1.2	15.1	2.4	
	(参考)その他	15	73.3	53.3	26.7	13.3	6.7	20.0	0.0	
F2 年齢	18～29歳	120	57.5	28.3	16.7	6.7	0.8	40.0	0.8	
	30～39歳	121	75.2	37.2	10.7	4.1	0.0	21.5	0.0	
	40～49歳	194	73.2	49.0	10.3	3.6	0.5	23.7	0.0	
	50～59歳	236	86.0	64.8	22.9	7.2	2.5	10.2	0.8	
	60～69歳	206	91.3	67.5	22.3	6.3	1.0	6.3	1.5	
	70～79歳	247	88.3	66.4	25.5	7.3	1.2	11.3	2.4	
	80歳～	106	86.8	58.5	16.0	8.5	2.8	12.3	7.5	

■ 職業別 北朝鮮当局による拉致問題について知っていること

学生を除くいずれの職業でも「今でも多くの拉致被害者が帰国できていないということ」が最も多くなっている。学生では「特に知っていることはない」が最も多くなっている。

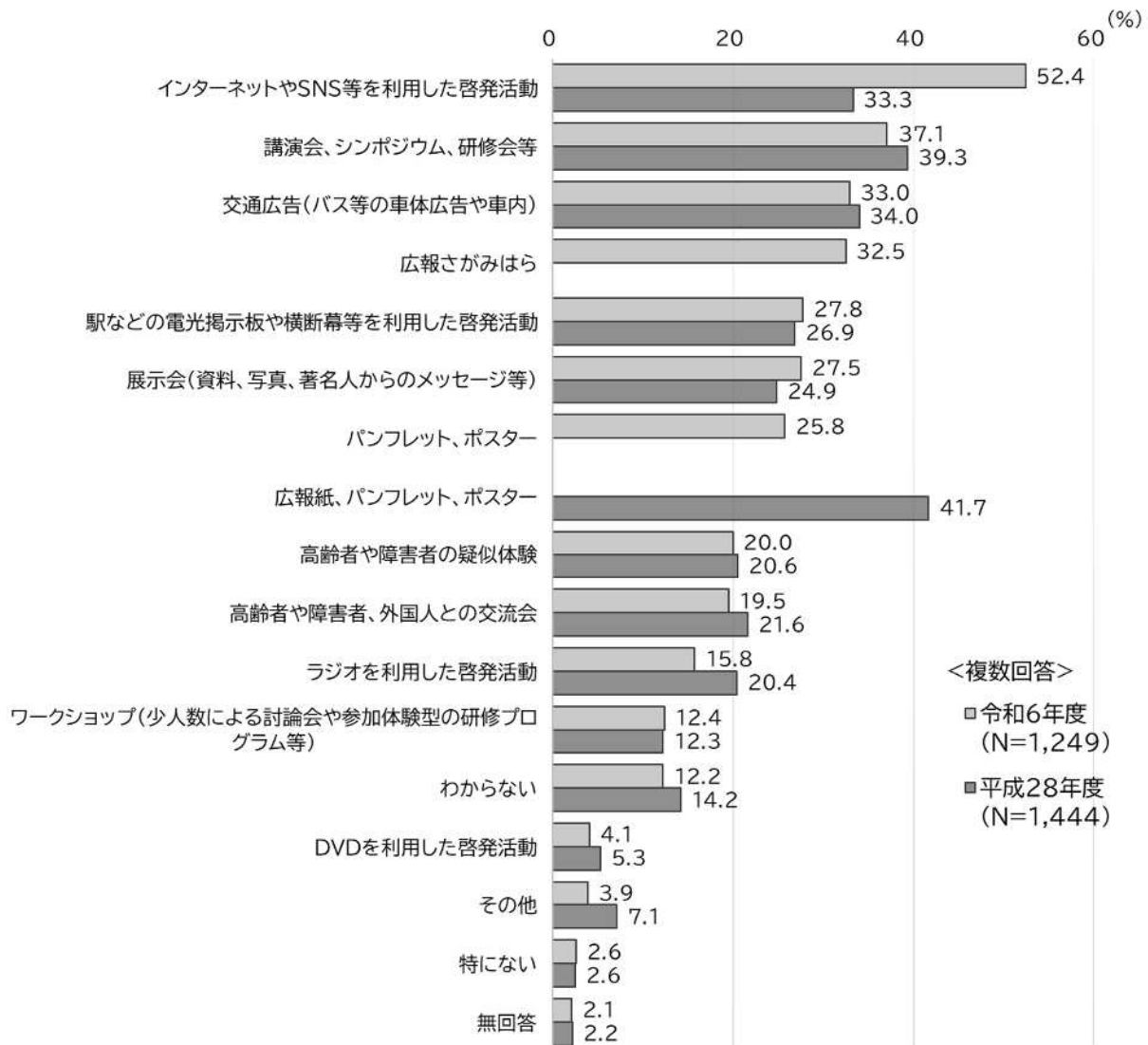
		合計 (人)	問34 北朝鮮当局による拉致問題について知っていること(%)					その他	特に知っていることはない	無回答
			国今でも多くの拉致被害者が帰	で性害政きのあいの認定している人々が、拉致被害者を排除できる	る被害者(川内)にも、拉致問題の	啓ま毎で年12月10日から16日				
	全体	1,249	81.4	56.2	18.8	6.2	1.3	16.1	1.8	
F3 職業	自営業	63	85.7	68.3	20.6	6.3	0.0	12.7	0.0	
	会社員・公務員など	416	78.6	49.5	14.7	6.0	0.5	18.8	0.5	
	パート・アルバイト・契約社員など	246	82.5	54.9	22.4	6.1	0.8	13.4	1.2	
	家事専業	182	85.7	65.9	20.9	6.6	3.3	12.1	3.3	
	学生	38	47.4	23.7	13.2	2.6	2.6	52.6	0.0	
	その他の職業	25	84.0	52.0	28.0	8.0	4.0	4.0	4.0	
	仕事はしていない	261	86.6	63.6	20.3	6.9	1.5	13.4	3.1	

20. 人権課題の解決に向けた方策について

問 35 あなたは、人権啓発を推進するためには、どのような方法が効果的だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「インターネットやSNS等を利用した啓発活動」が最も多く 52.4%となっている。以下「講演会、シンポジウム、研修会等」(37.1%)、「交通広告(バス等の車体広告や車内)」(33.0%)、「広報さがみはら」(32.5%)などとなっている。

※ 「広報紙、パンフレット、ポスター」は、今回調査から「広報さがみはら」と「パンフレット、ポスター」に分割した回答項目



■ 性別・年齢別 人権啓発を推進するために効果があると思う方法

- ・性別では、男女とも「インターネットやSNS等を利用した啓発活動」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、18～29歳から60代の年代では「インターネットやSNS等を利用した啓発活動」が、70代では「講演会、シンポジウム、研修会等」と「広報さがみはら」が、80歳以上では「広報さがみはら」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問35 人権啓発を推進するために効果があると思う方法(%)																
			会 講 議 会、シン ポ ジ ウ ム、研 修	展 示 の ポ ス タ ー 等 (資 料、写 真、著 名 人 等)	広 報 マ ガ ジ ン	パ ン フ レ ッ ト、ポ ス タ ー	ラ ジ オ を 利 用 し た 啓 発 活 動	D V D を 利 用 し た 啓 発 活 動	イ ン タ ー ネ ッ ト や S N S 等 を 利 用 し た 啓 発 活 動	交 通 告 白 (バ ス 等 の 車 体 告 白 等)	駅 等 の 電 光 掲 示 板 や 横 断 幕 等 を 利 用 し た 啓 発 活 動	ワ ー ク シ ョ ウ や サ マ イ ア ン グ 等 の 研 修 会 等	高 齢 者 や 障 害 者 の 疑 似 体 験	交 流 会 等 高 齢 者 や 障 害 者、外 国 人 と の	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答	
	全体	1,249	37.1	27.5	32.5	25.8	15.8	4.1	52.4	33.0	27.8	12.4	20.0	19.5	3.9	2.6	12.2	2.1	
F1 性別	男性	549	38.8	26.8	28.2	26.2	15.7	4.6	53.6	28.4	24.6	10.9	16.8	18.9	5.6	4.4	12.6	0.9	
	女性	669	36.5	28.4	36.5	25.7	15.5	3.9	51.9	36.5	30.3	13.8	23.0	20.2	2.4	1.2	11.5	2.7	
	(参考)その他	15	26.7	33.3	20.0	26.7	26.7	0.0	60.0	53.3	40.0	20.0	20.0	26.7	13.3	0.0	13.3	0.0	
F2 年齢	18～29歳	120	23.3	16.7	9.2	22.5	12.5	2.5	66.7	44.2	35.8	7.5	15.0	17.5	5.8	5.0	12.5	0.8	
	30～39歳	121	25.6	17.4	18.2	21.5	13.2	1.7	66.9	48.8	33.9	11.6	15.7	18.2	4.1	0.8	9.1	0.0	
	40～49歳	194	31.4	25.3	23.2	20.1	14.4	4.1	69.6	35.6	29.4	16.5	20.6	23.2	4.6	2.6	11.9	0.0	
	50～59歳	236	37.7	28.0	25.4	24.6	18.2	4.7	56.4	31.8	27.1	16.5	23.7	23.7	6.8	3.0	9.3	0.8	
	60～69歳	206	40.8	35.0	42.2	32.0	17.0	3.9	53.4	33.5	29.1	12.1	22.8	19.9	1.0	2.4	12.1	1.5	
	70～79歳	247	49.8	36.0	49.8	31.2	17.8	6.5	34.0	23.5	23.1	12.1	22.7	17.0	2.4	1.6	13.8	3.6	
	80歳～	106	40.6	23.6	50.9	25.5	10.4	2.8	24.5	23.6	20.8	5.7	12.3	15.1	3.8	3.8	17.0	7.5	

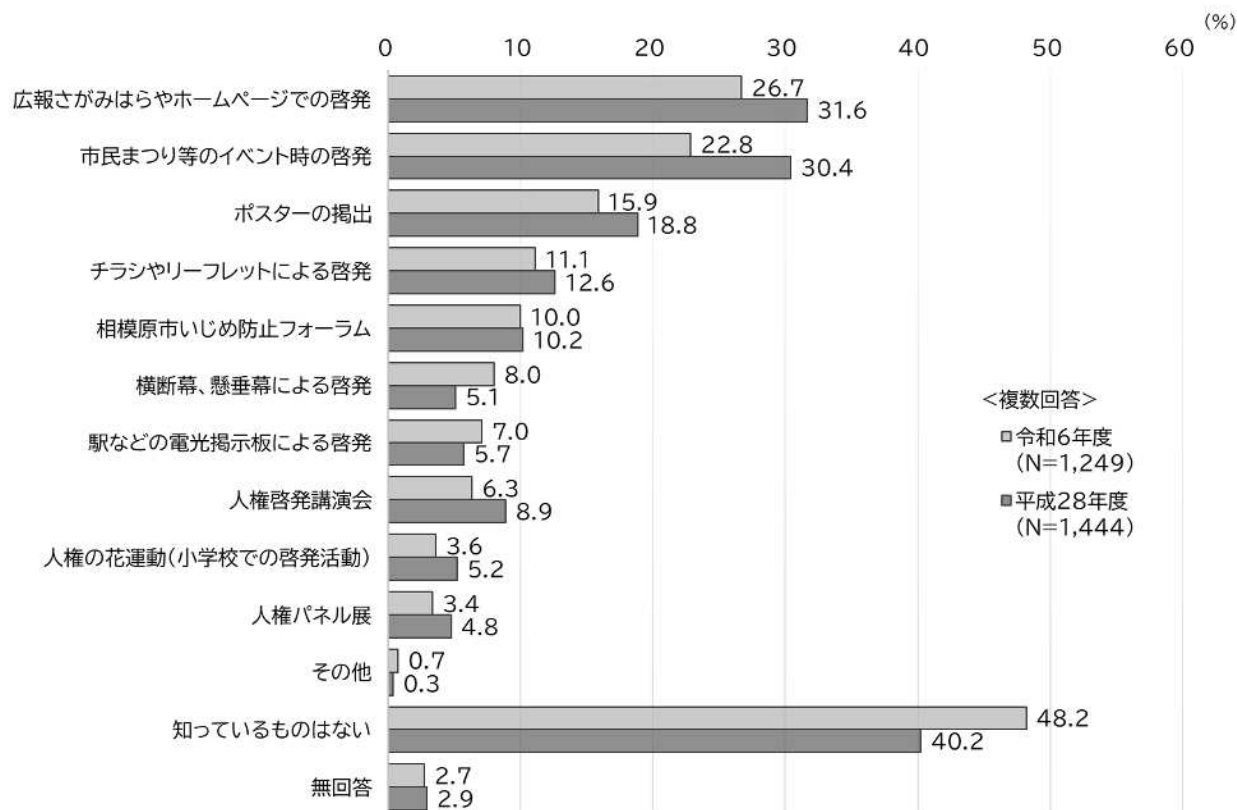
■ 職業別 人権啓発を推進するために効果があると思う方法

家事専業と仕事はしていないでは「広報さがみはら」が、それ以外の職業では「インターネットやSNS等を利用した啓発活動」が最も多くなっている。その他の職業では同率で「交通広告（バス等の車体広告や車内）」が多くなっている。

		合計 (人)	問35 人権啓発を推進するために効果があると思う方法(%)																
			会 講 演 会 、 シ ン ポ ジ ウ ム 、 研 修	展 示 の の メ ツ セ リ 等 （ 資 料 、 写 真 、 著 名 人 ）	広 報 さ が み は ら	パ ン フ レ ッ ト 、 ポ ス タ ー	ラ ジ オ を 利 用 し た 啓 発 活 動	D V D を 利 用 し た 啓 発 活 動	イ ン タ ー ネ ッ ト や S N S 等 を 利 用 し た 啓 発 活 動	交 通 告 白 （ バ ス 等 の 車 体 告 白 や 車 内 ）	駅 等 の 電 光 掲 示 板 や 横 断 幕 等 を 利 用 し た 啓 発 活 動	ワ ー ク シ ョ ウ や サ マ イ ア ー の 研 修 会 等 （ 少 数 に よ る 討 論 会 や 参 加 体 験 型 の 研 修 会 等 ）	高 齢 者 や 障 害 者 の 疑 似 体 験	交 流 会 等 高 齢 者 や 障 害 者 、 外 国 人 と の	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答	
	全体	1,249	37.1	27.5	32.5	25.8	15.8	4.1	52.4	33.0	27.8	12.4	20.0	19.5	3.9	2.6	12.2	2.1	
F3 職業	自営業	63	33.3	28.6	30.2	20.6	11.1	1.6	55.6	23.8	28.6	14.3	20.6	25.4	6.3	1.6	11.1	0.0	
	会社員・公務員など	416	31.3	22.8	19.5	22.4	14.4	2.6	62.7	35.3	29.8	13.2	17.8	20.7	5.0	3.8	9.1	0.5	
	パート・アルバイト・契約社員など	246	41.9	30.9	33.3	27.2	17.9	6.1	59.8	37.0	31.7	13.8	23.2	17.9	2.8	1.2	11.0	1.2	
	家事専業	182	39.0	26.4	48.4	28.0	15.4	4.4	39.0	33.0	25.3	10.4	24.2	20.3	2.2	1.1	13.7	4.4	
	学生	38	36.8	21.1	5.3	26.3	18.4	0.0	71.1	63.2	47.4	7.9	13.2	18.4	5.3	2.6	7.9	0.0	
	その他の職業	25	32.0	32.0	40.0	40.0	24.0	12.0	60.0	60.0	40.0	20.0	28.0	20.0	0.0	0.0	12.0	0.0	
	仕事はしていない	261	43.3	33.3	46.0	29.1	16.1	5.0	35.6	21.5	19.2	11.5	18.8	18.4	4.2	3.4	17.2	3.8	

問 36 相模原市では、市民の皆様が人権についての理解を深めていただくため、講演会やパネル展示などの啓発事業を行っています。次のうち、あなたが知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「知っているものはない」が最も多く 48.2%となっている。最も認知度の高い啓発事業は「広報さがみはらやホームページでの啓発」(26.7%)、次いで「市民まつり等のイベント時の啓発」(22.8%)となっている。



■ 性別・年齢別 相模原市での講演会やパネル展示などの啓発事業の認知度

- ・性別では、男女とも「知っているものはない」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、60代以下の年代では「知っているものはない」が、70代以上では「広報さがみはらやホームページでの啓発」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問36 相模原市での講演会やパネル展示などの啓発事業の認知度(%)																	
			人権啓 講演会	人権パ ネル展	啓市底まつり等のイベント時の	ポスターの掲出	啓発 チラシやリーフレットによる	人権の花運動（小学校での啓 発活動）	相模原市いじめ防止フォーラム	広報さがみはらやホームページ での啓発	発駅などの電光掲示板による啓	横断幕、懸垂幕による啓発	その他	知っているものはない	無回答					
	全体	1,249	6.3	3.4	22.8	15.9	11.1	3.6	10.0	26.7	7.0	8.0	0.7	48.2	2.7					
F1 性別	男性	549	5.1	4.2	18.6	15.1	9.5	2.2	7.1	24.4	6.6	7.8	1.1	54.5	2.6					
	女性	669	7.3	2.7	26.3	16.1	12.4	4.6	12.0	28.6	7.3	8.4	0.1	43.5	2.5					
	(参考)その他	15	6.7	6.7	26.7	26.7	20.0	13.3	33.3	33.3	6.7	0.0	13.3	33.3	0.0					
F2 年齢	18～29歳	120	9.2	4.2	14.2	20.0	13.3	4.2	20.8	12.5	15.8	11.7	0.0	54.2	0.8					
	30～39歳	121	4.1	5.0	19.0	18.2	5.0	4.1	14.0	10.7	9.1	10.7	0.8	56.2	1.7					
	40～49歳	194	2.6	2.6	20.6	15.5	12.4	4.1	9.3	19.6	3.6	7.2	1.0	56.2	0.0					
	50～59歳	236	4.7	3.0	21.2	14.8	12.3	2.5	11.9	21.6	6.8	8.5	0.8	53.0	1.7					
	60～69歳	206	7.8	3.4	19.4	17.5	11.2	2.9	7.3	30.6	5.3	8.3	0.5	49.0	2.4					
	70～79歳	247	8.9	3.2	30.4	14.6	12.1	4.5	5.7	41.7	5.7	6.1	0.4	36.4	4.9					
	80歳～	106	6.6	2.8	33.0	10.4	8.5	3.8	6.6	43.4	7.5	4.7	1.9	34.0	6.6					

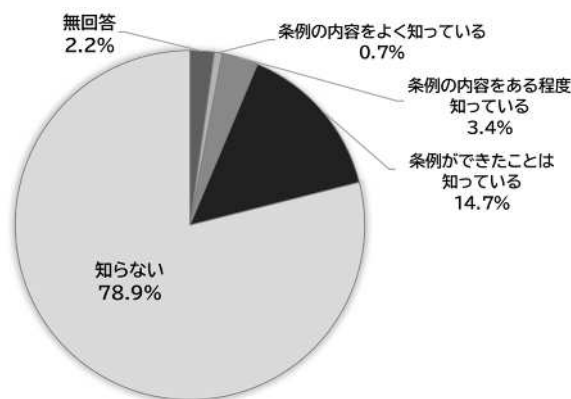
■ 職業別 相模原市での講演会やパネル展示などの啓発事業の認知度

仕事はしていないでは「広報さがみはらやホームページでの啓発」が、それ以外の職業では「知っているものはない」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問36 相模原市での講演会やパネル展示などの啓発事業の認知度(%)										横断幕、懸垂幕による啓発	その他()	知っているものはない	無回答
			人権啓発講演会	人権パネル展	市民まつり等のイベント時の啓発	ポスターの掲出	チラシやリーフレットによる啓発	人権の花運動（小学校での啓発活動）	相模原市いじめ防止フォーラム	広報さがみはらやホームページでの啓発	駅などの電光掲示板による啓発					
	全体	1,249	6.3	3.4	22.8	15.9	11.1	3.6	10.0	26.7	7.0	8.0	0.7	48.2	2.7	
F3 職業	自営業	63	9.5	0.0	25.4	20.6	7.9	1.6	11.1	25.4	6.3	1.6	0.0	50.8	3.2	
	会社員・公務員など	416	5.3	3.4	19.2	16.3	9.4	3.1	11.1	17.5	6.3	8.2	0.7	59.4	0.5	
	パート・アルバイト・契約社員など	246	5.3	4.5	22.4	18.3	14.2	3.7	9.3	26.0	6.9	10.2	0.0	45.5	2.4	
	家事専業	182	7.7	1.1	29.1	9.9	10.4	6.6	9.9	33.5	8.2	6.6	0.5	40.7	2.7	
	学生	38	5.3	2.6	13.2	18.4	10.5	2.6	23.7	7.9	18.4	13.2	0.0	44.7	0.0	
	その他の職業	25	8.0	8.0	12.0	16.0	12.0	4.0	8.0	24.0	12.0	16.0	0.0	68.0	0.0	
	仕事はしていない	261	7.3	4.6	26.8	14.9	12.6	3.1	7.3	41.0	5.4	6.9	1.5	36.8	6.1	

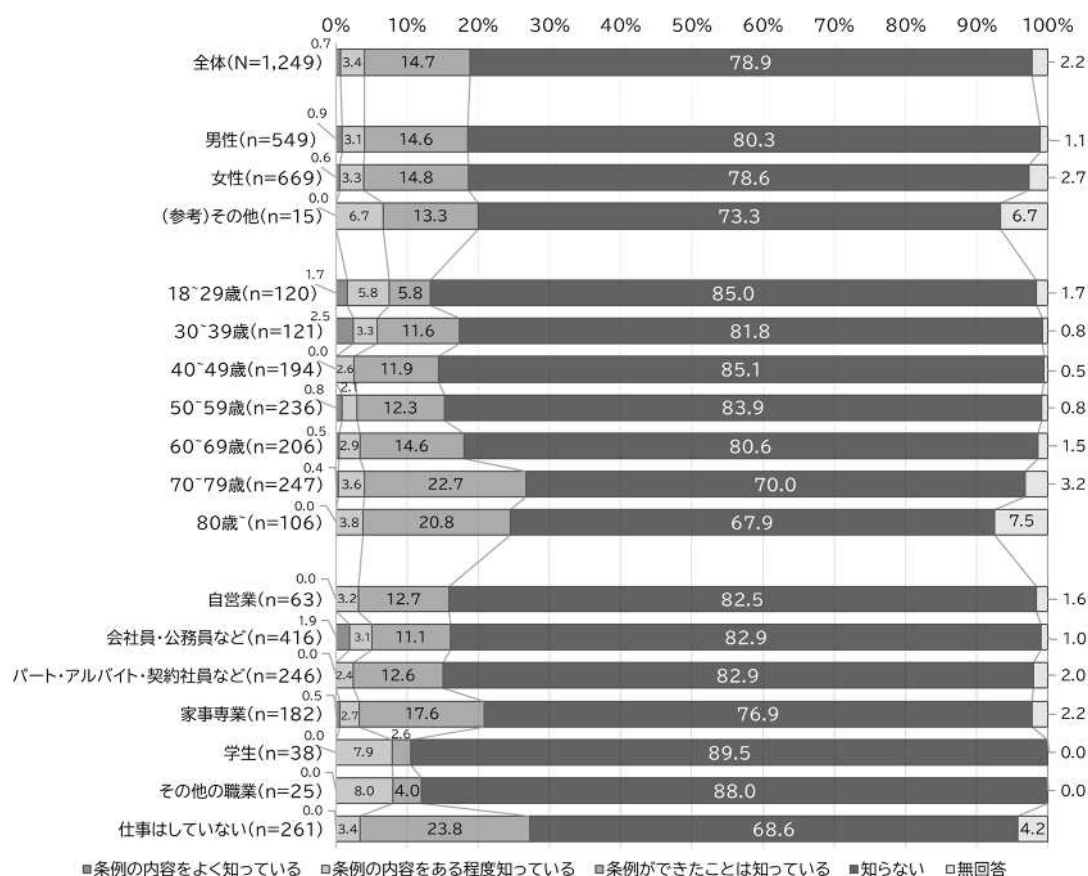
問 37 相模原市は、「一人ひとりが、かけがえのない個人として尊重され、互いの人権を認め合う共生社会の実現」を図るため、令和 6 年 3 月に「相模原市人権尊重のまちづくり条例」を制定しました。あなたはこの条例を知っていますか。(○は 1 つ)

- ・「知らない」が 78.9%で最も多く、約 8 割となっている。次いで「条例ができたことは知っている」(14.7%)、「条例の内容をある程度知っている」(3.4%)、「条例の内容をよく知っている」(0.7%)となっている。
- ・全体では、「条例の内容をよく知っている」、「条例の内容をある程度知っている」、「条例ができたことは知っている」を合わせて『知っている』とした場合、『知っている』は 18.8%となっている。



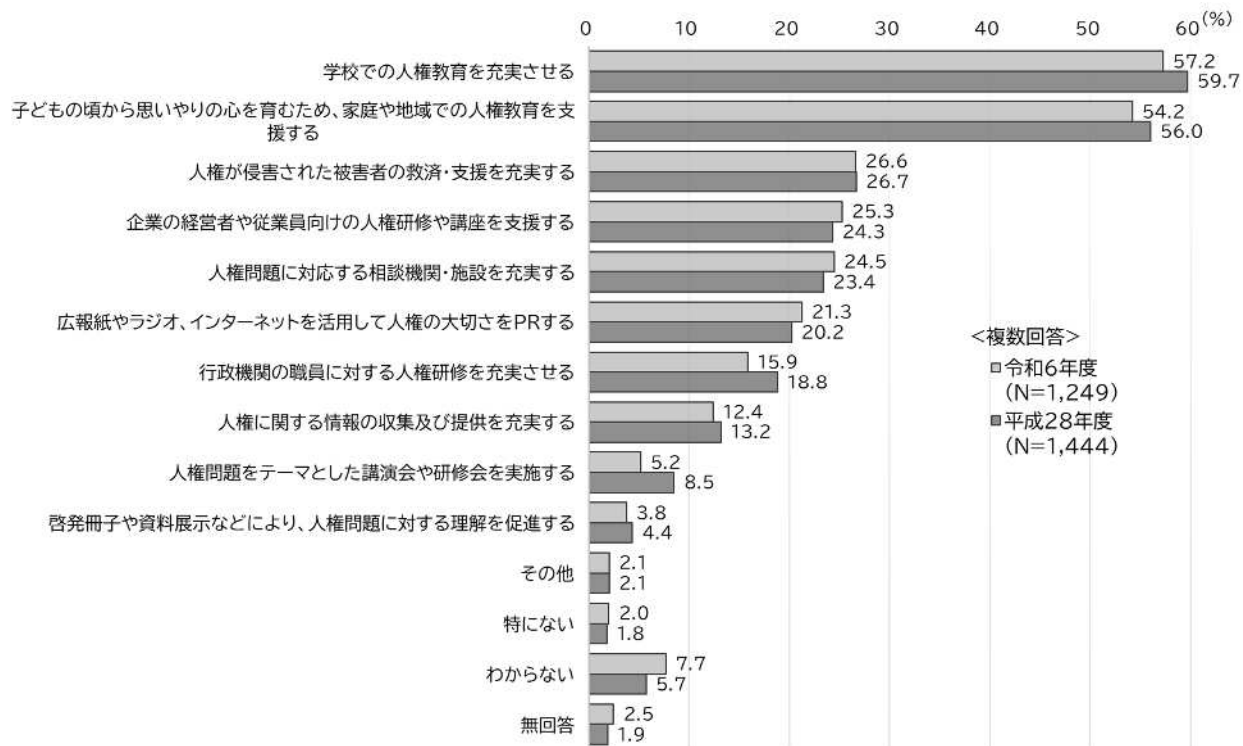
■ 性別・年齢・職業別 相模原市人権尊重のまちづくり条例の認知度

- ・性別では、男女とも「知らない」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、70 代、80 歳以上で『知っている』割合が 2 割を超えており、他の年代に比べ高くなっている。
- ・職業別では、『知っている』割合が高いのが、仕事はしていない(27.2%)、家事専業(20.8%)となっており、「知らない」割合が最も高いのが学生(89.5%)となっている。



問 38 人権尊重のまちづくり条例の目的である、「一人ひとりが、かけがえのない個人として尊重され、互いの人権を認め合う共生社会の実現」のためには、相模原市は今後どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまでお選びください。（〇は3つまで）

「学校での人権教育を充実させる」（57.2%）が最も多くなっている。次いで「子どもの頃から思いやりの心を育むため、家庭や地域での人権教育を支援する」（54.2%）、「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」（26.6%）、「企業の経営者や従業員向けの人権研修や講座を支援する」（25.3%）、「人権問題に対応する相談機関・施設を充実する」（24.5%）、「広報紙やラジオ、インターネットを活用して人権の大切さをPRする」（21.3%）が2割以上となっている。



■ 性別・年齢別 人権問題や人権課題の解決に向けて相模原市が力を入れていくべきこと

- ・性別では、男性では「学校での人権教育を充実させる」が、女性では「学校での人権教育を充実させる」と「子どもの頃から思いやりの心を育むため、家庭や地域での人権教育を支援する」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、18～29歳から60代、80歳以上の年代で「学校での人権教育を充実させる」が最も多く、30代では同率で「子どもの頃から思いやりの心を育むため、家庭や地域での人権教育を支援する」が多くなっている。70代では「子どもの頃から思いやりの心を育むため、家庭や地域での人権教育を支援する」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問38 人権問題や人権課題の解決に向けて相模原市が力を入れていくべきこと(%)															
			子ども・若者の人権教育を充実させる	学校での人権教育を充実させる	企業の経営者や従業員向けの人権研修や講座を支援する	行政機関の職員に対する人権研修を充実させる	人権問題に対応する相談窓口	人権侵害を受けた被害者の救済・支援を充実させる	広報紙やラジオ、インターネットを活用して人権の大切さをPRする	啓発・啓蒙活動を通じて、人権問題に対する理解を深める	啓発・啓蒙活動を通じて、人権問題に対する理解を深める	啓発・啓蒙活動を通じて、人権問題に対する理解を深める	啓発・啓蒙活動を通じて、人権問題に対する理解を深める	啓発・啓蒙活動を通じて、人権問題に対する理解を深める	啓発・啓蒙活動を通じて、人権問題に対する理解を深める	啓発・啓蒙活動を通じて、人権問題に対する理解を深める	啓発・啓蒙活動を通じて、人権問題に対する理解を深める	
	全体	1,249	54.2	57.2	25.3	15.9	24.5	26.6	21.3	3.8	5.2	12.4	2.1	2.0	7.7	2.5		
F1 性別	男性	549	49.4	57.6	26.8	15.7	21.1	22.2	21.7	4.2	5.8	14.8	2.7	2.9	9.3	1.8		
	女性	669	58.1	58.1	24.4	15.8	27.5	30.3	21.7	3.6	4.9	10.5	1.3	1.2	6.3	2.5		
	(参考)その他	15	53.3	26.7	26.7	20.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	6.7	13.3	0.0	13.3	6.7		
F2 年齢	18～29歳	120	44.2	54.2	26.7	11.7	20.8	22.5	13.3	0.8	2.5	8.3	1.7	3.3	15.0	0.8		
	30～39歳	121	57.9	57.9	33.1	17.4	15.7	15.7	15.7	0.0	1.7	9.1	3.3	2.5	8.3	0.8		
	40～49歳	194	55.7	60.3	31.4	13.9	23.2	27.8	17.0	2.6	2.1	8.8	2.1	1.5	9.3	0.5		
	50～59歳	236	52.5	55.9	30.5	14.0	25.4	32.6	22.5	3.0	5.1	16.1	3.8	0.8	5.9	1.3		
	60～69歳	206	52.4	58.7	21.4	17.0	27.2	31.1	25.2	3.9	6.8	13.1	1.9	1.9	5.8	2.4		
	70～79歳	247	60.3	58.3	18.2	17.0	29.6	28.7	25.9	6.9	8.9	14.2	0.8	1.2	5.7	3.6		
	80歳～	106	51.9	54.7	17.9	21.7	24.5	17.0	25.5	7.5	6.6	13.2	0.9	4.7	7.5	7.5		

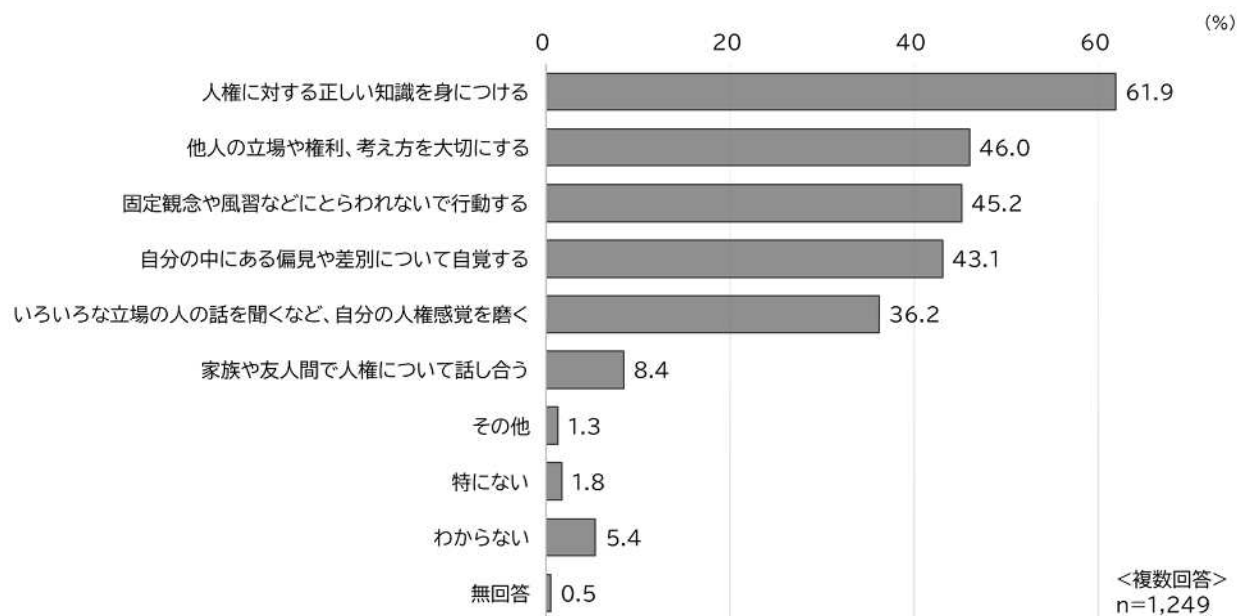
■ 職業別 人権問題や人権課題の解決に向けて相模原市が力を入れていくべきこと

家事専業を除くいずれの職業でも「学校での人権教育を充実させる」が最も多くなっている。家事専業では「子どもの頃から思いやりの心を育むため、家庭や地域での人権教育を支援する」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問38 人権問題や人権課題の解決に向けて相模原市が力を入れていくべきこと(%)															
			子ども の頃から 思いやり の心を 育て、家 庭や地域 で、心 を育む ための 支援する	学 校 で の 人 権 教 育 を 充 実 さ せ る	企 業 の 経 営 者 や 従 業 員 向 け の 人 権 研 修 や 講 座 を 支 援 す る	研 修 機 関 の 職 員 に 対 す る 人 権 研 修 を 充 実 さ せ る	関 ・ 施 設 に 対 応 す る 相 談 機 関 の 充 実 を 支 援 す る	人 権 に 関 する 啓 蒙 活 動 の 充 実 を 支 援 す る	啓 蒙 活 動 の 充 実 を 支 援 す る	啓 蒙 活 動 の 充 実 を 支 援 す る	啓 蒙 活 動 の 充 実 を 支 援 す る	啓 蒙 活 動 の 充 実 を 支 援 す る	啓 蒙 活 動 の 充 実 を 支 援 す る	啓 蒙 活 動 の 充 実 を 支 援 す る	啓 蒙 活 動 の 充 実 を 支 援 す る	啓 蒙 活 動 の 充 実 を 支 援 す る	啓 蒙 活 動 の 充 実 を 支 援 す る	
	全体	1,249	54.2	57.2	25.3	15.9	24.5	26.6	21.3	3.8	5.2	12.4	2.1	2.0	7.7	2.5		
F3 職業	自営業	63	50.8	52.4	30.2	19.0	20.6	28.6	19.0	1.6	3.2	14.3	1.6	4.8	3.2	4.8		
	会社員・公務員など	416	54.6	58.7	29.1	13.2	21.2	22.4	19.0	2.6	3.1	12.7	2.9	2.4	8.7	0.5		
	パート・アルバイト・契約社員など	246	52.0	61.8	26.4	13.4	24.8	28.9	23.6	3.3	7.3	9.8	1.6	0.8	8.1	1.6		
	家事専業	182	63.7	56.0	18.1	21.4	30.2	30.8	28.6	5.5	4.9	11.5	1.6	1.1	5.5	2.7		
	学生	38	50.0	60.5	18.4	10.5	23.7	34.2	10.5	0.0	5.3	15.8	5.3	0.0	7.9	0.0		
	その他の職業	25	48.0	64.0	24.0	12.0	28.0	32.0	12.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	16.0	0.0		
	仕事はしていない	261	51.0	52.5	24.1	18.8	27.6	27.2	21.5	6.5	8.0	13.0	1.1	2.7	7.3	5.4		

問 39 「一人ひとりが、かけがえのない個人として尊重され、互いの人権を認め合う共生社会の実現」のために、あなたにはどんなことができると思いますか。(〇は3つまで)

「人権に対する正しい知識を身につける」が最も多く 61.9%となっている。次いで「他人の立場や権利、考え方を大切にする」(46.0%)、「固定観念や風習などにとらわれないで行動する」(45.2%)、「自分の中にある偏見や差別について自覚する」(43.1%)、「いろいろな立場の人の話を聞くなど、自分の人権感覚を磨く」(36.2%)が3割以上となっている。



■ 性別・年齢別 共生社会の実現のためにできること

- ・性別では、男女とも「人権に対する正しい知識を身につける」が最も多くなっている。
- ・年齢別では、80歳以上を除くいずれの年代でも「人権に対する正しい知識を身につける」が最も多く、80歳以上では「他人の立場や権利、考え方を大切にする」が最も多くなっている。

		合計 (人)	問39 共生社会の実現のためにできること(%)						他人の立場や権利、考え方を大切にする	その他	特にない	わからない	無回答
			人権に対する正しい知識を身につける	くくうなど、自分の立場の人の話を磨聞	固定観念や風習などにとらわれないで行動する	自分の中にある偏見や差別について自覚する	家族や友人間で人権について話し合う						
	全体	1,249	61.9	36.2	45.2	43.1	8.4	46.0	1.3	1.8	5.4	0.5	
F1 性別	男性	549	57.9	34.4	43.5	43.9	7.3	42.4	1.6	1.6	8.0	0.4	
	女性	669	65.6	38.6	46.2	42.8	9.7	49.3	0.4	1.5	3.3	0.6	
	(参考)その他	15	53.3	13.3	53.3	33.3	0.0	60.0	26.7	0.0	0.0	0.0	
F2 年齢	18～29歳	120	65.0	31.7	49.2	37.5	8.3	30.8	1.7	1.7	12.5	0.0	
	30～39歳	121	64.5	38.0	42.1	47.9	11.6	35.5	1.7	2.5	5.8	0.0	
	40～49歳	194	58.8	40.2	46.9	45.4	12.4	43.3	1.5	2.1	6.7	1.0	
	50～59歳	236	66.1	36.9	45.8	47.9	7.2	47.0	2.1	0.4	4.7	0.0	
	60～69歳	206	63.6	27.2	39.8	51.0	5.3	50.0	0.5	1.5	3.9	0.5	
	70～79歳	247	61.5	41.7	51.0	38.5	6.9	53.4	0.0	1.6	2.4	1.2	
	80歳～	106	50.0	37.7	35.8	26.4	10.4	55.7	2.8	1.9	5.7	0.0	

■ 職業別 共生社会の実現のためにできること

いずれの職業でも「人権に対する正しい知識を身につける」が最も多く、その他の職業では同率で「固定観念や風習などにとらわれないで行動する」が多くなっている。

		合計 (人)	問39 共生社会の実現のためにできること(%)						その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
			人権に 対する 正しい 知識を身 につける	くく うな らな い立 場 の 人 の 話 を 磨 聞	固 定 観 念 や 風 習 な ど に と ら わ れ な い で 行 動 す る	自 分 の 中 に あ る 偏 見 や 差 別 に つ い て 自 覚 す る	家 族 や 友 人 間 で 人 権 に つ い て 話 し 合 う	他 人 の 立 場 や 権 利 、 考 え 方 を 大 切 に す る				
	全体	1,249	61.9	36.2	45.2	43.1	8.4	46.0	1.3	1.8	5.4	0.5
F3 職業	自営業	63	57.1	27.0	42.9	47.6	17.5	49.2	1.6	4.8	1.6	1.6
	会社員・公務員など	416	64.9	36.8	44.7	45.0	8.7	39.9	1.7	1.2	7.0	0.2
	パート・アルバイト・契約社員など	246	61.0	39.8	40.7	45.9	8.1	47.2	0.4	1.2	5.7	0.4
	家事専業	182	64.8	34.6	51.1	42.3	11.0	50.0	0.5	2.2	1.1	0.5
	学生	38	73.7	31.6	71.1	42.1	5.3	26.3	0.0	0.0	7.9	0.0
	その他の職業	25	64.0	32.0	64.0	44.0	0.0	48.0	0.0	4.0	4.0	0.0
	仕事はしていない	261	55.6	37.2	40.6	37.5	6.1	55.6	2.3	1.1	6.1	0.8

調 査 票

令和6年度 相模原市 人権に関する市民意識調査

【ご協力をお願い】

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、一人ひとりが、かけがえのない個人として尊重され、互いの人権を認め合う共生社会の実現に向けて、「相模原市人権尊重のまちづくり条例」を令和6年3月に制定し、様々な人権施策を推進しています。こうした中で、このたび、市民の皆様の人権に関する意識や考えなどをお聞きし、今後の人権施策を効果的に進めるため、市民意識調査を実施いたします。

この調査をお願いするにあたりましては、住民基本台帳を利用して、18歳以上の相模原市民の方から3,000人を無作為に選ばせていただきました。

調査結果は、すべて統計的に処理されますので、ご回答をいただいた内容が特定されることや、調査の目的以外に使用されることは一切ございません。

お忙しいところ、設問数も多くお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年12月

相模原市長 本村 賢太郎

◆この調査はインターネットまたは郵送のどちらかより回答が可能です◆

PCをお持ちの方はURLから、スマートフォンをお持ちの方はQRコードより回答フォームへアクセス可能です。

フォームのURL（インターネットから回答）

<https://logoform.jp/form/oWjU/814154>



※インターネットでの回答の場合、本調査票の右上に記載された7桁の英数字の入力が必要となります。

インターネットでの回答が難しい場合は、本調査票に回答を記入し、同封の返信用封筒に入れて送付してください。

なお、インターネットで回答した場合、本調査票での回答は不要です。

◆それぞれの回答方法等の詳細は、次ページをご確認ください◆

お忙しいところ誠に恐縮ですが、

令和6年12月27日（金）までに

ご回答いただきますようお願いいたします。

◆インターネットにて回答いただく場合◆

本調査票の表紙の URL または QR コードから回答フォームにアクセスしてください。

回答用 ID の入力が必要となりますので、本調査票の表紙右上に記載された7桁の英数字を WEB フォームに入力のうえ回答にお進みください。回答用 ID は、以下の数字とアルファベット（大文字のみ）を組み合わせたものとなります。

ぜろ 0	いち 1	に 2	さん 3	よん 4	ご 5	ろく 6	なな 7
はち 8	きゅう 9	えー A	びー B	しー C	でいー D	いー E	えふ F
じー G	えいち H	じえい J	けー K	える L	えむ M	えぬ N	ぴー P
あーる R	えす S	ていー T	ゆー U	ぶい V	だぶりゅー W	えっくす X	わい Y

インターネットによりご回答いただく場合は、令和6年12月27日（金）までに回答してください。

◆本調査票にて回答いただく場合のご記入にあたってのお願い◆

1. 封筒のあて名ご本人が回答くださるようお願いいたします。
2. 回答に氏名・住所を記入していただく必要はありません。
3. 回答は、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
4. 回答の○の数は、各質問に（○は1つ）、（○は3つまで）、（あてはまるものすべてに○）などと指定してありますので、それに合わせてください。
5. 自分の意見に近い選択肢がない場合は「その他（ ）」の選択肢の番号を○で囲み、（ ）の中にその内容を具体的にご記入ください。
6. 一部の方だけに回答していただく質問もありますが、その場合は矢印や説明文に従ってください。

本調査票によりご回答いただく場合は、回答を記入した調査票を同封の返信用封筒に入れて、令和6年12月27日（金）までにポストに投函してください。（切手不要）

調査に関する問い合わせ先
相模原市 市民局 人権・男女共同参画課
〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号
電話 042-769-8205（直通）

この調査票を読むことがむずかしい方には、ふりがな付きの調査票と点字版の調査票を用意してあります。必要な方は、問い合わせ先までご連絡ください。

初めに、あなたご自身のことについてお伺いします。

F 1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他(どちらともいえない・わからない・答えたくない)

F 2 あなたの年齢を教えてください。＜令和6年12月1日現在の満年齢＞ (○は1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 18歳～19歳 | 5 50歳～59歳 |
| 2 20歳～29歳 | 6 60歳～69歳 |
| 3 30歳～39歳 | 7 70歳～79歳 |
| 4 40歳～49歳 | 8 80歳以上 |

F 3 あなたのご職業を教えてください。2つ以上の職業をお持ちの方は主なものを次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

- 1 自営業
- 2 会社員・公務員など
- 3 パート・アルバイト・契約社員など
- 4 家事専業
- 5 学生
- 6 その他の職業
- 7 仕事はしていない

F 4 あなたは、インターネットを利用していますか。(○は1つ)

- 1 よく利用している(毎日1回以上)
- 2 ときどき利用している(週に1回以上)
- 3 あまり利用していない(月に1回程度)
- 4 利用していない

(F 4で「1 よく利用している」又は「2 ときどき利用している」とお答えの方に)

→F 5 どのような目的でインターネットを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 ホームページの閲覧
- 2 電子メールのやり取り
- 3 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
- 4 オンラインゲーム
- 5 商品・サービスの購入、取引
- 6 その他()

人権全般についての考えや意識について

問1 あなたは、今の日本は、一人ひとりの人権が尊重されている社会だと思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 そう思う | 4 そうは思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 わからない |
| 3 あまりそう思わない | |

問2 あなたは、この5～6年の間に、日本で、人権が侵害されるようなことは、次第に少なくなってきたと思いますか、あまり変わらないと思いますか、それとも次第に多くなってきたと思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|------------|-----------|
| 1 少なくなってきた | 3 多くなってきた |
| 2 あまり変わらない | 4 わからない |

問3 あなた自身の人権意識は、5年前に比べ高くなったと思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|------------|---------|
| 1 高くなった | 3 変わらない |
| 2 少しは高くなった | 4 わからない |

問4 あなたの「人権」に対する考えのうち、もっとも近いものは次のうちどれですか。

(○は1つ)

- | |
|---|
| 1 一人ひとりの人権は、何よりも尊重されなければならない |
| 2 人権は尊重されるべきであるが、社会生活においては、ある程度の制約もやむを得ない |
| 3 権利の濫用を防ぐため、人権はもっと制限すべきである |
| 4 わからない |

問5 次の人権に関する相談先のうち、あなたが知っているものはありますか。相談経験の有無は問いません。(カッコ内は実施主体等)

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | 人権擁護委員 (国) |
| 2 | 法務局 (横浜地方法務局相模原支局) で実施している人権相談 (国) |
| 3 | みんなの人権 110 番 (国) |
| 4 | こどもの人権 110 番 (国) |
| 5 | 女性の人権ホットライン (国) |
| 6 | 児童相談所虐待対応ダイヤル 189 (国) |
| 7 | 外国語人権相談ダイヤル (国) |
| 8 | 法務省で実施しているインターネット人権相談 (国) |
| 9 | かながわ男女共同参画センター (かなテラス) (県) |
| 10 | 区役所やまちづくりセンターで実施している市民相談 (人権相談) (市・国) |
| 11 | 人権総合相談窓口 (市) |
| 12 | さがみはら子どもの権利相談室 (市) |
| 13 | いじめ相談窓口 (市) |
| 14 | こども虐待 110 番 (市) |
| 15 | 高齢者虐待に関する相談・通報窓口 (市) |
| 16 | 障害者虐待に関する相談・通報窓口 (市) |
| 17 | 各地区の地域包括支援センター (市) |
| 18 | 障害者相談支援キーステーション (市) |
| 19 | 男女共同参画専門員 (市) |
| 20 | 相模原市配偶者暴力相談支援センター (市) |
| 21 | ソレイユさがみ女性相談室 (市) |
| 22 | 犯罪被害者等ワンストップ相談・支援窓口 (市) |
| 23 | その他 () |
| 24 | 知っているものはない |

問6 次の人権課題に関連する言葉のうち、あなたが知っているものはありますか。番号で回答してください。

(それぞれ○は1つ)

人権課題に関連する言葉	選択肢
モラル・ハラスメント	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
マタニティ・ハラスメント	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
カスタマー・ハラスメント	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
DV（ドメスティック・バイオレンス）	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
LGBTQ	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
セクシュアル・マイノリティ	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
ヘイトスピーチ	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
ダイバーシティ	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
ジェンダーアイデンティティ	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
ユニバーサルデザイン	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
ネグレクト	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
ワーク・ライフ・バランス	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない
アンコンシャス・バイアス	1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない

問7 あなたは、今までに、自己的人権が侵害されたと思ったことがありますか。

(○は1つ)

1 ある

2 ない →問9へ

→ (問7で「1 ある」とお答えの方に)

問8 それは、次のうちどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口
- 2 名誉・信用のき損、侮辱
- 3 公務員からの不当な取扱い
- 4 暴力、強迫、強要（社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことをやらされたり、権利の行使を妨害された）
- 5 悪臭・騒音等の迷惑行為
- 6 差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱いをされた）
- 7 出身地、家柄等に関すること
- 8 国籍による差別や特定の民族に対する侮辱
- 9 容姿や身体的特徴に関すること
- 10 障害に関すること
- 11 疾病に関すること
- 12 性的指向や心の性に関すること（いわゆるLGBTQ*）
- 13 地域社会での嫌がらせ
- 14 学校でのいじめ
- 15 職場での嫌がらせ
- 16 使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇
- 17 社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い
- 18 プライバシーの侵害
- 19 セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）
- 20 ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力）
- 21 インターネット上での誹謗中傷や嫌がらせ
- 22 その他（)
- 23 なんとなく
- 24 答えたくない

LGBTQ：からだの性とところの性が異なる人、同性や両性を好きになる人・ならない人、自身の性を男女どちらとも認識しない人などのことを性的マイノリティや、性的少数者といい、代表的な頭文字をとって「LGBTQ」と呼ばれることもあります。

(問7で「1 ある」とお答えの方、「2 ない」とお答えの方にそれぞれお伺いします。)

- 問9 「1 ある」とお答えの方 → 自分の人権が侵害されたと思ったとき、どうしましたか。
「2 ない」とお答えの方 → もし、自分の人権が侵害された場合、どうしますか。
(もっともあてはまるものに○を1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1 我慢した(する) | 6 法務局または人権擁護委員に相談した(する) |
| 2 相手に抗議した(する) | 7 民間の相談機関に相談した(する) |
| 3 身近な人に相談した(する) | 8 警察に相談した(する) |
| 4 弁護士に相談した(する) | 9 その他() |
| 5 市役所に相談した(する) | 10 わからない |

- 問10 あなたはこれまでに、他人の人権を侵害してしまったと思うことがありますか。
(○は1つ)

- | | |
|------|------------|
| 1 ある | 2 ない →問12へ |
|------|------------|

(問10で「1 ある」とお答えの方に)

- 問11 それは、次のうちどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口 |
| 2 名誉・信用のき損、侮辱 |
| 3 暴力、強迫、強要(社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことを強要したり、権利の行使を妨害した) |
| 4 悪臭・騒音等の迷惑行為 |
| 5 差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱い) |
| 6 出身地、家柄に関すること |
| 7 国籍による差別や特定の民族に対する侮辱 |
| 8 容姿や身体的特徴に関すること |
| 9 障害に関すること |
| 10 疾病に関すること |
| 11 性的指向や心の性に関すること(いわゆるLGBTQ) |
| 12 地域社会での嫌がらせ |
| 13 学校でのいじめ |
| 14 職場での嫌がらせ |
| 15 社員や部下に対し、時間外労働の強制等の不当な待遇 |
| 16 プライバシーの侵害 |
| 17 セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ) |
| 18 ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーへの暴力) |
| 19 インターネット上での誹謗中傷や嫌がらせ |
| 20 その他() |
| 21 答えたくない |

問 12 あなたは、人権に関わるさまざまな問題のうち、どのような人権問題に関心がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|---|
| 1 | 女性の人権問題 |
| 2 | 子どもの人権問題 |
| 3 | 高齢者の人権問題 |
| 4 | 障害者の人権問題 |
| 5 | 同和問題（部落差別） |
| 6 | アイヌの人々の人権問題 |
| 7 | 外国人の人権問題 |
| 8 | H I V感染者やハンセン病患者・回復者などの人権問題 |
| 9 | 働く人の人権問題 |
| 10 | 刑を終えて出所した人の人権問題 |
| 11 | 犯罪被害者とその家族の人権問題 |
| 12 | インターネットを悪用した人権問題 |
| 13 | 北朝鮮当局による拉致被害者の人権問題 |
| 14 | ホームレスの人権問題 |
| 15 | 性的指向や心の性に関する人権問題（いわゆるL G B T Q） |
| 16 | 性的搾取や強制労働、臓器の摘出などを目的とした人身取引の問題 |
| 17 | 大規模災害による避難生活や風評被害などの問題 |
| 18 | その他（ ） |
| 19 | 特になし |

問 13 あなたは、次の人権に関わるさまざまな問題について、どの程度人権が尊重されていると思いますか。

(それぞれ○は1つ)

人権に関わるさまざまな問題	1 尊重されている	2 ある程度尊重されている	3 あまり尊重されていない	4 尊重されていない	5 わからない
女性の人権問題	1	2	3	4	5
子どもの人権問題	1	2	3	4	5
高齢者の人権問題	1	2	3	4	5
障害者の人権問題	1	2	3	4	5
同和問題（部落差別）	1	2	3	4	5
アイヌの人々の人権問題	1	2	3	4	5
外国人の人権問題	1	2	3	4	5
H I V感染者やハンセン病患者・回復者などの人権問題	1	2	3	4	5
働く人の人権問題	1	2	3	4	5
刑を終えて出所した人の人権問題	1	2	3	4	5
犯罪被害者とその家族の人権問題	1	2	3	4	5
インターネットを悪用した人権問題	1	2	3	4	5
北朝鮮当局による拉致被害者の人権問題	1	2	3	4	5
ホームレスの人権問題	1	2	3	4	5
性的指向や心の性に関する人権問題（いわゆるL G B T Q）	1	2	3	4	5
性的搾取や強制労働、臓器の摘出などの人身取引の問題	1	2	3	4	5
大規模災害による避難生活や風評被害などの問題	1	2	3	4	5

女性の人権について

問 14 あなたは、女性の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識があること
- 2 職場での仕事の内容や、待遇に男女差があること
- 3 セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）
- 4 ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力）
- 5 売春・買春
- 6 「婦人」、「未亡人」、「家内」のような女性だけに使われる言葉
- 7 テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどによるわいせつ情報の氾濫
- 8 マタニティ・ハラスメント（妊娠、出産を理由としたいやがらせ）
- 9 女性に対する相談や支援体制の不備
- 10 女性が活躍することへの無理解
- 11 その他（)
- 12 特にない
- 13 わからない

子どもの人権について

問 15 あなたは、子どもの人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 いじめや、無視、嫌がらせなど
- 2 教師や指導者からの体罰
- 3 保護者からの虐待（身体・心理的・性的・育児放棄）
- 4 いじめや体罰、虐待を見て見ぬふりをすること
- 5 大人が子どもの意見を無視したり、大人の意見を押し付けたりすること
- 6 児童買春や児童ポルノなど、子どもが性の対象となっていること
- 7 生まれ育った環境で子どもの将来が左右されたり、親の貧困が子どもに連鎖したりすること
- 8 子どもの相談・支援体制が十分でないこと
- 9 その他（)
- 10 特にない
- 11 わからない

高齢者の人権について

問 16 あなたは、高齢者の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 活躍する場や能力を発揮する機会が少ないこと
- 2 差別的な言動をされること
- 3 振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと
- 4 アパートなどへの入居を拒否されること
- 5 家庭内の看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること
- 6 福祉施設等で、虐待を受けること
- 7 高齢者が邪魔者扱いされ、つまはじきにされること
- 8 高齢者の意見や行動が尊重されないこと
- 9 社会保障制度が十分でなく、経済的な自立が困難なこと
- 10 その他 ()
- 11 特にない
- 12 わからない

障害のある人の人権について

問 17 あなたは、障害のある人の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること2 交際や結婚の際、周囲の反対を受けること3 就職や職場で不利な扱いを受けること4 差別的な言動をされること5 振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと6 アパートなどへの入居を拒否されること7 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること8 スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと9 じろじろ見られたり、避けられたりすること10 活躍する場や能力を発揮する機会が少ないこと11 障害の特性が十分に理解されていないこと12 家庭内や福祉施設で虐待があること13 日常生活や福祉サービスの利用に当たって、本人の意見が十分に尊重されていないこと14 道路の段差やエレベータが設置されていないなど、生活する上でのバリアフリー化が十分に進んでいないこと15 社会保障制度が十分でなく、経済的な自立が困難なこと16 その他 ()17 特にない18 わからない |
|--|

同和問題（部落差別）について

問 18 あなたは、同和問題*を知っていますか。

(○は1つ)

- 2 知らない →問 21へ

(問 18 で「1 知っている」とお答えの方に)

→ 問 19 あなたが同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。

(○は1つ)

- 1 家族（祖父母、父母、きょうだい等）から聞いた
- 2 親戚の人から聞いた
- 3 近所の人から聞いた
- 4 職場の人から聞いた
- 5 学校の友だちから聞いた
- 6 学校の授業で教わった
- 7 テレビ・ラジオ・雑誌・本などで知った
- 8 同和問題の集会や研修で知った
- 9 県や市町村の広報紙や冊子などで知った
- 10 インターネットで知った
- 11 同和問題は知っているが、きっかけは覚えていない
- 12 その他（

同和問題：日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分階層構造に基づく差別により、一部の人々が長い間、経済的、社会的、文化的に低位の状態を強いられ、日常生活で様々な差別を受ける日本固有の人権問題。

(問 18 で「1 知っている」とお答えの方に)

→問 20 あなたは、同和問題について、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 交際や結婚の際、周囲から反対を受けること
- 2 就職や職場で不利な扱いを受けること
- 3 差別的な言動をされること
- 4 差別的な落書きをされること
- 5 身元を調査されること
- 6 インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること
- 7 その他（
- 8 特にない
- 9 わからない

外国人の人権について

問 21 あなたは、外国人の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること | |
| 2 交際や結婚の際、周囲の反対を受けること | |
| 3 就職や職場で不利な扱いを受けること | |
| 4 差別的な言動をされること | |
| 5 アパートなどへの入居を拒否されること | |
| 6 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること | |
| 7 風習や習慣等の違いが受け入れられないこと | |
| 8 じろじろ見られたり、避けられたりすること | |
| 9 外国語で対応できる公的機関や医療機関などが少ないこと | |
| 10 鉄道・道路・施設などの案内表示で外国語表記が十分でないこと | |
| 11 その他 (|) |
| 12 特にない | |
| 13 わからない | |

性的少数者の人権について

問 22 あなたは、いわゆるＬＧＢＴＱなどの性的少数者の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること
- 2 就職や職場で不利な扱いを受けること
- 3 差別的な言動をされること
- 4 アパートなどへの入居を拒否されること
- 5 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
- 6 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 7 性的少数者に対する理解が不足しており、誤解や偏見があること
- 8 戸籍上の「夫婦」ではないことによる不利益（相続人になれない、手術の同意書にサインができない、夫婦や家族を対象にしたサービスが受けられないなど）
- 9 公衆のトイレや入浴施設で生じる生活上の問題
- 10 本人のジェンダーアイデンティティ*とは異なる制服や髪型などの強要
- 11 テレビなどで、性的少数者が笑いの対象として扱われること
- 12 その他 ()
- 13 特にない
- 14 わからない

ジェンダーアイデンティティ：自分で認識している自分自身の性。必ずしも体の性と一致するとは限りません。「こころの性」、「性自認」ともいわれます。

問 23 あなたの身の回りの人（友人、同僚等）から、性的少数者だと打ち明けられた場合、あなたはどのように思いますか。

(○は1つ)

- 1 抵抗を感じない
- 2 どちらかといえば抵抗を感じない
- 3 どちらかといえば抵抗を感じる
- 4 抵抗を感じる
- 5 わからない

エイズ患者やH I V感染者の人権について

問 24 あなたは、エイズ患者やH I V*（エイズウィルス）の感染者の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 交際や結婚の際、周囲の反対を受けること
- 2 就職や職場で不利な扱いを受けること
- 3 医療機関で治療や入院を断られること
- 4 無断でエイズ検査等をされること
- 5 差別的な言動をされること
- 6 アパートなどへの入居を拒否されること
- 7 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
- 8 エイズやH I Vについて、誤った認識や偏見があること
- 9 その他（ ）
- 10 特になし
- 11 わからない

H I V：「ヒト免疫不全ウイルス」のこと。感染し適切な治療が施されないと、免疫力を低下させ、重篤な全身性免疫不全によりエイズ（後天性免疫不全症候群）を発症する。

働く人の人権について

問 25 あなたは、働く人の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 職務上の地位や職場内での優位性を背景にしたいじめやいやがらせ（パワー・ハラスメント）
- 2 職場内での性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）
- 3 妊娠や出産を理由としたいやがらせ（マタニティ・ハラスメント）
- 4 顧客等からの脅迫や不当な要求、いやがらせ（カスタマー・ハラスメント）
- 5 長時間労働などにより、仕事と生活の調和が保てないこと（ワーク・ライフ・バランスが取れない。）
- 6 非正規雇用（有期・パート・派遣労働）など、不安定な雇用形態が増えていること
- 7 同じ仕事でも、雇用形態（正規雇用、非正規雇用）により賃金に差があること
- 8 職業や職種によって差別や偏見があること
- 9 性別によって差別や不利益があること
- 10 その他（ ）
- 11 特になし
- 12 わからない

刑を終えて出所した人の人権について

問 26 あなたは、刑を終えて出所した人の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 交際や結婚の際、周囲の反対を受けること |
| 2 就職や職場で不利な扱いを受けること |
| 3 差別的な言動をされること |
| 4 アパートなどへの入居を拒否されること |
| 5 プライバシーが守られていないこと |
| 6 過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと |
| 7 相談や支援体制が十分でないこと |
| 8 その他 () |
| 9 特にない |
| 10 わからない |

犯罪被害者等の人権について

問 27 あなたは、犯罪被害者やその家族の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 犯罪行為によってこれまでなかった経済的負担を負うこと |
| 2 事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること |
| 3 警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと |
| 4 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること |
| 5 刑事手続に被害者の声が十分反映されていないこと |
| 6 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる |
| 7 被害者にも責任があるなどと周囲から言われること |
| 8 過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと |
| 9 犯罪被害者の相談や支援体制が十分でないこと |
| 10 その他 () |
| 11 特にない |
| 12 わからない |

ハンセン病患者や回復者の人権について

問 28 あなたは、ハンセン病*患者や回復者の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること
- 2 交際や結婚の際、周囲の反対を受けること
- 3 就職や職場で不利な扱いを受けること
- 4 医療機関で治療や入院を断られること
- 5 ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難であること
- 6 差別的な言動をされること
- 7 アパートなどへの入居を拒否されること
- 8 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
- 9 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 10 ハンセン病について正しく理解されておらず、誤った認識や偏見があること
- 11 患者や回復者のプライバシーが守られていないこと
- 12 その他 ()
- 13 特にない
- 14 わからない

ハンセン病：らい菌が主に皮膚と神経を侵す慢性の感染症。現代では治療法が確立され、完治する病気であるが、過去には、感染力が強いという病気に対する誤った認識が広まり、強制的に療養所に収容されるなど隔離政策がとられていた。

人身取引に関する人権問題について

問 29 あなたは、人身取引*に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 人身取引についての理解や認識が十分でないこと
- 2 児童ポルノや児童買春などにより、子どもに対する性的搾取が行われていること
- 3 不当に安い賃金で強制的に働かされている労働環境があること
- 4 女性や子どもなどの弱い立場の人が被害にあうこと
- 5 営利目的で臓器の摘出や売買が行われていること
- 6 その他 ()
- 7 特にない
- 8 わからない

人身取引：暴力、脅迫、誘拐、詐欺などの手段で、売春や強制労働、臓器摘出などを強要し、利益を得る行為。

ホームレスの人権について

問 30 あなたは、ホームレスの人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 近隣住民や通行人等から嫌がらせを受けること
- 2 近隣住民や通行人等から暴力をふるわれること
- 3 就職・職場で不利な扱いを受けること
- 4 差別的な言動をされること
- 5 アパートなどへの入居を拒否されること
- 6 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
- 7 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 8 経済的に自立が困難であること
- 9 その他 ()
- 10 特にない
- 11 わからない

アイヌの人々の人権について

問 31 あなたは、アイヌ*の人々の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること
- 2 交際や結婚の際、周囲の反対を受けること
- 3 就職や職場で不利な扱いを受けること
- 4 差別的な言動をされること
- 5 独自の文化や伝統の保存、伝承が十分図られていないこと
- 6 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 7 アイヌの歴史が十分理解されておらず、誤解や偏見が存在すること
- 8 身元を調査されること
- 9 その他 ()
- 10 特にない
- 11 わからない

アイヌ：主に北海道・樺太・千島列島などに居住し、固有の言語や伝統的な儀式、祭事など独自の豊かな文化を持つ先住民族。

インターネットを利用した人権問題について

問 32 あなたは、インターネットを利用した人権問題について、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 他人を誹謗中傷する情報が掲載されること
- 2 他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること
- 3 出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること
- 4 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること
- 5 児童ポルノの温床となっていること
- 6 本人の知らないうちにプライバシーに関する情報が掲載されること
- 7 監視や規制の体制や法整備が十分でないこと
- 8 その他 ()
- 9 特にない
- 10 わからない

災害に起因する人権問題について

問 33 あなたは、地震や台風などの自然災害により被災した方々に、どのような人権問題が起きていると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 災害時に要援護者（障害者・高齢者・妊婦等）や外国人への配慮が行き届かないこと
- 2 避難生活で女性や妊婦等への配慮が行き届かないこと
- 3 避難生活のプライバシーが守られないこと
- 4 家族を亡くした人への配慮が行き届かないこと
- 5 デマや根拠のない話がインターネットなどで拡散されること
- 6 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること
- 7 差別的な言動をされること
- 8 アパートなどへの入居を拒否されること
- 9 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
- 10 学校、幼稚園等への入学や入園を拒否されること
- 11 避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待
- 12 その他 ()
- 13 特にない
- 14 わからない

北朝鮮当局による拉致被害者等の人権について

問 34 北朝鮮当局による拉致問題*について、あなたが知っていることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 今でも多くの拉致被害者が帰国できていないということ
- 2 政府が認定している「拉致被害者」のほかに、拉致の可能性のある人や、可能性を排除できない人が多数いること
- 3 神奈川県内にも、拉致問題の被害者やその家族が住んでいる（いた）こと
- 4 毎年 12 月 10 日から 16 日までが「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」であること
- 5 その他（)
- 6 特に知っていることはない

拉致問題：1970 年代から 1980 年代にかけて、北朝鮮当局による多くの日本人拉致が発生した。日本政府はこれまでに 17 人を北朝鮮による拉致被害者として認定しているが、このほかにも拉致の可能性が排除できないケースが多くある。北朝鮮は 2002 年に初めて拉致を認め、これまでに 5 人の拉致被害者が帰国している。

人権課題の解決に向けた方策について

問 35 あなたは、人権啓発を推進するためには、どのような方法が効果的だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 講演会、シンポジウム、研修会等
- 2 展示会（資料、写真、著名人からのメッセージ等）
- 3 広報さがみはら
- 4 パンフレット、ポスター
- 5 ラジオを利用した啓発活動
- 6 DVDを利用した啓発活動
- 7 インターネットやSNS等を利用した啓発活動
- 8 交通広告（バス等の車体広告や車内）
- 9 駅などの電光掲示板や横断幕等を利用した啓発活動
- 10 ワークショップ（少人数による討論会や参加体験型の研修プログラム等）
- 11 高齢者や障害者の疑似体験
- 12 高齢者や障害者、外国人との交流会
- 13 その他（)
- 14 特にない
- 15 わからない

問 36 相模原市では、市民の皆様が人権についての理解を深めていただくため、講演会やパネル展示などの啓発事業を行っています。次のうち、あなたが知っているものはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 人権啓発講演会
- 2 人権パネル展
- 3 市民まつり等のイベント時の啓発
- 4 ポスターの掲出
- 5 チラシやリーフレットによる啓発
- 6 人権の花運動（小学校での啓発活動）
- 7 相模原市いじめ防止フォーラム
- 8 広報さがみはらやホームページでの啓発
- 9 駅などの電光掲示板による啓発
- 10 横断幕、懸垂幕による啓発
- 11 その他（)
- 12 知っているものはない

問 37 相模原市は、「一人ひとりが、かけがえのない個人として尊重され、互いの人権を認め合う共生社会の実現」を図るため、令和6年3月に「相模原市人権尊重のまちづくり条例」を制定しました。あなたはこの条例を知っていますか。(○は1つ)

- 1 条例の内容をよく知っている
- 2 条例の内容をある程度知っている
- 3 条例ができたことは知っている
- 4 知らない

問 38 人権尊重のまちづくり条例の目的である、「一人ひとりが、かけがえのない個人として尊重され、互いの人権を認め合う共生社会の実現」のためには、相模原市は今後どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまでお選びください。

(○は3つまで)

- 1 子どもの頃から思いやりの心を育むため、家庭や地域での人権教育を支援する
- 2 学校での人権教育を充実させる
- 3 企業の経営者や従業員向けの人権研修や講座を支援する
- 4 行政機関の職員に対する人権研修を充実させる
- 5 人権問題に対応する相談機関・施設を充実する
- 6 人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する
- 7 広報紙やラジオ、インターネットを活用して人権の大切さをPRする
- 8 啓発冊子や資料展示などにより、人権問題に対する理解を促進する
- 9 人権問題をテーマとした講演会や研修会を実施する
- 10 人権に関する情報の収集及び提供を充実する
- 11 その他（)
- 12 特にない
- 13 わからない

問 39 「一人ひとりが、かけがえのない個人として尊重され、互いの人権を認め合う共生社会の実現」のために、あなたにはどんなことができると思いますか。

(○は3つまで)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">1 人権に対する正しい知識を身につける2 いろいろな立場の人の話を聞くなど、自分の人権感覚を磨く3 固定観念や風習などにとらわれなくて行動する4 自分の中にある偏見や差別について自覚する5 家族や友人間で人権について話し合う6 他人の立場や権利、考え方を大切にする7 その他 ()8 特にない9 わからない |
|--|

質問は以上で終わりです。

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、本調査票によりご回答いただいた場合は、回答を記入した調査票を同封の返信用封筒に入れて、令和6年12月27日（金）までにポストに投函してください。

(切手不要)

人権に関する市民意識調査報告書

令和 7 年 1 0 月発行

編集・発行 相模原市 市民局 人権・男女共同参画課

相模原市中央区中央 2－1 1－1 5

電話 0 4 2（7 6 9）8 2 0 5 FAX 0 4 2（7 5 4）7 9 9 0

E-mail jinkendanjo@city.sagamihara.kanagawa.jp